全学共通教養科目

（授業科目名五十音順）

科目名	衣・食・住 Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	世界の食文化	メディア（講義）	
担当者	松本　衣代		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
多様な食文化の学習を通じて、異文化の生活習慣を理解し、柔軟に受けとめる姿勢を養うことを目標とする。自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し，多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢を養う機会とする。

[授業概要]
【メディア授業】
食文化は基本的な生活文化であり、あまりにも身近で日常的であるがために、自らの食習慣や食に対する捉え方が当然のことであり普遍的なものであると思いこみがちである。この授業では、具体的な事例を通して異なる食文化の諸相を学びながら、自らの食文化を改めて内省し、比較対照によって自文化を相対化することを試みる。また、食文化の変容や受容の事例を通して、食文化が、実際には固定的なものでも不変のものでもないということ、生活文化としての食文化とは何かを学ぶ。授業はオムニバス形式とし、各分野の専門家を特別学外講師として招いて実施する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎回の授業の予習や復習や日頃から，世界の食部関するニュース等に関心を持つこと。各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
オリエンテーション
1. オリエンテーション・食文化概論
アジア・太平洋地域の食文化
2. 韓国の食文化①　伝統的食文化（特別学外講師）
3. 韓国の食文化②　近代の食文化（特別学外講師）
4. 太平洋諸国の食文化
5. インドネシアの食文化①　スラウェシ島
6. インドネシアの食文化②　バリ島
7. ブータンの食文化（特別学外講師）
ヨーロッパ・アメリカの食文化
8. アメリカの食文化（特別学外講師）
9. イギリスの食文化（特別学外講師）
アフリカの食文化
10. アフリカの食文化①　主食（特別学外講師）
11. アフリカの食文化②　肉食・狩猟（特別学外講師）
12. アフリカの食文化③　野菜（特別別学外講師）
まとめ
13. 世界からみた日本食文化・まとめ

科目名	衣・食・住 I	前期	2 単位
サブタイトル	世界の食文化	メディア（講義）	
担当者	松本　衣代		

[成績評価方法]
レポート（70%），授業中の課題（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは後日添削後，返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	衣・食・住 Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	21世紀の暮らしを考える	講義	
担当者	大森　正子、十一　玲子、中西　正恵、梶木　典子、貝増　匡俊、ガンガ　伸子、大淵　裕美、田中　栄治、佐藤　佐織		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・衣・住・マネジメント等の生活科学分野について学ぶ
・21世紀の生活のあり方ーサスティナブルで質の高い生活を考える上で基本的な事項を説明できる

[授業概要]
　この授業は、家政学科教員がオムニバス形式で実施するもので、地球環境問題や防災・減災、少子超高齢社会の中で、質の高い生活を実現していかねばならない21世紀のくらしのあり方を科学的に考え、実践できる知識を学ぶものである。くらしを衣・住・マネジメント等の生活科学分野から多方面に科学的に見ることによって、くらしの科学のおもしろさを認識することになろう。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各授業において4時間程度の自習を行うこと。

[授業計画]
＊順番は変更することがあります
1.授業のガイダンス、色彩と視覚（大森正子）
2.アパレルの生産工程―その選択と購入方法―（十一玲子）
3.布の成り立ち（中西正恵）
4.衣類の果たす役割-心とからだの健康-（十一玲子）
5.衣服とその材料（中西正恵）
6.インテリアエレメントの生活デザイン（田中栄治）
7.私たちのくらしと住空間の演出（梶木典子）
8.メディアにみる家族関係（大淵裕美）
9.アジアのくらし（貝増匡俊）
10.家庭科教育とは（佐藤佐織）
11.メディアにみるジェンダー（大淵裕美）
12.地域における子どもの遊び環境（梶木典子）
13.食料消費の変化と特徴（ガンガ伸子）

科目名	衣・食・住 Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	21世紀の暮らしを考える	講義	
担当者	大森　正子、十一　玲子、中西　正恵、梶木　典子、貝増　匡俊、ガンガ　伸子、大淵　裕美、田中　栄治、佐藤　佐織		

[成績評価方法]
レポート

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
マナバ上でフィードバックを行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	イタリア語Ⅰ（速習）	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	M. カスターニャ、C. チコーニャ		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
イタリア語の基本的なしくみを理解し、読む、書く、聞く、話すための基礎的な能力を身につけることを目指す。

[授業概要]
芸術、料理、ファッション、サッカーなどで身近な国、イタリア。そこで話されているイタリア語は、ほとんど「ローマ字読み」すれば通じるような、日本人にとって学びやすいものです。ヨーロッパ文化への入り口として適した言語と言えるでしょう。この授業では、日常のコミュニケーションで使う簡単な会話を楽しむために必要な文法を理解し、実践していきます。単語や文は、繰り返し声に出して覚えましょう。授業は日本語を話せるイタリア人教員2名によって週2回行われます。積極的に授業に参加して、会話で使える単語や言い回しの数を増やしていきましょう。また、イタリアのバラエティーに富んだ文化の魅力も同時に紹介していきます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
文法の授業では動詞の活用など暗記する事項があるので毎回しっかり復習しておくこと。会話・応用の授業に際しては、日頃からイタリア文化について関心を持っておくことが望ましい。各回の授業について予習復習合わせて2時間程度とする。

[授業計画]
1. イタリアとイタリア語について
2. コースの説明、簡単な自己紹介1
3. イタリア語の発音
4. Io sono giapponese（男性名詞、女性名詞、essere動詞の現在形）
5. 自己紹介2と挨拶
6. Ciao! Come stai?（リスニング）
7. カフェでの簡単な注文の仕方
8. Di che colore è?（形容詞）
9. イタリアと日本を比べる
10. Questa è la mia borsa（所有形容詞、代名詞）
11. 食べ物の味や服の色を言う
12. Quanti anni hai?（avere動詞の現在形）
13. 好みを伝える
14. Presentarsi（自己紹介、動詞の現在形）（リスニング）
15. 自分の気分を伝える
16. Al bar（不定冠詞）
17. イタリアの季節とイタリアの習慣について
18. Al negozio（定冠詞）
19. カフェでの会話
20. Al ristorante（前置詞＋定冠詞）（リスニング）
21. 自己紹介3住んでいる場所、働いている場所
22. L'orario（時刻の言い方）
23. 暇な時の話、趣味の話
24. Dove vai in vacanza?（不規則動詞の現在形）
25. 前期の復習とまとめ
26. 前期の復習とまとめ
＊多少の変更、日程の調整が入ることはあります。

科目名	イタリア語Ⅰ（速習）	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	M. カスターニャ、C. チコーニャ		

[成績評価方法]
週2回の授業の平均点がこの授業の評価の対象となります。
授業用プリントへの書き込み（50%）、授業中の課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業用プリントは授業終了時に回収し、添削と指導をして返却。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:プリント配布 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	イタリア語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉冨　文		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
イタリア語を読む、書く、聞く、話すための基礎的な能力を身につけることを目指す。

[授業概要]
　この授業では、旅先やイタリアン人スタッフのいるレストランなどでのちょっとしたコミュニケーションをイタリア語でできるようになることを目指して、イタリア語の初歩を学習します。
　挨拶やアルファベートの発音から始め、基本的な文法事項を学習し、得た文法知識を応用させて、簡単な会話へと発展させていきます。
　英語が苦手な人も大丈夫。みんなゼロからのスタートです。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度です。
授業で学習した内容をふり返り、本当に理解できているか確認しましょう。
教科書に出てきた単語や表現の意味や使い方を単語帳やノートにまとめましょう。
授業で指示された練習問題に取り組みましょう。

[授業計画]
1. イタリアについて
2. イタリア語の挨拶とアルファベート
3. カフェで注文する(名詞と冠詞)
4. 居場所や出身地を言う(文の語順、動詞essere)1
5. 居場所や出身地を言う(文の語順、動詞essere)2
6. 食べ物の味を言う(形容詞1)
7. 身に付けている物の色を説明する(形容詞2)
8. 自分の持ち物や年齢を言う(動詞avere、0～20の数)
9. 何を買うか言う・住んでいる所、働いている所を言う(-are動詞規則活用)1
10. 何を買うか言う・住んでいる所、働いている所を言う(-are動詞規則活用)2
11. 行き先を言う・今夜の予定について話す・職業を言う(-are動詞不規則活用)1
12. 行き先を言う・今夜の予定について話す・職業を言う(-are動詞不規則活用)2
13. まとめ、名詞・冠詞・形容詞・essere・avere・-are動詞についての解説

科目名	イタリア語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉冨　文		

[成績評価方法]
試験（60%）、受講態度（40%）で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
答案用紙を回収後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:学期末の試験と受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:学期末の試験と受講態度

[教科書（ISBN）]
書籍名:イタリアーノ・イタリアーノItaliano Italiano 著者名:カスターニャマッテオ 出版社名:朝日出版社 ISBN:9784255553146

[参考書（ISBN）]

科目名	イタリア語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	M. カスターニャ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
イタリア語を話す、聞く、読む、書くための基礎的な能力を身につけることを目指す。

[授業概要]
お店に入る時、出る時、このタイミングで挨拶するかしないかでイタリアで得られるものは変わります。
イタリアではカフェなどでも「ボンジョルノ！」の一言で店員さんは気持ちよく対応してくれます。さらにもう一言話せるとさらに楽しいコミュニケーションが広がることでしょう。ファッションや美しい街並み、美味しい食事だけではなく、人とも関わり、より深くイタリアを知って頂きたいと考えています。
授業前半は会話練習や文法を学び、後半ではファッションや音楽情報など、イタリア人がその時々で注目していること、それにまつわる歴史や土壌などからイタリア文化をより深く理解することを目指します。
文法も会話もイタリア旅行などで実際に活かせるシチュエーションが思い浮かべられたり、イタリアに興味が湧くからこそ、より学びもはかどると考えています。
言葉はコミュニケーションツールであり、使ってこその道具だということを大事にしている授業です。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. イタリアとイタリア語について
2. イタリア語の発音
3. 自己紹介1と挨拶
4. カフェでの簡単な注文の仕方
5. イタリアと日本を比べる
6. 食べ物の味や服の色を言う
7. 好みを伝える
8. 自分の気分を伝える
9. イタリアの季節とイタリアの習慣について
10. カフェでの会話
11. 自己紹介2住んでいる場所、働いている場所
12. 暇な時の話、趣味の話
13. まとめ

科目名	イタリア語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	M. カスターニャ		

[成績評価方法]
授業用プリントへの書き込み(50%)、授業中の課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業用プリントは授業終了時に回収し、添削と指導をして返却。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:プリント配布 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	イタリア語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	堂浦　律子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
イタリア語を読む、書く、聞く、話すための基礎的な能力を身につけることを目指す。

[授業概要]
ローマ字になじんでいる私たち日本人にとって、イタリア語は決して難解な言葉ではありません。この授業では、簡単な文を使ってコミュニケーションをするために必要な、初歩的な文法を学びます。スムーズなコミュニケーションをめざすには、その基礎作りとして一見退屈な暗記や反復の作業も必要ですが、いったん覚えてしまえば幅広く応用できます。単語や動詞変化、基礎的な文は、繰り返し声に出して覚えるようにしてください。旅行で使える会話表現も学んでいきます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
前の授業の内容を理解しておくこと。とくに動詞の活用は完全に覚えておくことが必要なので、授業中での暗記を補うためにしっかり復習すること。各回の授業について予習復習合わせて2時間程度とする。

[授業計画]
1. つづりと発音の関係。あいさつ。
2. 名詞に男女があること。不定冠詞。
3. 名詞の複数形。「～をください」を使った表現。
4. 形容詞。
5. 形容詞とともに使う動詞essere。
6. 「私は日本人です。」「彼はイタリア人だ。」などの文。
7. 「これは何？」とその答え。「～がある。」の文。
8. 前置詞。これまでの復習とまとめ。
9. 所有形容詞「私の、君の」など。親族の名詞の規則。
10. 規則動詞 第1型。「神戸に住んでいる。」
11. 第1型動詞のバリエーション。疑問文や否定文。
12. 第2型動詞と第3型動詞。
13. これまでの復習とまとめ。

科目名	イタリア語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	堂浦　律子		

[成績評価方法]
理解度確認試験60%、授業中課題40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:イタリア語文法徹底マスター 著者名:堂浦律子 出版社名:駿河台出版社 ISBN:978-4-411-01744-4

[参考書(ISBN)]

科目名	イタリア語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉冨　文		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
よく使われる文や表現が理解でき、自分の身の回りについて表現できたり現地での買い物などで簡単なやり取りができたりするレベルを目指す。

[授業概要]
前期の学習でイタリア語の音や文法に慣れてきたことと思います。
後期は前期に引き続き、文法事項を学習しながら会話によるコミュニケーションへとつなげていきます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度です。
授業で学習した内容をふり返り、本当に理解できているか確認しましょう。
教科書に出てきた単語や表現の意味や使い方を単語帳やノートにまとめましょう。
授業で指示する課題に取り組みましょう。

[授業計画]
1. 前期のおさらい
2. 食べたい物、飲みたい物を言う(-ere動詞規則活用1)
3. 余暇について話す(-ere動詞規則活用2)
4. 何を飲むか言う(-ere動詞不規則活用1)
5. 情報を尋ねる(-ere動詞不規則活用2)
6. 好みを言う(-ire動詞規則活用1)
7. バカンスの予定を話す(-ire動詞規則活用2)
8. いつ、何をするか言う(-ire動詞不規則活用1)
9. 今夜の予定を言う(-ire動詞不規則活用2)
10. カフェで注文する(名詞・定冠詞・形容詞の複数形)
11. 時刻を言う・20～100までの数
12.しなければならないことを言う(補助動詞)
13. まとめ、-ere動詞・-ire動詞・補助動詞・名詞、定冠詞、形容詞の複数形について解説

科目名	イタリア語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉冨　文		

[成績評価方法]
試験（60%）、受講態度（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
答案を回収後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:学期末の試験と受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:学期末の試験と受講態度

[教科書（ISBN）]
書籍名:イタリアーノ・イタリアーノItaliano Italiano 著者名:カスターニャマッテオ 出版社名:朝日出版社 ISBN:9784255553146

[参考書（ISBN）]

S03829 [GSH1-028]

科目名	イタリア語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	M. カスターニャ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
よく使われる文や表現が理解でき、自分の身の回りについて表現できたり現地での買い物などで簡単なやり取りができたりするレベルを目指す。

[授業概要]
お店に入る時、出る時、このタイミングで挨拶するかしないかでイタリアで得られるものは変わります。
イタリアではカフェなどでも「ボンジョルノ！」の一言で店員さんは気持ちよく対応してくれます。さらにもう一言話せるとさらに楽しいコミュニケーションが広がることでしょう。ファッションや美しい街並み、美味しい食事だけではなく、人とも関わり、より深くイタリアを知って頂きたいと考えています。
授業前半は会話練習や文法を学び、後半ではファッションや音楽情報など、イタリア人がその時々で注目していること、それにまつわる歴史や土壌などからイタリア文化をより深く理解することを目指します。
文法も会話もイタリア旅行などで実際に活かせるシチュエーションが思い浮かべられたり、イタリアに興味が湧くからこそ、より学びもはかどると考えています。
言葉はコミュニケーションツールであり、使ってこその道具だということを大事にしている授業です。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 前期の復習
2. 複数形について
3. 数えられるもの、数えられないもの
4. 今週の自分の予定を話す
5. イタリア料理について
6. レストランでの注文の仕方
7. レストランでの会話
8. 旅行について話す
9. 好みを伝える
10. 何時に
11. イタリアのクリスマスとお正月
12. 誘い方、人を誘う
13. まとめ

科目名	イタリア語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	M. カスターニャ		

[成績評価方法]
授業用プリントへの書き込み(50%)、授業中の課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業用プリントは授業終了時に回収し、添削と指導をして返却。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:プリント配布 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	イタリア語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	堂浦　律子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
よく使われる文や表現が理解でき、現地での買い物など簡単なやり取りができるレベルを目指す。

[授業概要]
この授業では、使えるイタリア語の表現をさらに増やしていきます。少し難しい文法事項も出てきますが、日常会話でよく使うものばかりです。文法の規則は一度覚えてしまえばいろいろな単語を当てはめて応用できます。イタリア語学習で欠かせないのが動詞の活用の習得です。後期は、不規則な活用をするやや複雑な動詞が多く出てきますので、繰り返し発音し、確実に覚えましょう。また、自分自身のことを話したり、相手のことを聞いたりするような、コミュニケーションの基本となる事項も多く出てきます。イタリア人と話す場面を想像しながら、幅広い表現を学んでいきましょう。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前の授業の内容を理解しておくこと。とくに動詞の活用は完全に覚えておくことが必要なので、授業中での暗記を補うためにしっかり復習すること。各回の授業について予習復習合わせて2時間程度とする。

[授業計画]
1. 前期の復習。とくに動詞の復習。
2. 不規則動詞その1「持つ」とさまざまな熟語。
3. 不規則動詞その2「する」「行く」とその応用。
4. その他のさまざまな不規則動詞。
5. さまざまな動詞の応用。
6. 補助動詞その1「～したい」「～できる」
7. 補助動詞その2「～しないといけない」
8. これまでの復習とまとめ。
9. いろいろな疑問詞を使った表現。
10. 疑問詞と答えのやりとり。その応用と発展。
11. 「～が好きだ」という特殊な動詞を使って。
12. 時間の表現を使ったさまざまな文。
13. これまでの復習とまとめ。

科目名	イタリア語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	堂浦　律子		

[成績評価方法]
理解度確認試験60%、授業中課題40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:イタリア語文法徹底マスター 著者名:堂浦律子 出版社名:駿河台出版社 ISBN:978-4-411-01744-4

[参考書(ISBN)]

科目名	イタリア語Ⅱ（速習）	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	M. カスターニャ、C. チコーニャ		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
イタリア語の基礎を固めて文のしくみを理解し、さまざまな日常会話の場面においてより的確なコミュニケーションができるレベルを目指す。

[授業概要]
芸術、料理、ファッション、サッカーなどで身近な国、イタリア。そこで話されているイタリア語は、ほとんど「ローマ字読み」すれば通じるような、日本人にとって学びやすいものです。ヨーロッパ文化への入り口として適した言語と言えるでしょう。この授業では、日常のコミュニケーションで使う簡単な会話を楽しむために必要な文法を理解し、実践していきます。単語や文は、繰り返し声に出して覚えましょう。授業は日本語を話せるイタリア人教員2名によって週2回行われます。積極的に授業に参加して、会話で使える単語や言い回しの数を増やしていきましょう。また、イタリアのバラエティーに富んだ文化の魅力も同時に紹介していきます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
文法の授業では、動詞の活用など暗記する事項があるので、毎回しっかり復習しておくこと。会話・応用の授業に際しては、日頃からイタリア文化について関心を持っておくことが望ましい。各回の授業について予習復習合わせて2時間程度とする。

[授業計画]
1. 前期の復習
2. 総合的な復習
3. 複数形について
4. Che cosa fai nel tempo libero? (動詞の現在形、前置詞)
5. 数えられるもの、数えられないもの
6. Devo studiare tanto! (volere potere dovere助動詞)
7. 今週の自分の予定を話す
8. In albergo (ホテルの予約など) (リスニング)
9. イタリア料理について
10. Scusi, dov'è...? (街で迷子になったら) (リスニング)
11. レストランでの注文の仕方
12. Lo conosci? (直接代名詞)
13. レストランでの会話
14. Non mi piace il vino (間接代名詞)
15. 旅行について話す
16. Mi alzo sempre alle 8 (再帰動詞) (リスニング)
17. 好みを伝える
18. Ci vediamo davanti al cinema (再帰動詞)
19. 何時に
20. Che cosa hai fatto ieri? (近過去形)
21. イタリアのクリスマスとお正月
22. Lo scorso anno sono stato a Roma (近過去形)
23. 誘い方、人を誘う
24. In quel ristorante si mangia bene (非人称) (リスニング)
25. 後期の復習とまとめ
26. 後期の復習とまとめ
＊多少の変更、日程の調整が入ることはあります。

科目名	イタリア語Ⅱ（速習）	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	M. カスターニャ、C. チコーニャ		

[成績評価方法]
週2回の授業の平均点がこの授業の評価の対象となります。
授業用プリントへの書き込み（50%）、授業中の課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業用プリントは授業終了時に回収し、添削と指導をして返却。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:プリント配布 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本　渚子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回講義内で前回の講義内容に関する小テストを行うので、復習をしておいてください。

[授業計画]
1. Introduction
2. Classroom activities (based on textbook chapter 1)
3. Classroom activities (based on textbook chapter 1)
4. Classroom activities (based on textbook chapter 2)
5. Classroom activities (based on textbook chapter 2)
6. Classroom activities (based on textbook chapter 3)
7. Classroom activities (based on textbook chapter 3)
8. Classroom activities (based on textbook chapter 4)
9. Classroom activities (based on textbook chapter 4)
10. Classroom activities (based on textbook chapter 5)
11. Classroom activities (based on textbook chapter 5)
12. 前期授業のまとめ、最終試験
13. 最終試験の解説

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本　渚子		

[成績評価方法]
Active participation 30%, Presentation 30%, Final assessment(Test) 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・レポート課題は、後日添削して返却します。
・理解度確認試験を回収後、解答の解説を行います。
・基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Global Issues ／ 身近な世界を英語で発信 著者名:Garry Pearson 出版社名:成美堂 ISBN:9784791972258

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	前田　葵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. Unit 1
3. Unit 2
4. Unit 3
5. Unit 4
6. Unit 5
7. Review (Unit 1 to Unit 5)
8. Unit 6
9. Unit 7
10. Unit 8
11. Unit 9
12. Unit 10
13. Review. (Unit 6 to Unit 10)

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	前田　葵		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manaba を通じて講評をフィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Presentation and Final Assessment

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Active Participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Assessment

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Presentation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final assessment

[教科書(ISBN)]
書籍名:Encounters Abroad すぐ使える海外旅行英語 著者名:Michael P. Critchley 著 出版社名:南雲堂 ISBN:9784523175391

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル	Welcome to Engilsh	演習	
担当者	D. ギルピン		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day. Not only attending the class, but also active participation is required. Students should spend about 4 hours a week previewing vocabulary and grammar points.

[授業計画]
1.Introductions, Classroom English, Nice to meet you! (part 1)
2 Nice to meet you! (part 2)
3.What do you do? (part 1)
4.What do you do? (part 2)
5 Do you like noodles? (part 1)
6. Do you like noodles? (part 2)
7.Presentation, How often do you exercise? (part 1)
8.How often do you exercise? (part 2)
9. I`m listening to music. (part 1)
10.I`m listening to music. (part 2)
11. Where were you yesterday? (part 1)
12. Where were you yesterday? (part 2)
13. Final exam

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル	Welcome to Engilsh	演習	
担当者	D. ギルピン		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Individual and general feedback will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 1, Student Book with Online Practice, 4th edition 著者名:Ken Wilson 出版社名:Oxford University Press
ISBN:9780194060998

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, active listening and discussions of English cultural expressions such as songs and movies.
The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction and cultural understanding in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review upcoming course materials.
Active participation during class time is necessary.

[授業計画]
1. Introduction Unit 1: Nice to meet you!
2. Unit 1 continued
3. Unit 2: What do you do?
4. Unit 2 continued
5. Unit 3: Do you like noodles?
6. Unit 3 continued and mid-term test
7. Unit 4: How often do you exercise?
8. Unit 4 continued
9. Unit 5: I'm listening to music.
10. Unit 5 continued
11. Unit 6: Where were you yesterday?
12. Unit 6 continued
13. Review and final test

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation 30%, Presentation 30%, Final assessment(Test) 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final test

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 4E Level 1 著者名:Ken Wilson 出版社名:Oxford University Press ISBN:9780194060998

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本　渚子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回講義内で前回の講義内容に関する小テストを行うので、復習をしておいてください。

[授業計画]
1. Introduction
2. Classroom activities (based on textbook chapter 1)
3. Classroom activities (based on textbook chapter 1)
4. Classroom activities (based on textbook chapter 2)
5. Classroom activities (based on textbook chapter 2)
6. Classroom activities (based on textbook chapter 3)
7. Classroom activities (based on textbook chapter 3)
8. Classroom activities (based on textbook chapter 4)
9. Classroom activities (based on textbook chapter 4)
10. Classroom activities (based on textbook chapter 5)
11. Classroom activities (based on textbook chapter 5)
12. 前期授業のまとめ、最終試験
13. 最終試験の解説

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本　渚子		

[成績評価方法]
Active participation 30%, Presentation 30%, Final assessment(Test) 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・レポート課題は、後日添削して返却します。
・理解度確認試験を回収後、解答の解説を行います。
・基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Global Issues ／ 身近な世界を英語で発信 著者名:Garry Pearson 出版社名:成美堂 ISBN:9784791972258

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
A weekly homework assignment will be given based on the weeks activities.

[授業計画]
1. Introduction
2. activities, hobbies etc
3. fashion, clothing, chapter #2
4. chapter #2 continued
5. happiness chapter 3
6. chapter #3 continued
7. information review
8. mid-term
9. location words, directions chapter #4
10. directions continued chapter #4
11. materials-objects chapter #5
12. chapter #5 continued
13. Final Exam

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:English FIrsthand 1 著者名:Marc Helgesen 出版社名:Pearson ISBN:9813132779

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	D. ギルピン		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1.Introductions, Classroom English, Nice to meet you! (part 1)
2 Nice to meet you! (part 2)
3.What do you do? (part 1)
4.What do you do? (part 2)
5 Do you like noodles? (part 1)
6. Do you like noodles? (part 2)
7.Presentation, How often do you exercise? (part 1)
8.How often do you exercise? (part 2)
9. I`m listening to music. (part 1)
10.I`m listening to music. (part 2)
11. Where were you yesterday? (part 1)
12. Where were you yesterday? (part 2)
13. Final exam

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	D. ギルピン		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Individual and general feedback will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 1, Student Book, with Online Practice, 4th edition 著者名:Ken Wilson 出版社名:Oxford University Press
ISBN:9780194060998

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, active listening and discussions of English cultural expressions such as songs and movies.
The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction and cultural understanding in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review upcoming course materials.
Active participation during class time is necessary.

[授業計画]
1. Introduction Unit 1: Nice to meet you!
2. Unit 1 continued
3. Unit 2: What do you do?
4. Unit 2 continued
5. Unit 3: Do you like noodles?
6. Unit 3 continued and mid-term test
7. Unit 4: How often do you exercise?
8. Unit 4 continued
9. Unit 5: I'm listening to music.
10. Unit 5 continued
11. Unit 6: Where were you yesterday?
12. Unit 6 continued
13. Review and final test

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation 30%, Presentation 30%, Final assessment(Test) 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final test

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 4E Level 1 著者名:Ken Wilson 出版社名:Oxford University Press ISBN:9780194060998

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本　渚子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回講義内で前回の講義内容に関する小テストを行うので、復習をしておいてください。

[授業計画]
1. Introduction
2. Classroom activities (based on textbook chapter 1)
3. Classroom activities (based on textbook chapter 1)
4. Classroom activities (based on textbook chapter 2)
5. Classroom activities (based on textbook chapter 2)
6. Classroom activities (based on textbook chapter 3)
7. Classroom activities (based on textbook chapter 3)
8. Classroom activities (based on textbook chapter 4)
9. Classroom activities (based on textbook chapter 4)
10. Classroom activities (based on textbook chapter 5)
11. Classroom activities (based on textbook chapter 5)
12. 前期授業のまとめ、最終試験
13. 最終試験の解説

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本　渚子		

[成績評価方法]
Active participation 30%, Presentation 30%, Final assessment(Test) 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・レポート課題は、後日添削して返却します。
・理解度確認試験を回収後、解答の解説を行います。
・基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Global Issues ／ 身近な世界を英語で発信 著者名:Garry Pearson 出版社名:成美堂 ISBN:9784791972258

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中村　英江		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. classroom activities (based on textbook Unit 1-1)
3. classroom activities (based on textbook Unit 1-2)
4. classroom activities (based on textbook Unit 2-1)
5. classroom activities (based on textbook Unit 2-2)
6. classroom activities (based on textbook Unit 3-1)
7. classroom activities (based on textbook Unit 3-2)
8. review 1
9. classroom activities (based on textbook Unit 4)
10. classroom activities (based on textbook Unit 5)
11. classroom activities (based on textbook Unit 6-1)
12. classroom activities (based on textbook Unit 6-2)
13. review 2

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中村　英江		

[成績評価方法]
Active participation 30%, Presentation 30%,Final assessment(Test) 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Globe Trotters 著者名:Carmella Lieske 出版社名:Cengage Learning ISBN:9781305258181

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル	Welcome to English	演習	
担当者	D. ギルピン		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1.Introductions, Classroom English, Nice to meet you! (part 1)
2 Nice to meet you! (part 2)
3.What do you do? (part 1)
4.What do you do? (part 2)
5 Do you like noodles? (part 1)
6. Do you like noodles? (part 2)
7.Presentation, How often do you exercise? (part 1)
8.How often do you exercise? (part 2)
9. I`m listening to music. (part 1)
10.I`m listening to music. (part 2)
11. Where were you yesterday? (part 1)
12. Where were you yesterday? (part 2)
13. Final exam

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル	Welcome to English	演習	
担当者	D. ギルピン		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Individual and group feedback will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 1, Student Book with Online Practice, 4th edition 著者名:Ken Wilson 出版社名:Oxford University Press
ISBN:9780194060998

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, active listening and discussions of English cultural expressions such as songs and movies.
The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction and cultural understanding in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review upcoming course materials.
Active participation during class time is necessary.

[授業計画]
1. Introduction Unit 1: Nice to meet you!
2. Unit 1 continued
3. Unit 2: What do you do?
4. Unit 2 continued
5. Unit 3: Do you like noodles?
6. Unit 3 continued and mid-term test
7. Unit 4: How often do you exercise?
8. Unit 4 continued
9. Unit 5: I'm listening to music.
10. Unit 5 continued
11. Unit 6: Where were you yesterday?
12. Unit 6 continued
13. Review and final test

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation 30%, Presentation 30%, Final assessment(Test) 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final test

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 4E Level 1 著者名:Ken Wilson 出版社名:Oxford University Press ISBN:9780194060998

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.

[授業計画]
授業最初のプレゼンテーション・授業中のグループワーク等は、木曜1限教養英語I-1とは異なる内容です。
1. Introduction
2. classroom activities (Unit 1 p.11-2, p.12-1, 3, p.14-2, p.15-4, p.16-1)
3. classroom activities (Unit 1 p.17-8, p.18-5, p.20-2, p.21-5)
4. classroom activities (Unit 2 p.24-9, p.27-4, 6)
5. classroom activities (Unit 2 p.29-9, p.30-3, p.31-4, p.33-4, 5)
6. classroom activities (Unit 3 p.35-2, p.36-3, 4, p.38-4, p.40-1)
7. classroom activities (Unit 3 p.41-8, p.42-4, p.44-3, p.45-5)
8. classroom activities (Unit 4 p.48-2, 3, p.49の訳読, p.51-5, 8)
9. classroom activities (Unit 4 p.53-5, p.54-5, p.55-6, 7)
10. classroom activities (Unit 5 p.60-3, 4, p.63-4, p.64-3)
11. classroom activities (Unit 5 p.65-8, p.66-4, 5, p.67-8)
12. classroom activities (Unit 6 p.71-2, p.72-2, 3, p.74-4, p.75-6, p.76-2)
13. classroom activities (Unit 6 p.77-8, p.80-2, p.81-3, 4)

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaを通じて教員のコメントを添付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:Voices 2 著者名:Chia Suan Chong and Lewis Lansford 出版社名:National Geographic Learning ISBN:978-0357458792

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	花崎　知子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. classroom activities (based on textbook Unit 1)
3. classroom activities (based on textbook Unit 1)
4. classroom activities (based on textbook Unit 1)
5. classroom activities (based on textbook Unit 2)
6. classroom activities (based on textbook Unit 2)
7. classroom activities (based on textbook Unit 2)
8. Review 1
9. classroom activities (based on textbook Unit 3)
10. classroom activities (based on textbook Unit 3)
11. classroom activities (based on textbook Unit 3)
12. classroom activities (based on textbook Unit 3)
13. Review 2

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	花崎　知子		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
全体に対し(また必要に応じ、個別に)講評を入れます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:English in Action アニメで伸ばそう英語力 著者名:花崎知子／編著 出版社名:英宝社 ISBN:9784269440012

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡　志津世		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1 4/ 10 オリエンテーション
2 4/ 17 UNIT 1 Restaurant + Part 3 Group work
3 4/ 24 UNIT 1 UNIT REVIEW + UNIT 2 Entertainment + Part 3 Group work
4 5/ 8 UNIT 2 UNIT REVIEW + UNIT 3 Business + Part 3 Group work
5 5/ 15 UNIT 3 UNIT REVIEW + UNIT 4 The Office + Part 3 Group work
6 5/ 22 UNIT 4 UNIT REVIEW + UNIT 5 Telephone + Part 3 Group work
7 5/ 29 UNIT 5 UNIT REVIEW + UNIT 6 Letters & Email + Part 3 Group work
8 6/ 5 UNIT 6 UNIT REVIEW + UNIT 7 Health + Part 3 Group work
9 6/ 12 UNIT 7 UNIT REVIEW + Part 3 Pair Performance + Peer Review
10 6/ 19 まとめのテスト＋解説・講評(フィードバック)
11 6/ 26 TOEIC L&R 模擬演習
12 7/ 12 TOEIC-IP
13 7/ 12 TOEIC IP

科目名	英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡　志津世		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・Unit 課題、小/テストはmanaba 提出、manaba にてフィードバック。
・プレゼン、グループワークは授業中に講評。

注)レポート、テスト、授業の伝達など、manaba を多用するので、必ず受信設定・登録をしておくこと。PC必携。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:テスト、プレゼンテーション、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:テスト、プレゼンテーション、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:テスト、プレゼンテーション、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:テスト、プレゼンテーション、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:テスト、プレゼンテーション、授業への取り組み

[教科書(ISBN)]
書籍名:Intermediate 著者名: 出版社名:成美堂 ISBN:9784791972531

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本　渚子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回講義内で前回の講義内容に関する小テストを行うので、復習をしておいてください。

[授業計画]
1. Introduction
2. Classroom activities (based on textbook chapter 6)
3. Classroom activities (based on textbook chapter 6)
4. Classroom activities (based on textbook chapter 7)
5. Classroom activities (based on textbook chapter 7)
6. Classroom activities (based on textbook chapter 8)
7. Classroom activities (based on textbook chapter 8)
8. Classroom activities (based on textbook chapter 9)
9. Classroom activities (based on textbook chapter 9)
10. Classroom activities (based on textbook chapter 10)
11. Classroom activities (based on textbook chapter 10)
12. 前期授業のまとめ、最終試験
13. 最終試験の解説

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本　渚子		

[成績評価方法]
Active participation 30%, Presentation 30%, Final assessment(Test) 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・レポート課題は、後日添削して返却します。
・理解度確認試験を回収後、解答の解説を行います。
・基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Global Issues ／ 身近な世界を英語で発信 著者名:Garry Pearson 出版社名:成美堂 ISBN:9784791972258

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	前田　葵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Talking about Japan
2. Chapter 1
3. Chapter 2
4. Chapter 3
5. Chapter 4
6. Chapter 5
7. Chapter 6
8. Chapter 7
9. Chapter 8
10. Chapter 9
11. Chapter 10
12. Chapter 11
13. Chapter 12

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	前田　葵		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manaba を通じて講評をフィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Presentation and Final Assessment

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Active Participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Assessment

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Presentation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final Assessment

[教科書(ISBN)]
書籍名:Touring Japan in English 英語で学ぶ日本三選 著者名:坂部　俊行 著 岡島　徳昭 著 William Noel 著 出版社名:南雲堂
ISBN:9784523177883

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本　渚子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回講義内で前回の講義内容に関する小テストを行うので、復習をしておいてください。

[授業計画]
1. Introduction
2. Classroom activities (based on textbook chapter 6)
3. Classroom activities (based on textbook chapter 6)
4. Classroom activities (based on textbook chapter 7)
5. Classroom activities (based on textbook chapter 7)
6. Classroom activities (based on textbook chapter 8)
7. Classroom activities (based on textbook chapter 8)
8. Classroom activities (based on textbook chapter 9)
9. Classroom activities (based on textbook chapter 9)
10. Classroom activities (based on textbook chapter 10)
11. Classroom activities (based on textbook chapter 10)
12. 前期授業のまとめ、最終試験
13. 最終試験の解説

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本　渚子		

[成績評価方法]
Active participation 30%, Presentation 30%, Final assessment(Test) 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・レポート課題は、後日添削して返却します。
・理解度確認試験を回収後、解答の解説を行います。
・基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Global Issues ／ 身近な世界を英語で発信 著者名:Garry Pearson 出版社名:成美堂 ISBN:9784791972258

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Chapter 6; dreams
2. Chapter 6: continued
3. Chapter 7; past tense activities
4. Chapter 7: past tense activities
5. Chapter 8: nature and knowledge
6. Chapter 8: continued
7. midterm
8. Chapter 9: skills
9. Chapter 9: continued
10. Chapter 10: activities and hobbies
11. Chapter 10: continued
12. final exam
13. exam review

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:English Firsthand #1 著者名:Marc Helgesen 出版社名:Pearson ISBN:9813132779

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, active listening and discussions of English cultural expressions such as songs and movies.
The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction and cultural understanding in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review upcoming course materials.
Active participation during class time is necessary.

[授業計画]
1. Unit 7: Which one is cheaper?
2. Unit 7: Continued
3. Unit 8: They're very friendly.
4. Unit 8: Continued
5. Unit 9: You can visit the zoo.
6. Unit 9: Continued and mid-term test
7. Unit 10: Is there a coffee shop?
8. Unit 10: Continued
9. Unit 11: I had a good time.
10. Unit 11: Continued
11. Christmas cultural event
12. Unit 12: I'm going to go by car
13. Unit 12: Continued and final test

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation 30%, Presentation 30%, Final assessment(Test) 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final test

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 4E Level 1 著者名:Ken Wilson 出版社名:Oxford University Press ISBN:9780194060998

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	D. ギルピン		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Semester 1 review, Catching up, Which one is cheaper? (part 1)
2. Which one is cheaper? (part 2)
3. They're very friendly. (part 1)
4. They're very friendly. (part 2)
5. You can visit the zoo. (part 1)
6. You can visit the zoo, (part 2)
7. Presentation, Is there a coffee shop? (part 1)
8. Is there a coffee shop? (part 2)
9. I had a good time. (part 1)
10. I had a good time. (part 2)
11. I'm going to go by car. (part 1)
12. I'm going to go by car. (part 2)
13. Final exam

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	D. ギルピン		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Individual and group feedback will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 1, Student Book with Online Practice, 4th Edition 著者名:Ken Wilson 出版社名:Oxford University Press
ISBN:9780194060998

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル	Welcome to English: Part 2	演習	
担当者	D. ギルピン		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Semester 1 review, Catching up, Which one is cheaper? (part 1)
2. Which one is cheaper? (part 2)
3. They`re very friendly. (part 1)
4. They`re very friendly. (part 2)
5. You can visit the zoo. (part 1)
6. You can visit the zoo, (part 2)
7. Presentation, Is there a coffee shop? (part 1)
8. Is there a coffee shop? (part 2)
9. I had a good time. (part 1)
10. I had a good time. (part 2)
11. I`m going to go by car. (part 1)
12. I`m going to go by car. (part 2)
13. Final exam

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル	Welcome to English: Part 2	演習	
担当者	D. ギルピン		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Individual and group feedback will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 1, Student Book with Online Practice, 4th Edition 著者名:Ken Wilson 出版社名:Oxford University Press
ISBN:9780194060998

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, active listening and discussions of English cultural expressions such as songs and movies.
The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction and cultural understanding in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review upcoming course materials.
Active participation during class time is necessary.

[授業計画]
1. Unit 7: Which one is cheaper?
2. Unit 7: Continued
3. Unit 8: They're very friendly.
4. Unit 8: Continued
5. Unit 9: You can visit the zoo.
6. Unit 9: Continued and mid-term test
7. Unit 10: Is there a coffee shop?
8. Unit 10: Continued
9. Unit 11: I had a good time.
10. Unit 11: Continued
11. Christmas cultural event
12. Unit 12: I'm going to go by car
13. Unit 12: Continued and final test

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation 30%, Presentation 30%, Final assessment(Test) 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final test

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 4E Level 1 著者名:Ken Wilson 出版社名:Oxford University Press ISBN:9780194060998

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本　渚子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回講義内で前回の講義内容に関する小テストを行うので、復習をしておいてください。

[授業計画]
1. Introduction
2. Classroom activities (based on textbook chapter 6)
3. Classroom activities (based on textbook chapter 6)
4. Classroom activities (based on textbook chapter 7)
5. Classroom activities (based on textbook chapter 7)
6. Classroom activities (based on textbook chapter 8)
7. Classroom activities (based on textbook chapter 8)
8. Classroom activities (based on textbook chapter 9)
9. Classroom activities (based on textbook chapter 9)
10. Classroom activities (based on textbook chapter 10)
11. Classroom activities (based on textbook chapter 10)
12. 前期授業のまとめ、最終試験
13. 最終試験の解説

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本　渚子		

[成績評価方法]
Active participation 30%, Presentation 30%, Final assessment(Test) 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・レポート課題は、後日添削して返却します。
・理解度確認試験を回収後、解答の解説を行います。
・基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Global Issues ／ 身近な世界を英語で発信 著者名:Garry Pearson 出版社名:成美堂 ISBN:9784791972258

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中村　英江		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. classroom activities (based on textbook Unit 7-1)
3. classroom activities (based on textbook Unit 7-2)
4. classroom activities (based on textbook Unit 8-1)
5. classroom activities (based on textbook Unit 8-2)
6. classroom activities (based on textbook Unit 9-1)
7. classroom activities (based on textbook Unit 9-2)
8. review 1
9. classroom activities (based on textbook Unit 10)
10. classroom activities (based on textbook Unit 11)
11. classroom activities (based on textbook Unit 12)
12. classroom activities (based on textbook Unit 13)
13. review 2

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中村　英江		

[成績評価方法]
Active participation 30%, Presentation 30%,Final assessment(Test) 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Globe Trotters 著者名:Carmella Lieske 出版社名:Cengage Learning ISBN:9781305258181

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル	Welcome to English: Part 2	演習	
担当者	D. ギルピン		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Semester 1 review, Catching up, Which one is cheaper? (part 1)
2. Which one is cheaper? (part 2)
3. They're very friendly. (part 1)
4. They're very friendly. (part 2)
5. You can visit the zoo. (part 1)
6. You can visit the zoo, (part 2)
7. Presentation, Is there a coffee shop? (part 1)
8. Is there a coffee shop? (part 2)
9. I had a good time. (part 1)
10. I had a good time. (part 2)
11. I'm going to go by car. (part 1)
12. I'm going to go by car. (part 2)
13. Final exam

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル	Welcome to English: Part 2	演習	
担当者	D. ギルピン		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Individual and group feedback will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 1, Student Book with Online Practice, 4th Edition 著者名:Ken Wilson 出版社名:Oxford University Press
ISBN:9780194060998

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, active listening and discussions of English cultural expressions such as songs and movies.
The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction and cultural understanding in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review upcoming course materials.
Active participation during class time is necessary.

[授業計画]
1. Unit 7: Which one is cheaper?
2. Unit 7: Continued
3. Unit 8: They're very friendly.
4. Unit 8: Continued
5. Unit 9: You can visit the zoo.
6. Unit 9: Continued and mid-term test
7. Unit 10: Is there a coffee shop?
8. Unit 10: Continued
9. Unit 11: I had a good time.
10. Unit 11: Continued
11. Christmas cultural event
12. Unit 12: I'm going to go by car
13. Unit 12: Continued and final test

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation 30%, Presentation 30%, Final assessment(Test) 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final test

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 4E Level 1 著者名:Ken Wilson 出版社名:Oxford University Press ISBN:9780194060998

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.

[授業計画]
授業最初のプレゼンテーション・授業中のグループワーク等は、教養英語I-2とは異なる内容です。
1. classroom activities (Unit 7 p.84-3, 7, p.87-4)
2. classroom activities (Unit 7 p.89-8, p.90-3, 5, p.92-1)
3. classroom activities (Unit 8 p.97訳読, p.100-3)
4. classroom activities (Unit 8 p.101-8, p.102-2, p.103-8, p.104-2, 3)
5. classroom activities (Unit 9 p.107-2, p.109-2, 3, p.111-4, p.112-2)
6. classroom activities (Unit 9 p.175-2, p.114-1, p.116-2, 3)
7. classroom activities (Unit 10 p.120-8, p.123-5, 6)
8. classroom activities (Unit 10 p.125-7, p.127-8, p.128-2)
9. classroom activities (Unit 11 p.131-2, p.132-2, 3, p.135-5, 8, 9, 10)
10. classroom activities (Unit 11 p.137-8, p.138-2, p.139-5, p.140-1)
11. classroom activities (Unit 12 p.144-3, 4, p.146-5, p.147-9)
12. classroom activities (Unit 12 p.177-2, p.150-1, 3, p.153-1, 3)
13. classroom activities (how to write academic writings)

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaを通じて教員のコメントを添付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:Voices 2 著者名:Chia Suan Chong and Lewis Lansford 出版社名:National Geographic Learning ISBN:978-0357458792

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	花崎　知子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. classroom activities (based on textbook Unit 4)
3. classroom activities (based on textbook Unit 4)
4. classroom activities (based on textbook Unit 4)
5. classroom activities (based on textbook Unit 5)
6. classroom activities (based on textbook Unit 5)
7. classroom activities (based on textbook Unit 5)
8. Review 1
9. classroom activities (based on textbook Unit 6)
10. classroom activities (based on textbook Unit 6)
11. classroom activities (based on textbook Unit 6)
12. classroom activities (based on textbook Unit 6)
13. Review 2

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	花崎　知子		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
全体に対し(また必要に応じ、個別に)講評を入れます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:English in Action アニメで伸ばそう英語力 著者名:花崎知子／編著 出版社名:英宝社 ISBN:9784269440012

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡　志津世		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1 9/30 UNIT 8 The Bank & The Post Office + Part 3 Group work
2 10/7 UNIT 8 UNIT REVIEW + UNIT 9 New Products + Part 3 Group work
3 10/1 UNIT 9 UNIT REVIEW + UNIT 10 Travel + Part 3 Group work
4 10/21 UNIT 10 UNIT REVIEW + UNIT 11 Daily Life + Part 3 Group work
5 10/28 UNIT 11 UNIT REVIEW + UNIT 12 Job Application + Part 3 Group work
6 11/11 UNIT 12 UNIT REVIEW + UNIT 13 Telephone + Part 3 Group work
7 11/18 UNIT 5 UNIT REVIEW + UNIT 6 Letters & Email + Part 3 Group work
8 11/25 UNIT 6 UNIT REVIEW + UNIT 7 Health + Part 3 Group work
9 12/2 UNIT 7 UNIT REVIEW + Part 3 Pair Performance + Peer Review
10 12/9 まとめのテスト＋解説・講評(フィードバック)
11 12/16 TOEIC L&R 模擬演習
12 12/20 TOEIC-IP
13 12/20 TOEIC-IP

科目名	英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡　志津世		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・Unit 課題、小/テストはmanaba 提出、manaba にてフィードバック。
・プレゼン、グループワークは授業中に講評。

注)レポート、テスト、授業の伝達など、manaba を多用するので、必ず受信設定・登録をしておくこと。PC必携。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:テスト、プレゼンテーション、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:テスト、プレゼンテーション、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:テスト、プレゼンテーション、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:テスト、プレゼンテーション、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:テスト、プレゼンテーション、授業への取り組み

[教科書(ISBN)]
書籍名:Intermediate 著者名: 出版社名:成美堂 ISBN:9784791972531

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	M. メリネ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Class preparation tasks will be announced in class

[授業計画]
1. Class Introduction
2. Simple Present Tense
3. Present Continuous Tense
4. Simple Past Tense
5. Past Continuous Tense
6. Future
7. Future Continuous Tense
8. Present Perfect
9. Present Perfect
10. Present Perfect Vs. Present Tense
11. Present Perfect Vs. Past Tense
12. Present Perfect Continuous Tense
13. Present Perfect Continuous Tense

*This schedule is tentative and subject to change.

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	M. メリネ		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Manaba will be used for communication and feedback

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:最終テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:最終テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:最終テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:最終テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:最終テスト

[教科書(ISBN)]
書籍名:Side by Side 3 (extra edition) 著者名:Steven J. Molinsky, Bill Bliss 出版社名:Longman ISBN:9780130000000

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ルクミナイテー		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Orientation
2. Unit 1 (Parenting) 1, Listening, Reading
3. Unit 1-2, Speaking, Writing
4. Unit 2 (Sports) 1, Listening, Reading, Quiz on Unit 1
5. Unit 2-2, Speaking, Writing
6. Unit 3 (Exams), Listening, Reading, Quiz on Unit 2
7. Unit 3-2, Speaking, Writing
8. Unit 4 (Music) 1, Listening, Reading, Quiz on Unit 3
9. Unit 4-2, Speaking, Writing
10. Unit 5 (Restaurants) 1, Listening, Reading, Quiz on Unit 4
11. Unit 5-2, Speaking, Writing
12. Unit 6 (School) 1, Listening, Reading, Quiz on Unit 5
13. Review & Final test

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ルクミナイテー		

[成績評価方法]
Active participation 30%, Presentation 30%,Final assessment(Test) 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題(小テスト)は授業内で解説を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Tsubomi 2 著者名:S. Anand 出版社名:eP ISBN:9990000078837

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation, active listening and discussions of English cultural expressions such as songs and movies.
The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction and cultural understanding in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review upcoming course materials.
Active participation during class time is necessary.

[授業計画]
1. Introduction Unit 1: Vacation
2. Unit 1 continued
3. Unit 2: I Think It's Boring
4. Unit 2 continued
5. Unit 3: Do It Before You're 30
6. Unit 3 continued and mid-term test
7. Unit 4: The Best Place In the World
8. Unit 4 continued
9. Unit 5: Where's the Party
10. Unit 5 continued
11. Unit 6: You Should Try It
12. Unit 6 continued
13. Review and final test

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final test

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 4E Level 2 著者名:Ken Wilson 出版社名:Oxford University Press ISBN:9780194061087

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. アナンド		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Orientation
2. Unit 1 (Parenting) 1, Listening, Reading
3. Unit 1-2, Speaking, Writing
4. Unit 2 (Sports) 1, Listening, Reading, Quiz on Unit 1
5. Unit 2-2, Speaking, Writing
6. Unit 3 (Exams), Listening, Reading, Quiz on Unit 2
7. Unit 3-2, Speaking, Writing
8. Unit 4 (Music) 1, Listening, Reading, Quiz on Unit 3
9. Unit 4-2, Speaking, Writing
10. Unit 5 (Restaurants) 1, Listening, Reading, Quiz on Unit 4
11. Unit 5-2, Speaking, Writing
12. Unit 6 (School) 1, Listening, Reading, Quiz on Unit 5
13. Review & Final test

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. アナンド		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題(小テスト)は授業内で解説を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Tsubomi 2 著者名:S. Anand 出版社名:eP ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	花崎　知子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業日前日までに与えられる課題に指示通り、取り組む。また、講評は必ず目を通し、復習に活用すること。

[授業計画]
1. Introduction
2. Grammar 1
3. Vocabulary 1
4. Application 1
5. Review 1
6. Grammar 2
7. Vocabulary 2
8. Application 2
9. Grammar 3
10. Vocabulary 3
11. Application 3
12. Application 4
13. Review 2

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	花崎　知子		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Headway 5/E Intermediate Student's Book with Online Practice 著者名:Liz and John Soars 出版社名:Oxford University Press(オックスフォード大学出版局) ISBN:9780194529150

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Introduction
2. classroom activities (based on textbook chapter 1)
3. classroom activities (presentation/textbook chapter 1)
4. classroom activities (presentation/textbook chapter 2)
5. classroom activities (presentation/ textbook chapter 2)
6. classroom activities (presentation/ textbook chapter 3)
7. classroom activities (presentation/ textbook chapter 3)
8. classroom activities (presentation/ textbook chapter 4)
9. classroom activities (presentation/ textbook chapter 4)
10. classroom activities (presentation/ textbook chapter 5)
11. classroom activities (presentation/ textbook chapter 5)
12. classroom activities (presentation/ textbook chapter 6/7)
13. classroom activities (based on textbook chapter 6/7)

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaを通じて教員のコメントを添付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:CLIL 英語で学ぶSDGsの基礎　CLIL Primary SDGs 著者名:笹島茂 出版社名:三修社 ISBN:9784384335125

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中村　英江		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
小テストの対策は必ず行う。プレゼンテーションの準備をする。
授業の予習復習を欠かさず行い、授業に取り組むこと。

[授業計画]
1. Introduction(授業の進め方、授業内容、評価方法等の説明)
2. Conversation practice (Speaking and Writing)
3. Conversation practice Unit 2
4. Classroom activities Unit 3
5. Conversation practice Unit 4
6. Presentation (1)-1
7. Presentation (1)-2
8. Classroom activities Unit 5
9. Conversation practice Unit 6
10. Conversation practice Unit 7
11. Presentation (2)-1
12. Presentation (2)-2
13. overall review

科目名	英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中村　英江		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Speaking of Nutrition 食と栄養のコミュニケーション 著者名:Peter Vincent, Alan Meadows, 中里　菜穂子 出版社名:南雲堂 ISBN:9784523178279

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	M. メリネ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Class preparation tasks will be announced in class

[授業計画]
1. Gerunds
2, Infinitives
3. Present perfect and Present Perfect Continuous Tenses
4. Reading, Discussion
5. Two-Word Verbs: Separable
6. Two-Word Verbs: Ineparable
7. Reading, Discussions
8. And…Too…, And… Either
9. So, But, Neither
10. Reading, Discussions
11. Review
12. Review
13. Test
*This schedule is tentative and subject to change.

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	M. メリネ		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Manaba will be used for communication and feedback

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:最終テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:最終テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:最終テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:最終テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:最終テスト

[教科書(ISBN)]
書籍名:Side by Side 3 (extra edition) 著者名:Steven J. Molinsky, Bill Bliss 出版社名:Longman ISBN:9780130000000

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ルクミナイテー		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well before the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Unit 7 (Exercise), Listening, Reading
2. Unit 7-2, Speaking, Writing
3. Unit 8 (Traveling), Listening, Reading, Quiz on Unit 7
4. Unit 8-2, Speaking, Writing
5. Unit 9 (Shopping), Listening, Reading, Quiz on Unit 8
6. Unit 9-2, Speaking, Writing
7. Unit 10 (Breakfast), Listening, Reading, Quiz on Unit 9
8. Unit 10-2, Speaking, Writing
9. Unit 11 (Conversation), Listening, Reading, Quiz on Unit 10
10. Unit 11-2, Speaking, Writing
11. Unit 12 (Internships), Listening, Reading, Quiz on Unit 11
12. Unit 12-2, Speaking, Writing, Quiz on Unit 12
13. Review & Final test

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ルクミナイテー		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題(小テスト)は授業内で解説を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Tsubomi 2 著者名:S. Anand 出版社名:eP ISBN:9990000078837

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review upcoming course materials.
Active participation during class time is necessary.

[授業計画]
1. Introduction Unit 7: Things to Buy
2. Unit 7 continued
3. Unit 8: Wanted
4. Unit 8 continued
5. Unit 9: What are You Doing?
6. Unit 9 continued and mid-term test
7. Unit 10: I Used to Sing
8. Unit 10 continued
9. Unit 11: You'll Save Money If...
10. Unit 11 continued
11. Unit 12: You Could Be a Lifeguard
12. Unit 12 continued
13. Review and final test

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Answers and explanations on each unit will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final test

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final test

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 4E Level 2 著者名:Ken Wilson 出版社名:Oxford University Press ISBN:9780194061087

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. アナンド		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well before the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Unit 7 (Exercise), Listening, Reading
2. Unit 7-2, Speaking, Writing
3. Unit 8 (Traveling), Listening, Reading, Quiz on Unit 7
4. Unit 8-2, Speaking, Writing
5. Unit 9 (Shopping), Listening, Reading, Quiz on Unit 8
6. Unit 9-2, Speaking, Writing
7. Unit 10 (Breakfast), Listening, Reading, Quiz on Unit 9
8. Unit 10-2, Speaking, Writing
9. Unit 11 (Conversation), Listening, Reading, Quiz on Unit 10
10. Unit 11-2, Speaking, Writing
11. Unit 12 (Internships), Listening, Reading, Quiz on Unit 11
12. Unit 12-2, Speaking, Writing, Quiz on Unit 12
13. Review & Final test

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. アナンド		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題(小テスト)は授業内で解説を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Tsubomi 2 著者名:S. Anand 出版社名:eP ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	花崎　知子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内で指定された箇所(練習問題や作文)、または与えられた課題を必ず仕上げてきて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introduction
2. grammar 1
3. vocabulary 1
4. application 1
5. Review 1
6. grammar 2
7. vocabulary 2
8. application 2
9. Review 2
10. grammar 3
11. vocabulary 3
12. application 3
13. Review 3

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	花崎　知子		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Headway 5/E Intermediate Student's Book with Online Practice 著者名:Liz and John Soars 出版社名:Oxford University Press(オックスフォード大学出版局) ISBN:9780194529150

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. classroom activities (based on textbook chapter 8)
2. classroom activities (based on textbook chapter 8)
3. classroom activities (presentation/textbook chapter 9)
4. classroom activities (presentation/textbook chapter 9)
5. classroom activities (presentation/ textbook chapter 10)
6. classroom activities (presentation/ textbook chapter 10)
7. classroom activities (presentation/ textbook chapter 11)
8. classroom activities (presentation/ textbook chapter 11)
9. classroom activities (presentation/ textbook chapter 12)
10. classroom activities (presentation/ textbook chapter 12)
11. classroom activities (presentation/ textbook chapter 13/14)
12. classroom activities (presentation/ textbook chapter 13/14)
13. classroom activities (how to write academic writings)

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaを通じて教員のコメントを添付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:CLIL 英語で学ぶSDGsの基礎　CLIL Primary SDGs 著者名:笹島茂 出版社名:三修社 ISBN:9784384335125

[参考書(ISBN)]

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中村　英江		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
小テストの対策は必ず行う。プレゼンテーションの準備をする。
授業の予習復習を欠かさず行い、授業に取り組むこと。

[授業計画]
1. Introduction(前期の復習)
2. Classroom activities Unit 8 (Planning a recap)
3. Classroom activities Unit 9 (writing)
4. Conversation practice Unit 10
5. Classroom activities Unit 11 and 12
6. Presentation (1)-1
7. Presentation (1)-2
8. Classroom activities Unit 13
9. Conversation practice Unit 14
10. Classroom activities Unit 15
11. Presentation (2)-1
12. Presentation (2)-2
13. overall review

科目名	英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中村　英江		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Speaking of Nutrition 食と栄養のコミュニケーション 著者名:Peter Vincent, Alan Meadows, 中里　菜穂子 出版社名:南雲堂 ISBN:9784523178279

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introduction/ Unit 1 A: Amazing Animals
2. Unit 1 B
3. Unit 2 A: Travel and Adventure
4. Unit 2 B
5. Unit 3 A: The Power of Music
6. Unit 3 B
7. Unit 4 A: Into Space
8. Unit 4 B
9. Unit 5 A: City Life
10. Unit 5 B
11. Unit 6 A: Backyard Discoveries
12. Unit 6 B
13. Final Project

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
In class and by email

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final Project

[教科書(ISBN)]
書籍名:Reading Explorer 3/E Level 1 Student Book with Online Workbook Access Code 著者名:David Bohlke 出版社名:NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING(ナショナル・ジオグラフィック・ラーニング)／Cengage Learning(センゲージ・ラーニング) ISBN:9780357123515

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. シンクレア		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	◯
プレゼンテーション	◯	実習、フィールドワーク	
その他	○:ペアワーク	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills.
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Preview the material that will be studied in the next class (approximately 20 minutes or more).
Review the material that was learned in class (30 minutes or more).

[授業計画]
1. Orientation / Introducing Yourself
2. Introducing Companies
3. Introducing Companies
4. Explaining Your Role
5. Explaining Your Role
6. Presentation
7. Introducing Products
8. Introducing Products
9. Checking Information
10. Giving Your Opinion
11. Giving Your Opinion
12. Presentation
13. Final Test

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. シンクレア		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will receive verbal feedback about their performance on a regular basis in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Active participation
Presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Active participation
Presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Active participation
Written assessment

[教科書(ISBN)]
書籍名:Go Global ／ グローバル時代のビジネスコミュニケーション 著者名:Garry Pearson 出版社名:成美堂
ISBN:9784791971848

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ルクミナイテー		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills.
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Orientation
2. Unit 1 (Work & Rest), Classroom activities (group discussion, pair work)
3. Unit 2 (Television), Classroom activities (group discussion, pair work), Quiz on Unit 1
4. Unit 3 (Naming), Classroom activities (group discussion, pair work), Quiz on Unit 2
5. Unit 4 (Books), Classroom activities (group discussion, pair work), Quiz on Unit 3
6. Unit 5 (News), Classroom activities (group discussion, pair work), Quiz on Unit 4
7. Unit 6 (Desserts), Classroom activities (group discussion, pair work), Quiz on Unit 5
8. Unit 7 (Pets), Classroom activities (group discussion, pair work), Quiz on Unit 6
9. Unit 8 (Looking for Jobs), Classroom activities (group discussion, pair work), Quiz on Units 7
10. Unit 9 (Fast Food), Classroom activities (group discussion, pair work), Quiz on Unit 8
11. Unit 10 (International Students), Classroom activities (group discussion, pair work), Quiz on Unit 9
12. Unit 11 (Baking), Classroom activities (group discussion, pair work), Quiz on Unit 10
13. HW, Review & Final test

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ルクミナイテー		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題(小テスト)は授業内で解説を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Tsubaki 著者名:S. Anand/ Oshin P. 出版社名:eP ISBN:9788195153107

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	M. メリネ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills.
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと

[授業計画]
1. L1 How are you? L2 Nice to meet you.
2. L3 Can you say that again? L4 Nice to meet you.
3. English in action
4 .L5 I love pop! L6 My favorite movie is…
5 .L7 What time is it? L8 Would you try kayaking?
6. English in action
7. L9 Do you have any brothers? L10 She's pretty smart.
8. L11 I love your shirt. L12 What's she wearing?
9 .English in action
10. L13 When do you get up? L14 When do you do there?
11. L15 What do you do first? L16 What are you doing?
12. English in action
13. Mid term test

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	M. メリネ		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Manaba will be used for communication and feedback

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Speak Now 1 著者名:Jack C. Richards David Bohlke 出版社名:Oxford ISBN:978-0-19-403015-1

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introduction/ Unit 1 A: Amazing Animals
2. Unit 1 B
3. Unit 2 A: Travel and Adventure
4. Unit 2 B
5. Unit 3 A: The Power of Music
6. Unit 3 B
7. Unit 4 A: Into Space
8. Unit 4 B
9. Unit 5 A: City Life
10. Unit 5 B
11. Unit 6 A: Backyard Discoveries
12. Unit 6 B
13. Final Project

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
In class and by email

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final Project

[教科書(ISBN)]
書籍名:Reading Explorer 3/E Level 1 Student Book with Online Workbook Access Code 著者名:David Bohlke 出版社名:NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING(ナショナル・ジオグラフィック・ラーニング)／Cengage Learning(センゲージ・ラーニング)
ISBN:9780357123515

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class. There will be a weekly listening homework assignment.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introduction
2. Chapter #1 relationships
3. Chapter #1: continued
4. Chapter #2: emotions
5. Chapter #2 continued
6. Chapter #3 vacation/ trips
7. vacation- continued.. review
8. Mid-term quiz
9. Chapter #4 likes/dislikes
10. lChapter #4 continued
11. Chapter #5: excuses
12. Chapter #5 continued
13. FInal exam

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:English Firsthand 2 著者名:Marc Helgesen 出版社名:Pearson ISBN:9789813132788

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	前田　葵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills.
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introduction
2. Unit 1
3. Unit 2
4. Unit 3
5. Unit 4
6. Unit 5
7. Review (Unit 1 to Unit 5)
8. Unit 6
9. Unit 7
10. Unit 8
11. Unit 9
12. Unit 10
13. Review. (Unit 6 to Unit 10)

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	前田　葵		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manaba を通じて講評をフィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Presentation and Final Assessment

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Active Participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Assessment

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Presentation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final Assessment

[教科書(ISBN)]
書籍名:Encounters Abroad すぐ使える海外旅行英語 著者名:Michael P. Critchley 著 出版社名:南雲堂 ISBN:9784523175391

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル	Let`s Study More English	演習	
担当者	D. ギルピン		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introductions, Classroom English, I`ve been running (part 1)
2. I`ve been running (part 2)
3. I wonder what it`s about (part 1)
4. I wonder what it`s about (part 2)
5. It was painted by a street artist (part 1)
6. It was painted by a street artist (part 2)
7. Presentation, Who`s your best friend? (part 1)
8. Who`s your best friend? (part 2)
9. Gotta have it! (part 1)
10. Gotta have it! (part 2)
11. He`d never seen the desert. (part1)
12. He`d never seen the desert. (part 2)
13. Final exam

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル	Let`s Study More English	演習	
担当者	D. ギルピン		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Individual and group feedback will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 3, Student Book with Online Practice, 著者名:Ken Wilson, Alice Savage 出版社名:Oxford Univesity Press ISBN:9780194061292

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills.
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introduction
2. classroom activities (based on textbook chapter 1)
3. classroom activities (presentation/textbook chapter 1)
4. classroom activities (presentation/textbook chapter 2)
5. classroom activities (presentation/ textbook chapter 2)
6. classroom activities (presentation/ textbook chapter 3)
7. classroom activities (presentation/ textbook chapter 3)
8. classroom activities (presentation/ textbook chapter 4)
9. classroom activities (presentation/ textbook chapter 4)
10. classroom activities (presentation/ textbook chapter 5/6)
11. classroom activities (presentation/ textbook chapter 5/6)
12. classroom activities (presentation/ textbook chapter 7/8)
13. classroom activities (based on textbook chapter 7/8)

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaを通じて教員のコメントを添付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:AFP World News Report 7 著者名:Makoto Shishido, Kevin Murphy, Mariko Takahashi 出版社名:成美堂
ISBN:9784791972883

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. アナンド		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills.
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Orientation
2. Unit 1 (Work & Rest)Listening, Reading
3. Unit 1-2 Speaking, Writing
4. Unit 2-1 (Television) Quiz on Unit 1; Listening, Reading
5. Unit 2-2 Speaking, Writing
6. Unit 3-1 (Naming) Quiz on Unit 2; Listening, Reading
7. Unit 3-2 Speaking, Writing
8. Unit 4 (Books) Quiz on Unit 3; Listening, Reading
9. Unit 4-2 Speaking, Writing
11. Unit 5 (News), Classroom activities (group discussion, pair work), Quiz on Unit 4
12. Unit 6 (Desserts, Classroom activities (group discussion, pair work), Quiz on Unit 5
13. Review & Final test

科目名	外国語コミュニケーション Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. アナンド		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題(小テスト)は授業内で解説を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Tsubaki 著者名:S. Anand/ Oshin P. 出版社名:eP ISBN:9788195153107

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English
日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introduction/ Unit 7: When Dinosaurs Ruled
2. Unit 7 B
3. Unit 8: Stories and Storytellers
4. Unit 8 B
5. Unit 9: Unusual Jobs
6. Unit 9 B
7. Unit 10: Uncovering the Past
8. Unit 10 B
9. Unit 11: Plastic Planet
10. Unit 11 B
11. Unit 12: Vanished!
12. Unit 12 B
13. Final Project

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
In class and by email

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final Project

[教科書(ISBN)]
書籍名:Reading Explorer 3/E Level 1 Student Book with Online Workbook Access Code 著者名:David Bohlke 出版社名:NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING(ナショナル・ジオグラフィック・ラーニング)／Cengage Learning(センゲージ・ラーニング) ISBN:9780357123515

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. シンクレア		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	◯
プレゼンテーション	◯	実習、フィールドワーク	
その他	○:ペアワーク	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English
日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Preview the material that will be studied in the next class (approximately 20 minutes or more).
Review the material that was learned in class (30 minutes or more).

[授業計画]
1. Re-orientation / Making Requests
2. Asking Permission
3. Asking Permission
4. Making Invitations
5. Making Invitations
6. Presentation
7. Canceling and Rescheduling
8. Describing Locations
9. Describing Locations
10. Looking after a Visitor
11. Looking after a Visitor
12. Presentation
13. Final Test

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	J. シンクレア		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Students will receive verbal feedback about their performance on a regular basis in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Active participation
Presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Active participation
Presentations

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Active participation
Written assessment

[教科書(ISBN)]
書籍名:Go Global / グローバル時代のビジネスコミュニケーション 著者名:Garry Pearson 出版社名:成美堂
ISBN:9784791971848

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ルクミナイテー		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English
日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内で指定された箇所(練習問題や作文)、または与えられた課題を必ず仕上げてきて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Unit 13 (Parenting), Classroom activities (group discussion, pair work)
2. HW check, Quiz on Unit 13, Unit 14 (Sports), Classroom activities (group discussion, pair work)
3. HW check, Quiz on Unit 14, Unit 15 (Exams), Classroom activities (group discussion, pair work)
4. HW check, Quiz on Unit 15, Unit 16 (Music), Classroom activities (group discussion, pair work)
5. HW check, Quiz on Unit 16, Unit 17 (Restaurants), Classroom activities (group discussion, pair work)
6. HW check, Quiz on Unit 17, Unit 18 (School), Classroom activities (group discussion, pair work)
7. HW check, Quiz on Unit 18, Unit 19 (Exercise), Classroom activities (group discussion, pair work)
8. HW check, Quiz on Unit 19, Unit 20 (Traveling), Classroom activities (group discussion, pair work),
9. HW check, Quiz on Unit 20, Unit 21 (Shopping), Classroom activities (group discussion, pair work)
10. HW check, Quiz on Unit 21, Unit 22 (Breakfast), Classroom activities (group discussion, pair work)
11. HW check, Quiz on Unit 22, Unit 23 (Conversation), Classroom activities (group discussion, pair work)
12. HW check, Quiz on Unit 23, Unit 24 (Internships), Classroom activities (group discussion, pair work)
13. HW check, Review & Final test

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. ルクミナイテー		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題(小テスト)は授業内で解説を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Tsubaki 著者名:S. Anand/ Oshin P. 出版社名:eP ISBN:9788195153107

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	M. メリネ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English
日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内で指定された箇所(練習問題や作文)、または与えられた課題を必ず仕上げてきて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. L17 What's your place like? L18 Where can I get a lamp?
2. L19 Where's the mall? L20 Take a left.
3. English in practice
4. L21 How much is coffee? L22 Will you take $20?
5. L23 Do you ever buy books? L24 Your phone is cool!
6. English in practice
7. L25 Do you eat much fruit? L26 We need onions.
8. L27 Do you eat a big lunch? L28 How does it taste?
9. English in Action
10. L29 I had a great weekend. L30 What time did you call?
11. L31 You won't believe this! L32 What are your plans?
12. English in action
13. Final Test

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	M. メリネ		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Manaba will be used for communication and feedback

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Speak Now 1 著者名:Jack C. Richards David Bohlke 出版社名:Oxford ISBN:978-0-19-403015-1

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English
日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introduction/ Unit 7: When Dinosaurs Ruled
2. Unit 7 B
3. Unit 8: Stories and Storytellers
4. Unit 8 B
5. Unit 9: Unusual Jobs
6. Unit 9 B
7. Unit 10: Uncovering the Past
8. Unit 10 B
9. Unit 11: Plastic Planet
10. Unit 11 B
11. Unit 12: Vanished!
12. Unit 12 B
13. Final Project

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
In class and by email

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final Project

[教科書(ISBN)]
書籍名:Reading Explorer 3/E Level 1 Student Book with Online Workbook Access Code 著者名:David Bohlke 出版社名:NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING(ナショナル・ジオグラフィック・ラーニング)／Cengage Learning(センゲージ・ラーニング)
ISBN:9780357123515

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English
日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内で指定された箇所(練習問題や作文)、または与えられた課題を必ず仕上げてきて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Summer review: semester introduction
2. Chapter 6: Traditions
3. Chapter 6: continued
4. Chapter 7: past events/ memories
5. Chapter 7: continued
6. Chapter review
7. Mid-term quiz
8. Quiz review; chapter 8-events
9. chapter 8-continued
10. Chapter 9- advice
11. Chapter 9- continued
12. FInal quiz
13. Review

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ロー		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:English Firsthand #2 著者名:Marc Helgensen 出版社名:Pearson ISBN:9789813132788

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	前田　葵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English
日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内で指定された箇所(練習問題や作文)、または与えられた課題を必ず仕上げてきて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Talking about Japan
2. Chapter 1
3. Chapter 2
4. Chapter 3
5. Chapter 4
6. Chapter 5
7. Chapter 6
8. Chapter 7
9. Chapter 8
10. Chapter 9
11. Chapter 10
12. Chapter 11
13. Chapter 12

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	前田　葵		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manaba を通じて講評をフィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Presentation and Final Assessment

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Active Participation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Assessment

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Presentation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final Assessment

[教科書(ISBN)]
書籍名:Touring Japan in English 英語で学ぶ日本三選 著者名:坂部　俊行 著 岡島　徳昭 著 William Noel 著 出版社名:南雲堂
ISBN:9784523177883

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル	Let`s Study More English: Part 2	演習	
担当者	D. ギルピン		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English
日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内で指定された箇所(練習問題や作文)、または与えられた課題を必ず仕上げてきて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Semester 1 review, Catching up, Time for a new look! (part 1)
2. Time for a new look! (part 2)
3. My life would be great! (part 1)
4. My life would be great! (part 2)
5. What would you have done? (part 1)
6. What would you have done? (part 2)
7. Presentation, Anything`s possible. (part 1)
8. Anything`s possible (part 2)
9. What would have happened? (part 1)
10. What would have happened? (part 2)
11. Did you hear the news? (part 1)
12. Did you hear the news? (part 2)
13. Final exam

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル	Let`s Study More English: Part 2	演習	
担当者	D. ギルピン		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
Individual and group feedback will be given in class.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Smart Choice 3, Student Book with Online Practice, 4th Edition 著者名:Ken Wilson, Alice Savage 出版社名:Oxford University Press ISBN:9780194061292

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English
日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. classroom activities (based on textbook chapter 9)
2. classroom activities (based on textbook chapter 9)
3. classroom activities (presentation/textbook chapter 10)
4. classroom activities (presentation/textbook chapter 10)
5. classroom activities (presentation/ textbook chapter 11)
6. classroom activities (presentation/ textbook chapter 11)
7. classroom activities (presentation/ textbook chapter 12)
8. classroom activities (presentation/ textbook chapter 12)
9. classroom activities (presentation/ textbook chapter 13/14)
10. classroom activities (presentation/ textbook chapter 13/14)
11. classroom activities (presentation/ textbook chapter 15/16)
12. classroom activities (presentation/ textbook chapter 15/16)
13. classroom activities (how to write academic writings)

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaを通じて教員のコメントを添付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:AFP World News Report 7 著者名:Makoto Shishido, Kevin Murphy, Mariko Takahashi 出版社名:成美堂
ISBN:9784791972883

[参考書(ISBN)]

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. アナンド		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement for practical daily usage of English
日常生活をこなせる英語コミュニケーション能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内で指定された箇所(練習問題や作文)、または与えられた課題を必ず仕上げてきて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Unit 7-1 (Pets) Listening, Reading
2. Unit 7-2 Speaking, Writing
3. Unit 8-1 (Looking for Jobs) Quiz on Unit 7; Listening, Reading
4. Unit 8-2 Speaking, Writing
5. Unit 9-1 (Fast Food) Quiz on Unit 8; Listening, Reading
6. Unit 9-2 Speaking, Writing
7. Unit 10-1 (International Students) Quiz on Unit 9; Listening, Reading
8. Unit 10-2 Speaking, Writing
9. Unit 11-1 (Baking), Classroom activities (group discussion, pair work), Quiz on Unit 10
10. Unit 11-2 Speaking, Writing
11. Unit 12-1 (Tea), Classroom activities (group discussion, pair work), Quiz on Unit 11
12. Unit 12-2 Speaking, Writing
13. Review & Final test

科目名	外国語コミュニケーションⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	S. アナンド		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題(小テスト)は授業内で解説を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Tsubaki 著者名:S. Anand/ Oshin P. 出版社名:eP ISBN:9788195153107

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
充実した大学生活を過ごすために具体的な行動計画を立てることができる
1.自己理解を深め、自身の長所を3つ以上あげることができる
2.学生生活で「やりたいこと」を他者に説明することができる
3.自分に必要な「やるべきこと」を他者に説明することができる
4.キャリア形成の指針となる、自身の大切にしたい価値観について述べることができる

[授業概要]
充実した大学生活を送るために、4年間で何をどのように学ぶのかを考え、行動するきっかけを作るための授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持つ教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。これまでの自分を見つめ直して将来像を描き、そのためにどのように大学生活を過ごせばよいのかを、考え行動できるようになります。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。また課題が授業内容の復習となるので熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて 4 時間程度)。

[授業計画]
1. イントロダクション　　神戸女子大学での学び
2. 行吉学園・神戸女子大学について学ぶ
　　学園理事長講和・サポートセンターツアー
3. 自己理解(1)　　大学生の自分について考える
4. 自己理解(2)　　これまでの、これからの自分について考える
5. 自己理解(3)　　学生としての力
6. 自己理解(4)　　社会人基礎力
7. 金融の知識を高める　　学外特別講師を迎えて
8. コミュニケーショントレーニング(1)
　　合意形成・コンセンサス
9. コミュニケーショントレーニング(2)
　　アサーティブコミュニケーション・学生支援センターから
10. 活躍する先輩に学ぶ　　学科卒業生が語る「私の神女時代」
11. アセスメント検査解説　　問題解決力を身に着ける
12. 行動計画の立案　　大学生活のプランを立てる
13. ふりかえりとまとめ

＊授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。

科目名	基礎Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[成績評価方法]
1.主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)(30%)
2.課題(40%)
3.まとめの課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:MY LIFE　MY CAREER 著者名:神戸女子大学全学共通教育部 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ	講義	
担当者	田和　真希		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
充実した大学生活を過ごすために具体的な行動計画を立てることができる。
1.自己理解を深め、自身の長所を3つ以上あげることができる。
2.学生生活で「やりたいこと」を他者に説明することができる。
3.自分に必要な「やるべきこと」を他者に説明することができる。
4.キャリア形成の指針となる自身の大切にしたい価値観について述べることができる。

[授業概要]
充実した大学生活を送るために、4年間で何をどのように学ぶのかを考え、行動するきっかけを作るための授業です。キャリアを研究し著書のある教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。これまでの自分を見つめ直して将来像を描き、そのためにどのように大学生活を過ごせばよいのかを、考え行動できるようになります。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次の授業のテキストの指定箇所を読み、質問事項を考えておいてください。

[授業計画]
第1回 イントロダクション 神戸女子大学での学び
第2回 行吉学園・神戸女子大学について学ぶ 学園理事長の講話・サポートセンターツアー
第3回 自己理解(1) 「大学生の自分」について考える
第4回 自己理解(2) 「これまでの自分」「これからの自分」について考える
第5回 自己理解(3) 「学生としての力」について考える
第6回 自己理解(4) 社会人基礎力
第7回 金融の知識を高める 学外特別講師を迎えて
第8回 コミュニケーショントレーニング(1)合意形成・コンセンサス
第9回 コミュニケーショントレーニング(2)アサーティブコミュニケーション・学生支援センターから
第10回 活 躍する先輩に学ぶ 学科卒業生が語る「私の神女時代」
第11回 アセスメント検査解説 問題解決力を身に付ける
第12回 行動計画の立案 行動計画力を身につける
第13回ふりかえりとまとめ
(授業計画の内容・順序は社会状況・進度の状況により入替・変更することがあります。)

科目名	基礎Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ	講義	
担当者	田和　真希		

[成績評価方法]
1. 主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)(30%)
2. 課題(40%)
3. まとめの課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:MY LIFE MY CAREER 著者名:神戸女子大学全学共通教育部 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ	講義	
担当者	大川　礼子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
充実した大学生活を過ごすために具体的な行動計画を立てることができる
1. 自己理解を深め、自身の長所を3つ以上あげることができる
2. 学生生活で「やりたいこと」を他者に説明することができる
3. 自分に必要な「やるべきこと」を他者に説明することができる
4. キャリア形成の指針となる、自身の大切にしたい価値観について述べることができる

[授業概要]
充実した大学生活を送るために、4年間で何をどのように学ぶのかを考え、行動するきっかけを作るための授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持つ教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。これまでの自分を見つめ直して将来像を描き、そのためにどのように大学生活を過ごせばよいのかを、考え行動できるようになります。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。
課題は授業内容の復習となるため、熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。
各回、予習復習合わせて2～4時間程度。

[授業計画]
1. イントロダクション　　神戸女子大学での学び
2. 行吉学園・神戸女子大学について学ぶ
　　学園理事長講話・サポートセンターツアー
3. 自己理解(1)　　大学生の自分について考える　時間の管理
4. 自己理解(2)　　これまでの、これからの自分について考える
5. 自己理解(3)　　学生としての力
6. 自己理解(4)　　社会人基礎力
7. 金融の知識を高める
　　学外特別講師を迎えて
8. コミュニケーショントレーニング(1)
　　合意形成・コンセンサス
9. コミュニケーショントレーニング(2)
　　アサーティブコミュニケーション・学生支援センターから
10. 活躍する先輩に学ぶ　　学科卒業生が語る「私の神女時代」
11. アセスメント検査解説　問題解決力を身に着ける
12. 行動計画の立案　　大学生活のプランを立てる
13. ふりかえりとまとめ

＊授業計画の内容と順序は進行度や都合により、変更したり入れ替えたりすることがあります。

科目名	基礎Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ	講義	
担当者	大川　礼子		

[成績評価方法]
1. 主体的に取り組む態度(授業中の提出物・受講態度など)(30%)
2. 課題(40%)
3. まとめの課題(30%)
＊manabaで提出

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物・受講態度など)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物・受講態度など)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物・受講態度など)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物・受講態度など)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物・受講態度など)
課題
まとめの課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:MY LIFE MY CAREER 著者名:神戸女子大学全学共通教育部 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
充実した大学生活を過ごすために具体的な行動計画を立てることができる
1.自己理解を深め、自身の長所を3つ以上あげることができる
2.学生生活で「やりたいこと」を他者に説明することができる
3.自分に必要な「やるべきこと」を他者に説明することができる
4.キャリア形成の指針となる、自身の大切にしたい価値観について述べることができる

[授業概要]
充実した大学生活を送るために、4年間で何をどのように学ぶのかを考え、行動するきっかけを作るための授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持つ教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。これまでの自分を見つめ直して将来像を描き、そのためにどのように大学生活を過ごせばよいのかを、考え行動できるようになります。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。また課題が授業内容の復習となるので熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて 4 時間程度)。

[授業計画]
1. イントロダクション　　神戸女子大学での学び
2. 行吉学園・神戸女子大学について学ぶ
　　学園理事長講和・サポートセンターツアー
3. 自己理解(1)　　大学生の自分について考える
4. 自己理解(2)　　これまでの、これからの自分について考える
5. 自己理解(3)　　学生としての力
6. 自己理解(4)　　社会人基礎力
7. 金融の知識を高める　　学外特別講師を迎えて
8. コミュニケーショントレーニング(1)
　　合意形成・コンセンサス
9. コミュニケーショントレーニング(2)
　　アサーティブコミュニケーション・学生支援センターから
10. 活躍する先輩に学ぶ　　学科卒業生が語る「私の神女時代」
11. アセスメント検査解説　　問題解決力を身に着ける
12. 行動計画の立案　　大学生活のプランを立てる
13. ふりかえりとまとめ

＊授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。

科目名	基礎Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[成績評価方法]
1.主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)(30%)
2.課題(40%)
3.まとめの課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:MY LIFE　MY CAREER 著者名:神戸女子大学全学共通教育部 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
充実した大学生活を過ごすために具体的な行動計画を立てることができる
1.自己理解を深め、自身の長所を3つ以上あげることができる
2.学生生活で「やりたいこと」を他者に説明することができる
3.自分に必要な「やるべきこと」を他者に説明することができる
4.キャリア形成の指針となる、自身の大切にしたい価値観について述べることができる

[授業概要]
充実した大学生活を送るために、4年間で何をどのように学ぶのかを考え、行動するきっかけを作るための授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持つ教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。これまでの自分を見つめ直して将来像を描き、そのためにどのように大学生活を過ごせばよいのかを、考え行動できるようになります。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。また課題が授業内容の復習となるので熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて 4 時間程度)。

[授業計画]
1. イントロダクション　　神戸女子大学での学び
2. 行吉学園・神戸女子大学について学ぶ
　　学園理事長講和・サポートセンターツアー
3. 自己理解(1)　　大学生の自分について考える
4. 自己理解(2)　　これまでの、これからの自分について考える
5. 自己理解(3)　　学生としての力
6. 自己理解(4)　　社会人基礎力
7. 金融の知識を高める　　学外特別講師を迎えて
8. コミュニケーショントレーニング(1)
　　合意形成・コンセンサス
9. コミュニケーショントレーニング(2)
　　アサーティブコミュニケーション・学生支援センターから
10. 活躍する先輩に学ぶ　　学科卒業生が語る「私の神女時代」
11. アセスメント検査解説　　問題解決力を身に着ける
12. 行動計画の立案　　大学生活のプランを立てる
13. ふりかえりとまとめ

＊授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。

科目名	基礎Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅠ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[成績評価方法]
1.主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)(30%)
2.課題(40%)
3.まとめの課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:MY LIFE　MY CAREER 著者名:神戸女子大学全学共通教育部 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ	講義	
担当者	大川　礼子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
性別によって異なる社会環境を理解し、キャリアビジョンを描くことができる
1. 女性の多様な働き方を知り、メリットとデメリットを説明することができる
2. 世の中の職業を理解し、自分の適性を他者に説明することができる
3. 身近な女性から働き方を学び、なりたいキャリア像を述べることができる
4. キャリア形成の指針となる自身のキャリアアンカーについて、説明することができる

[授業概要]
卒業後の進路選択に備えて、「女性の働き方」について学び、考える授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持った教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。女性を取り巻く社会状況全般について学ぶことに加えて、身近な女性へのキャリアインタビューなども行い、自身の将来像をより具体的にイメージできるようになります。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。
課題は授業内容の復習となるので、熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。
各回、予習復習を合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. イントロダクション　ライフキャリアデザインとは何か
2. 女性のライフデザイン(1)　社会との関わりと人生における役割
3. 女性のライフデザイン(2)　働くとは仕事とは　様々な雇用形態と法律
4. 女性のライフデザイン(3)　女性のライフコースと経済的自立
5. 知っておきたい労働法　学外特別講師を迎えて
6. 就職にむけて(1)　ウェブテストから自身の強みを知る
7. 就職にむけて(2)　ウェブテストによる筆記試験対策
8. DV被害にあわないために　学外特別講師を迎えて
9. 活躍する先輩に学ぶ　内定を得た4年生に聞く就職活動
10. コミュニケーショントレーニング(1)自分も相手も尊重するマナー
11. コミュニケーショントレーニング(2)文章表現力を身につける
12. 女性のキャリアデザイン(1)　キャリアインタビューの計画立案と準備
13. 女性のキャリアデザイン(2)　キャリアインタビューの発表・共有　まとめ

※授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。

科目名	基礎Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ	講義	
担当者	大川　礼子		

[成績評価方法]
1. 主体的に取り組む態度(授業中の提出物・受講態度など)(30%)
2. 課題(40%)
3. まとめの課題(30%)
＊manabaで提出

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物・受講態度など)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物・受講態度など)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物・受講態度など)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物・受講態度など)
課題
まとめの課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:MY LIFE MY CAREER 著者名:神戸女子大学全学共通教育部 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
性別によって異なる社会環境を理解し、キャリアビジョンを描くことができる
1.女性の多様な働き方を知り、メリットとデメリットを説明することができる
2.世の中の職業を理解し、自分の適性を他者に説明することができる
3.身近な女性から働き方を学び、なりたいキャリア像を述べることができる
4.キャリア形成の指針となる、自身のキャリアアンカーについて説明することができる

[授業概要]
卒業後の進路選択に備えて、「女性の働き方」について学び、考える授業です。キャリアコンサルタントの国家資格を持った教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。女性を取り巻く社会状況全般について学ぶことに加えて、身近な女性へのキャリアインタビューなども行い、自身の将来像をより具体的にイメージできるようになります。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。また課題が授業内容の復習となるので、熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて 4 時間程度)。

[授業計画]
1. イントロダクション　ライフキャリアデザインとは何か
2. 女性のライフデザイン(1)　社会との関わりと人生における役割
3. 女性のライフデザイン(2)　働くとは仕事とは　様々な雇用形態と法律
4. 女性のライフデザイン(3)　女性のライフコースと経済的自立
5. 知っておきたい労働法　学外特別講師を迎えて
6. 就職にむけて(1)　ウェブテストから自身の強みを知る
7. 就職にむけて(2)　ウェブテストによる筆記試験対策
8. DV被害に遭わないために　学外特別講師を迎えて
9. 活躍する先輩に学ぶ　内定を得た4年生に聞く就職活動
10. コミュニケーショントレーニング(1) 自分も相手も尊重するマナー
11. コミュニケーショントレーニング(2) 文章表現力をつける
12. 女性のキャリアデザイン(1)　キャリアインタビューの計画立案と準備
13. 女性のキャリアデザイン(2)　キャリアインタビューの発表・共有　まとめ

※授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。

科目名	基礎Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[成績評価方法]
1.主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)(30%)
2.課題(40%)
3.まとめの課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:MY LIFE MY CAREER 著者名:神戸女子大学全学共通教育部 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ	講義	
担当者	田和　真希		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
性別によって異なる社会環境を理解し、キャリアビジョンを描くことができる。
1.女性の多様な働き方を知り、メリットとデメリットを説明することができる。
2.世の中の職業を理解し、自分の適性を他者に説明することができる。
3.身近な女性から働き方を学び、なりたいキャリア像を述べることができる。
4.キャリア形成の指針となる自身のキャリアアンカーについて述べることができる。

[授業概要]
卒業後の進路選択に備えて、「女性の働き方」について学び、考える授業です。キャリアを研究し著書のある教員が、キャリア理論に基づいた講義を行い、ワークやグループディスカッションの指導を行います。女性を取り巻く社会状況全般について学ぶことに加えて、身近な女性へのキャリアインタビューなども行い、自身の将来像をより具体的にイメージできるようになります。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回の宿題・レポート等は、次回までの授業時間外に仕上げておいてください

[授業計画]
1. イントロダクション　　ライフ・キャリアデザインとは何か
2. 女性のライフデザイン(1)　　社会とのかかわりと人生における役割
3. 女性のライフデザイン(2)　　働くとは　仕事とは 様々な雇用形態と法律
4. 女性のライフデザイン(3)　　女性のライフコースと 経済的自立
5. 知っておきたい労働法　　学外特別講師を迎えて
6. 就職にむけて(1)　　WEBテストから自身の強みを知る
7. 就職にむけて(2)　　WEBテストによる筆記試験対策
8. DV被害にあわないために　　学外特別講師を迎えて
9. 活躍する先輩に学ぶ　　内定を得た4年生に聞く就職活動
10. コミュニケーショントレーニング(1)自分も相手も尊重するマナー
11. コミュニケーショントレーニング(2)文章表現力をつける
12. 女性のキャリアデザイン(1)　　キャリアインタビューの計画立案と準備
13. 女性のキャリアデザイン(2)　　キャリアインタビューの発表・共有　まとめ
＊授業計画の内容・順序は、社会状況や進度状況等によって入替・変更することがありま

科目名	基礎Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅡ	講義	
担当者	田和　真希		

[成績評価方法]
1. 主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)(30%)
2. 課題(40%)
3. まとめの課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:MY LIFE MY CAREER 著者名:神戸女子大学全額共通教育部 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅢ	講義	
担当者	田和　真希		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
自身と社会に対する理解を深め、生涯を通じたキャリア形成、ライフプランをより明確にできる
1.就職に関する情報に触れ、自らの適性について述べることができる
2.企業が求める課題に対し、グループで解決策を見いだし発表することができる
3.社会の出来事に対し、多角的に理解し、説明することができる
4.キャリア形成の指針となる、自身のキャリアアンカーに添った職業選択ができる

[授業概要]
就職活動に備えて、職業選択のための情報収集やその整理方法を学ぶと共に、ES作成や面接対策にもつながる、論理的で個性的なアウトプットの方法を身に着けます。キャリアの研究を行い著書のある教員が、キャリア理論に基づいたワークやグループディスカッションの指導を行い、興味関心のある社会問題を通して自己理解を深められるようになります。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次の授業のテキストの指定箇所を読み、質問事項を考えておいてください。

[授業計画]
第1回　イントロダクション　ライフプランニングとは？キャリアプランとは？
第2回　自己理解(1)　　社会人基礎力 社会人基礎力診断
第3回　自己理解(2)　　多様化する女性の生き方
第4回　課題解決プログラム(1)
第5回　課題解決プログラム(2)
第6回　課題解決プログラム(3)
第7回　課題解決プログラム(4)
第8回　課題解決プログラム(5)
第9回　就職に向けて(1)
第10回　就職に向けて(2)
第11回　社会理解(1)　　時事問題
第12回　社会理解(2)　　時事問題
第13回　ふりかえりとまとめ

＊＊授業計画の形式・内容・順序は、社会状況・進度状況によって入替・変更することがあります。

科目名	基礎Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅢ	講義	
担当者	田和　真希		

[成績評価方法]
1. 主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)(30%)
2. 課題(40%)
3. まとめの課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅢ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
自身と社会に対する理解を深め、生涯を通じたキャリア形成、ライフプランをより明確にできる
1.就職に関する情報に触れ、自らの適性について述べることができる
2.企業が求める課題に対し、グループで解決策を見いだし発表することができる
3.社会の出来事に対し、多角的に理解し、説明することができる
4.キャリア形成の指針となる、自身のキャリアアンカーに添った職業選択ができる

[授業概要]
就職活動に備えて、職業選択のための情報収集を行い、ES作成や面接対策にもつながる、論理的で個性的なアウトプットの方法を身に着けます。キャリアコンサルタントの国家資格を持つ教員が、キャリア理論に基づいたワークやグループディスカッションの指導を行い、興味関心のある社会問題を通して自己理解を深められるようになります。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
次回授業については、提示された資料などをよく読み、十分な予習をして臨むこと。また課題が授業内容の復習となるので、熟慮して取り組み、期限を守って提出すること。
各回の講義についての予習・復習を行うこと（各回、予習・復習合わせて 4 時間程度）。

[授業計画]
1. イントロダクション　　自己理解とは 社会理解とは　内的キャリアについて
2. 自己理解（1）　　論理パズルによる思考、行動パターン
3. 自己理解（2）　　ナラティブアプローチ　金の糸すごろく
4. 課題解決プロジェクト（1）　概要説明
5. 課題解決プロジェクト（2）　中間発表
6. 課題解決プロジェクト（3）　グループワーク
7. 課題解決プロジェクト（4）　グループワーク
8. 課題解決プロジェクト（5）　最終発表と評価
9. 就職に向けて（1）　　企業理念と採用ワーク
10. 就職に向けて（2）　　ペアで考えるES
11. 社会理解（1）　　複眼的な視点で時事問題を考える　記事集め
12. 社会理解（2）　　ワールドカフェ
13. ふりかえりとまとめ

＊授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。

科目名	基礎Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅢ	講義	
担当者	阿部　まゆみ		

[成績評価方法]
1.主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)(30%)
2.課題(40%)
3.まとめの課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
まとめの課題

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅢ	講義	
担当者	田和　真希		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
自身と社会に対する理解を深め、生涯を通じたキャリア形成、ライフプランをより明確にできる
1.就職に関する情報に触れ、自らの適性について述べることができる
2.企業が求める課題に対し、グループで解決策を見いだし発表することができる
3.社会の出来事に対し、多角的に理解し、説明することができる
4.キャリア形成の指針となる、自身のキャリアアンカーに添った職業選択ができる

[授業概要]
就職活動に備えて、職業選択のための情報収集やその整理方法を学ぶと共に、ES作成や面接対策にもつながる、論理的で個性的なアウトプットの方法を身に着けます。キャリアの研究を行い著書のある教員が、キャリア理論に基づいたワークやグループディスカッションの指導を行い、興味関心のある社会問題を通して自己理解を深められるようになります。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次の授業のテキストの指定箇所を読み、質問事項を考えておいてください。

[授業計画]
第1回　イントロダクション　ライフプランニングとは？キャリアプランとは？
第2回　自己理解(1)　　社会人基礎力 社会人基礎力診断
第3回　自己理解(2)　　多様化する女性の生き方
第4回　課題解決プログラム(1)
第5回　課題解決プログラム(2)
第6回　課題解決プログラム(3)
第7回　課題解決プログラム(4)
第8回　課題解決プログラム(5)
第9回　就職に向けて(1)
第10回　就職に向けて(2)
第11回　社会理解(1)　　時事問題
第12回　社会理解(2)　　時事問題
第13回　ふりかえりとまとめ

＊＊授業計画の形式・内容・順序は、社会状況・進度状況によって入替・変更することがあります。

科目名	基礎Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	マイライフ・マイキャリアⅢ	講義	
担当者	田和　真希		

[成績評価方法]
1. 主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)(30%)
2. 課題(40%)
3. まとめの課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業中の提出物(小テストなど)
課題
まとめの課題

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	基礎Ⅳ	前期	2 単位
サブタイトル	アカデミックスキルと日本語演習	講義	
担当者	水川　布美子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
大学生に必要不可欠な学習スキルを身につけ、日本語力（理解力、論理的思考力、正確で豊かな表現力）の向上を図り、レポートやプレゼンテーションに活かせるようにする。

[授業概要]
同じような内容、同程度の分量のレポートなのに、Aさんは「優」判定、Bさんは「良」判定。一体何が違うのか。
伝わる文章とは、どのようなものか。説得力のあるレポートは、どのような構成なのか。聞き手の印象に残るプレゼンテーションにするには、どのような工夫が必要か。調べていて、あるいは書いていて楽しく、かつ、学術的な論文のテーマとはどのようなものか。
これらのことを、①聞く・読む技術、②調べる・整理する技術、③まとめる・書く技術、④表現する・伝える技術に分け、講義や課題の作成・提出、発表などを通して学習する。
①では、大学の授業だけではなく、社会人となってからも活用できる、ノートテイキングや要約の方法を学ぶ。②では、図書館に行ったり、インターネットを使ったりして、情報収集の方法を学ぶ。③では、アカデミック・ライティングとしてのレポートや論文の作成方法、パソコンを使った書き方を学ぶ。④では、プレゼンテーションの準備をして、実際に発表する。
授業は教科書を使用して進める。課題や発表を通して、大学生に必要な学習の方法を身に付けることを目指す。上級生に関しては、卒業論文を見据えたレポート執筆を指導する。また、会話・手紙・メールなど、コミュニケーションを高める日本語能力を養うための課題プリントを毎回配布し、添削の上返却する。（提出は自由）
なお受講生が多数の場合、発表はグループ発表となる場合がある。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
学んだ内容を他の授業や日常生活で実際に活かして下さい。返却したワークシートを読み返し、次回の準備をして下さい。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. ガイダンス・アカデミックスキルズ、レポートについて
2. ノートの取り方・テーマの選び方
3. 情報収集（図書館情報検索ツアー）・構想マップと思考マップ
4. 本の読み方・クリティカルリーディングと情報整理
5. アウトライン作成
6. 構成の再検討と追加調査
7. パラグラフを書く
8. 本文とデータの活用法
9. 引用の方法、発表の準備
10. 文章・表現・形式のチェック、発表①
11. 発表②
12. 発表③、レポート最終チェック
13. まとめ

科目名	基礎Ⅳ	前期	2 単位
サブタイトル	アカデミックスキルと日本語演習	講義	
担当者	水川　布美子		

[成績評価方法]
課題提出を含む受講態度（30%）、発表（30%）、レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎回の課題、及び最終レポートは、添削あるいはコメントを付して次週に返却(またはmanabaにコメント)します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:提出物、最終レポート、プレゼンテーションで評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出物、最終レポート、プレゼンテーションで評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:提出物、最終レポート、プレゼンテーションで評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:提出物、最終レポート、プレゼンテーションで評価。

[教科書（ISBN）]
書籍名:【第2版】ピアで学ぶ大学生の日本語表現　プロセス重視のレポート作成 著者名:大島弥生／著　池田玲子／著　大場理恵子／著　加納なおみ／著　高橋淑郎／著　岩田夏穂／著 出版社名:ひつじ書房 ISBN:9784894767096

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	関　和俊		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	なし	反転授業	なし
ディスカッション・ディベート	なし	グループワーク	○
プレゼンテーション	なし	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行うことができるようになる。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解できるようになる。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション(施設・設備の使い方等)
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	関　和俊		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート（体力テストの結果など）は、コメントを含めて返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	栗田　昇平		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	栗田　昇平		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートに関してはmanabaに入れてください。
欠席や遅刻連絡もmanabaに入れてください。
mailでは受け付けませんので注意してください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	大崎　健太		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	大崎　健太		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり	実技	
担当者	大松　敬子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。
授業時間が105分と長いので、通学でウォークを取り入れたり、週に2から3回は少しでも体を動かす等の準備が必要です。また、水等の水分補給も日ごろから心がけるようにしてください。

[授業計画]
1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間について／基礎体力づくり①バンドを用いて
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間について／基礎体力づくり②バランスボールを用いて
10. 各競技種目の運動を実践する①バドミントン
11. 各競技種目の運動を実践する②卓球
12. 各競技種目の運動を実践する3③バレーボール
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり	実技	
担当者	大松　敬子		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題、レポート等はmanabaに入れてもらいます。
mailでの提出は支持のある場合のみです。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	大崎　健太		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	大崎　健太		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	住本　純		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日授業時にフィードバックします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実技、受講態度・課題レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:実技、受講態度・課題レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実技、受講態度・課題レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	大崎　健太		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	大崎　健太		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり	実技	
担当者	大松　敬子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間について／基礎体力づくり①バンドを用いて
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間について／基礎体力づくり②バランスボールを用いて
10. 各競技種目の運動を実践する①バドミントン
11. 各競技種目の運動を実践する②卓球
12. 各競技種目の運動を実践する3③バレーボール
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり	実技	
担当者	大松　敬子		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	金谷　和幸		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	金谷　和幸		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題、レポート等は直接もしくはメールでの提出

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	大崎　健太		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
個人の能力に応じた活動力を生み出す適応能力の向上を目指し、健康づくり・体力づくりを生涯に渡って楽しみながら行うための基礎づくりを行う。また、実習を通して各種トレーニング方法の特徴、実施上の注意点、および指導法を理解する。

[授業概要]
個人の健康志向や体力に見合った活動を基準に置きながら、目的に応じた運動や体力テストを実施する。ストレッチングの意義とその効果および各部位のストレッチング方法について実習を通して習得する。さらに、目的に応じたトレーニングの重要性と各種のトレーニング方法の特徴、効果および指導法について実習を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃からの健康状態を良好に保ち、授業に関係するニュース等を関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション（施設・設備の使い方等）
2. ストレッチングの意義とその効果について
3. 各部位のストレッチング方法を習得する
4. ウォームアップとクールダウンの目的とその効果について／体力テスト
5. レジスタンスエクササイズの特徴や違いについて／体力テスト
6. 各種のトレーニング方法の特徴について／体力テスト
7. 自体重、手具を利用したそれぞれの方法による肢位別の種目の習得／体力テスト
8. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり①
9. 目的に応じたトレーニングの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法について／基礎体力づくり②
10. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり①
11. トレーニングの理解と指導法について／基礎体力づくり②
12. 基礎体力づくり
13. まとめ

科目名	基礎トレーニング	前期	1 単位
サブタイトル	健康づくり、体力づくり、指導法	実技	
担当者	大崎　健太		

[成績評価方法]
実技（50%）、受講態度・課題レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本　渚子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英文エッセイの読解を通じて、日本とアメリカの文化や世界観についての知見を深めること。

[授業概要]
英語で書かれたエッセイを読み、日米の「ことば」、「ことば」とリンクしている「文化」、そしてその「文化」の土台である「世界観」の違いについての見識を深めます。また、エッセイを読むことを通じて、リーディング能力の向上を図ります。
各ユニットを3回の授業で読み終えることを目安とし、授業中に解説や日本語訳の紹介も行います。ユニットを読み終えたら、グループでディスカッションの時間を設け、クラス内でお互いの意見を交換します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業前に予習として、テキストを読むこと。授業後は授業で習った重要表現の復習を行うこと。(各1時間程度)

[授業計画]
1. Unit1
2. Unit1
3. Unit1
4. Discussion1
5. Unit2
6. Unit2
7. Unit2
8. Discussion2
9. Unit3
10. Unit3
11. Unit3
12. Discussion3
13. Overall review

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本　渚子		

[成績評価方法]
授業態度（30%）、レポート（30%）、小テスト（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・レポートは、後日添削して返却します。
・小テストを回収後、解答の解説を行います。
・基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:Language, Culture, and Worldview Bridging Japan and America ことば、文化、世界観から紐解く日本とアメリカ 著者名:Anne Crescini 著 阿部始子 編注 出版社名:金星堂 ISBN:978-4-7647-4228-4

[参考書（ISBN）]

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル	Environmental issues, Foods and cultures, Globalization	演習	
担当者	長岡　明		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
You are expected to learn the basics behind presentation making that you will be able to apply in various contexts that will require speaking. You will familiarize with and become able to effectively discuss/present on a variety of topics. You will gain new vocabulary and strengthen your reading and writing skills, as well as improve your teamwork.

[授業概要]
The course builds confidence in expressing your opinion by providing ample time to practice discussion and presentation skills in a friendly environment. Short presentations will be carried out numerous times and presenting in English with the aid of slides will become a natural and easy thing to do.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
　各ユニットのトピックについて、事前にインターネットなどで調べておくこと。その際、疑問に思うことを必ず見つける。授業内でその疑問点の解明に努めることで、より深い知識を身につけることになるだろう。各回、予習復習合わせて2時間程度すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション、レッスン1
2. ユニット1(College Life)、課題1(UCLA interview)
3. ユニット1、課題1-2
4.ユニット2(Mobile Phone)、課題2提出
5. ユニット2
6. ユニット3(Movies)
7. ユニット3、小テスト
8ユニット3、課題2
9. ユニット4(dating)、課題(英字新聞読解1)
10.ユニット4、課題(英字新聞読解1-2)
11.ユニット5(food)、小テスト
12.ユニット6(English)
13. まとめ。

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル	Environmental issues, Foods and cultures, Globalization	演習	
担当者	長岡　明		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Assignment: 30%,Final assessment(Test or Essay): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
インストラクターより:口頭、またはメールにて
クラスメイトより:フィードバックフォームにて

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	桑原　景子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・200文字前後の英文を和訳するのではなく、英語のまま理解できるようになる。
・表面的な読解ではなく、行間を読み、社会背景や筆者の意図を読み取れるようになる。
・文法ルールの理解を深め、文法知識を運用して正しく話すことができるようになる。

[授業概要]
英語を学問としてではなく、コミュニケーションの道具として自分の世界を広げる準備をすることを目的とします。日本語に訳さず英語を英語で理解する習慣を身につけるために、単語の意味を推測し、前後の文脈から内容を類推するために、ペアワーク、グループワークも取り入れます。また文法学習ではふんだんに声に出して練習をします。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。
次の授業のテキストの指定箇所を読み、質問事項を考えておいてください。
講義内で小テストを行いますので、学習済の語彙、表現を復習してください。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. Reading: Unit1 The Bookless Library(理解) / Grammar: Unit1　be動詞-現在形
3. Reading: Unit1 The Bookless Library(要約・ディスカッション) / Grammar: Unit2 一般動詞-現在形
4. Reading: Unit2 Japanese English(理解) / Grammar: Unit3 be動詞-過去形
5. Reading: Unit2 Japanese English(要約・ディスカッション) / Grammar: Unit4 一般動詞-過去形
6. Reading: Unit3 Subway(理解) / Grammar: Unit1～4の復習・進度調整
7. Reading: Unit3 Subway(要約・ディスカッション) / Grammar: Unit5 疑問詞を含む疑問文-現在形・過去形
8. Reading: Unit4 Apologizing(理解) / Grammar: Unit6 未来を表す表現(be going to)
9. Reading: Unit4 Apologizing(要約・ディスカッション) / Grammar: Unit7 助動詞
10. Reading: Unit5 People Love Traveling(理解) / Grammar: Unit8 可算名詞・不可算名詞
11. Reading: Unit5 People Love Traveling(要約・ディスカッション) / Grammar: Unit5～8の復習・進度調整
12. 前期の総復習
13. まとめ、フィードバック

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	桑原　景子		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:English Skill Builder　Ⅰ α Reading 著者名:ECC 出版社名:ECC ISBN:なし
書籍名:English Skill Builder　Ⅰ α Grammar 著者名:ECC 出版社名:ECC ISBN:なし

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.

[授業計画]
授業最初のプレゼンテーション・授業中のグループワーク等は、木曜2限英語I-1とは異なる内容です。
1. Introduction
2. classroom activities (Unit 1 p.12-4, p.13の訳読, p.15-5, 6, 7, p.16-6)
3. classroom activities (Unit 1 p.18-1, 2, p.20-3, p.21-4)
4. classroom activities (Unit 2 p.23-2, p.24-5, 6, p.26-3, p.27-7, p.28-6, 7)
5. classroom activities (Unit 2 p.30-2, p.32-1, 2, p.33-3)
6. classroom activities (Unit 3 p.36-5, p.38-2, p.168-1, 2)
7. classroom activities (Unit 3 p.169-3, p.42-2, p.43-8, p.45-6)
8. classroom activities (Unit 4 p.47-2, p.48-4, p.50-2, p.51-4, p.52-3)
9. classroom activities (Unit 4 p.53-7, p.54-3, p.57-2, 4)
10. classroom activities (Unit 5 p.59-2, p.60-6, 7, p.62-2, p.64-4)
11. classroom activities (Unit 5 p.65-5, 7, p.171-2, p.68-1, 2, 5, p.69-6)
12. classroom activities (Unit 6 p.72-6, p.73の訳読, p.74-2, p.76-1)
13. classroom activities (Unit 6 p.172-2, p.78-2, 3, 4)

科目名	教養英語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaを通じて教員のコメントを添付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:Voices 2 著者名:Chia Suan Chong and Lewis Lansford 出版社名:National Geographic Learning ISBN:978-0357458792

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本　渚子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英文エッセイの読解を通じて、日本とアメリカの文化や世界観についての知見を深めること。

[授業概要]
英語で書かれたエッセイを読み、日米の「ことば」、「ことば」とリンクしている「文化」、そしてその「文化」の土台である「世界観」の違いについての見識を深めます。また、エッセイを読むことを通じて、リーディング能力の向上を図ります。
各ユニットを3回の授業で読み終えることを目安とし、授業中に解説や日本語訳の紹介も行います。ユニットを読み終えたら、グループでディスカッションの時間を設け、クラス内でお互いの意見を交換します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業前に予習として、テキストを読むこと。授業後は授業で習った重要表現の復習を行うこと。(各1時間程度)

[授業計画]
1. Unit4
2. Unit4
3. Unit4
4. Discussion1
5. Unit5
6. Unit5
7. Unit5
8. Discussion2
9. Unit6
10. Unit6
11. Unit6
12. Discussion3
13. Overall review

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	阪本　渚子		

[成績評価方法]
授業態度（30%）、レポート（30%）、小テスト（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・レポートは、後日添削して返却します。
・小テストを回収後、解答の解説を行います。
・基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:Language, Culture, and Worldview Bridging Japan and America ことば、文化、世界観から紐解く日本とアメリカ 著者名:Anne Crescini 著 阿部始子 編注 出版社名:金星堂 ISBN:978-4-7647-4228-4

[参考書（ISBN）]

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル	Environmental issues, Foods and cultures, Globalization	演習	
担当者	長岡　明		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
You are expected to learn the basics behind presentation making that you will be able to apply in various contexts that will require speaking. You will familiarize with and become able to effectively discuss/present on a variety of topics. You will gain new vocabulary and strengthen your reading and writing skills, as well as improve your teamwork.

[授業概要]
The course builds confidence in expressing your opinion by providing ample time to practice discussion and presentation skills in a friendly environment. Short presentations will be carried out numerous times and presenting in English with the aid of slides will become a natural and easy thing to do.

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
　各ユニットのトピックについて、事前にインターネットなどで調べておくこと。その際、疑問に思うことを必ず見つける。授業内でその疑問点の解明に努めることで、より深い知識を身につけることになるだろう。各回、予習復習合わせて2時間程度すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション、ユニット1(Vacation)
2. ユニット2(Music))、課題1
3. ユニット2、課題1-2
4.ユニット3（Sports)、課題2提出
5. ユニット4
6. ユニット5(Shopping)
7. ユニット5、小テスト
8. ユニット6(Travel)
9. ユニット7(Parties)、課題（英字新聞読解1）
10. ユニット8(Part-time job)、課題（英字新聞読解1-2）
11.ユニット9、小テスト
12.ユニット10(Help,Japan)
13. まとめ。

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル	Environmental issues, Foods and cultures, Globalization	演習	
担当者	長岡　明		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Assignment: 30%,Final assessment(Test or Essay): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
インストラクターより:口頭、またはメールにて
クラスメイトより:フィードバックフォームにて

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	桑原　景子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・200文字前後の英文を和訳するのではなく、英語のまま理解できるようになる。
・表面的な読解ではなく、行間を読み、社会背景や筆者の意図を読み取れるようになる。
・文法ルールの理解を深め、文法知識を運用して正しく話すことができるようになる。

[授業概要]
英語を学問としてではなく、コミュニケーションの道具として自分の世界を広げる準備をすることを目的とします。日本語に訳さず英語を英語で理解する習慣を身につけるために、単語の意味を推測し、前後の文脈から内容を類推するために、ペアワーク、グループワークも取り入れます。また文法学習ではふんだんに声に出して練習をします。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。
次の授業のテキストの指定箇所を読み、質問事項を考えておいてください。
講義内で小テストを行いますので、学習済の語彙、表現を復習してください。

[授業計画]
1. オリエンテーション、前期の復習
2. Reading: Unit6 Canine Couch Potatoes(理解) / Grammar：Unit9 定冠詞・不定冠詞
3. Reading: Unit6 Canine Couch Potatoes(要約・ディスカッション) / Grammar：Unit10 代名詞
4. Reading: Unit7 Vancouver Announces Meatless Mondays(理解) / Grammar：Unit11 前置詞
5. Reading: Unit7 Vancouver Announces Meatless Mondays(要約・ディスカッション) / Grammar：Unit12 接続詞
6. Reading: Unit8 Human Hibernation? (理解) / Grammar：Unit9～12の復習・進度調整
7. Reading: Unit8 Human Hibernation?(要約・ディスカッション) / Grammar：Unit13 形容詞・副詞
8. Reading: Unit9 Kids Want to Stay Kids(理解) / Grammar：Unit14 比較―原級・比較級
9. Reading: Unit9 Kids Want to Stay Kids(要約・ディスカッション) / Grammar：Unit15比較―最上級
10. Reading: Unit10 Unique New Year's Traditions(理解) / Grammar：Unit16 to不定詞
11. Reading: Unit10 Unique New Year's Traditions(要約・ディスカッション)/ Unit13～16の復習・進度調整
12. 後期の総復習
13. まとめ、フィードバック

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	桑原　景子		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:English Skill Builder　Ⅰ α Reading 著者名:ECC 出版社名:ECC ISBN:なし
書籍名:English Skill Builder　Ⅰ α Grammar 著者名:ECC 出版社名:ECC ISBN:なし

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
Acquisition of the fundamental language skills necessary for effective communication in English.

[授業概要]
This course aims to provide students with the fundamental language skills necessary for effective speaking and listening with an emphasis on building confidence in various conversational settings. Classroom activities are designed to give students ample opportunity to improve their overall communication skills with a focus on vocabulary, accuracy, speaking, pronunciation and active listening. The course will cover topics relevant to university students to ensure successful interaction in a variety of social situations. Homework assignments, quizzes and tests may be given at the discretion of the instructor.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson, and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class, but also active participation (class assignments etc.) is necessary.

[授業計画]
授業最初のプレゼンテーション・授業中のグループワーク等は、英語I-2とは異なる内容です。
1. classroom activities (Unit 7 p.84-1, 4, p.87-5)
2. classroom activities (Unit 7 p.173-3, p.90-2, p.93-2, 4, 5)
3. classroom activities (Unit 8 p.95-2, p.96-3, 5, p.99-5, 7)
4. classroom activities (Unit 8 p.101-5, p.104-1, 5, 6, 7, 8)
5. classroom activities (Unit 9 p.109訳読, p.175-1, p.112-3)
6. classroom activities (Unit 9 p.113-7, p.114-4, p.117-6)
7. classroom activities (Unit 10 p.119-2, p.120-3, 4, p.124-3)
8. classroom activities (Unit 10 p.125-9, p.126-2, 3, p.128-1)
9. classroom activities (Unit 11 p.132-7, p.135-4, p.136-1, 4)
10. classroom activities (Unit 11 p.137-9, p.139-8, p.140-2, 3)
11. classroom activities (Unit 12 p.143-2, p.144-7, 8, p.177-1, p.148-2)
12. classroom activities (Unit 12 p.149-8, p.150-5, p.153-6)
13. classroom activities (how to write academic writings)

科目名	教養英語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守家　輝		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaを通じて教員のコメントを添付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション等)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:プレゼンテーション課題
期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内課題(グループディスカッション)
プレゼンテーション課題
期末レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:Voices 2 著者名:Chia Suan Chong and Lewis Lansford 出版社名:National Geographic Learning ISBN:978-0357458792

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introduction to the class and book
2. Unit 1 William's Notting Hill & 'She'
3. Unit 2 Surreal, but Nice
4. Unit 3 A Goddess Is A Movie Star
5. Unit 4 Birthday Party
6. Unit 5 A Date With Anna
7. Mid-term catch-up
8. Unit 6 She's Gone
9. Unit 7 She's Back
10. Unit 8 Rude Awakening
11. Unit 9 Like Me Again
12. Unit 10 The Right Decision
13. Final Projects and Viewing

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation 60%, Final Project 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
In class and by email

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final Project

[教科書(ISBN)]
書籍名:Notting Hill 著者名:(著者)Richard Curtis　(編著)Kim R. Kanel　神谷久美子 出版社名:松柏社 ISBN:9784881985908

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上　優大		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
To be able to understand short essays written in English

[授業概要]
The aim of this course is to give students primary skills for reading texts written in English.
In addition to acquiring skills for reading English, students are expected to learn how to communicate with people with various cultural backgrounds through reading essays on the author's experiences abroad.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Hitchhiking Around the World
2. Olympic Spirit!
3. The Power of Greetings
4. Where's My Hotel?
5. Our Global Connections
6. Welcome Home!
7. The Secret of Life
8. Is This Seat Taken?
9. Exploring World Religions
10. Let's Study Abroad!
11. What's the Most Difficult Language?
12. A Crowded Planet!
13. Vocabulary Roadblocks

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	井上　優大		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Assignments: 30%, Final assessment(Test or Essay): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:ことばと文化の冒険旅行 著者名:Kip　A. Cates／著　栗原典子／著 出版社名:金星堂 ISBN:9784764739819

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	長岡　明		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
基本的な語彙を使って、4技能の基本的なコミュニケーションが取れるようになることを到達目的とする。

[授業概要]
演習形式を中心とする。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
次回の授業や課題の準備、単語や表現の意味を事前に調べておく事。授業後、再度授業内容を復習しておく事。予復習各1時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション、レッスン1
2. ユニット1(College Life)、課題1（UCLA interview）
3. ユニット1、課題1-2
4.ユニット2（Mobile Phone)、課題2提出
5. ユニット2
6. ユニット3(Movies)
7. ユニット3、小テスト
8ユニット3、課題2
9. ユニット4(dating)、課題（英字新聞読解1）
10.ユニット4、課題（英字新聞読解1-2）
11.ユニット5(food)、小テスト
12.ユニット6(English)
13. まとめ。

科目名	教養英語Ⅱ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	長岡　明		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Assignment: 30%,Final assessment(Test or Essay): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業時間中に対応。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
Remedial study toward the enhancement of practical English skills
実践的英語運用能力の獲得

[授業概要]
The course aims to consolidate and develop the work that the students have done in their previous English studies. Emphasis will be put on oral communication and learning strategies to help students develop their speaking ability. They will be encouraged to speak as much as possible using pair and group work. The course is designed to help students practice the English necessary for working in society.
本コースは将来、卒業後、学校や会社で直面するかもしれない外国人との英語によるコミュニケーションを受講生がスムーズに行うことができるようにするために、様々な場面を想定した教材を用い、グループやペアーでの英語学習を通して英語の実践力を養うことを目的としたクラスです。授業ではオーラルコミュニケーションを重視し、これまでの英語学習で身に付けた英語能力を更に伸ばし、堅実なものとする英語学習戦略を教授します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Students will be expected to do assignments from the previous class.
前回の授業で与えられた課題等を必ず仕上げて、次の授業に臨むこと。

[授業計画]
1. Introduction to the class and book
2. Unit 1 Meeting Truman
3. Unit 2 Fear of the Ocean
4. Unit 3 Lauren and Sylvia
5. Unit 4 Something Strange Is Going On
6. Unit 5 Truman Tries to Leave
8. Unit 6 Truman and Meryl Go for a Ride
9. Unit 7 The Reunion
10. Unit 8 Truman's Past Revealed
11. Unit 9 Truman Disappears
12. Unit 10 Truman Finds out
13. Final Projects and Viewing

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	R. コナーズ		

[成績評価方法]
Active participation 60%, Final Project 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
In class and by email

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Final Project

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Final Project

[教科書(ISBN)]
書籍名:The Truman Show 著者名:Niccol/ Kanel/ Kamiya 出版社名:Shohakusha ISBN:9784881985694

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル	Developing balanced English skills	演習	
担当者	井上　優大		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
To be able to get the main points of English short texts or conversations
To be able to express ideas in English using simple vocabulary and grammar

[授業概要]
The class aims to develop students' four skills of English in a balanced manner. Class activities will include watching short videos, reading short articles, writing down your ideas, and presenting them. The chapters are based on topics familiar to the youth, which should help students get interested and engaged in class.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Review the previous lesson and read the textbook well for the lesson of the day.
Not only attending the class but also active participation is necessary.

[授業計画]
1. Intruduction
2. Unique Travel Experiences
3. Our Future Under Water?
4. A DIY-Sushi Party with Friends
5. Naughty but Lovely: Australia's Cockatoos
6. How to Become a Good Journalist
7. Cooling is Heating?
8. Universal Credit: Helping or Hurting the Poor?
9. Fashion's Resale Evolution
10. Finding Treasures in the Trash
11. Climate Protectors Going to Prison.
12. The Changing Meaning of "Home"
13. Women Still Dying in Pregnancy

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル	Developing balanced English skills	演習	
担当者	井上　優大		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Presentation: 30%,Final assessment(Test or Essay): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題の形式に応じて、授業内やmanaba上で適宜フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:【初級編】海外メディア映像から深める4技 著者名: 出版社名:金星堂 ISBN:9784764741744

[参考書(ISBN)]

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	長岡　明		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
基本的な語彙を使って、4技能の基本的なコミュニケーションが取れるようになることと、専攻科目の基本的な文献が読めることを到達目的とする。

[授業概要]
演習形式を中心とする。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
次回の授業や課題の準備、単語や表現の意味を事前に調べておく事。授業後、再度授業内容を復習しておく事。予復習各1時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション、ユニット1(Vacation)
2. ユニット2(Music))、課題1
3. ユニット2、課題1-2
4.ユニット3（Sports)、課題2提出
5. ユニット4
6. ユニット5(Shopping)
7. ユニット5、小テスト
8. ユニット6(Travel)
9. ユニット7(Parties)、課題（英字新聞読解1）
10. ユニット8(Part-time job)、課題（英字新聞読解1-2）
11.ユニット9、小テスト
12.ユニット10(Help,Japan)
13. まとめ。

科目名	教養英語Ⅱ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	長岡　明		

[成績評価方法]
Active participation: 30%, Assignment: 30%,Final assessment(Test or Essay): 40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業時間中に対応。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	教養演習 I	後期	2 単位
サブタイトル	アナウンス入門 I	演習	
担当者	阿部　まゆみ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
アナウンスについての基本的な知識を身に着けることができる
1.正確な発声、発音方法で「自己紹介」「プレゼンテーション」ができる
2.適切に情報を伝えるための準備や配慮、工夫について説明することができる
3.就職活動時の面接における正しい入退室ができる

[授業概要]
人前で話すための基本的なアナウンススキルを身に着ける授業です。民間放送局のアナウンサーであった講師が、理論と実践の両面から指導し、音声による自己表現能力の向上を支援します。アナウンサーを目指す際の基礎演習となる内容で、履修者同士でも能動的に学び合い、就職活動では自身の伝えたい強みを相手にしっかりと伝えられるように、また社会人となった後のプレゼンテーションの場面では効果的なアウトプットができるようになります。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
発声、滑舌の基本練習を毎日行ってください。毎回1分間スピーチを行いますので準備が必要です。授業の成果を確認するため、初回課題として1分間の自己紹介動画を課します。後半回ではグループで大学のラジオCMを作ります。各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて 2時間程度)。

[授業計画]
1. イントロダクション　　授業概要の説明
2. 緊張しない体づくり　　腹式呼吸と正しい口の開き方=母音
3. アナウンス理論(1)　　基本となる発声、滑舌練習
4. アナウンス理論(2)　　鼻濁音について
5. アナウンス理論(3)　　鼻濁音の復習と長母音
6. アナウンス理論(4)　　情報伝達の評価 言葉のつながりと読点
7. アナウンス理論(5)　　無声化 アクセントとイントネーション
8. アナウンス理論(6)　　心地よいスピードとアナウンス特有の言葉
9. 正しい立ち居振る舞い　　メラビアンの法則と第一印象 表情筋、分離礼
10. アナウンス実践(1)　　文学作品の朗読
11. アナウンス実践(2)　　ニュース原稿、CM、ナレーションを読む
12. アナウンス実践(3)　　自己紹介アドバイスと神女CM制作
13. アナウンス実践(4)　　自己紹介とCMの講評　今後の課題　まとめ

※授業計画の内容と順序は、進度や都合によって変更したり入れ替えたりすることがあります。

※演習内容の特性により、受講人数を10人に制限します。1回目に授業概要を説明した上で受講希望を再確認し、定員を超えた場合は、就職活動支援の観点から、上級生を優先します。

科目名	教養演習 I	後期	2 単位
サブタイトル	アナウンス入門 I	演習	
担当者	阿部　まゆみ		

[成績評価方法]
1.主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)(30%)
2.課題(40%)
3. 神女のラジオCM提出(30%)=グループ制作

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
神女のラジオCM提出=グループ制作

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
神女のラジオCM提出=グループ制作

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
神女のラジオCM提出=グループ制作

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:主体的に取り組む態度(授業中の提出物、受講態度)
課題
神女のラジオCM提出=グループ制作

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教養演習 I	後期	2 単位
サブタイトル	グローカルなニュース・時事問題　入門	演習	
担当者	野口　和美		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
地図やキーワードを参考にし、国内外の話題になっている時事問題について理解を深める。

[授業概要]
国内外のニュースになっている時事問題を取り上げる。政治、行政、経済、国際関係等の時事問題を取り上げ、内容やその事象の発生の背景を理解する。 SDGs（持続可能な開発目標2030）に関する国内ニュースも学習範囲とする。ニュース時事能力検定（N検）の問題を活用することもある。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
授業前の予習・授業後の復習を必ず行うこと。
ニュースや新聞を授業前に必ず読んでくること。
予習復習2時間程度。

[授業計画]
1）授業内容の説明
2）国際情勢に関するニュース
3）産業・資源に関するニュース
4）新聞社の方の講義（学外講師）
5）社会に関するニュース
6）旅行に関するニュース
7）歴史、文化に関するニュース
8）環境問題に関するニュース
9）世界遺産に関するニュース
10）学生発表（1）
11）学生発表（2）
12）ニュースキーワード （国際）
13）ニュースキーワード （政治・社会）

科目名	教養演習 I	後期	2 単位
サブタイトル	グローカルなニュース・時事問題　入門	演習	
担当者	野口　和美		

[成績評価方法]
授業への参加度（30%）、ディスカッションへの参加度（30%）、期末レポート試験（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
マナバ上にコメントを載せます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度（30%）、ディスカッションへの参加度（30%）、期末レポート試験（40%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度（30%）、ディスカッションへの参加度（30%）、期末レポート試験（40%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業への参加度（30%）、ディスカッションへの参加度（30%）、期末レポート試験（40%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業への参加度（30%）、ディスカッションへの参加度（30%）、期末レポート試験（40%）

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教養演習 I	後期	2 単位
サブタイトル	教育の「不易」と「流行」を探究する	演習	
担当者	金岩　俊明		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
人間の生きる方向性を決める教育について、文献や資料を検討することを通して、多面的な「問い」に対しての自分なりの解釈や方向性がもてることを目標とする。

[授業概要]
現代の日本では、物質的には誰もがある程度の豊かさを享受している。しかし、心の豊かさは物の豊かさと引き換えに衰退しているとの指摘がある。本授業では、教育の諸問題を根本から見つめ直すことを通して、心の豊かさを取り戻す教育の姿を探究する。教育においては、いつの時代にも変わらない「不易」と、時代の状況に応じて変化すべき「流行」が存在している。具体的な諸問題を整理する際に、この視点は重要である。そこで、教育についての提案に基づき積極的な議論を行い、論理的に物事を考える力を高めたいと考える。学校現場の経験に基づく講義を随所で行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
普段から、教育についてのニュースに関心をもっておくこと。また、配布した文献を通読し、根拠を示して自分の考えが表現できるようにしておくこと。（各回、予習復習合わせて4時間程度）

[授業計画]
1. 日本の教育はどう変化したか
2. 教育はなぜ必要か
3. 古代からのわが国の教育の道筋は
4. 社会における教育の機能は
5. 教師の仕事とは
6. 現代の学校課題「いじめ」
7. 現代の学校課題「不登校」
8. 現代の学校課題「指導力不足教員」
9. 現代の学校課題「保護者対応」
10. 学校を変える試み・改革が進む教室
11. 変わる世界の学校（欧米）
12. 変わる世界の学校（アジア）
13. まとめ
※6-12回目は、受講生による発表を取り入れて進める予定です。

科目名	教養演習 I	後期	2 単位
サブタイトル	教育の「不易」と「流行」を探究する	演習	
担当者	金岩　俊明		

[成績評価方法]
授業への参加態度(50%)　発表・レポート等の提出物(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックは、授業内で行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:発表・レポート

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教養演習Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	基礎英語で学ぶ国際社会	演習	
担当者	野口　和美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英語の新聞や雑誌の短文の政治、社会、国際関係、映画、料理、ファッションなどに国際的にホットな話題に関する記事や動画等を通して、基礎的な英語を習得するとともに国際社会について学ぶことを目標とする。Voice of America等のネットによる英語時事問題サイトを通して、時事問題に馴染めるようにし、リスニングやリーディング力を向上させる。

[授業概要]
Voice of Americaなどの英語の動画を観ることや英語の短文の政治、社会、映画、料理、ファッションなどの国際的に話題性の高い事柄やSDGs(持続可能の開発目標2030)に関する短い記事について参加学生皆で解読することともにグループ・ディスカッションを行う。演習は、皆が参加できるようにし、教員の興味のある記事に限定せず、参加学生がファッションや映画などの記事や動画や映画を授業に持参し、教員も含め参加者がその記事や動画の社会的背景などを学ぶ。授業の前半は、教員が記事や動画を用意するが、後半は、学生が国際的に注目を受けている事項に関する記事や動画を用意し、それらについて、参加学生全員でディスカッションをする。
日英語で授業を行うが、分かりやすいように教員の方でレジュメを作成することもある。
国内や海外の交流のある大学の学生とオンラインで協働演習を行う予定である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
後半は、事前に参加学生本人が国際的に注目されている事項に関して興味のある記事や動画を用意する必要がある。。授業で習得した基礎英語や国際社会に関する事項を復習し、学生自身が国際社会について学ぶ意欲を高める必要がある。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 英語の記事を読むことと動画を観ることについて
2. 記事や動画の歴史的、社会的、政治的背景について
3. 政治に関する記事や動画に関する解読
4. 社会に関する記事や動画に関する解読
5. 女性に関する記事や動画に関する解読
6. 災害や危機に関する記事や動画に関する解読
7. 中間まとめ
8. 環境に関する記事や動画に関する解読
9. ITに関する記事や動画に関する解読
10. ファッションに関する記事や動画に関する解読
11. 料理に関する記事や動画に関する解読
12. 映画に関する記事や動画に関する解読
13. 健康に関する記事や動画に関する解読

科目名	教養演習Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	基礎英語で学ぶ国際社会	演習	
担当者	野口　和美		

[成績評価方法]
授業への参加姿勢（20%）、ディスカッションへの参加度（20%）、リアクションペーパー(30%)、期末レポート試験（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manaba上でコメントを載せます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加姿勢（20%）、ディスカッションへの参加度（20%）、リアクションペーパー(30%)、期末レポート試験（30%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加姿勢（20%）、ディスカッションへの参加度（20%）、リアクションペーパー(30%)、期末レポート試験（30%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業への参加姿勢（20%）、ディスカッションへの参加度（20%）、リアクションペーパー(30%)、期末レポート試験（30%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業への参加姿勢（20%）、ディスカッションへの参加度（20%）、リアクションペーパー(30%)、期末レポート試験（30%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業への参加姿勢（20%）、ディスカッションへの参加度（20%）、リアクションペーパー(30%)、期末レポート試験（30%）

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教養演習Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	穴田　恭輔		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
数的推理、判断推理の出題に対し、自信をもって解決できる力をつける。

[授業概要]
数的推理、判断推理の出題で過去の公務員試験においてよく出題されたテーマの問題を扱い解決していく。頻出テーマを研究することで、解法パターンを学び、考える力を培う。数的推理、判断推理は、近年では教員採用試験でも出題される。本授業は、公務員試験、教員採用試験の教養試験への対策も兼ねる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前時までの復習をする。

[授業計画]
1. 整数問題
2. 図形の計量
3. 順序関係
4. 位置関係
5. 移動と軌跡
6. 命題と論理
7. 対応関係
8. 比と割合
9. 速さ
10. 試合の数理
11. 展開図
12. 真偽の推理
13. まとめ

科目名	教養演習Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	穴田　恭輔		

[成績評価方法]
各回の発表(50%)、試験(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:発表、試験

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教養総合 I	前期	2 単位
サブタイトル	日本語表現	講義	
担当者	橋本　礼子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
ことばのさまざまな表現や自分の書いた文章などについて深く考え、客観的に分析する方法を知る。

[授業概要]
大学生として活動範囲が広がると、接したり産出したりすることばのバリエーションも広がる。日本語でも、誰が誰に、何をするために使うのかで、さまざまに使い分ける必要がある。この講義では身近な日本語の実例を観察しながら、ことばを客観的に分析する方法を学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
日頃から日本語の表現に関する話題に関心を持ち、例を収集する。

[授業計画]
1.導入　この授業の進め方
2.どう伝わるか1　情報の順番・公用文の「わかりやすさ」
3.どう伝わるか2　「やさしい日本語」
4.どう伝わるか3　語が伝えるもの・文体が伝えるもの
5.どう伝わるか4　あいまい文・伝わりにくい文
6.何をインプットしているか1　さまざまな情報源の特性
7.何をインプットしているか2　読書と教養
8.何をインプットしているか3　読解ストラテジー
9.何をインプットしているか4　語彙
10.実例を観察して考えよう1　感想文
11.実例を観察して考えよう2　論説文
12.実例を観察して考えよう3　説明文
13.実例を観察して考えよう4　レトリック

科目名	教養総合 I	前期	2 単位
サブタイトル	日本語表現	講義	
担当者	橋本　礼子		

[成績評価方法]
・レポート3回（60%）
・授業中に指示する課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に課題の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題・レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教養総合 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語と日本語で学ぶ国際協力/ International Cooperation to learn in English and Japanese	講義	
担当者	貝増 匡俊		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・開発途上国のくらしについて理解できるようになる。
・国際協力全般について理解が深めることができるようになる。
・国際社会の中で日本が振る舞うべきことについて多面的に分析し、自らの意見を簡潔に述べることができるようになる。

[授業概要]
NGOやJICAでこれまで国際協力の現場で重視した教員が、国際協力に関する様々な事項について指導します。
前半部は、国際協力に対する全般的な説明を行った上で、国際協力の目的は何なのかを検討します。例えば戦後、行吉学園が開学した当時の考えと主にアメリカやヨーロッパが支援してきた援助アプローチの違いなどを考えていきます。その後、基本的な国際協力の歴史や仕組みについて説明していきます。4回目以降は、主にテキストを使って国際協力の仕組みとその効果あるいは、また問題点などを議論していきます。
なお、本授業は基本的には日本語で行います。適宜、理解度などを確認しながら、英語でも説明する予定です。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
事前に教科書を読んで予習を行って下さい。授業後は振り返り、復習を行って下さい。
各回、予習復習合わせて 4 時間程度

[授業計画]
1.ガイダンス/ Introduction
2.神戸女子大学の歴史と援助の歴を比較する/ Comparative Approach between histories of KWU and aid history
3.被援助国として日本/ Japan as a recipient country
4.教育セクター/ Education sector
5.保健セクター/ Health sector
6.労働移動/ Labour migration
7.経済成長/ Economic growth and trickle-down theory
8.特別講義/ Special session
9.開発金融/ Development Finance
10.環境/ Environment
11.持続可能な開発/ Sustainable development
12.開発援助/ International assistance
13.まとめ/ Summary

科目名	教養総合 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語と日本語で学ぶ国際協力/ International Cooperation to learn in English and Japanese	講義	
担当者	貝増 匡俊		

[成績評価方法]
試験50%、ミニッツペーパー40%、manabaや教室内でのディスカッションへの貢献度10%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験後に試験に関する解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:試験、ミニッツペーパー、授業への貢献度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験、ミニッツペーパー、授業への貢献度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験、ミニッツペーパー、授業への貢献度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:試験、ミニッツペーパー、授業への貢献度

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:ストーリーで学ぶ開発経済学 著者名:黒崎 卓 出版社名:有斐閣 ISBN:9784641150348

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	グローカル社会における市民社会の役割	講義	
担当者	野口　和美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
人はなぜボランティアや寄付をするのであろうか。そのような行動をフィランソロピー(日本語では慈善と訳されるが適当ではない)活動というが、その元になっている思想や考えはどこからきているのかについて理解することを目指す。
NGO及びNPO活動について理解を深めながら、フィランソロピーの思想の基礎を理解する。まずは、日本の非営利組織(Non-Profit Organizations: NPO)について学んだ後に、海外のNPOについて理解を深める。都道府県及び自治体行政との連携及び協働関係について理解府を深める。行政学の基礎知識も身に付ける。

[授業概要]
グローカルな課題を理解を深め、日本との違いやボランティア活動や寄付活動について理解を深めることを目的とする。講義とともに、英語の文献も参考資料として活用する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日頃から、様々な国や地域に興味をもち、学生自身で授業に関するシンポジュームに参加すること。予習復習2時間程度。

[授業計画]
1. チャリティや寄付活動(野口)
2.市民社会とは何か (野口)
3. NPOと政治(野口)
4.ローカル・ガバナンスとNPO (野口)
5.中間まとめ (野口)
6.NPOと女性のリーダーシップ(学外講師と担当教員の協働授業)
7.外交政策とNPO (野口)
8.海外のNPO (1)(野口)
9.海外のNPO (2) (野口)
10. 慈善・フィランソロピーの思想 (野口)
11. 民間財団と国際関係 (野口)
12. 民間財団とパンデミック (野口)
13.まとめ (野口)

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	グローカル社会における市民社会の役割	講義	
担当者	野口　和美		

[成績評価方法]
授業への参加度(30%)、ディスカッションへの参加度(30%)、期末レポート試験(40%)
授業に関するシンポジュームに参加しレポートを提出した際は、加点をする場合がある。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業の中でフィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度(30%)、ディスカッションへの参加度(30%)、期末レポート試験(40%)
授業に関するシンポジュームに参加しレポートを提出した際は、加点をする場合がある。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度(30%)、ディスカッションへの参加度(30%)、期末レポート試験(40%)
授業に関するシンポジュームに参加しレポートを提出した際は、加点をする場合がある。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加度(30%)、ディスカッションへの参加度(30%)、期末レポート試験(40%)
授業に関するシンポジュームに参加しレポートを提出した際は、加点をする場合がある。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業への参加度(30%)、ディスカッションへの参加度(30%)、期末レポート試験(40%)
授業に関するシンポジュームに参加しレポートを提出した際は、加点をする場合がある。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	Advanced English: Extensive Reading and Critical Writing (大量に英文を読み、批判的に英語で書く)	講義	
担当者	水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. Acquire interdisciplinary knowledge across the fields of humanities, natural sciences, and social sciences by engaging with English-language texts.
2. Enhance their reading comprehension skills to grasp complex ideas and arguments in advanced-level materials.
3. Develop the ability to articulate coherent and critical reflections in written English, producing essays that demonstrate analytical depth.
4. Strengthen communication skills by participating in classroom discussions, debates, and presentations conducted entirely in English.

[授業概要]
This course emphasizes the cultivation of intellectual breadth and linguistic proficiency through extensive reading. Students will read a substantial amount of English texts from the fields of humanities, natural sciences, and social sciences. They will produce weekly analytical reports in English (minimum two A4 pages) and participate in classroom discussions, debates, and presentations. Through a rigorous engagement with diverse texts, students will refine their ability to think critically, write persuasively, and communicate effectively, all while broadening their general knowledge and cultural awareness.

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
For preparation, students are required to read the assigned academic text each week in advance for the discussion in the following class.

For review, students are required to write a reflective report in English based on the classroom discussions.

[授業計画]
Week 1: Introduction and Course Orientation
Overview of course objectives, requirements, and expectations.
Explanation of report writing format, evaluation criteria, and class procedures.
Introduction to the fields of humanities, natural sciences, and social sciences.
Distribution of the first reading assignment.

Week 2: Techniques for Effective Extensive Reading
Strategies for efficient reading and time management.
Analysis of sample reading reports and discussions on how to construct a critical response.
Group activity: Sharing initial impressions of the assigned book.

Week 3: Humanities Focus (1)
Discussion of the first set of humanities texts.
Submission and feedback on the first reading report.
Discussion prompt: "What aspects of human nature are explored in the text?"

Week 4: Natural Sciences Focus (1)
Analysis and discussion of the initial texts in natural sciences.
Lecture: How to extract key ideas from scientific texts.
Preparation for short presentations on the assigned reading.

Week 5: Social Sciences Focus (1)
Exploration of the first social sciences texts.
Group discussions: Sharing perspectives on societal themes.
Feedback on writing clarity and logical structure in reading reports.

Week 6: Humanities Focus (2)
Discussion of the second humanities texts.
Vocabulary expansion activities to enhance nuanced expression.

Week 7: Midterm Reflection and Progress Review
Evaluation of students' progress through individual feedback.
Analysis of recurring challenges in report writing and strategies for improvement.
Class-wide debate: "What are the benefits and challenges of extensive reading?"

Week 8: Natural Sciences Focus (2)
Discussion of the second set of natural sciences texts.
Focus on interpreting scientific data and concepts critically.

Week 9: Social Sciences Focus (2)
Discussion of the second set of texts in social sciences.
Writing exercise: Composing a concise English essay on a social issue.

Week 10: Humanities Focus (3)
Peer discussions on the third set of humanities texts.
Emphasis on balancing emotional and logical responses in analytical writing.

Week 11: Natural Sciences Focus (3)
Exploration of the third set of natural sciences texts.
Presentation practice: Simplifying complex scientific ideas for a general audience.

Week 12: Social Sciences Focus (3)
Final discussion of the third social sciences book.
Class-wide debate: Engaging in arguments based on evidence from the text.

Week 13: Final Reflection and Summary
Comprehensive review of the course and its outcomes.
Final feedback on students' reading and writing progress.

科目名	教養総合 Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	Advanced English: Extensive Reading and Critical Writing (大量に英文を読み、批判的に英語で書く)	講義	
担当者	水野　邦太郎		

[成績評価方法]
Weekly English Reports: 50%
Students are required to submit a well-structured English report (minimum two A4 pages) each week, critically analyzing the assigned reading. These reports will be assessed based on content depth, clarity, and adherence to academic writing standards.

English Presentations and Discussions: 50%
Active participation in classroom discussions and presentations is essential. Students will be evaluated on their ability to articulate ideas clearly, engage with peers, and present their insights effectively in English.

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
This will be conducted during class as well as through the manaba bulletin board and Padlet.

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Weekly English Reports: 50%
Students are required to submit a well-structured English report (minimum two A4 pages) each week, critically analyzing the assigned reading. These reports will be assessed based on content depth, clarity, and adherence to academic writing standards.

English Presentations and Discussions: 50%
Active participation in classroom discussions and presentations is essential. Students will be evaluated on their ability to articulate ideas clearly, engage with peers, and present their insights effectively in English.

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:Weekly English Reports:
Students are required to submit a well-structured English report (minimum two A4 pages) each week, critically analyzing the assigned reading. These reports will be assessed based on content depth, clarity, and adherence to academic writing standards.

English Presentations and Discussions:
Active participation in classroom discussions and presentations is essential. Students will be evaluated on their ability to articulate ideas clearly, engage with peers, and present their insights effectively in English.

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Weekly English Reports:
Students are required to submit a well-structured English report (minimum two A4 pages) each week, critically analyzing the assigned reading. These reports will be assessed based on content depth, clarity, and adherence to academic writing standards.

English Presentations and Discussions:
Active participation in classroom discussions and presentations is essential. Students will be evaluated on their ability to articulate ideas clearly, engage with peers, and present their insights effectively in English.

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:Weekly English Reports:
Students are required to submit a well-structured English report (minimum two A4 pages) each week, critically analyzing the assigned reading. These reports will be assessed based on content depth, clarity, and adherence to academic writing standards.

English Presentations and Discussions:
Active participation in classroom discussions and presentations is essential. Students will be evaluated on their ability to articulate ideas clearly, engage with peers, and present their insights effectively in English.

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻　裕剛		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・漢字について興味関心をもち、日本の表記文化の現状を報告できる
・身近にある通常とは異なる漢字を認識できる
・特定の漢字について調査報告を行える

[授業概要]
日本語と漢字の関係は深く長いものではあるが、通常、表層的かつ短絡的な理解しか行われていないことが多い。この授業では、教員による個々の漢字とそれに関連する別の漢字や漢字文化についての概説を通して、漢字と日本文化の関係性について理解を深めることを目指す。また、適宜日常的な気づきについて学生からの報告を促す。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
毎時のリアクションペーパーを提出する。
日常的に漢字に関する知識を模索する。
教員から特段の指示がない場合でも自発的に授業内容の予習復習を行うように。

[授業計画]
1. ガイダンス 「一」の話
2.「口」の話
3.「台」の話
4.「春」の話
5.「正」の話
6.「大」の話
7.「木」の話
8.「玉」の話
9.「有」の話
10.「世」の話
11.「新」の話
12.「龍」の話
13.新年の漢字の話

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻　裕剛		

[成績評価方法]
リアクションペーパー(5%×13回)、期末レポート(35%)。
※未提出の課題がある場合、単位の修得が困難になるため十分注意すること。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・各回の冒頭で質問・疑問に対してコメントと解説を行う。
・また、manabaを用いて随時フィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:リアクションペーパー、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:リアクションペーパー、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:リアクションペーパー、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:リアクションペーパー、レポート

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	伝説・物語の神戸を歩く	講義	
担当者	樹下　文隆、大山　範子、長田　あかね		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・神戸を舞台とした古典芸能、古典作品に親しみ、神戸の地に多くの名所・旧跡があることと、それぞれの由来を理解する。
・本学に設置された古典芸能研究センターを活用できるようになる。

[授業概要]
『万葉集』『大和物語』『源氏物語』『平家物語』を始め、説話や芸能から、神戸の地を舞台とした作品を取り上げ、その内容や関連する古典文学・芸能の歴史、作品間の影響関係などについて知識を深めるとともに、現地を訪れて伝承を保存する活動にふれる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習併せて4時間程度。
(授業前)テキストを読んで、質問や疑問点などを考えておく。
(授業後)講義によって新たに知った事柄や生じた疑問点などについて、深く調査し、レポート作成に備える。

[授業計画]
1.導入。(担当:樹下)神戸を舞台とする古典作品・古典芸能の概要。
2.生田慕情
3.湯山清流
4.須磨松籟①
5.須磨松籟②
6.須磨松籟③
7.平家残照①
8.平家残照②
9.平家残照③
10.青山青葉
11.学外実習①10月下旬頃の土曜日:須磨周辺文学散歩
12.学外実習②11月下旬頃の土曜日:生田・布引滝周辺文学散歩
13.学外実習③1月下旬頃の火曜日:能楽体験(神戸市長田区上田能楽堂)
※学外実習以外に、神戸に関する古典芸能研究センターの展示、古典芸能鑑賞などを自主的な自由課題研究とする。

科目名	教養総合Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	伝説・物語の神戸を歩く	講義	
担当者	樹下　文隆、大山　範子、長田　あかね		

[成績評価方法]
レポート100%（講義と学外実習または自由課題から1つずつ、計2つのレポート課題を選ぶ）。1レポート2000字程度。1レポート50%。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に関する質問等への回答は担当教員から個別にメール等を利用して行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:伝説・物語の神戸を歩く 著者名:神戸女子大学古典芸能研究センター編 出版社名:神戸新聞総合出版センター
ISBN:9784340000000

[参考書（ISBN）]

科目名	芸術 I	前期	2 単位
サブタイトル	美の探求	講義	
担当者	松本　尚		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
芸術や身近なものたちの美に対する理解を深め、また再認識をし、生活の中での、それらの存在に関心を持つようになる。

[授業概要]
過去から現在に至る芸術全般の流れを追いながら、美とは何か、どのように表現されてきたのかを学び、実際に表現、形にしていくことを学びます。
芸術を通して日常生活に対する柔軟な視点を持ち、視野を広げ、自身のこれからの生活をより豊かにする、仕事に活かせる思考を身につけます。できるだけ多くの作品、教材を使用します。
視覚的な学びを言葉で語る力、手を動かすことでの経験、発想の広がりを実践的に身に付けていきます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業の終わりに、次回のテーマを告知します。そのことについて各自が予備知識を持つように文献等を調べ、より一層関心を持ち、理解を深めるために授業内で挙げる参考文献等を読んでおいてください。

[授業計画]
1.美とは何か、芸術とは何か
2.ファッションの視点から1ーファッションの歴史、過去から現代まで
3.ファッションの視点から2ー世界のファッションデザイナー
4.写真の視点から1ー写真の歴史と作品
5.写真の視点から2ー写真作品を考える
6.デザインの視点から1ー世界のデザイン、デザインとは何か
7.デザインの視点から2ー色と構成
8.絵画の視点から1ー東洋の美、西洋の美
9.絵画の視点から2ー一枚の絵を探求する
10.現代アートの視点から1ー現代美術とは何か
11.現代アートの視点から2ー芸術作品の鑑賞
12. 再び美とは何か、芸術とは何か
13. まとめ、芸術とは何か、美とは何かを各自テーマ設定を行い、レポートとしてまとめる

科目名	芸術 I	前期	2 単位
サブタイトル	美の探求	講義	
担当者	松本　尚		

[成績評価方法]
理解度確認の中間課題(80%)、最終課題(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題提出後の授業の中で、講評を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認の中間課題(80%)、最終課題(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:理解度確認の中間課題(80%)、最終課題(20%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	芸術Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	世界の音楽	講義	
担当者	服部　智行		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
受講生がポピュラー音楽史に関する基本的な知識を身につけ、それに基づいて自らテーマを決めて調べ、レポートとしてまとめる能力を養うことを目標とする授業です。

[授業概要]
講義を中心に授業を進めます。本年度は明治以降、現在に至るまでの日本の流行歌・ヒット曲の歴史を概観します。具体的には、学校教育に西洋の「ドレミ・・・」の音階が導入された明治を出発点に、日本のポピュラー音楽のスタイルや音楽業界の形態が大きく変化した昭和に重点を置き、平成・令和は新たなテクノロジーとの関係を中心に講義する予定です。こうした歴史の概観を通して、皆さんが普段お聴きになっているJ-POPの曲の背景や歴史的文脈などに目を向けていただきたいと思います。なお、ポピュラー音楽の研究においては実際の楽曲や映像作品にまさる資料はないので、この授業でもできるだけたくさんの音資料、映像資料等を視聴します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
授業内容と関連する音楽作品、映像作品等を可能な限り視聴し、関連文献に目を通して下さい。レポートのテーマ発表後は、その提出に向けてしっかり準備して下さい。 各回、予習復習合わせて4時間程度を望みます。

[授業計画]
1.唱歌教育と路上の演歌師たちの時代
2.ジャズ小唄と和製ブルースの時代
3.ブギウギとラジオドラマ主題歌の時代
4.洋楽カバー時代の始まり
5.ロカビリーとムード歌謡の時代
6.ポップス黎明期
7.エレキ歌謡からグループ・サウンズへ
8.フォークからニューミュージックへ
9.変容する歌謡曲
10.テクノポップとシティ・ポップの時代
11.アイドル・グループ時代の始まりとバンド・ブーム
12.J-POPの時代へ
13. インターネットの時代

科目名	芸術Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	世界の音楽	講義	
担当者	服部　智行		

[成績評価方法]
レポート(100%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートの出題意図、書き方、採点のポイント等に関しては授業中に詳しく説明し、執筆段階での質問、相談等も受け付けます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	芸術Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	世界の音楽	講義	
担当者	服部　智行		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
受講生がポピュラー音楽史に関する基本的な知識を身につけ、それに基づいて自らテーマを決めて調べ、レポートとしてまとめる能力を養うことを目標とする授業です。

[授業概要]
講義を中心に授業を進めます。本年度は明治以降、現在に至るまでの日本の流行歌・ヒット曲の歴史を概観します。具体的には、学校教育に西洋の「ドレミ・・・」の音階が導入された明治を出発点に、日本のポピュラー音楽のスタイルや音楽業界の形態が大きく変化した昭和に重点を置き、平成・令和は新たなテクノロジーとの関係を中心に講義する予定です。こうした歴史の概観を通して、皆さんが普段お聴きになっているJ-POPの曲の背景や歴史的文脈などに目を向けていただきたいと思います。なお、ポピュラー音楽の研究においては実際の楽曲や映像作品にまさる資料はないので、この授業でもできるだけたくさんの音資料、映像資料等を視聴します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
授業内容と関連する音楽作品、映像作品等を可能な限り視聴し、関連文献に目を通して下さい。レポートのテーマ発表後は、その提出に向けてしっかり準備して下さい。 各回、予習復習合わせて4時間程度を望みます。

[授業計画]
1.唱歌教育と路上の演歌師たちの時代
2.ジャズ小唄と和製ブルースの時代
3.ブギウギとラジオドラマ主題歌の時代
4.洋楽カバー時代の始まり
5.ロカビリーとムード歌謡の時代
6.ポップス黎明期
7.エレキ歌謡からグループ・サウンズへ
8.フォークからニューミュージックへ
9.変容する歌謡曲
10.テクノポップとシティ・ポップの時代
11.アイドル・グループ時代の始まりとバンド・ブーム
12.J-POPの時代へ
13. インターネットの時代

科目名	芸術Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	世界の音楽	講義	
担当者	服部　智行		

[成績評価方法]
レポート(100%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートの出題意図、書き方、採点のポイント等に関しては授業中に詳しく説明し、執筆段階での質問、相談等も受け付けます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	芸術Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	日本の古典芸能(能楽・人形浄瑠璃・歌舞伎)	講義	
担当者	大山　範子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	希望者を対象に舞台鑑賞(授業外)	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
能楽(能と狂言)・人形浄瑠璃・歌舞伎についての知識を深め、その特性を理解できることを目指す。また、これらの芸能が同時代や後世の文化に与えた影響を知り、日本文化について考える際の手がかりの一つを得る。

[授業概要]
能楽を中心に、人形浄瑠璃・歌舞伎も対象として講義を進める。最初に、それぞれの芸能に関して、鑑賞のための基本的なことがらについて概説する。その上で、いくつかの作品を取り上げて台本を読み、ビデオ等を用いて舞台映像を鑑賞しながら、これらの芸能が先行する文化(特に文学作品)をどのように受容し創作されているのか、また、後世にどのような影響を及ぼしたかなど、幅広く考察する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
取り扱う作品の資料は事前に配付するので、必ず目を通してくること。

[授業計画]
01. 能楽ってどんなもの？　―能・狂言入門―
02. 能の諸相　―能を「見る」・「聞く」・「読む」―
03. 能・狂言の歴史
04. 近世の芸能　―人形浄瑠璃と歌舞伎―
05. 能《高砂》(1)　―能の基本的構成―
06. 能《高砂》(2)　―能とその本説―
07. 能《高砂》(3)　―能からの展開―
08. 能《隅田川》(1)
09. 能《隅田川》(2)
10. 能《隅田川》と近世芸能
11. 能《安宅》(1)
12. 能《安宅》(2)
13. 能《安宅》と近世芸能

※「授業計画」に掲げた作品は、受講者の人数や関心によっては変更する場合があります。

科目名	芸術Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	日本の古典芸能(能楽・人形浄瑠璃・歌舞伎)	講義	
担当者	大山　範子		

[成績評価方法]
期末レポート(60%)および講義時の小課題(不定期、数回を予定:40%)によって評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
小課題については次回講義時にコメントをする。期末レポートは提出・講評ともKISSを利用。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:講義時の小課題および期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:講義時の小課題および期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:講義時の小課題および期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:講義時の小課題および期末レポート

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:新潮日本古典集成〈新装版〉謡曲集 上 著者名:伊藤 正義 出版社名:新潮社 ISBN:9784106208584
書籍名:新潮日本古典集成〈新装版〉謡曲集 中 著者名:伊藤 正義 出版社名:新潮社 ISBN:9784106208591
書籍名:新潮日本古典集成〈新装版〉謡曲集 下 著者名:伊藤 正義 出版社名:新潮社 ISBN:9784106208607
書籍名:新編 日本古典文学全集58・謡曲集(1) 著者名:小山 弘志 出版社名:小学館 ISBN:9784096580585
書籍名:新編 日本古典文学全集59・謡曲集(2) 著者名:小山 弘志 出版社名:小学館 ISBN:9784096580592

科目名	現代社会 I	前期	2 単位
サブタイトル	法と社会生活(社会生活と法)	講義	
担当者	豊福　一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
家族法を中心に基礎的な法知識を修得する。

[授業概要]
民法の家族法や相続法についての解説を行う。離婚や相続といった日常生活に密接に関連する事項を中心にわかりやすく解説する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回講義内容の復習が必要。
日頃から、新聞・インターネット等で社会で何が起きているか関心を持つよう心がけたい。

[授業計画]
1. 親族関係・扶養
2. 婚姻
3. 氏と戸籍・近年の婚姻の問題点
4. 離婚
5. 内縁
6. 実親子
7. 養子制度
8. 後見・保佐・補助
9. 相続の法定原則(1)
10. 相続の法定原則(2)
11. 相続の法定原則(3)
12. 相続の法定原則(4)
13. まとめ

科目名	現代社会 I	前期	2 単位
サブタイトル	法と社会生活(社会生活と法)	講義	
担当者	豊福 一		

[成績評価方法]
試験(100%)による評価を基本とする。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験終了後に解説することを予定しています。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:試験(100%)による評価を基本とする。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:試験(100%)による評価を基本とする。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:試験(100%)による評価を基本とする。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験(100%)による評価を基本とする。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験(100%)による評価を基本とする。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:試験(100%)による評価を基本とする。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	現代社会Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	現代社会と経済	講義	
担当者	小沢　康英、加藤　正文		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
経済の基礎知識を習得しながら、現実の諸問題について経済面からの理解を深めることができる。

[授業概要]
銀行の在職経験を有した教員より、現代日本が抱える経済的諸問題について、理解を深める。戦後の日本経済は大きな発展を遂げた。戦後数十年の経済発展の間に確立した組織や雇用など企業運営の枠組みは、近年の経済の低成長のなかで変化が顕著となってきている。社会の枠組みの変化やそこから生じる課題などについて考える。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。

[授業計画]
1. 少子高齢化社会と生活経済 その1(財政)＜小沢　康英＞
2. 少子高齢化社会と生活経済 その2(年金)＜小沢　康英＞
3. 財政と税制度＜須磨税務署(外部講師)＞
4. 社会経済を構成する主な要素＜小沢　康英＞
5. 企業経営の目的＜小沢　康英＞
6. 企業活動と社会的責任＜小沢　康英＞
7. 企業形態と組織＜小沢　康英＞
8. 製品開発と生産管理＜小沢　康英＞
9. 地域の活性化と販売戦略(記事作成を通じて)＜加藤　正文＞
10. 人材の確保と育成(記事作成を通じて)＜加藤　正文＞
11. 産業社会構造の変化(記事作成を通じて)＜加藤　正文＞
12. サスティナブルな生活と経済(記事作成を通じて)＜加藤　正文＞
13. 現代の経済構造の変化(記事作成を通じて) ＜加藤　正文＞

科目名	現代社会Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	現代社会と経済	講義	
担当者	小沢　康英、加藤　正文		

[成績評価方法]
授業における自立心・対話力（30%）、レポート（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート課題に関する解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題、レポート課題、テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題、レポート課題、テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題、レポート課題、テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題、レポート課題、テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業中の課題、レポート課題、テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業中の課題、レポート課題、テスト

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	現代社会Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	現代社会論	講義	
担当者	外園　周二		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1. 新聞を通して「現代社会」に関心を持ち、情報リテラシーを高める
2. 社会課題について「自分の意見」「多様な視点」を持つ
3. 社会人として求められる「書く力」「伝える力」を身につける

[授業概要]
新聞記者経験者（講師）が、社会問題やコミュニケーションをテーマに講義をする。実用日本語の「お手本」である新聞を題材にするので、毎回、当日の朝刊を提供する。社会の課題などについて、学生はそれぞれの意見を論作文などで提出。講師が添削し講評する。ESや「実用文」の書き方についても学び、「自分の意見」を養う。

新聞は社会の縮図であり、情報を効率的に得るためのツールです。新聞を通して、日本や世界で起きている問題を考えます。視野を広げ、社会で活躍する人になってほしいと願っています。（最新のニュースを扱うので、授業計画を変更することがあります）

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
講義の際に指示をする。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
第1回：「情報とは」 授業の進め方
第2回：「具体的に伝える」 新聞の読み方
第3回：「視点を変える」 未来に向けて
第4回：文章講座①「具体的」
第5回：コミュニケーションと就活
第6回：文章講座②「情報を絞る」
第7回：震災報道から考える
第8回：文章講座③「短文を連ねる」
第9回：文章講座④「カギカッコの活用」
第10回：国内問題（政治）を考える
第11回：国際問題（戦争）を考える
第12回：インタビューの手法
第13回：講義まとめ

科目名	現代社会Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	現代社会論	講義	
担当者	外園　周二		

[成績評価方法]
論作文・レポートなど70点　授業への参加度など30点

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
論作文・レポートは添削して各自に返却し、全体での講評もする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	現代社会Ⅳ	前期	2 単位
サブタイトル	現代社会と政治	講義	
担当者	豊福　一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
戦後の政治史を順に概観する中で、政党の役割、政治力学、諸制度を学び、さらにそれを基に現在存在する政治制度を理解する。

[授業概要]
政治に関する歴史、制度、政治と関連する現代社会の諸制度について、わかりやすく解説する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業中指示する事項について、復習と予習を行うこと(概ね30分程度)。日頃から、授業内容に関連するニュース等に注意しておくこと。

[授業計画]
1. 戦後の政治史(1)
2. 戦後の政治史(2)
3. 戦後の政治史(3)
4. 戦後の政治史(4)
5. 戦後の政治史(5)
6. 戦後の政治史(6)
7. 戦後の政治史(7)
8. 戦後の政治史(8)
9. 戦後の政治史(9)
10. 戦後の政治史(10)
11. 日米安全保障条約(1)
12. 日米安全保障条約(2)
13. 講義内容の総括

科目名	現代社会Ⅳ	前期	2 単位
サブタイトル	現代社会と政治	講義	
担当者	豊福　一		

[成績評価方法]
試験(100%)。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験終了後に解説する予定です。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:試験(100%)。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:試験(100%)。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:試験(100%)。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験(100%)。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験(100%)。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:試験(100%)。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	現代社会Ⅴ	後期	2 単位
サブタイトル	文化人類学入門	講義	
担当者	川森　博司		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
文化人類学の概念を使って、自分なりに身の回りの世界を捉えられるようになることを到達目標とする。

[授業概要]
人や物が国境を越えて行き来するグローバル化の時代に欠くことのできない視野を文化人類学は与えてくれる。この授業では、文化人類学のものの見方を身につけることを目ざし、「文化」という概念の理解からスタートして、文化人類学が扱う諸分野を概観する。話題は地球規模の広がりをもつが、それぞれが家族・性・権力など身の回りの事柄に直結している。身近で当たり前と思っていた事象を、新鮮な驚きをもって捉え直すことを目ざして、具体的な例を挙げながら授業を進めていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
教科書にもとづいて予習・復習をすること。
(各回、予習・復習合わせて4時間程度)

[授業計画]
1. 人類と文化―人間とは何か
2. 人類学の歴史
3. 人類と言語
4. 生業
5. 文化と経済
6. 性とジェンダー
7. 家族と親族
8. 民族と現代社会
9. アイヌと日本社会
10. 宗教と世界観
11. 人間の一生、境界とケガレ
12. 観光と文化
13. まとめ

科目名	現代社会Ⅴ	後期	2 単位
サブタイトル	文化人類学入門	講義	
担当者	川森　博司		

[成績評価方法]
試験(80%)と学習態度(20%)を合わせて評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中に指示する

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:学習態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:学習態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:学習態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:試験

[教科書(ISBN)]
書籍名:よくわかる文化人類学[第3版] 著者名:綾部恒雄・桑山敬己編 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623097234

[参考書(ISBN)]

科目名	神戸学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　栄治、梶木　典子、大西　雅裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.「神戸」の地域文化、地域特性についての教養を深め、プレゼンテーションできる。
2. 自分が興味のある「神戸」の地域文化、地域特性について調べ、レポートできる。
3. 大学での主体的学習態度を習得し、グループワークに活かすことができる。

[授業概要]
本授業では、神戸女子大学のある「神戸」という地域社会について、その地域の特性や文化等の営みを多角的な視点より学びを深めます。具体的には、それぞれの講師より「神戸」をコンセプトにして、それぞれの専門領域から講義していただき、翌週の授業において、担当教員の指導の下で、その講義内容から学生自身の自己の学びを、グループワーク・ディスカッション及びプレゼンテーション等をしながら演習形式で、さらなる学びへと深めていくように進めて行きます。その上で、自分が興味のある「神戸」の地域文化、地域特性について調べ、プレゼンテーションおよびレポートにまとめます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
授業の各担当講師から提示される学習課題に事前に取り組み、関連の資料収集や各自が課題意識を持って、講義内容の理解を深めておくこと。講義の後に行われるディスカッション等の演習に積極的に参画するように。

[授業計画]
1) 4/11　神戸学についてのガイダンス（担当：田中栄治）
2) 4/18　学内講師「梶木 典子」先生『神戸の公園文化と子どもの遊び』
3) 4/25　学びを深めるディスカッション（担当：梶木典子・田中栄治）
4) 5/9　フィールドワーク『神戸・須磨の魅力を探る～取材』（担当：田中栄治）
5) 5/16　特別講師「網 麻子」先生『神戸・須磨の魅力を探る～新聞作り』
6) 5/23『神戸の景観まちづくり』（担当：田中栄治）
7) 5/30　学びを深めるディスカッション（担当：田中栄治）
8) 6/6　特別講師「衣笠 収」先生『神戸感考～アートのまなざしで神戸を見つめ直す』
9) 6/13　学びを深めるディスカッション（担当：田中栄治）
10) 6/20　学内講師「大西 雅裕」先生『阪神・淡路大震災からの教訓と市民力』
11) 6/27　学びを深めるディスカッション（担当：大西雅裕・田中栄治）
12) 7/4「神戸」の地域文化、地域特性について調べる （担当：田中栄治）
13) 7/11　プレゼンテーション（担当：田中栄治）

科目名	神戸学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　栄治、梶木　典子、大西　雅裕		

[成績評価方法]
1. 各講師の課題についてのプレゼンテーション：目標1に対応（50%）
2. 期末レポート：目標2に対応（30%）
3. グループワークへの参加度：目標3に対応（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業全体については、統括者の田中がコーディネイトを行います。毎回の授業の進行と学生への指導やフォローについては統括者で学生の学びをサポートします。
レポートについては、後日評価コメントをフィードバックします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：グループワークへの参加度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：期末レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：各講師の課題についてのプレゼンテーション

[教科書（ISBN）]
書籍名:授業中に適宜資料を配布します。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	心とからだの健康	前期	2 単位
サブタイトル	心とからだの健康	講義	
担当者	隠岐　厚美、狩野　百合子、田中　美紀子、住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	上記のアクティブラーニングの中から担当者が授業内容に応じて実施します。	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
「心」と「からだ」の健康について、心身相関の視点を学びながら幅広い知識を習得することができる。

[授業概要]
近年、いわゆる「健康」への関心が高まっている。一般に「健康」というとき、「からだ」の健康と「心」の健康という二つの面に分けて考えられることが多い。しかし、この二つの側面は互いに密接な関係がある。そこで、本講では、「心身相関」の視点をキーワードに、専門領域を異にする複数の教員によるオムニバス形式の講義を行うことで、「健康」をさまざまな側面から捉え理解を深めていく。
なお、前期は須磨キャンパス、後期はポーアイキャンパスで開講する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の授業についての予習復習を行うこと（各回、予習・復習合わせて4時間程度）。

前回の授業内容を復習し理解しておくこと。
「心とからだの健康」について、現代社会で問題となっている事柄を把握しておくこと。

[授業計画]
1. 本講の目的と構成（隠岐厚美）
2. からだの健康と栄養(1)（狩野百合子）
3. からだの健康と栄養(2)（狩野百合子）
4. 健康と疾患(1)（坂上元祥）
5. 健康と疾患(2)(坂上元祥）
6. 心身の健康と音楽(1)（河村美帆）
7. 心身の健康と音楽(2)（河村美帆）
8. こころと健康(1)（岡本みゆき）
9. こころと健康(2)（岡本みゆき）
10. こころと体の関係(1)（田中美紀子）
11. こころと体の健康(2)（田中美紀子）
12. 心身の健康と運動／スポーツ／体育（住本　純）
13. まとめ（隠岐厚美）

科目名	心とからだの健康	前期	2 単位
サブタイトル	心とからだの健康	講義	
担当者	隠岐　厚美、狩野　百合子、田中　美紀子、住本　純		

[成績評価方法]
「理解度確認試験(85%)」「担当者による小レポート(10%)」「授業態度(5%)」

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・授業中の課題は、授業内に適宜フィードバックをする。
・試験は、答案回収後、解答に関する質問があれば、随時質問を受け付ける。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:「理解度確認試験(85%)」「担当者による小レポート(10%)」「授業態度(5%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:「理解度確認試験(85%)」「担当者による小レポート(10%)」

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	言葉と文学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	日本の文学	講義	
担当者	水川　布美子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
日本の文学作品を通して、感受性を磨きながら読解力・理解力を身につける。同時に漢字・ことわざ・慣用句・四字熟語・敬語表現などの日本語能力を養う。

[授業概要]
時代や社会が異なっても、人間の本質は基本的に変わらない。古代人や平安貴族も恋に悩み、戦乱を生きた武人や市井の民も芸能に心を慰めた。さまざまな時代の流れの中で、人々は何を思い、何を残したのか。日本文学を通して、日本人の心、人生の意味、生きる知恵を学ぶ。
文学史の流れに沿って概論を説明した上で、上代から現代までの名著を選び、実際に作品を読む。そして映像資料を交えながら日本文学を楽しく解説する。同時に、就職試験での一般常識問題(国語分野)や、一般企業のみならず、公務員試験や教員採用試験でも多く活用されるようになった、SPIの言語問題対策として、毎時間、模擬問題等を用いて学習し、言語能力の向上を図る。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
本や新聞など、普段から文章を読み、分からない言葉や漢字を辞書で調べる習慣をつけましょう。
ネット上で行う毎回の小テストは、〆切までに解いて提出して下さい。また、次回のテキスト内容を読んでおいて下さい。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.ガイダンス・上代文学(「古事記」「万葉集」など)
2.中古文学①　和歌・物語・随筆(「古今集」「源氏物語」「枕草子」など)
3.中古文学②　日記・歴史物語・説話(「土佐日記」「大鏡」「今昔物語集」など)
4.中世文学①　和歌と随筆(「新古今和歌集」「方丈記」「徒然草」など)
5.中世文学②　軍記物語・歴史物語と能・狂言(「太平記」「平家物語」など)
6.近世文学①　小説(「雨月物語」「南総里見八犬伝」など)
7.近世文学②　俳諧・国学・劇文学(松尾芭蕉・本居宣長・井原西鶴など)
8.近代文学①　明治期の文学(森鴎外・夏目漱石・樋口一葉など)
9.近代文学②　大正期の文学(谷崎潤一郎・芥川龍之介・志賀直哉など)
10.近代文学③　昭和期の文学①(戦前)(川端康成・小林多喜二・太宰治など)
11.近代文学④　昭和期の文学②(戦後)(三島由紀夫・遠藤周作・井上靖など)
12.現代文学　平成・令和の文学
13.まとめ

科目名	言葉と文学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	日本の文学	講義	
担当者	水川　布美子		

[成績評価方法]
試験(70%)・授業中の課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出物に関して、次の授業で解説します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:毎回の小テストや提出物、最終試験で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:毎回の小テストや提出物、最終試験で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:毎回の小テストや提出物、最終試験で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:毎回の小テストや提出物、最終試験で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:毎回の小テストや提出物、最終試験で評価します。

[教科書(ISBN)]
書籍名:詳説　日本文学史 著者名: 出版社名:数研出版 ISBN:9784410338120

[参考書(ISBN)]

科目名	言葉と文学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	キーワードで読み解くアメリカの文学と社会	講義	
担当者	吉岡　志津世		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
アメリカの社会と文化を理解でき、アメリカの文学を通じて共感できる感性と想像力を持つことができる。

[授業概要]
アメリカはある意味で人為的に創られた国であり、広大な大地に様々な人種・民族が生を営んでいる。そして〈国〉としては独立してから250年足らずの若い国でもある。この若い国が今では世界の〈帝国〉として強大な力を有し、その力は境界をものともしない。そんなアメリカはどのような社会・文化的背景を持ち、人々はどのような〈文学〉の世界を育んできたのだろうか。ここでは、その世界を、通常の時系列ではなくいくつかのキーワードで読み解きながら、その多様な姿を見ていくと同時に関連する代表的な作家、作品・映像を鑑賞し、置かれた状況をそれぞれに背負いながら生き抜いている人の姿に、時と空間を超えて、共感できる感性と想像力を養いたい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回授業についての予習・復習4時間程度。
前回の授業内容の復習をするとともに (reflection comment)、次回の授業資料 (manaba) を参照し、キーワードにかかわる社会背景および取り上げる作家の人となりを概略押さえておくこと(事項調べ)。

[授業計画]
1. イントロダクション:キーワードで読み解くアメリカの文学と社会
2. 創られた国:独立革命とアメリカ建国の理念とWalt Whitman
3. アメリカン・ドリーム:アメリカ個人主義と成功への夢／悪夢
4. 夢のかたち :Theodore DreiserとF.Scott Fitzgerald + Reflection
5-6. 映像鑑賞: The Sun in a Place, The Great Gatsby ＋ディスカッション
7. 夢の喪失と危機: Ernest Hemingway と John Steinbeck + Reflection
8. 移民の国アメリカ:「メルティング・ポット」から「サラダ・ボウル」へ
9. 移民の国アメリカ:アフリカ系アメリカ文学
10. 移民の国アメリカ:日系アメリカ文学とアメリカインディアン文学
11. フロンティア・マインド:Mark TwainとTall Tale
12. アメリカ環境文学:Henry David Thoreau, Rachel Carson
13. まとめ

注)レポート提出や授業の伝達など、manaba を多用するので、必ず受信設定・登録をしておくこと。併せてPCを持参すること。
また、授業の進捗によって授業計画を調整することもあります。

科目名	言葉と文学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	キーワードで読み解くアメリカの文学と社会	講義	
担当者	吉岡　志津世		

[成績評価方法]
ミニレポート（リフレクション、事項調べ）30%＋レポート（ブックレポート、映像鑑賞レポート）30%＋確認テスト30%＋授業の取り組み（ディスカッション）10%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・リフレクション、事項調べ、授業の取り組みは授業にてフィードバック。
・テスト、レポートは manabaにてフィードバック。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	言葉と文学Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	ミュージカルの英語	講義	
担当者	西出　良郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英語の多様性を知る

[授業概要]
ジョージ・バーナード・ショーの戯曲『ピグマリオン』(1913)をもとに作られたミュージカル映画『マイ・フェア・レイディ』(1964)を鑑賞し、英語の多様性や階級社会についての見識を深める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業で扱う曲を事前に音読し、わからないこと、面白いと思ったことについての質問やコメントを用意しておいてください。

[授業計画]
1. 『マイ・フェア・レイディ』の紹介
2. 一幕. コヴェント・ガーデンのイライザ(Wouldn't It Loverly?)
3. ヘンリー・ヒギンズの言語学(Why Can't the English?)
4. イライザのお気楽な父(With A Little Bit Of Luck)
5. 今に見ていろ(Just You Wait)
6. スペインの雨(The Rain in Spain)
7. 踊りあかそう (I Could Have Danced All Night)
8. フレディーの思い(On the Street Where You live)
9. 二幕. トランシルヴァニア大使館の舞踏会
10. でかしたぞ(You Did It)
11. ヒギンズなんて要らないわ(Without You)
12. ヒギンズの反省　I've Grown Accustomed To Her Face
13. まとめ

科目名	言葉と文学Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	ミュージカルの英語	講義	
担当者	西出　良郎		

[成績評価方法]
小テスト、期末レポート

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
マナバ

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:Onlineで資料配付 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	言葉と文学Ⅳ	前期	2 単位
サブタイトル	世界の言語と文化	講義	
担当者	川森　博司、平坂　仁志、吉冨　文、出口　優木、C. チコーニャ、廣岡　江梨子、松田　真里、鈴木　宏節、J. 池田リツィウス、荘　千慧、チャン　ティフェ、髙城　建人		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
日本以外の諸国の言語と文化を理解し、グローバル現代の諸問題への理解と関心をもつようになる。

[授業概要]
本学の留学プログラムを利用して近年多くの学生が海外に留学し、異文化を体験するようになってきた。留学の機会がなくてもいろいろな国の文化に親しみ、本学で開講する各言語をより深く、楽しく勉強するために、この授業を企画した。
それぞれの国や地域の言語と文化について、テーマを立てて講義をおこなう。日本人教員だけではなく、ネイティブ・スピーカーの教員も多く登壇し、それぞれの国や地域について生の声を身近で聞くことができる。毎週1回で完結したテーマを提供する。

講義は日本語で行う。コーディネーターは 文学部史学科　川森博司。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業に出る前に、その国や地域についての基本知識を調べておく。特に興味ある国や地域の文化と講義テーマについては、配付されたフリントなどを参考にして、自らもっと深く調べ、自分の理解あるいは見解をレポートとしてまとめる。(各回、予習復習合わせて4時間程度)

[授業計画]
1. 世界の言語と文化:導入(川森博司)
2. 中国の言語と文化(平坂仁志)
3. 中国語圏の言語と文化(荘千慧)
4. イタリアの言語と文化(1)(吉冨文)
5. イタリアの言語と文化(2)(C. チコーニヤ)
6. フランスの言語と文化(1)(松田真里)
7. フランスの言語と文化(2)(出口優木)
8. フランスの言語と文化(3)(廣岡江梨子)
9. ドイツの言語と文化(J. 池田リツイウス)
10. ベトナムの言語と文化(チャン・ティフェ)
11. モンゴルの言語と文化(鈴木宏節)
12. 朝鮮半島の言語と文化(1)(高城建人)
13. 朝鮮半島の言語と文化(2)(川森博司)

科目名	言葉と文学Ⅳ	前期	2 単位
サブタイトル	世界の言語と文化	講義	
担当者	川森　博司、平坂　仁志、吉冨　文、出口　優木、C. チコーニャ、廣岡　江梨子、松田　真里、鈴木　宏節、J. 池田リツィウス、荘　千慧、チャン　ティフェ、髙城　建人		

[成績評価方法]
担当教員ごとに評価をおこない、その評価を総合する。(授業態度20%、レポート80%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中に指示する

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	自然と環境 I	後期	2 単位
サブタイトル	自然の中の物理学	メディア（講義）	
担当者	稲垣　善茂		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
自然の中に潜む物理法則の理解を目指す。一つ一つの物理現象を理解するための基礎的な素養を身につけ、自然現象を科学的視点から分析・探求できる力を習得する。

[授業概要]
【メディア授業】
講義はオンデマンド形式で、14回の動画（内、補講1回は出欠を取らない）と5回の小テスト（manaba）からなる。したがって自宅や大学校内でのPC閲覧が可能な環境の確保、講義時間外の課題はmanabaで提出するため、PCの購入を推奨する。自然界における物理法則について、高校の「物理基礎」を中心に、高校の「物理」、大学の基礎的な「物理学」を含めて概説する。基礎的な高校の物理の概略を復習しつつ、教員採用試験や公務員試験合格レベルの知識の習得を目指して講義を行う。これらの物理現象を理解するための基礎的な素養を身につけつつ、実際に物理の問題を解けるようになることを目指す。授業内容には小学校教育コースにおける小学校免許必須科目である「理科概説」「理科教育法」（エネルギー領域）における実験内容・指導案作成内容の原理・説明を含むので、小学校教職免許状取得を目指す学生には履修を勧める。教員採用試験や公務員試験受験希望者などで、高校での物理の達成度に不安を感じている一方で、大学で物理の履修が必要な学生向けである。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
準備学習として高等学校「物理基礎」をよく理解しておくこと。積み重ねが大切なので、前回の授業の内容を「manaba」の「小テスト」を利用してよく復習しておくこと。なお、テキストはpdfがmanabaからダウンロードできるので教科書,参考書は必ずしも必須ではない。予習復習の時間数は各回、合わせて4時間程度。

[授業計画]
第1回　運動の表し方（速度、加速度、落体の運動）
第2回　運動の法則1（力とそのはたらき）
第3回　運動の法則2（力のつりあい）
第4回　運動の法則3（運動の法則）
第5回　運動の法則4（摩擦を受ける運動、）
第6回　運動の法則5（液体や気体から受ける力、浮力）
第7回　仕事と力学的エネルギー1（仕事、運動エネルギー）
第8回　仕事と力学的エネルギー2（位置エネルギー、力学的エネルギーの保存）
第9回　熱とエネルギー1（熱と熱量、熱と物質の状態）
第10回　熱とエネルギー2（熱と仕事、不可逆的変化と熱機関）
第11回　物質と電気1（電気の性質、電流と電気抵抗1）
第12回　物質と電気2（電流と電気抵抗2）
第13回　物資と電気3（電気エネルギー）
＊動画視聴が出席に対応します。視聴時間がモニタリングされていますので、短縮視聴した場合には早退もしくは欠席扱いとなることがあります。

科目名	自然と環境 I	後期	2 単位
サブタイトル	自然の中の物理学	メディア（講義）	
担当者	稲垣　善茂		

[成績評価方法]
試験（「manaba」小テスト100%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業動画を公開（試験的にオンデマンド型授業にも対応）。manabaの小テストによる課題に対しては、課題締め切り後に、ポートフォリオに採点結果と正答が公開されるようになっています。ポートフォリオを確認して復習に利用してください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:「manaba」小テストにて

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:「manaba」小テストにて

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:「manaba」小テストにて

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:高等学校　物理基礎 著者名: 出版社名:数研出版 ISBN:

科目名	自然と環境Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	躍動する地球	メディア（講義）	
担当者	村田　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
今日の地球の姿をプレートの動きや地球の長い歴史の中で理解する。

[授業概要]
【メディア授業】
　地質学的時間、地球の歴史に伴う生命の誕生と進化、固体地球表層とくに海洋リソスフェアの構造や動きについて理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎回事前にmanabaにテキストをアップします。それを読み、おおまかな内容を予習し、疑問点を明確にしておきましょう。
授業は動画視聴により行います。毎週、動画視聴のためのURLをアップします（視聴期限あり）。
授業視聴後は、テキストとノートで復習をすること。
各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.太陽・月・地球
2.地質学的時間（相対年代・放射年代・地磁気による編年）
3.生命の誕生と進化①
4.生命の誕生と進化②
5.固体地球の内部
6..プレートテクトニクス①
7..プレートテクトニクス②
8..地層と化石・岩石①
9.地層と化石・岩石②
10.地震活動・火山活動
11..プルームテクトニクス
12.日本列島の形成
13.まとめ

科目名	自然と環境Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	躍動する地球	メディア（講義）	
担当者	村田　恵子		

[成績評価方法]
毎時間の課題（10%）・試験（90%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題については、次回授業の中で説明する。
試験は、希望者に解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:課題・試験

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	自然と環境Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	生活の中の化学	講義	
担当者	稲垣　善茂		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
「物質の構成」、「物質と化学結合」、「物質の変化」、「物質の状態と平衡」、「物質の変化と平衡」、「無機物質」などを理解し、一つ一つの化学現象を理解するための基礎的な素養を身につけることを目指します。高校での化学の理解度に不安を感じている一方で、家政学部系、教職系、公務員志望など大学で化学の学習が必要な学生向けの授業です。

[授業概要]
自然界に存在する粒子のふるまいを原子、分子レベルで解明する現代の化学について、高校の「化学基礎」「化学」を中心に、大学の「化学」「生化学」の一部を含みながら概説する。高校「化学基礎」「化学」における物質の探究、物質の構成粒子、イオン結合、共有結合、金属結合、粒子の結合と結晶、物質量と化学反応式、酸と塩基、酸化還元反応、物質の状態と平衡、物質の変化と平衡、無機物質など高校「化学」の領域を復習しつつ、大学レベルの基礎化学領域における化学反応機構などを紹介する。授業内容には小学校教育コースにおける小学校免許必修科目である「理科概説」「理科教育法」(化学領域)における実験内容・指導案作成内容の原理・説明を含む。また、酵素や生物の体内化学反応、高分子化合物など栄養学、家政学を理解するために必要な知識も含む。なお、講義中はデジタルテキストをmanabaから閲覧可とし、携帯電話、タブレット、PCの使用を認めている。講義時間外の課題はmanabaで提出するため、自前のタブレット、PCを推奨する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
準備学習として高等学校「化学基礎」をよく理解しておくこと。積み重ねが大切なので、前回の授業の内容を「manaba」の「小テスト」を利用してよく復習しておくこと。なお、テキストはpdfがmanabaからダウンロードできるので教科書,参考書は必ずしも必須ではない。予習復習の時間数は各回、合わせて4時間程度。

[授業計画]
第1回　ガイダンス、物質の構成:純物質と混合物
第2回　物質の構成:物質とその成分、物質の三態と熱運動
第3回　物質の構成粒子:原子とその構造、イオン
第4回　物質の構成粒子:周期表
第5回　粒子の結合:イオン結合、分子と共有結合
第6回　粒子の結合:分子間にはたらく力
第7回　粒子の結合:共有結合結晶、金属結合
第8回　物質量と化学反応式:原子量・分子量・式量
第9回　物質量と化学反応式:物質量
第10回　物質量と化学反応式:化学反応式と物質量
第11回　酸と塩基の反応:酸・塩基
第12回　酸と塩基の反応:水の電離と水溶液のpH
第13回　酸と塩基の反応:中和反応、塩

科目名	自然と環境Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	生活の中の化学	講義	
担当者	稲垣　善茂		

[成績評価方法]
試験(「manaba」小テスト100%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaの小テストによる課題に対しては、課題締め切り後に、ポートフォリオに採点結果と正答が公開されるようになっています。ポートフォリオを確認して復習に利用してください。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:「manaba」小テストにて

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:「manaba」小テストにて

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:「manaba」小テストにて

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:高等学校　化学基礎 著者名: 出版社名:数研出版 ISBN:

科目名	自然と環境Ⅳ	前期	2 単位
サブタイトル	生命の科学	講義	
担当者	稲垣　善茂		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
「細胞と分子」、「タンパク質と酵素」、「呼吸と光合成」、「免疫」、「DNA」などを理解し、生命体の発生・成長・生殖・老化や外部環境からの刺激など一つ一つの生命現象を理解するための基礎的な素養を身につけることを目指します。高校での生物の理解度に不安を感じている一方で、栄養系学科、教職、公務員志望など大学で生物の学習が必要な学生向けの授業です。

[授業概要]
生命現象を分子レベルで解明する現代の生物学について、高校の「生物基礎」「生物」を中心に、大学の「基礎分子生物学」の一部を含みながら概説する。高校「生物基礎」「生物」における「細胞、代謝、光合成、呼吸、生殖、発生」など基礎的な高校「生物」の領域を復習しつつ、大学レベルの基礎分子生物学領域における原核生物や真核生物の遺伝子構造及び発現調節機構などを紹介する。授業内容には小学校教育コースにおける小学校免許必修科目である「理科概説」「理科教育法」（生物領域）における実験内容・指導案作成内容の原理・説明を含む。また、酵素や生物の体内環境など栄養学を理解するために必要な知識も含む。さらに、この授業は教育学科の幼児教育コース選抜のための選択必修科目の1つでもある。なお、講義中はデジタルテキストをmanabaから閲覧可とし、携帯電話、タブレット、PCの使用を認めている。講義時間外の課題はmanabaで提出するため、自前のタブレット、PCの購入を推奨する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
高等学校「生物基礎」をよく理解しておくこと。前回の授業の内容を「manaba」の「小テスト」を利用して復習すること。なお、テキストはpdfがmanabaからダウンロードできるので教科書,参考書は必ずしも必須ではない。予習復習の時間数は各回、合わせて4時間程度。

[授業計画]
第1回　ガイダンス＆生体の構成、タンパク質の構造と性質
第2回　酵素の働き
第3回　細胞の構造と働き
第4回　細胞の活動とタンパク質
第5回　代謝とエネルギー
第6回　呼吸と発酵
第7回　光合成
第8回　腎臓と肝臓による調節
第9回　神経とホルモンによる調節
第10回　免疫
第11回　遺伝物質DNAの発見
第12回　情報高分子1：DNA、RNA、タンパク質
第13回　RNAの合成：転写、タンパク質の合成：翻訳、まとめ

科目名	自然と環境Ⅳ	前期	2 単位
サブタイトル	生命の科学	講義	
担当者	稲垣　善茂		

[成績評価方法]
試験(「manaba」小テスト100%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaの小テストによる課題に対しては、課題締め切り後に、ポートフォリオに採点結果と正答が公開されるようになっています。ポートフォリオを確認して復習に利用してください。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:「manaba」小テストにて

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:「manaba」小テストにて

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:「manaba」小テストにて

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:高等学校　生物 著者名: 出版社名:数研出版 ISBN:
書籍名:高等学校　生物基礎 著者名: 出版社名:数研出版 ISBN:

科目名	思想	後期	2 単位
サブタイトル	思想家との対話	メディア（講義）	
担当者	田中　美紀子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
西洋の思想を中心に、さまざまな思想家たちについて学びながら、自己理解を深め、他者と向き合いながらいかに現代世界の中で生きていくかを考えることができる。

[授業概要]
【メディア授業】
古代から現代までの主な西洋思想家の基本的な考えを学ぶ。授業はオンラインで行うが、受講生はまず、ガイドとなる教科書の指定された箇所を精読し、さらに日本語に訳された原典にあたり、思想家たちと「対話」するという姿勢をとりながら、自ら問いを立てて考え、ミニレポートを纏めたり、ディスカッションを行ったりする。そうすることで授業者と受講者の間に双方向性を確保する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
オンラインで授業を聞くだけでは単位修得はできない。指定されたテキストの箇所をあらかじめ読んでおくこと。ミニレポートを作成して提出(送信)する時間を確保すること。毎回の授業の予習・復習に3時間程度必要である。

[授業計画]
1. ガイダンス：根源（アルケー）とは？
2. 西洋思想の始まり
3. イデア論：ソクラテスとプラトン
4. 幸福とは？：アリストテレス
5. 快楽主義と禁欲主義：エピクロスとストア派
6. キリスト教の思想
7. 近代の思想：デカルト、ホッブズ、ロック
8. 啓蒙思想①：ルソー
9. 啓蒙思想②：カント
10. 20世紀の思想、実存主義：ハイデッガー、サルトル、ボーヴォワール
11. 現代の思想① 正義論
12. 現代の思想② フェミニズム
13. 総括

科目名	思想	後期	2 単位
サブタイトル	思想家との対話	メディア（講義）	
担当者	田中　美紀子		

[成績評価方法]
ミニレポート・小テスト（40%）、最終レポートあるいは筆記試験(60%)。受講生全員を収容できるスペースを確保できる場合は、教室で筆記試験を実施する可能性がある。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内あるいはKISSを通して。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度、ミニレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度、ミニレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度、ミニレポート、筆記試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業態度、ミニレポート、筆記試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:ミニレポート、筆記試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業態度、ミニレポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:はじめて学ぶ西洋思想 著者名:村松　茂美 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623041527

[参考書（ISBN）]
書籍名:よくわかる哲学・思想 著者名:納富　信留 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623084104
書籍名:西洋哲学史 著者名:熊野　純彦 出版社名:岩波書店 ISBN:9784004310075
書籍名:西洋哲学史 著者名:熊野　純彦 出版社名:岩波書店 ISBN:9784004310082
書籍名:ケアの倫理 著者名:岡野 八代 出版社名:岩波書店 ISBN:9784004320012
書籍名:教育にひそむジェンダー 著者名:中野 円佳 出版社名:筑摩書房 ISBN:9784480076632

科目名	宗教	後期	2 単位
サブタイトル	世界の宗教(宗教入門)	講義	
担当者	小田　麟太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	コメントシートを用いた主体的学習	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
宗教がどのように我々の生活に影響を与えているのか、なぜそれを知る必要があるのかについて理解すること。様々な宗教の特徴について比較を通して理解し、世界的な宗教問題について考える視座を獲得すること。宗教的な文化芸術の背景について知ること。

[授業概要]
宗教は古代から近代に至るまで世界の社会、文化をリードしてきたいわば我々の社会の親とも言うべき存在です。宗教的な問題は世界中で大きな関心をもって取り上げられますが、一方で日本では比較的関心を持たれない傾向にあります。この授業ではそれぞれの教えに関する基礎知識を確認し、その現代社会に与える影響について考える中で、皆さんが宗教的な問題に向き合う際の姿勢を培うことを目指します。また、様々な宗教芸術作品や建築についても適宜紹介します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業で配布したプリントをよく読んで、復習と予習合わせて2時間程度で準備しておく。授業内容と自身の生活との関わりについて考えたり、授業のテーマと内容的に関係する報道などに関心を持つ。

[授業計画]
1、ガイダンス
2、世界の宗教と宗教を学ぶ意味
3、ユダヤ教①
4、ユダヤ教②
5、キリスト教①
6、キリスト教②
7、イスラム教①
8、イスラム教②
9、仏教①
10、仏教②
11、神道
12、宗教と日本文化
13、まとめ

科目名	宗教	後期	2 単位
サブタイトル	世界の宗教(宗教入門)	講義	
担当者	小田　麟太郎		

[成績評価方法]
授業内ミニレポート(60%)、最終テスト(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内でフィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:ミニレポート及び期末試験で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:ミニレポート及び期末試験で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:ミニレポート及び期末試験で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:ミニレポート及び期末試験で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:ミニレポート及び期末試験で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:ミニレポート及び期末試験で評価

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:世界が分かる宗教社会学入門 著者名:橋爪大三郎 出版社名:筑摩書房 ISBN:4480422277

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山下　義史		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎)
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

※コンピュータの台数が限られていますので、受講人数を制限することがあります。

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山下　義史		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート、課題のフィードバックは、授業時間で全体に向けて行うとともに、必要な場合は個別に行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:30時間アカデミックOffice2021 著者名:杉本くみ子 出版社名:実教出版 ISBN:9784407359435

[参考書（ISBN）]

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用 していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。
小中学校勤務歴31年の者が教育現場における情報教育についてアシストします。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用 していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。
小中学校勤務歴31年の者が教育現場における情報教育についてアシストします。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用 していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。
小中学校勤務歴31年の者が教育現場における情報教育についてアシストします。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で必要に応じて適宜お知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:タイピング、課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報A	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用 していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。
小中学校勤務歴31年の者が教育現場における情報教育についてアシストします。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報A	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用 していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。
小中学校勤務歴31年の者が教育現場における情報教育についてアシストします。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報A	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で必要に応じて適宜お知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:タイピング、課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報A	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で必要に応じて適宜お知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:タイピング、課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	平田　真弓		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	平田　真弓		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題やレポートは、添削して返却します。また、必要に応じて個別に問題点等を指摘し、改善を求めます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：家政1-3／人文科学、社会科学、自然科学、情報処理等の基礎的な知識をもち、生活に関する問題解決のために活かすことが

成績評価方法：上記成績評価方法と同様

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記成績評価方法と同様

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記成績評価方法と同様

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記成績評価方法と同様

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記成績評価方法と同様

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報A	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用 していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。
小中学校勤務歴31年の者が教育現場における情報教育についてアシストします。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報A	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用 していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。
小中学校勤務歴31年の者が教育現場における情報教育についてアシストします。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で必要に応じて適宜お知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報A	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で必要に応じて適宜お知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:タイピング、課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報A	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる
②ワードを使って文書処理ができる
③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる
④インターネットを適切に利用できる

[授業概要]
高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
タッチタイピングの練習　及び　前回の講義の復習

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得
2. インターネット、タッチタイピング
3. 電子メール、文書作成の基礎
4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷
5. 情報セキュリティ、文書の編集
6. コンピュータのハードウェア、表の作成
7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い
8. データサイエンス入門1:表計算の基礎
9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式
10. データサイエンス入門3 :関数
11. データサイエンス入門4:基本統計
12. データサイエンス入門5:データ集計と可視化
13. まとめ

科目名	情報A	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
タイピング（10%）、課題（70%）、最終レポート（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:タイピング、課題、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報B	前期	2 単位
サブタイトル		メディア（演習）	
担当者	山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とします。
①AI・データサイエンスの必要性を説明できる。
②社会で活用されているデータ・AI活用の事例を例示できる。
③データの活用方法について説明できる。
④データ・AIを扱う上で留意事項を説明できる。

[授業概要]
【メディア授業】
情報化社会において、AI・データサイエンスに関して興味・関心を持ち、AI時代に身に付けておくべき素養（新たな読み書きそろばん）を修得し、日常や仕事の場で使いこなせるようになることは重要です。本授業は、広い様々な視点からAI・データサイエンスに関して基礎的な知識を習得し、日常の生活や仕事で使いこなせるようになる内容を扱います。学修方法は以下の通りです。
・指定のe-Learning教材を活用し、すべてオンライン上で学修する。
・動画コンテンツを視聴し、途中でメモを取り、わからない用語を調べながら学修する。
・週ごとに用意されている小テストを受け、13週目で最終レポートを出題する。
　小中学校勤務歴31年の者が教育現場における情報教育についてアシストします。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
指定のe-Learning教材を用いた学修及び前回講義の１時間程度の復習に努めてください。
なお、各回の動画コンテンツの視聴率を授業の出欠として反映します。視聴率100%を出席、70%までを遅刻、70%未満を欠席として扱います。

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、データサイエンスとは
2. 社会で起きている変化
3. 社会で活用されているデータ
4. データ・AIの活用領域
5. データ・AI利活用のための技術
6. データ活用とは
7. データ・AI利活用の現場
8. データ・AI利活用の最新動向
9. データを読む
10. データを説明する
11. データを扱う
12. データ・AIを扱う上での留意事項
13. データを守る上での留意事項とまとめ

科目名	情報B	前期	2 単位
サブタイトル		メディア（演習）	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
課題（70%）、最終レポート（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
e-Learning教材で示される小テスト等において、解答や採点結果がフィードバックされますので学修に役立ててください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報B	前期	2 単位
サブタイトル		メディア（演習）	
担当者	竹田　和恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とする。
①AI・データサイエンスの必要性を説明できる
②社会で活用されているデータ・AI活用の事例を例示できる
③データの活用方法について説明できる
④データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる

[授業概要]
【メディア授業】
AI・データサイエンスに関して興味・関心を持ち、AI時代に身に付けておくべき素養（新たな読み書きそろばん）を修得し、日常や仕事の場で使いこなせるようになることが大切である。本授業は、広い様々な視点からAI・データサイエンスに関して基礎的な知識を修得し、日常の生活や仕事で使いこなせるようになる内容を扱う。学修方法は以下の通りである。
・指定のe-Learning教材を活用し、全てオンライン上で学修する
・各回の動画コンテンツを全て視聴し、途中でメモを取り、分からない用語を調べながら学修する
・各回ごとに用意されている確認テストを指定の期限までに提出し、第13回以降に最終レポートを提出する

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
指定のe-Learning教材の学修及び　前回の講義の復習
各回の動画コンテンツの視聴率を授業の出欠として反映する。視聴率100%を出席、70%までを遅刻、70%未満を欠席として扱う。

[授業計画]
1. 本講義のガイダンス、データサイエンスとは
2. 社会で起きている変化
3. 社会で活用されているデータ
4. データ・AIの活用領域
5. データ・AI利活用のための技術
6. データ活用とは
7. データ・AI利活用の現場
8. データ・AI利活用の最新動向
9. データを読む
10. データを説明する
11. データを扱う
12. データ・AIを扱う上での留意事項
13. データを守る上での留意事項とまとめ

科目名	情報B	前期	2 単位
サブタイトル		メディア（演習）	
担当者	竹田　和恵		

[成績評価方法]
確認テスト（70%）、最終レポート（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
確認テストで示される採点結果を踏まえ、動画と資料を再度見直すこと。質問等があれば担当教員が対応する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:確認テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:確認テスト、最終レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:確認テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:確認テスト

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	女性 I	前期	2 単位
サブタイトル	女性学	メディア（講義）	
担当者	大淵　裕美		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
身近な事例を通してジェンダーに関する知識を身につけ、社会に応用できる実践能力を養う。問題が生まれる社会背景を知り、問題解決の方法を考えられるようになる。

[授業概要]
【メディア授業】
SDGsの目標の一つである「ジェンダー」は近年注目を集めており、私たちの将来のあり方を考える上で非常に大事な科目です。「ジェンダー」という言葉をよく知らない人も、「LGBT」、「セクハラ」、「男女共同参画」という言葉は聞いたことがあるのではないでしょうか。私たちの将来や社会の在り方を考える上で、女性も男性も「ジェンダー学」を学ぶことは今とても重要になっています。ジェンダー学とは、わたしたちが性別をいかに認識し、慣習や文化として構築しているのか、また性別は社会システムの中でどのように機能しているのか考えるために、性別の社会的・文化的側面を学び調査研究や理論構築を行う学問です。本講義ではさまざまな視点からジェンダーについて学びます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
授業内容に関連するニュースや身近な問題などを予習して、授業に臨むこと(各講義の予習復習は4時間程度)

[授業計画]
【メディア授業（Teams）】
1. オリエンテーション・ジェンダー・多様な性とは

＜研究・運動のあゆみ＞
2.女性学・ジェンダー研究の歩み
3.男性学研究・男らしさとジェンダー

＜グローバリゼーション＞
4.国際的なジェンダー政策
5.開発とジェンダー

＜近世・近代日本の歩み＞
6.女子教育とジェンダー
7.労働とジェンダー

＜現代日本の課題＞
8.家族・食事とジェンダー
9.言葉とジェンダー
10.災害とジェンダー
11.ハラスメントとジェンダー
12.ポップカルチャーとジェンダー
13.本授業のまとめ

科目名	女性 I	前期	2 単位
サブタイトル	女性学	メディア（講義）	
担当者	大淵　裕美		

[成績評価方法]
毎回の授業内での課題・小テスト（60%）、定期試験（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・毎回提出するコメントシートについては、確認して次回授業時に全体に共有します。
・毎授業時にmanabaにて実施する小テストは、自動採点時に解答・解説が閲覧できるように設定します。
・試験後、解答の解説を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題・小テスト・定期試験

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	女性Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	女性と仕事	講義	
担当者	小河　洋子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
日本の女性雇用労働者が置かれている状況と問題を、個別・具体的に理解する。また、問題の当事者になった場合でも、どうすれば自分なりに納得のいく対処ができるのかについて多角的に考えられるようになる。

[授業概要]
日本では働く女性の数は年々増加し、企業も女性を積極的に登用していると言われています。
働く女性と言っても、正社員がいれば派遣社員やパートタイムで働く人、初職の職場で働き続ける人がいれば転職する人、一度退職し何年かのブランクを経て再就職する人などその状況は多様化しており一概に語ることはできません。しかし、働いていて良かったと思えることや辞めてしまいたいと思うことなど、いろんなことが起こるという共通点はあります。
また女性が働くことは、結婚や子育てや介護などの家族の問題とも密接に関わってきます。それらの出来事が、なぜ女性に偏って起こるのか、その理由は何なのか、どうすれば状況を変えることができるのかを中心に理解を深めます。
卒業後の進路だけでなく、生涯にわたって働くことをどう位置づけるのかについて、一人ひとりが自分のこととして考え人生を切り拓いていくのに役立つような授業をめざします。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
・授業計画を見て、各回のテーマに関連する新聞記事やニュース等を確認し、関心を持つこと。
・配布資料は授業で説明がない部分も一通り読んでおくこと。
・関心を持ったテーマについては、参考図書を読んで理解を深めること。

[授業計画]
1. 女性にとっての仕事とは～個人の希望と社会の期待のねじれ
2. 女性雇用労働者の権利を保障する法律
3. 雇用労働における男女の格差と偏り　賃金・労働時間・キャリア
4. 多様な女性雇用労働者①　正社員・一般職
5. 多様な女性雇用労働者②　正社員・総合職
6. 多様な女性雇用労働者③　パートタイム労働
7. 多様な女性雇用労働者④　派遣社員
8. 働き続けることと妊娠・出産
9. 職場の問題①　セクシュアル・ハラスメント
10. 職場の問題②　セクシュアル・ハラスメントの対処
11. 職場の問題③　パワー・ハラスメントとその対処
12. 事例から考える①　職場の問題を仲間と解決する
13. 事例から考える②　男女賃金差別裁判

科目名	女性Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	女性と仕事	講義	
担当者	小河　洋子		

[成績評価方法]
試験(50%)・レポート①(12%)・レポート②(12%)・毎回の授業参加度評価(26%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
毎回の授業で回答したアンケートや提出したコメントカードの感想は、次の回の資料としてフィードバックします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:毎回の授業参加度評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート①

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:毎回の授業参加度評価、レポート②

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:毎回の授業参加度評価、レポート①、レポート②、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:レポート①、レポート②、試験

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	女性Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	女性と健康 （女性に関わる健康科学）	メディア（講義）	
担当者	吉川 豊、奥野 直、松本 衣代、玉木 敦子、小路 浩子、洪 愛子、小島 理永、服部 律子、斎藤 あつ子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
「女性」という観点から、健康科学の実際について解説を受け、新しい生命を生む性である女性の精神と身体の特徴および疾患との関連について理解することを目標とする。

[授業概要]
【メディア授業】
学内外の研究者、メディカル・コメディカル分野の専門の先生方により、それぞれの専門分野における女性の心身の特性に基づく健康のあり方を医学・看護学・栄養学を中心にオムニバス講義を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと、日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。各回、予習復習合わせて4時間程度必要とする。

[授業計画]
1. 微量元素と健康　吉川豊（神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科）
2. 女性の生涯を通じた健康支援①　服部 律子（神戸女子大学看護学部看護学科）
3. 女性の生涯を通じた健康支援②　服部 律子（神戸女子大学看護学部看護学科）
4. 女性とメンタルヘルス　玉木 敦子（神戸女子大学看護学部看護学科）
5. 女性を支える地域保健　小路 浩子（神戸女子大学看護学部看護学科）
6. 女性と介護　木村 あい（神戸女子大学健康福祉学部社会福祉学科）
7. 水と健康　奥野直（神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科）
8. 母子感染する感染症　斎藤あつ子（神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科）
9. 女性と運動　小島 理永（神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科）
10. 肥満とダイエット　松本衣代（神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科）
11. 女性の健康-血液サラサラと疾病-　横川晃治（学外特別講師）
12. 女性の健康-サプリメントと健康-　寺尾啓二（学外特別講師）
13. 1-12のまとめ　吉川豊（神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科）

※講師の都合により、順序が入れ替わることがあります。

科目名	女性Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル	女性と健康 （女性に関わる健康科学）	メディア（講義）	
担当者	吉川 豊、奥野 直、松本 衣代、玉木 敦子、小路 浩子、洪 愛子、小島 理永、服部 律子、斎藤 あつ子		

[成績評価方法]
各回manabaなどでレポート、ならびに、まとめの課題を提出させ成績評価を行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
全ての授業終了後確認し、必要に応じ返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:各回のレポートとまとめの試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:各回のレポートとまとめの試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:各回のレポートとまとめの試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:各回のレポートとまとめの試験

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	女性Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル	女性史	メディア（講義）	
担当者	大淵　裕美		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
世界の「女性史」を学び、現代につながるジェンダー格差の問題を理解する。

[授業概要]
【メディア授業】
世界の「女性史」を学ぶことで、現代の男女格差の問題を紐解きます。人間の営みの半分は女性たちによって支えられてきたにも関わらず、歴史の舞台に登場する女性の数が少ないのは、女性が重要な出来事に関わってこなかったからではなく、「歴史」が男性中心で書かれていたからです。本講義では、ヨーロッパの女性たちの主要な実践や思考を紹介することで、現在私たちが抱えているさまざまな女性の問題、ジェンダー格差について学びます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎回の授業内容に即した一般的な歴史の基礎知識を予習して、授業に臨むこと(各講義の予習復習は4時間程度)

[授業計画]
【メディア授業（Teams）】
1. オリエンテーション
2. フランスⅠ
3. フランスⅡ
4. イギリスⅠ
5. イギリスⅡ
6. アメリカⅠ
7. アメリカⅡ
8. ドイツⅠ
9. ドイツⅡ
10. ロシアⅠ
11. ロシアⅡ
12. 世界規模で広がる女性の連帯の輪
13. 本授業のまとめ

科目名	女性Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル	女性史	メディア（講義）	
担当者	大淵　裕美		

[成績評価方法]
毎回の授業内での課題・小テスト（60%）、定期試験（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・課題については、確認して次回授業時に全体に共有します。
・授業時にmanabaにて実施する小テストは、自動採点時に解答・解説が閲覧できるように設定します。
・定期試験は試験終了直後に解説します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題・小テスト・定期試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:ジェンダーの西洋史　3訂版 著者名:井上 洋子　著者代表 出版社名:法律文化社 ISBN:9784589034045

[参考書（ISBN）]

科目名	心理学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	心理学Ⅰ	講義	
担当者	久木山　健一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
人間の心理と行動に関して心理学からの知見や考え方を学びます。

[授業概要]
「心理学Ⅱ」とあわせて，人間の心理と行動に関する心理学のさまざまな分野での知見や理論を概説します。「心理学Ⅰ」では、日常的で具体的な心の働きについて，その背景にあるメカニズムと共に学ぶことを目指します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回の授業で学んだことを復習し，自分自身の日常生活で出会う体験と照らし合わせて理解を深めるた上で次回の授業に臨んでください。各回、予習復習合わせて4時間程度の準備を求めます。

[授業計画]
1 心理学とは
2 心理学の歴史
3 ”感じる”心のメカニズム
4 ”覚える”心のメカニズム
5 ”わかる”心のメカニズム
6 ”決める”心のメカニズム
7 ″やる気が出る”心のメカニズム
8 ”できるようになる″心のメカニズム
9 ″共感する″心のメカニズム
10 ″癒される″心のメカニズム
11 ″仕事をする″心のメカニズム
12 心を「見える化」する方法
13 まとめ

科目名	心理学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	心理学Ⅰ	講義	
担当者	久木山　健一		

[成績評価方法]
毎回の小テスト(40&%)，定期試験(60%)で成績評価します。ただし，定期試験が実施できない場合は，毎回の小テスト(60%)，レポート課題(40%)で成績評価を行います。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:心理学概論 著者名:山口裕幸 出版社名:サイエンス社 ISBN:9784781914800

[参考書(ISBN)]

科目名	心理学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	心理学Ⅱ	講義	
担当者	久木山　健一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
人間の心理と行動に関して心理学からの知見や考え方を学びます。

[授業概要]
「心理学Ⅰ」とあわせて，人間の心理と行動に関する心理学のさまざまな分野での知見や理論を概説します。「心理学Ⅱ」では、「心理学Ⅰ」で学んだ日常的かつ具体的な心理学に関する知識を，心理学の各分野の研究と結びつけて理論的に理解できるようになることを目指します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回の授業で学んだことを復習し，自分自身の日常生活で出会う体験と照らし合わせて理解を深めるた上で次回の授業に臨んでください。各回、予習復習合わせて4時間程度の準備を求めます。

[授業計画]
1 心理学と関連諸領域
2 心理学史
3 感覚・知覚心理学
4 記憶の心理学
5 認知心理学
6 意思決定の心理学
7 動機づけの心理学
8 発達心理学
9 社会心理学
10 臨床心理学
11 産業心理学
12 心理測定法
13 まとめ

科目名	心理学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	心理学Ⅱ	講義	
担当者	久木山　健一		

[成績評価方法]
毎回の小テスト(40&%)，定期試験(60%)で成績評価します。ただし，定期試験が実施できない場合は，毎回の小テスト(60%)，レポート課題(40%)で成績評価を行います。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:心理学概論 著者名:山口裕幸 出版社名:サイエンス社 ISBN:9784781914800

[参考書(ISBN)]

科目名	数学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	数学と数的思考	講義	
担当者	穴田　恭輔		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
自然、文化、日常生活の中に潜む数学の不思議さを感得し、数的思考および論理的思考力を培う。

[授業概要]
近年、数学に対する生徒の興味や関心が低くなっていると言われる。しかし、私たちの身の回りには、多くの数学が潜んでいる。また、日常生活のコミュニケーションは論理の上に成り立っており、筋道を立てて考える・表現する力は、人として社会で生きるための必須の力である。
身近な数学、不思議な数学を学びながら、数的思考および論理的思考力を培う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前時までの復習をする。

[授業計画]
1. 自然や文化の中の数学
2. 三段論法
3. 命題論理(かつ, または, 否定)
4. 命題論理の応用
5. 数えること～位取り記数法
6. 規則を見つけての数え上げ
7. 集合・関係・類別
8. 合同式
9. 連立合同式
10. ピックの定理
11. 2次方程式の解
12. 3次方程式の解
13. まとめ

科目名	数学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	数学と数的思考	講義	
担当者	穴田　恭輔		

[成績評価方法]
各回の発表(50%)、試験(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。採点が済んだ試験を返却します。希望者はとりにきてください。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:発表、試験

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	数学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	統計学入門	講義	
担当者	穴田　恭輔		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
自ら課題を設定し、データを集め、結果を予想し、必要な統計的処理をほどこして、予測や結果を評価できる。表計算ソフトを統計処理に利用できる。

[授業概要]
講義では、統計学の基本的な概念の「理解」と、基本的な技法が「つかえる」ことをめざす。また、表計算ソフト(Excel)を常時利用する。PC教室で行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前時までの復習に加え、各回の課題を提出してから次の授業に臨む。

[授業計画]
1. データの整理
2. 代表値
3. 平均値
4. かたよりとばらつき
5. 分散、標準偏差
6. 相関係数
7. 回帰直線
8. 正規分布
9. 標準正規分布
10. 推定と検定
11. 各自の課題の設定と検討
12. 各自の課題の検討と完成
13. まとめ

科目名	数学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	統計学入門	講義	
担当者	穴田　恭輔		

[成績評価方法]
各回の発表（30%）、提出物（30%）、試験（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出ファイルには修正案を付けて返却します。修正が求められたら，再提出してください。
採点が済んだ試験を返却します。希望者はとりにきてください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:発表、提出物、試験

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	関　和俊		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	なし	反転授業	なし
ディスカッション・ディベート	なし	グループワーク	○
プレゼンテーション	なし	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバドミントン基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につけることができるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
（バドミントン）
1. オリエンテーション、バドミントンの用具やコートの説明
2. バドミントンの基礎姿勢とリストワーク
3. 基礎運動①オーバーヘッドストローク
4. 基礎運動②サイドステップ
5. 基礎運動③ハイクリアとドロップ
6. 基礎運動④ヘアピンとドライブ
7. 基礎運動⑤スマッシュ
8. シングルス競技の進め方、ルールの説明
9. シングルス試合
10. ダブルス競技の進め方、ルールの説明
11. ダブルス試合①
12. ダブルス試合②
13. ダブルス試合③

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	関　和俊		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

［ 到達目標 ］
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバドミントン基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

［ 授業概要 ］
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

［ 授業計画 ］
本年度・開講予定種目

【バドミントン】
担当教員：大崎健太

1. オリエンテーション、バドミントンの用具やコートの説明
2. バドミントンの基礎姿勢とリストワーク
3. 基礎運動①オーバーヘッドストローク
4. 基礎運動②サイドステップ
5. 基礎運動③ハイクリアとドロップ
6. 基礎運動④ヘアピンとドライブ
7. 基礎運動⑤スマッシュ
8. シングルス競技の進め方、ルールの説明
9. シングルス試合
10. ダブルス競技の進め方、ルールの説明
11. ダブルス試合①
12. ダブルス試合②
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大松　敬子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバドミントン基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
1. オリエンテーション、バドミントンの用具やコートの説明
2. バドミントンの基礎姿勢とリストワーク・ミニゲーム
3. 基礎運動①オーバーヘッドストローク・ミニゲーム
4. 基礎運動②サイドステップ・ミニゲーム
5. 基礎運動③ハイクリアとドロップ・ミニゲーム
6. 基礎運動④ヘアピンとドライブ・ミニゲーム
7. 基礎運動⑤スマッシュ・ミニゲーム
8. シングルス競技の進め方、ルールの説明、試合
9. シングルス試合
10. ダブルス競技の進め方、ルールの説明、試合
11. ダブルス試合①守備位置を考える
12. ダブルス試合②多彩な技を使用する
13. まとめ

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大松　敬子		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で説明、解説します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	西山　清子		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

［ 到達目標 ］
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバドミントン基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける。
バドミントンの楽しさを堪能できる。

［ 授業概要 ］
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

［ 授業計画 ］
本年度・開講予定種目

（バドミントン）

1. オリエンテーション、バドミントンの用具やコートの説明
2. バドミントンの基礎姿勢とリストワーク
3. 基礎運動①オーバーヘッドストローク
4. 基礎運動②サイドステップ
5. 基礎運動③ハイクリアとドロップ
6. 基礎運動④ヘアピンとドライブ
7. 基礎運動⑤スマッシュ
8. シングルス競技の進め方、ルールの説明
9. シングルス試合
10. ダブルス競技の進め方、ルールの説明
11. ダブルス試合①
12. ダブルス試合②
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	西山　清子		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	金谷　和幸		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

［ 到達目標 ］
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバドミントン基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

［ 授業概要 ］
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

［ 授業計画 ］
本年度・開講予定種目

【バドミントン】

1. オリエンテーション、バドミントンの用具やコートの説明
2. バドミントンの基礎姿勢とリストワーク
3. 基礎運動①オーバーヘッドストローク
4. 基礎運動②サイドステップ
5. 基礎運動③ハイクリアとドロップ
6. 基礎運動④ヘアピンとドライブ
7. 基礎運動⑤スマッシュ
8. シングルス競技の進め方、ルールの説明
9. シングルス試合
10. ダブルス競技の進め方、ルールの説明
11. ダブルス試合①
12. ダブルス試合②
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	金谷　和幸		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大松　敬子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバドミントン基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
1. オリエンテーション、バドミントンの用具やコートの説明
2. バドミントンの基礎姿勢とリストワーク・ミニゲーム
3. 基礎運動①オーバーヘッドストローク・ミニゲーム
4. 基礎運動②サイドステップ・ミニゲーム
5. 基礎運動③ハイクリアとドロップ・ミニゲーム
6. 基礎運動④ヘアピンとドライブ・ミニゲーム
7. 基礎運動⑤スマッシュ・ミニゲーム
8. シングルス競技の進め方、ルールの説明、試合
9. シングルス試合
10. ダブルス競技の進め方、ルールの説明、試合
11. ダブルス試合①守備位置を考える
12. ダブルス試合②多彩な技を使用する
13. まとめ

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大松　敬子		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で説明、解説します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大松　敬子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバドミントン基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
1. オリエンテーション、バドミントンの用具やコートの説明
2. バドミントンの基礎姿勢とリストワーク・ミニゲーム
3. 基礎運動①オーバーヘッドストローク・ミニゲーム
4. 基礎運動②サイドステップ・ミニゲーム
5. 基礎運動③ハイクリアとドロップ・ミニゲーム
6. 基礎運動④ヘアピンとドライブ・ミニゲーム
7. 基礎運動⑤スマッシュ・ミニゲーム
8. シングルス競技の進め方、ルールの説明、試合
9. シングルス試合
10. ダブルス競技の進め方、ルールの説明、試合
11. ダブルス試合①守備位置を考える
12. ダブルス試合②多彩な技を使用する
13. まとめ

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大松　敬子		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で説明、解説します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

［ 到達目標 ］
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバドミントン基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

［ 授業概要 ］
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

［ 授業計画 ］
本年度・開講予定種目

【バドミントン】
担当教員：大崎健太

1. オリエンテーション、バドミントンの用具やコートの説明
2. バドミントンの基礎姿勢とリストワーク
3. 基礎運動①オーバーヘッドストローク
4. 基礎運動②サイドステップ
5. 基礎運動③ハイクリアとドロップ
6. 基礎運動④ヘアピンとドライブ
7. 基礎運動⑤スマッシュ
8. シングルス競技の進め方、ルールの説明
9. シングルス試合
10. ダブルス競技の進め方、ルールの説明
11. ダブルス試合①
12. ダブルス試合②
13. まとめ

＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバレーボールの基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
（バレーボール）

1. ガイダンス　講義の進め方と評価方法
2. ルール説明　審判方法　ネット設置方法
3. 基礎運動①アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク)
4. 基礎運動②オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動)
5. 基礎運動③スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法)
6. 基礎運動④サーブ(アンダー、オーバー、フローターサーブ)
7. 基礎運動⑤ブロック(サイドステップ、クロスステップ)
8. 応用運動①対人パス、ランニングパス、三角パストス
9. 応用運動②レシーブトス、3人レシーブ
10. 応用運動③サーブレシーブトス、スパイク
11. ゲーム班別対抗戦
12. ゲーム班別対抗戦
13. ゲーム班別対抗戦
＜＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。＞

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	栗田　昇平		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバレーボールの基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
（バレーボール）

1. ガイダンス　講義の進め方と評価方法
2. ルール説明　審判方法　ネット設置方法
3. 基礎運動①アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク)
4. 基礎運動②オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動)
5. 基礎運動③スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法)
6. 基礎運動④サーブ(アンダー、オーバー、フローターサーブ)
7. 基礎運動⑤ブロック(サイドステップ、クロスステップ)
8. 応用運動①対人パス、ランニングパス、三角パストス
9. 応用運動②レシーブトス、3人レシーブ
10. 応用運動③サーブレシーブトス、スパイク
11. ゲーム班別対抗戦
12. ゲーム班別対抗戦
13. ゲーム班別対抗戦
＜＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。＞

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	栗田　昇平		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートの提出はmanabaに入れてください。
メールでは受付しませんので注意してください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバレーボールの基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
（バレーボール）

1. ガイダンス　講義の進め方と評価方法
2. ルール説明　審判方法　ネット設置方法
3. 基礎運動①アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク)
4. 基礎運動②オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動)
5. 基礎運動③スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法)
6. 基礎運動④サーブ(アンダー、オーバー、フローターサーブ)
7. 基礎運動⑤ブロック(サイドステップ、クロスステップ)
8. 応用運動①対人パス、ランニングパス、三角パストス
9. 応用運動②レシーブトス、3人レシーブ
10. 応用運動③サーブレシーブトス、スパイク
11. ゲーム班別対抗戦
12. ゲーム班別対抗戦
13. ゲーム班別対抗戦
＜＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。＞

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバレーボールの基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
本年度・開講予定種目

【バレーボール】
担当教員：大崎健太

1. ガイダンス　講義の進め方と評価方法
2. ルール説明　審判方法　ネット設置方法
3. 基礎運動①アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク)
4. 基礎運動②オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動)
5. 基礎運動③スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法)
6. 基礎運動④サーブ(アンダー、オーバー、フローター―サーブ)
7. 基礎運動⑤ブロック(サイドステップ、クロスステップ)
8. 応用運動①対人パス、ランニングパス、三角パストス
9. 応用運動②レシーブトス、3人レシーブ
10. 応用運動③サーブレシーブトス、スパイク
11. ゲーム班別対抗戦
12. ゲーム班別対抗戦
13. ゲーム班別対抗戦
＜＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。＞

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバレーボールの基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
（バレーボール）

1. ガイダンス　講義の進め方と評価方法
2. ルール説明　審判方法　ネット設置方法
3. 基礎運動①アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク)
4. 基礎運動②オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動)
5. 基礎運動③スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法)
6. 基礎運動④サーブ(アンダー、オーバー、フローターサーブ)
7. 基礎運動⑤ブロック(サイドステップ、クロスステップ)
8. 応用運動①対人パス、ランニングパス、三角パストス
9. 応用運動②レシーブトス、3人レシーブ
10. 応用運動③サーブレシーブトス、スパイク
11. ゲーム班別対抗戦
12. ゲーム班別対抗戦
13. ゲーム班別対抗戦
＜＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。＞

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバレーボールの基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
（バレーボール）

1. ガイダンス　講義の進め方と評価方法
2. ルール説明　審判方法　ネット設置方法
3. 基礎運動①アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク)
4. 基礎運動②オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動)
5. 基礎運動③スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法)
6. 基礎運動④サーブ(アンダー、オーバー、フローターサーブ)
7. 基礎運動⑤ブロック(サイドステップ、クロスステップ)
8. 応用運動①対人パス、ランニングパス、三角パストス
9. 応用運動②レシーブトス、3人レシーブ
10. 応用運動③サーブレシーブトス、スパイク
11. ゲーム班別対抗戦
12. ゲーム班別対抗戦
13. ゲーム班別対抗戦
＜＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。＞

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	金谷　和幸		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバレーボールの基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
（バレーボール）

1. ガイダンス　講義の進め方と評価方法
2. ルール説明　審判方法　ネット設置方法
3. 基礎運動　アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク)
4. 基礎運動　オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動)
5. 基礎運動　スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法)
6. 基礎運動　サーブ(アンダー、オーバー、フローターサーブ)
7. 基礎運動　ブロック(サイドステップ、クロスステップ)
8. 応用運動　対人パス、ランニングパス、三角パストス　ゲーム
9. 応用運動　レシーブトス、3人レシーブ　ゲーム
10. 応用運動　サーブレシーブトス、スパイク　ゲーム
11. ゲーム班別対抗戦
12. ゲーム班別対抗戦まとめ
13. まとめ
＜＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。＞

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	金谷　和幸		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートの提出は直接もしくはメールにてお願いします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるバレーボールの基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
（バレーボール）

1. ガイダンス　講義の進め方と評価方法
2. ルール説明　審判方法　ネット設置方法
3. 基礎運動①アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク)
4. 基礎運動②オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動)
5. 基礎運動③スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法)
6. 基礎運動④サーブ(アンダー、オーバー、フローターサーブ)
7. 基礎運動⑤ブロック(サイドステップ、クロスステップ)
8. 応用運動①対人パス、ランニングパス、三角パストス
9. 応用運動②レシーブトス、3人レシーブ
10. 応用運動③サーブレシーブトス、スパイク
11. ゲーム班別対抗戦
12. ゲーム班別対抗戦
13. ゲーム班別対抗戦
＜＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。＞

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でお知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	金谷　和幸		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる応用的な技術やルール・マナーなどを身につける。習得した技能やチームメイトとのコミュニケーションを図り、戦術を用いてゲームを楽しむことができるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間づくりにも役立たせたい。実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。同種目を期ごとに重複して受講し、技能を高めることができる。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食・中食をしっかり食べること。運動負荷が大きくなるので、日ごろから体を動かし水分補給を習慣とすること。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
本年度・開講予定種目
（受講生が15名以上で開講するが、人数により種目を調整する。）

（バレーボール）

1. ガイダンス　講義の進め方と評価方法
2. ルール説明　審判方法　ネット設置方法
3. 基礎運動　アンダーハンドパス(構えの姿勢、腕の組み方、ステップワーク)
4. 基礎運動　オーバーハンドパス(回内動作、上肢下肢の連動)
5. 基礎運動　スパイク(3歩助走、腕の振りあげ、スイング方法)
6. 基礎運動　サーブ(アンダー、オーバー、フロータ―サーブ)
7. 基礎運動　ブロック(サイドステップ、クロスステップ)
8. 応用運動　対人パス、ランニングパス、三角パストス　ゲーム
9. 応用運動　レシーブトス、3人レシーブ　ゲーム
10. 応用運動　サーブレシーブトス、スパイク　ゲーム
11. ゲーム班別対抗戦
12. ゲーム班別対抗戦まとめ
13. まとめ
＜＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります。＞

科目名	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	金谷　和幸		

[成績評価方法]
技能(50%)、受講態度(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートの提出はmanabaに入れてください。
メールでは受付しませんので注意してください。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大松　敬子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる卓球の基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。また、シングル・ダブルスともに身に着けた技能と戦術を用いて試合ができるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食・中食をしっかり食べること。運動負荷が大きくなるので、日ごろから体を動かし水分補給を習慣とすること。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 基礎練習（打ち方、姿勢、ラケットの種類、グリップ）＋ゲーム（ルール説明を中心に）
3. 基礎練習（ラリー）
4. 基礎練習（サービス）＋ゲーム形式練習（シングルス）
5. 基礎練習（フォアハンド打法）＋フォアハンドラリー ＋ゲーム形式練習（シングルス）
6. 基礎練習（バックハンド打法）＋ゲーム形式練習（シングルス）
7. 基礎練習（スマッシュ）＋ゲーム（シングルス）
8. 基礎練習（ドライブ打法）＋ゲーム（ダブルス）
9. ゲーム（ダブルス1）ペアとの交互打ちを習得する
10. ゲーム（ダブルス2）相手の苦手なコースを狙える
11. ゲーム（ダブルス3）攻撃技術を使用する
12. ゲーム（団体戦）
13. まとめ

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大松　敬子		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートの提出はmanabaに入れてください。
メールに送付する場合は連絡します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大松　敬子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して、仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がる卓球の基礎技術(skill)やルール・マナーなどを身につける。また、シングル・ダブルスともに身に着けた技能と戦術を用いて試合ができるようになる。

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムである。より高いレベルのウエルネスライフを構築し、生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニケーション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食・中食をしっかり食べること。運動負荷が大きくなるので、日ごろから体を動かし水分補給を習慣とすること。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 基礎練習（打ち方、姿勢、ラケットの種類、グリップ）＋ゲーム（ルール説明を中心に）
3. 基礎練習（ラリー）
4. 基礎練習（サービス）＋ゲーム形式練習（シングルス）
5. 基礎練習（フォアハンド打法）＋フォアハンドラリー ＋ゲーム形式練習（シングルス）
6. 基礎練習（バックハンド打法）＋ゲーム形式練習（シングルス）
7. 基礎練習（スマッシュ）＋ゲーム（シングルス）
8. 基礎練習（ドライブ打法）＋ゲーム（ダブルス）
9. ゲーム（ダブルス1）ペアとの交互打ちを習得する
10. ゲーム（ダブルス2）相手の苦手なコースを狙える
11. ゲーム（ダブルス3）攻撃技術を使用する
12. ゲーム（団体戦）
13. まとめ

科目名	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大松　敬子		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートの提出はmanabaに入れてください。
メールに送付する場合は連絡します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるテニスの基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
1. オリエンテーション、テニスの用具やコートの説明
2. テニスのルールや基礎技術の説明
3. 基礎技術①フォアハンドストローク
4. 基礎技術②バックハンドストローク
5. 基礎技術③ボレー
6. 基礎運動④サーブ
7. 基礎運動⑤ダブルスの戦術理解
8. 基礎運動⑥シングルスの戦術理解
9. 基礎運動⑦ゲーム形式練習
10. 試合の進め方、ルールの説明
11. ダブルスの試合
12. シングルスの試合
13. まとめ
＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	住本　純		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:技能、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:技能、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:技能、受講態度

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	住本　純		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

［ 到達目標 ］
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるテニスの基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

［ 授業概要 ］
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

［ 授業計画 ］
本年度・開講予定種目

【テニス】
担当教員：住本　純

1. オリエンテーション、テニスの用具やコートの説明
2. テニスのルールや基礎技術の説明
3. 基礎技術①フォアハンドストローク
4. 基礎技術②バックハンドストローク
5. 基礎技術③ボレー
6. 基礎運動④サーブ
7. 基礎運動⑤ダブルスの戦術理解
8. 基礎運動⑥シングルスの戦術理解
9. 基礎運動⑦ゲーム形式練習
10. 試合の進め方、ルールの説明
11. ダブルスの試合
12. シングルスの試合
13. まとめ
＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	後期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	住本　純		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:技能、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:技能、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:技能、受講態度

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレイを通して仲間とのコミュニケーションを図りながら、生涯スポーツに繋がるテニスの基礎的技術（skill)やルール・マナーなどを身につける

[授業概要]
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。より高いレベルのウエルネスライフを構築し生き甲斐を模索すると同時に、仲間とのコミュニーケション能力を高めていく。使用する用具は大学のものを活用する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食をしっかり食べる。
また、受講種目に関連するスポーツ種目についてメディアを通して、情報を得ること。

[授業計画]
1. オリエンテーション、テニスの用具やコートの説明
2. テニスのルールや基礎技術の説明
3. 基礎技術①フォアハンドストローク
4. 基礎技術②バックハンドストローク
5. 基礎技術③ボレー
6. 基礎運動④サーブ
7. 基礎運動⑤ダブルスの戦術理解
8. 基礎運動⑥シングルスの戦術理解
9. 基礎運動⑦ゲーム形式練習
10. 試合の進め方、ルールの説明
11. ダブルスの試合
12. シングルスの試合
13. まとめ
＊コロナ禍等の社会的状況により、変更する可能性があります

科目名	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	前期	1 単位
サブタイトル	生涯スポーツの構築	実技	
担当者	大崎　健太		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で知らせします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツ実技Ⅴ（学外）	後期	1 単位
サブタイトル	水泳	実技	
担当者	大沼　勇人、小島　理永、住本　純		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

［ 到達目標 ］
技能に応じて安全にスポーツを楽しむ。
生涯スポーツの一つとして、水泳を習得する。

［ 授業概要 ］
スポーツ実技選択は、基礎トレーニングを修得した人に、更にスポーツを愛好し生涯スポーツへと発展させるためのプログラムを準備している。
実技は、技術レベルや経験の有無に関係なくレベルに合った指導がなされるので誰でもが受講可能である。

開講種目は水泳を行う。
技能に応じて安全にスポーツを楽しむ。

受講定員15人名の人数に満たない場合は不開講とする。1～4回生の基礎トレーニング修了者で、内科検診に異常の無い人を対象とする。
下記説明会にて詳細を説明するので、申し込み登録を行った者に限る。

2025年1月19日時点で、日程および実施場所は未定である。

【履修希望者への説明会】
希望者は必ず下記の日時の説明会に参加すること
《須磨》2025年5月12日（月）12:45～　説明会
《 PI 》2025年5月14日（水）12:45～　説明会

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
毎日規則正しい生活を送り、深くて十分な睡眠を取り、早寝早起き、朝食を摂る。
日常的によく体を動かしたり、意図的に運動を実施しておくことが望ましい。

［ 授業計画 ］
1. 概要説明
2. グループ分け
3. 基礎技術　浮く
4. 基礎技術　姿勢（仰向き）
5. 基礎技術　姿勢とキック①
6. 基礎技術　姿勢とキック②
7. 基礎技術　キックと呼吸方法
8. 基礎技術　腕の動作
9. 基礎技術　腕の動作と呼吸方法
10. クロール25m
11. 平泳ぎ25m
12. クロール・平泳ぎ25m
13. まとめ

科目名	スポーツ実技Ⅴ（学外）	後期	1 単位
サブタイトル	水泳	実技	
担当者	大沼　勇人、小島　理永、住本　純		

[成績評価方法]
技能（50%）、受講態度（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内等で連絡します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:受講態度・技能

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	スポーツと健康の科学	前期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	関　和俊		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	授業で出されたテーマに関する課題、演習等（軽運動を含む）。	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
生涯にわたる生きがいやライフスタイルの構築にむけ、その基盤となる健康や体力に関する基礎的知識を習得することで、個々人が日常生活において健康科学に基づいたに対処および行動ができる。

[授業概要]
科学技術の発達によって日常生活の身体的負担は軽減する一方で、運動不足病と総称されるように運動不足が危険因子（リスクファクター）となる疾病は数多い。このように身体活動が健康に及ぼす影響は多大である。健康を支える要因の解明としては、疫学、心理学、情報科学、社会学等の分野で検証が行われている。そこで本講義では、多角的な視点を通して生涯を通した健康、運動、スポーツの捉え方について考えを深めていくことを目的とする。また、運動の重要性および健康づくりについて理解し習慣化して実践できるよう、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃から健康に関する記事や映像などから情報を得るようにしておくこと。また、運動、スポーツについて興味関心を抱き、積極的に実施すること。

[授業計画]
1. 健康とQOL
2. ヘルスリテラシー
3. 人口の動向と少子・超高齢化社会（ロコモ度テスト）
4. 心と健康、ストレス
5. 運動・休養と健康
6. 栄養と健康
7. 生活習慣病と運動
8. 体力の測定と評価。女性アスリートの3主徴。
9. トレーニング、フィットネスとは
10. 救命救急法（一次救命・応急処置法・RICE・テーピング）
11. 飲酒、喫煙、感染症について
12. 妊娠と出産 （女性のからだ、高齢出産、避妊、母子衛生）
13. まとめ

科目名	スポーツと健康の科学	前期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	関　和俊		

[成績評価方法]
試験・課題レポート（60%）、授業態度（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎授業で授業において、授業のテーマについて講義を受けながらまとめレポートを作成し授業終了時に提出する。
添削して翌週に返却する。返却されたレポートは各自で保管する。
書き方や要点などは授業等で説明・解説する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツと健康の科学	後期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	西山　清子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	授業で出されたテーマに関する課題、演習等（軽運動を含む）。	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
生涯にわたる生きがいやライフスタイルの構築にむけ、その基盤となる健康や体力に関する基礎的知識を習得することで、個々人が日常生活において健康科学に基づいたに対処および行動ができる。

[授業概要]
科学技術の発達によって日常生活の身体的負担は軽減する一方で、運動不足病と総称されるように運動不足が危険因子（リスクファクター）となる疾病は数多い。このように身体活動が健康に及ぼす影響は多大である。健康を支える要因の解明としては、疫学、心理学、情報科学、社会学等の分野で検証が行われている。そこで本講義では、多角的な視点を通して生涯を通した健康、運動、スポーツの捉え方について考えを深めていくことを目的とする。また、運動の重要性および健康づくりについて理解し習慣化して実践できるよう、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃から健康に関する記事や映像などから情報を得るようにしておくこと。また、運動、スポーツやについて興味関心を抱き、積極的に実施すること。

[授業計画]
1. 健康とQOL
2. ヘルスリテラシー
3. 人口の動向と少子・超高齢化社会（ロコモ度テスト）
4. 心と健康、ストレス
5. 運動・休養と健康
6. 栄養と健康
7. 生活習慣病と運動
8. 体力の測定と評価。女性アスリートの3主徴。
9. トレーニング、フィットネスとは
10. 救命救急法（一次救命・応急処置法・RICE・テーピング）
11. 飲酒、喫煙、感染症について
12. 妊娠と出産 （女性のからだ、高齢出産、避妊、母子衛生）
13. まとめ

科目名	スポーツと健康の科学	後期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	西山　清子		

[成績評価方法]
試験・課題レポート（60%）、授業態度（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎授業で授業において、授業のテーマについて講義を受けながらまとめレポートを作成し授業終了時に提出する。
添削して翌週に返却する。返却されたレポートは各自で保管する。
書き方や要点などは授業等で説明・解説する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツと健康の科学	前期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	西山　清子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	授業で出されたテーマに関する課題、演習等（軽運動を含む）。	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
生涯にわたる生きがいやライフスタイルの構築にむけ、その基盤となる健康や体力に関する基礎的知識を習得することで、個々人が日常生活において健康科学に基づいたに対処および行動ができる。

[授業概要]
科学技術の発達によって日常生活の身体的負担は軽減する一方で、運動不足病と総称されるように運動不足が危険因子（リスクファクター）となる疾病は数多い。このように身体活動が健康に及ぼす影響は多大である。健康を支える要因の解明としては、疫学、心理学、情報科学、社会学等の分野で検証が行われている。そこで本講義では、多角的な視点を通して生涯を通した健康、運動、スポーツの捉え方について考えを深めていくことを目的とする。また、運動の重要性および健康づくりについて理解し習慣化して実践できるよう、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃から健康に関する記事や映像などから情報を得るようにしておくこと。また、運動、スポーツやについて興味関心を抱き、積極的に実施すること。

[授業計画]
1. 健康とQOL
2. ヘルスリテラシー
3. 人口の動向と少子・超高齢化社会（ロコモ度テスト）
4. 心と健康、ストレス
5. 運動・休養と健康
6. 栄養と健康
7. 生活習慣病と運動
8. 体力の測定と評価。女性アスリートの3主徴。
9. トレーニング、フィットネスとは
10. 救命救急法（一次救命・応急処置法・RICE・テーピング）
11. 飲酒、喫煙、感染症について
12. 妊娠と出産 （女性のからだ、高齢出産、避妊、母子衛生）
13. まとめ

科目名	スポーツと健康の科学	前期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	西山　清子		

[成績評価方法]
試験・課題レポート（60%）、授業態度（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎授業で授業において、授業のテーマについて講義を受けながらまとめレポートを作成し授業終了時に提出する。
添削して翌週に返却する。返却されたレポートは各自で保管する。
書き方や要点などは授業等で説明・解説する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツと健康の科学	前期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	西山　清子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	授業で出されたテーマに関する課題、演習等（軽運動を含む）。	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
生涯にわたる生きがいやライフスタイルの構築にむけ、その基盤となる健康や体力に関する基礎的知識を習得することで、個々人が日常生活において健康科学に基づいたに対処および行動ができる。

[授業概要]
科学技術の発達によって日常生活の身体的負担は軽減する一方で、運動不足病と総称されるように運動不足が危険因子（リスクファクター）となる疾病は数多い。このように身体活動が健康に及ぼす影響は多大である。健康を支える要因の解明としては、疫学、心理学、情報科学、社会学等の分野で検証が行われている。そこで本講義では、多角的な視点を通して生涯を通した健康、運動、スポーツの捉え方について考えを深めていくことを目的とする。また、運動の重要性および健康づくりについて理解し習慣化して実践できるよう、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃から健康に関する記事や映像などから情報を得るようにしておくこと。また、運動、スポーツやについて興味関心を抱き、積極的に実施すること。

[授業計画]
1. 健康とQOL
2. ヘルスリテラシー
3. 人口の動向と少子・超高齢化社会（ロコモ度テスト）
4. 心と健康、ストレス
5. 運動・休養と健康
6. 栄養と健康
7. 生活習慣病と運動
8. 体力の測定と評価。女性アスリートの3主徴。
9. トレーニング、フィットネスとは
10. 救命救急法（一次救命・応急処置法・RICE・テーピング）
11. 飲酒、喫煙、感染症について
12. 妊娠と出産 （女性のからだ、高齢出産、避妊、母子衛生）
13. まとめ

科目名	スポーツと健康の科学	前期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	西山　清子		

[成績評価方法]
試験・課題レポート（60%）、授業態度（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎授業で授業において、授業のテーマについて講義を受けながらまとめレポートを作成し授業終了時に提出する。
添削して翌週に返却する。返却されたレポートは各自で保管する。
書き方や要点などは授業等で説明・解説する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツと健康の科学	後期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	西山　清子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	授業で出されたテーマに関する課題、演習等（軽運動を含む）。	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
生涯にわたる生きがいやライフスタイルの構築にむけ、その基盤となる健康や体力に関する基礎的知識を習得することで、個々人が日常生活において健康科学に基づいたに対処および行動ができる。

[授業概要]
科学技術の発達によって日常生活の身体的負担は軽減する一方で、運動不足病と総称されるように運動不足が危険因子（リスクファクター）となる疾病は数多い。このように身体活動が健康に及ぼす影響は多大である。健康を支える要因の解明としては、疫学、心理学、情報科学、社会学等の分野で検証が行われている。そこで本講義では、多角的な視点を通して生涯を通した健康、運動、スポーツの捉え方について考えを深めていくことを目的とする。また、運動の重要性および健康づくりについて理解し習慣化して実践できるよう、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃から健康に関する記事や映像などから情報を得るようにしておくこと。また、運動、スポーツやについて興味関心を抱き、積極的に実施すること。

[授業計画]
1. 健康とQOL
2. ヘルスリテラシー
3. 人口の動向と少子・超高齢化社会（ロコモ度テスト）
4. 心と健康、ストレス
5. 運動・休養と健康
6. 栄養と健康
7. 生活習慣病と運動
8. 体力の測定と評価。女性アスリートの3主徴。
9. トレーニング、フィットネスとは
10. 救命救急法（一次救命・応急処置法・RICE・テーピング）
11. 飲酒、喫煙、感染症について
12. 妊娠と出産 （女性のからだ、高齢出産、避妊、母子衛生）
13. まとめ

科目名	スポーツと健康の科学	後期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	西山　清子		

[成績評価方法]
試験・課題レポート（60%）、授業態度（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎授業で授業において、授業のテーマについて講義を受けながらまとめレポートを作成し授業終了時に提出する。
添削して翌週に返却する。返却されたレポートは各自で保管する。
書き方や要点などは授業等で説明・解説する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	スポーツと健康の科学	後期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	西山　清子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	授業で出されたテーマに関する課題、演習等（軽運動を含む）。	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
生涯にわたる生きがいやライフスタイルの構築にむけ、その基盤となる健康や体力に関する基礎的知識を習得することで、個々人が日常生活において健康科学に基づいたに対処および行動ができる。

[授業概要]
科学技術の発達によって日常生活の身体的負担は軽減する一方で、運動不足病と総称されるように運動不足が危険因子（リスクファクター）となる疾病は数多い。このように身体活動が健康に及ぼす影響は多大である。健康を支える要因の解明としては、疫学、心理学、情報科学、社会学等の分野で検証が行われている。そこで本講義では、多角的な視点を通して生涯を通した健康、運動、スポーツの捉え方について考えを深めていくことを目的とする。また、運動の重要性および健康づくりについて理解し習慣化して実践できるよう、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃から健康に関する記事や映像などから情報を得るようにしておくこと。また、運動、スポーツやについて興味関心を抱き、積極的に実施すること。

[授業計画]
1. 健康とQOL
2. ヘルスリテラシー
3. 人口の動向と少子・超高齢化社会（ロコモ度テスト）
4. 心と健康、ストレス
5. 運動・休養と健康
6. 栄養と健康
7. 生活習慣病と運動
8. 体力の測定と評価。女性アスリートの3主徴。
9. トレーニング、フィットネスとは
10. 救命救急法（一次救命・応急処置法・RICE・テーピング）
11. 飲酒、喫煙、感染症について
12. 妊娠と出産 （女性のからだ、高齢出産、避妊、母子衛生）
13. まとめ

科目名	スポーツと健康の科学	後期	2 単位
サブタイトル	理論と実践を通じた生涯にわたる健康・運動に関する教養	講義	
担当者	西山　清子		

[成績評価方法]
試験・課題レポート（60%）、授業態度（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎授業で授業において、授業のテーマについて講義を受けながらまとめレポートを作成し授業終了時に提出する。
添削して翌週に返却する。返却されたレポートは各自で保管する。
書き方や要点などは授業等で説明・解説する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕、大森　正子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
学生自身が主体性、社会性、人間力を育て、大きく成長していく「イニシエーション」の過程として位置づける生涯学習のプロセスであり、学習によって自覚的に育った学生たちが、将来主体性のある“市民”として、それぞれの生きる地域社会の核として貢献できることを目標とする。

[授業概要]
大学での講義、演習を中心とはせず、学生自らの興味、関心に基づいて様々な地域社会で催されている行事、活動に社会貢献活動の一環として主体的に参加する。
履修期間は通年（1年）として、次年度へのポイントを持越すことはできない。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃から学生一人一人の興味関心を常に社会に向け、様々な情報を収集すること。また各種の出来事について積極的で主体的な学修態度を涵養するよう、普段から意識して生活すること。

[授業計画]
地域学習は、最初に行う事前授業を受講し、その後は、学生がそれぞれの目的に沿って、地域社会の行事、活動などに参加することを学習内容とする。
1. 学習は地域社会の行事、活動（学校、施設等を含む）に9回以上参加した上で、最終講義日にまとめのレポートを提出する。
2. 主催者への参加申込は原則として本人が行うが、申し込み後の取止めは出来ない。
万が一、参加キャンセルをする場合は、必ず代替え者を立てる事。
3. 回数の数え方は、原則1日単位とし、時間の長短は行事によって異なる。
4. 履修登録した学生に「履修カード」と「活動記録」を発行する。その際担当教員も決定する。
5. 参加の確認は、履修登録をした学生に発行する「履修カード」と「活動記録」に、参加した行事、活動の責任者等の押印をもらうこと。
6.「活動記録」冊子に毎回活動を記録し、各行事の担当者に提出し、確認を受ける。
最終授業等において、活動実績の発表を行い、到達目標に対する自己評価を行う。
7. 最終レポートは、最初に登録した学部の担当教員に提出する。
8. 学生の参加は、大学の授業時間外の時間帯、日程で行うことを原則とする。
9. 基本的に毎月ごと「地域学習の時間」を設けて、それぞれの現状の確認、行事の案内等を行うので、必ず受講すること。日程等は、その都度、A館1階の地域連携推進事務室にて掲示するので、各自で確認すること。

科目名	地域学習	前期～後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕、大森　正子		

[成績評価方法]
活動、行事への参加確認（85%）と最終レポート。活動報告等（15%）による評価とする。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	中国語Ⅰ（速習）	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉山　志郎、孫　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。
2.中国語の基礎的な語彙と文法について理解し、習得する。
3.中国語の簡単な会話文を聞いて理解し、自分で使うことができる。

[授業概要]
　中国語を初めて学ぶ人向けに、週2回のリレー形式の授業で中国語の発音から初級半ばまでを学ぶ。中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
1.教科書付属の音声教材を聴いて、教科書本文を朗読する。
2.毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
1.「会話編」第一課+日中異文化動画
2.「講読編」第一課+日中異文化動画
3.「会話編」第二課+日中異文化動画
4.「講読編」第二課+日中異文化動画
5.「会話編」第三課+日中異文化動画
6.「講読編」第三課+日中異文化動画
7.「会話編」第四課+日中異文化動画
8.「講読編」第四課+日中異文化動画
9.「会話編」第五課
10.「講読編」第五課
11.「会話編」第五課
12.「講読編」第五課
13.「会話編」第六課
14.「講読編」第六課
15.「会話編」第六課
16.「講読編」第六課
17.「会話編」第七課
18.「講読編」第七課
19.「会話編」第七課
20.「講読編」第七課
21.「会話編」第八課
22.「講読編」第八課
23.「会話編」第八課
24.「講読編」第八課
25.「会話編」第一課～第八課のまとめ、試験
26.「講読編」第一課～第八課のまとめ、試験

科目名	中国語Ⅰ（速習）	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉山　志郎、孫　輝		

[成績評価方法]
授業中の発表や課題20%、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト40%　、まとめの試験40%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:①『初級中国語 会話編（改訂版）』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 出版社名:金星堂 ISBN:978-4-7647-0729-0
書籍名:②『初級中国語 講読編（改訂版）』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 出版社名:金星堂 ISBN:978-4-7647-0730-6

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	中国語Ⅰ（速習）	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條　智恵、陳　静		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。
2.中国語の基礎的な語彙と文法について理解し、習得する。
3.中国語の簡単な会話文を聞いて理解し、自分で使うことができる。

[授業概要]
中国語を初めて学ぶ人向けに、週2回のリレー形式の授業で中国語の発音から初級半ばまでを学ぶ。中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
1.教科書付属の音声教材を聴いて、教科書本文を朗読する。
2.毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
1.「会話編」第一課+日中異文化動画
2.「講読編」第一課+日中異文化動画
3.「会話編」第二課+日中異文化動画
4.「講読編」第二課+日中異文化動画
5.「会話編」第三課+日中異文化動画
6.「講読編」第三課+日中異文化動画
7.「会話編」第四課+日中異文化動画
8.「講読編」第四課+日中異文化動画
9.「会話編」第五課
10.「講読編」第五課
11.「会話編」第五課
12.「講読編」第五課
13.「会話編」第六課
14.「講読編」第六課
15.「会話編」第六課
16.「講読編」第六課
17.「会話編」第七課
18.「講読編」第七課
19.「会話編」第七課
20.「講読編」第七課
21.「会話編」第八課
22.「講読編」第八課
23.「会話編」第八課
24.「講読編」第八課
25.「会話編」第一課～第八課のまとめ、試験
26.「講読編」第一課～第八課のまとめ、試験

科目名	中国語Ⅰ（速習）	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條　智恵、陳　静		

[成績評価方法]
授業中の発表や課題20%、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト40%　、まとめの試験40%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後教室にて受付

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の発表や課題、授業中実施のテスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業中の発表や課題、授業中実施のテスト

[教科書（ISBN）]
書籍名:初級中国語　会話編 著者名:奥村佳代子 出版社名:金星堂 ISBN:9784764707030
書籍名:初級中国語　講読編 著者名:奥村佳代子 出版社名:金星堂 ISBN:9784764707047

[参考書（ISBN）]

科目名	中国語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條　智恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。
2.中国語の簡化字「簡体字」の字形を理解し、書くことができる。
3.中国語の基礎語彙200語程度を使うことができる。
4.中国語の入門段階の文法（動詞述語、形容詞述語文、存在文の肯定形・否定形・各種疑問文など）を理解し、文を組み立てることができる。
5.中国語のごく簡単な会話文を聞いて理解できる。

[授業概要]
　ーから中国語を始める人向けに、中国語について詳しく解説し、豊富な練習によって中国語習得の確かな基礎を固めるための授業である。中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。
英語以外の外国語を学ぶことで、外国語観をより豊かにし、世界の多様性を理解することにもつながる。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
1.教科書付属のCDを聴いて、教科書本文を朗読する。
2.毎課の新出語句と補充語句の発音を事前に練習しよう。毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
1. 第一課+日中異文化動画
2. 第二課+日中異文化動画
3. 第三課+日中異文化動画
4. 第四課+日中異文化動画
5. 第五課
6. 第五課
7. 第六課
8. 第六課
9. 第七課
10. 第七課
11. 第八課
12. 第八課
13. 第一課～第八課のまとめ、試験

科目名	中国語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條　智恵		

[成績評価方法]
授業中の発表や課題20%、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト40%、まとめの試験40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaもしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:初級中国語　会話編 著者名:奥村佳代子 出版社名:金星堂 ISBN:9784764707030

[参考書(ISBN)]

科目名	中国語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉山　志郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。
2.中国語の簡化字「簡体字」の字形を理解し、書くことができる。
3.中国語の基礎語彙200語程度を使うことができる。
4.中国語の入門段階の文法（動詞述語、形容詞述語文、存在文の肯定形・否定形・各種疑問文など）を理解し、文を組み立てることができる。
5.中国語のごく簡単な会話文を聞いて理解できる。

[授業概要]
　一から中国語を始める人向けに、中国語について詳しく解説し、豊富な練習によって中国語習得の確かな基礎を固めるための授業である。中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。
　英語以外の外国語を学ぶことで、外国語観をより豊かにし、世界の多様性を理解することにもつながる。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
1.教科書付属のCDを聴いて、教科書本文を朗読する。
2.毎課の新出語句と補充語句の発音を事前に練習しよう。毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
授業計画
1. 第一課+日中異文化動画
2. 第二課+日中異文化動画
3. 第三課+日中異文化動画
4. 第四課+日中異文化動画
5. 第五課
6. 第五課
7. 第六課
8. 第六課
9. 第七課
10. 第七課
11. 第八課
12. 第八課
13. 第一課～第八課のまとめ、試験

科目名	中国語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉山　志郎		

[成績評価方法]
授業中の発表や課題20%、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト40%　、まとめの試験40%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:『初級中国語 会話編（改訂版）』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 出版社名:金星堂 ISBN:978-4-7647-0729-0

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	中国語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條　智恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。
2.中国語の簡化字「簡体字」の字形を理解し、書くことができる。
3.中国語の基礎語彙200語程度を使うことができる。
4.中国語の入門段階の文法（動詞述語、形容詞述語文、存在文の肯定形・否定形・各種疑問文など）を理解し、文を組み立てることができる。
5.中国語のごく簡単な会話文を聞いて理解できる。

[授業概要]
一から中国語を始める人向けに、中国語について詳しく解説し、豊富な練習によって中国語習得の確かな基礎を固めるための授業である。中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。
英語以外の外国語を学ぶことで、外国語観をより豊かにし、世界の多様性を理解することにもつながる。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
1.教科書付属のCDを聴いて、教科書本文を朗読する。
2.毎課の新出語句と補充語句の発音を事前に練習しよう。毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
1. 第一課+日中異文化動画
2. 第二課+日中異文化動画
3. 第三課+日中異文化動画
4. 第四課+日中異文化動画
5. 第五課
6. 第五課
7. 第六課
8. 第六課
9. 第七課
10. 第七課
11. 第八課
12. 第八課
13. 第一課～第八課のまとめ、試験

科目名	中国語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條　智恵		

[成績評価方法]
授業中の発表や課題20%、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト40%、まとめの試験40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:初級中国語　会話編 著者名:奥村佳代子 出版社名:金星堂 ISBN:9784764707030

[参考書(ISBN)]

科目名	中国語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	平坂　仁志		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。
2.中国語の簡化字「簡体字」の字形を理解し、書くことができる。
3.中国語の基礎語彙200語程度を使うことができる。
4.中国語の入門段階の文法（動詞述語、形容詞述語文、存在文の肯定形・否定形・各種疑問文など）を理解し、文を組み立てることができる。
5.中国語のごく簡単な会話文を聞いて理解できる。

[授業概要]
　ーから中国語を始める人向けに、中国語について詳しく解説し、豊富な練習によって中国語習得の確かな基礎を固めるための授業である。中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。
英語以外の外国語を学ぶことで、外国語観をより豊かにし、世界の多様性を理解することにもつながる。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
1.教科書付属のCDを聴いて、教科書本文を朗読する。
2.毎課の新出語句と補充語句の発音を事前に練習しよう。毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
1. 第一課+日中異文化動画
2. 第二課+日中異文化動画
3. 第三課+日中異文化動画
4. 第四課+日中異文化動画
5. 第五課
6. 第五課
7. 第六課
8. 第六課
9. 第七課
10. 第七課
11. 第八課
12. 第八課
13. 第一課～第八課のまとめ、試験

科目名	中国語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	平坂　仁志		

[成績評価方法]
授業中の発表や課題20%、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト40%　、まとめの試験40%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manabaもしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:初級中国語（会話編）　自分のことばで話す中国語～改訂版 著者名: 出版社名:金星堂 ISBN:9784764707290

[参考書（ISBN）]

科目名	中国語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條　智恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。
2.中国語の簡化字「簡体字」の字形を理解し、書くことができる。
3.中国語の基礎語彙500語程度を使うことができる。
4.中国語の初級段階の文法(助動詞、前置詞、連動文、二重目的語文、完了相、進行相、持続相、変化の“了”など)を理解し、文を組み立てることができる。
5.中国語のごく簡単な会話文を聞いて理解できる。

[授業概要]
半年学んだ中国語の初歩を忘れないように復習しつつ、初級中国語の半ばまでを学ぶ。授業で一層の練習を積み、中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
1.教科書付属のCDを聴いて、教科書本文を朗読する。
2.毎課の新出語句と補充語句の発音を事前に練習しよう。毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
1. 第九課
2. 第九課
3. 第十課
4. 第十課
5. 第十一課
6. 第十一課
7. 第十二課
8. 第十二課
9. 第十三課
10. 第十三課
11. 第十四課
12. 第十四課
13. 第九課～第十四課のまとめ、試験

科目名	中国語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條　智恵		

[成績評価方法]
授業中の発表や課題20%、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト40%、まとめの試験40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaもしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:初級中国語　会話編 著者名:奥村佳代子 出版社名:金星堂 ISBN:9784764707030

[参考書(ISBN)]

科目名	中国語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉山　志郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。
2.中国語の簡化字「簡体字」の字形を理解し、書くことができる。
3.中国語の基礎語彙500程度を使うことができる。
4.中国語の初級段階の文法（助動詞、前置詞、連動文、二重目的語文、完了相、進行相、持続相、変化の“了”など）を理解し、文を組み立てることができる。
5.中国語のごく簡単な会話文を聞いて理解できる。

[授業概要]
半年学んだ中国語の初歩を忘れないように復習しつつ、初級中国語の半ばまでを学ぶ。授業で一層の練習を積み、中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
1.教科書付属のCDを聴いて、教科書本文を朗読する。
2. 毎課の新出語句と補充語句の発音を事前に練習しよう。毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
1. 第九課
2. 第九課
3. 第十課
4. 第十課
5. 第十一課
6. 第十一課
7. 第十二課
8. 第十二課
9. 第十三課
10. 第十三課
11. 第十四課
12. 第十四課
13. 第九課～第十四課のまとめ、試験

科目名	中国語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉山　志郎		

[成績評価方法]
授業中の発表や課題20%、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト40%　、まとめの試験40%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:『初級中国語 会話編（改訂版）』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 出版社名:金星堂 ISBN:978-4-7647-0729-0

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	中国語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條　智恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。
2.中国語の簡化字「簡体字」の字形を理解し、書くことができる。
3.中国語の基礎語彙500語程度を使うことができる。
4.中国語の初級段階の文法(助動詞、前置詞、連動文、二重目的語文、完了相、進行相、持続相、変化の“了”など)を理解し、文を組み立てることができる。
5.中国語のごく簡単な会話文を聞いて理解できる。

[授業概要]
半年学んだ中国語の初歩を忘れないように復習しつつ、初級中国語の半ばまでを学ぶ。授業で一層の練習を積み、中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
1.教科書付属のCDを聴いて、教科書本文を朗読する。
2.毎課の新出語句と補充語句の発音を事前に練習しよう。毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
1. 第九課
2. 第九課
3. 第十課
4. 第十課
5. 第十一課
6. 第十一課
7. 第十二課
8. 第十二課
9. 第十三課
10. 第十三課
11. 第十四課
12. 第十四課
13. 第九課～第十四課のまとめ、試験

科目名	中国語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條　智恵		

[成績評価方法]
授業中の発表や課題20%、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト40%、まとめの試験40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaもしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:初級中国語　会話編 著者名:奥村佳代子 出版社名:金星堂 ISBN:9784764707030

[参考書(ISBN)]

科目名	中国語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	平坂　仁志		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。
2.中国語の簡化字「簡体字」の字形を理解し、書くことができる。
3.中国語の基礎語彙500語程度を使うことができる。
4.中国語の初級段階の文法（助動詞、前置詞、連動文、二重目的語文、完了相、進行相、持続相、変化の“了”など）を理解し、文を組み立てることができる。
5.中国語のごく簡単な会話文を聞いて理解できる。

[授業概要]
半年学んだ中国語の初歩を忘れないように復習しつつ、初級中国語の半ばまでを学ぶ。授業で一層の練習を積み、中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
1.教科書付属のCDを聴いて、教科書本文を朗読する。
2.毎課の新出語句と補充語句の発音を事前に練習しよう。毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
1. 第九課
2. 第九課
3. 第十課
4. 第十課
5. 第十一課
6. 第十一課
7. 第十二課
8. 第十二課
9. 第十三課
10. 第十三課
11. 第十四課
12. 第十四課
13. 第九課～第十四課のまとめ、試験

科目名	中国語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	平坂　仁志		

[成績評価方法]
授業中の発表や課題20%、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト40%　、まとめの試験40%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manabaもしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:初級中国語（会話編）　自分のことばで話す中国語～改訂版 著者名: 出版社名:金星堂 ISBN:9784764707290

[参考書（ISBN）]

科目名	中国語Ⅱ（速習）	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉山　志郎、孫　輝		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。
2.中国語の基礎的な語彙と文法について理解し、習得する。
3.中国語の簡単な会話文を聞いて理解し、自分で使うことができる。

[授業概要]
　週2回のリレー形式の授業で中国語の発音から初級半ばまでを学ぶ。半年間学んだ中国語を忘れないよう練習し、中国語初級の完成を目指す。中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
1.教科書付属の音声教材を聴いて、教科書本文を朗読する。
2.毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
1.「会話編」第九課
2.「講読編」第九課
3.「会話編」第十課
4.「講読編」第十課
5.「会話編」第十課
6.「講読編」第十課
7.「会話編」第十一課
8.「講読編」第十一課
9.「会話編」第十一課
10.「講読編」第十一課
11.「会話編」第九課～第十一課のまとめ、試験
12.「講読編」第九課～第十一課のまとめ、試験
13.「会話編」第十二課
14.「講読編」第十二課
15.「会話編」第十二課
16.「講読編」第十二課
17.「会話編」第十三課
18.「講読編」第十三課
19.「会話編」第十三課
20.「講読編」第十三課
21.「会話編」第十四課
22.「講読編」第十四課
23.「会話編」第十四課
24.「講読編」第十四課
25.「会話編」第十二課～第十四課のまとめ、試験
26.「講読編」第十二課～第十四課のまとめ、試験

科目名	中国語Ⅱ（速習）	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉山　志郎、孫　輝		

[成績評価方法]
授業中の発表や課題20%、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト40%　、まとめの試験40%
※11月の第4日曜日に実施する中国語検定試験準4級を受験する方には奨励点3点を加算する。準4級を合格した場合はさらに奨励点5点を加算する（100点を超えた場合は100点に切り下げる）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:①『初級中国語 会話編（改訂版）』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 出版社名:金星堂 ISBN:978-4-7647-0729-0
書籍名:②『初級中国語 講読編（改訂版）』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 出版社名:金星堂 ISBN:978-4-7647-0730-6

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	中国語Ⅱ（速習）	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條　智恵、陳　静		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語式ローマ字「ピンイン」のしくみを理解し、読むことができる。
2.中国語の基礎的な語彙と文法について理解し、習得する。
3.中国語の簡単な会話文を聞いて理解し、自分で使うことができる。

[授業概要]
週2回のリレー形式の授業で中国語の発音から初級半ばまでを学ぶ。半年間学んだ中国語を忘れないよう練習し、中国語初級の完成を目指す。中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
1.教科書付属の音声教材を聴いて、教科書本文を朗読する。
2.毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
1.「会話編」第九課
2.「講読編」第九課
3.「会話編」第十課
4.「講読編」第十課
5.「会話編」第十課
6.「講読編」第十課
7.「会話編」第十一課
8.「講読編」第十一課
9.「会話編」第十一課
10.「講読編」第十一課
11.「会話編」第九課～第十一課のまとめ、試験
12.「講読編」第九課～第十一課のまとめ、試験
13.「会話編」第十二課
14.「講読編」第十二課
15.「会話編」第十二課
16.「講読編」第十二課
17.「会話編」第十三課
18.「講読編」第十三課
19.「会話編」第十三課
20.「講読編」第十三課
21.「会話編」第十四課
22.「講読編」第十四課
23.「会話編」第十四課
24.「講読編」第十四課
25.「会話編」第十二課～第十四課のまとめ、試験
26.「講読編」第十二課～第十四課のまとめ、試験

科目名	中国語Ⅱ（速習）	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條　智恵、陳　静		

[成績評価方法]
授業中の発表や課題20%、授業中実施の発音テスト・テキスト内容に基づく小テスト40%　、まとめの試験40%

※11月の第4日曜日に実施する中国語検定試験準4級を受験する方には奨励点3点を加算する。準4級を合格した場合はさらに奨励点5点を加算する（100点を超えた場合は100点に切り下げる）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後教室にて受付

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の発表や課題、授業中実施のテスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業中の発表や課題、授業中実施のテスト

[教科書（ISBN）]
書籍名:初級中国語　会話編 著者名:奥村佳代子 出版社名:金星堂 ISBN:9784764707030
書籍名:初級中国語　講読編 著者名:奥村佳代子 出版社名:金星堂 ISBN:9784764707047

[参考書（ISBN）]

科目名	中国語Ⅲ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	莊　千慧		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
初級中国語を学んだ者が、学んできた内容を自由に使いこなせること。

[授業概要]
この科目では、語学の習得を通して、幅広い知識に基づいて、他者および異文化を理解することができるようになることを目指す。1年次に学んだ基礎的事項をマスターした学生を対象とする科目である。

初級中国語で学習した単語や文法事項を復習しながら、日常の身近な話題をテーマに、自分の言葉で表現できる力を養う。

様々なレベルの学生を対象とする:
1)初級中国語を習得した後、さらに学習を続けようと考える者。
2)中国からの帰国子女、神戸中華同文学校等の卒業生、高校で中国語を履修し、すでに一定レベルの学力を身につけている者。これらの学生は、事前に中国語Ⅰの単位を修得していなくても、この科目を履修することができる。Ⅲ－1とⅢ－2、双方の単位をを修得すれば、1言語習得として認定する。
3)本学の長期・短期の留学プログラムに参加した者に対しては、そのレベルに合わせて個別の指導も行う。

授業内容は一定程度の中国語力を有する学生のレベルに応じて設定するため、初回授業に実力テストを行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
1.教科書付属の音声教材を聴いて、教科書本文を朗読する。
2.毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

予習・復習用に個人用の辞典を一冊用意すること。小テストは毎週行うため、しっかり復習すること

[授業計画]
1. 第一課　自己紹介の文章の講読、文法・表現
2. 第一課　文法・表現、練習問題
3. 第二課　家庭について述べた文章の講読、文法・表現
4. 第二課　文法・表現、練習問題
5. 第三課　インターネットについて述べた文章の講読、文法・表現
6. 第三課　文法・表現、練習問題
7. 第四課　デートについて述べた文章の講読、文法・表現
8. 第四課　文法・表現、練習問題
9. 第五課　温泉旅行について述べた文章の講読、文法・表現
10. 第五課　文法・表現、練習問題
11.第六課　趣味について述べた文章の講読、文法・表現
12.第六課　文法・表現
13.まとめ、試験

科目名	中国語Ⅲ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	莊　千慧		

[成績評価方法]
小テスト50%、
まとめの試験 50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:2冊めの中国語《講読クラス》 著者名:劉穎 出版社名:白水社 ISBN:9784560069271

[参考書(ISBN)]

科目名	中国語Ⅲ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	莊　千慧		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
中国語の読む・書く能力をさらに強化する。中国語検定試験3級以上の受検対策の学習を通して、学力を一層向上させる。

[授業概要]
第1～8回は、中国語検定過去問及び模試の解答と解説を行い、第9～13回は長文読解と会話練習を行う。
本科目を履修することのできる者は、下記のとおりである。
1.Ⅲ－1の単位を修得した者。
2.会話Ⅰ、講読Ⅰの単位を修得した者。(Ⅲ－1の単位の修得如何は問わない。)
3.高校で中国語を履修し、一定のレベルに達している者、中国からの帰国子女、神戸中華同文学校等の卒業生など。一回生も可。ただし、教務課で「特別許可」の手続きが必要。

その他、本学の長期・短期の留学プログラムに参加した学生は、本科目において個別の継続学習指導をうけることもできる。

目標は、中国語検定3級のレベルに到達すること。Ⅲ－1で学習した文法の知識を生かして、短い文章の読解力と、会話のリスニング力を向上させる。

11月の中国語検定は毎年11月の第4日曜日に開催される。受講生は11月の検定試験を受けること。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
1.教科書付属の音声教材を聴いて、教科書本文を朗読する。
2.毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

予習・復習用に個人用の辞典を一冊用意すること。小テストは毎週行うため、しっかり復習すること。

[授業計画]
1. 中国語検定試験3級模試(リスニング)+解説
2. 中国語検定試験3級模試(筆記)+解説
3. 中国語検定試験3級(リスニング)+解説
4. 中国語検定試験3級(筆記)+解説
5. 中国語検定試験3級(リスニング)+解説
6. 中国語検定試験3級(筆記)+解説
7. 中国語検定試験3級(リスニング)+解説
8. 中国語検定試験3級(筆記)+解説
9. 中国語長文の講読と会話練習(1)
10. 中国語長文の講読と会話練習(2)
11. 中国語長文の講読と会話練習(3)
12. 中国語長文の講読と会話練習(4)
13. まとめ、試験

科目名	中国語Ⅲ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	莊　千慧		

[成績評価方法]
小テスト30%、
まとめの試験 30%
中国語検定試験の成績40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	中国語会話Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉山　志郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
中国語既習者を対象とし、初歩的な会話能力を定着させることを目的とする。目安としては中国語検定4級の文法的内容、リスニング力を活用して会話することを目標とする。

[授業概要]
身近な話題を取り上げながら、それに関連する表現を学んでいく。授業は話すことと聞くことを中心に進めていく。会話能力を伸ばすための練習を多く取り入れるので、中国語が聞き取れた時の喜びや、中国語で言いたいことが伝わった時の楽しさを味わってほしいと思う。そのほかに、映像教材などを使って、中国の街や文化遺産、また人々の生活や風習などについても紹介するので、言葉を学ぶことを通して、中国文化への理解を深めてもらいたい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。復習では、まず授業で指定された宿題をした後、教科書付属のCDを繰り返し聞いて、続けて自分で教科書の本文と文法解説の例文を朗読する。次に本文の日本語訳を見ながらそれをさらに中国語に訳す練習をする。

[授業計画]
1. 第1課「あなたも留学生ですか」単語、文法、会話文
2. 第1課「あなたも留学生ですか」練習問題、第2課「アルバイトする」単語、文法
3. 第2課 「アルバイトする」会話文、練習問題
4. 第3課「レストランで」単語、文法、会話文
5. 第3課「レストランで」練習問題、第4課「カラオケに行く」単語、文法
6. 第4課「カラオケに行く」会話文、練習問題
7. 第5課「あなたは歌がうまい」単語、文法、会話文
8. 第5課「あなたは歌がうまい」練習問題、第6課「家族写真」単語、文法
9. 第6課「家族写真」会話文、練習問題
10. 第7課「シャツを買う」単語、文法、会話文
11. 第7課「シャツを買う」練習問題、前期の復習
12. まとめ
13. 作文、発表

科目名	中国語会話Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉山　志郎		

[成績評価方法]
授業中の発表40%、第1課～第7課のテスト60%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:『しゃべっていいとも　中国語2 ステップアップ編』 著者名:陳淑梅・劉光赤 出版社名:朝日出版社 ISBN:978-4-255-45229-6

[参考書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	中国語会話Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉山　志郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
中国語既習者を対象とし、会話能力を定着させることを目的とする。目安としては中国語検定4級から3級にかけての文法的内容、リスニング力を活用して実際にそれを運用できる会話能力を養う。

[授業概要]
身近な話題を取り上げながら、それに関連する表現を学んでいく。授業は話すことと聞くことを中心に進めていく。会話能力を伸ばすための練習を多く取り入れるので、中国語が聞き取れた時の喜びや、中国語で言いたいことが伝わった時の楽しさを味わってほしいと思う。そのほかに、映像教材などを使って、中国の街や文化遺産、また人々の生活や風習などについても紹介するので、言葉を学ぶことを通して、中国文化への理解を深めてもらいたい。
後期からの受講も可能。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。復習では、まず授業で指定された宿題をした後、教科書付属のCDを繰り返し聞いて、続けて自分で教科書の本文と文法解説の例文を朗読する。次に本文の日本語訳を見ながらそれをさらに中国語に訳す練習をする。

[授業計画]
1. 第8課「誕生パーティー」単語、文法、会話文
2. 第8課「誕生パーティー」練習問題、第9課「DVDを見る」単語、文法
3. 第9課「DVDを見る」会話文、練習問題
4. 第10課「夏休み」単語、文法、会話文
5. 第10課「夏休み」練習問題、第11課「学園祭」単語、文法
6. 第11課「学園祭」会話文、練習問題
7. 第12課「スキーをする」単語、文法、会話文
8. 第12課「スキーをする」練習問題、第13課「診察を受ける」単語、文法
9. 第13課「診察を受ける」会話文、練習問題
10. 第14課「帰国前」単語、文法、会話文
11. 第14課「帰国前」練習問題、全体の復習
12. まとめ
13. 作文、発表

科目名	中国語会話Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉山　志郎		

[成績評価方法]
授業中の発表・課題40%、第8課～第14課のテスト60%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:『しゃべっていいとも　中国語2 ステップアップ編』 著者名:陳淑梅・劉光赤 出版社名:朝日出版社 ISBN:978-4-255-45229-6

[参考書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	中国語講読 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉山　志郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語の発音、基礎的な語彙と文法を習得する。
2.中国語の文章を、自分で辞書を引きながら翻訳できる。
3.文脈を把握して、文章全体の中で適切な翻訳ができる。
中国語の文章の初級から初中級程度の読解力を身に付けることを目標とする。

[授業概要]
ジョークによくあるパターンの一つとして、ジョークに登場するある言葉の常識的(一般的)な意味と、もう一つの意外な意味の落差に笑うというものがあります。
例:父「学校に行くのは好き？」子「学校に行くのは好き。帰るのはもっと好き。でも授業は嫌い。」
この場合、お父さんの「学校に行く」は学校生活全般を指し、子供の「学校に行く」は登校のみを指しています。ジョークを読む目的の第一はもちろん笑って楽しむことですが、翻訳するということを考えると、「学校に行く」という訳語をもともとの中国語の言葉(上学)から大きく外れない範囲にとどめながら、日本語としてもジョークが成立するようにうまく選ぶ必要があります。
このような楽しい工夫をしながら、中国語を読む練習をしましょう。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
1.辞書を使って授業の準備をする。
2.毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
1. ジョーク 01～04
2. 語彙と文法のまとめ 可能補語など
3. ジョーク 05～08
4. 語彙と文法のまとめ 反語など
5. ジョーク 09～12
6. 語彙と文法のまとめ 兼語文など
7. ジョーク 13～16
8. 語彙と文法のまとめ 処置式文など
9. ジョーク 17～20
10. 語彙と文法のまとめ 助動詞など
11. ジョーク 21～24
12. 語彙と文法のまとめ 使役など
13. まとめ

科目名	中国語講読 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉山　志郎		

[成績評価方法]
授業中の発表30%、授業中実施のテスト70%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:『中国語ジョークボックス 著者名:相原茂・郭雲輝 出版社名:朝日出版社 ISBN:978-4-255-45150-3

[参考書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	中国語講読Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉山　志郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.中国語の発音、基礎的な語彙と文法を習得する。
2.中国語の文章を、自分で辞書を引きながら翻訳できる。
3.文脈を把握して、文章全体の中で適切な翻訳ができる。
中国語の文章の初中級から中級程度の読解力を身に付けることを目標とする。

[授業概要]
ジョークによくあるパターンの一つとして、ジョークに登場するある言葉の常識的(一般的)な意味と、もう一つの意外な意味の落差に笑うというものがあります。
例:父「学校に行くのは好き？」子「学校に行くのは好き。帰るのはもっと好き。でも授業は嫌い。」
この場合、お父さんの「学校に行く」は学校生活全般を指し、子供の「学校に行く」は登校のみを指しています。ジョークを読む目的の第一はもちろん笑って楽しむことですが、翻訳するということを考えると、「学校に行く」という訳語をもともとの中国語の言葉(上学)から大きく外れない範囲にとどめながら、日本語としてもジョークが成立するようにうまく選ぶ必要があります。
このような楽しい工夫をしながら、中国語を読む練習をしましょう。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
1.辞書を使って授業の準備をする。
2.毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。

[授業計画]
1. ジョーク 25～28
2. 語彙と文法のまとめ 仮定条件など
3. ジョーク 29～32
4. 語彙と文法のまとめ 副詞など
5. ジョーク 33～36
6. 語彙と文法のまとめ 離合動詞など
7. ジョーク 37～40
8. 語彙と文法のまとめ 疑問詞の特殊用法など
9. ジョーク 41～44
10. 語彙と文法のまとめ 存現文など
11. ジョーク 45～48
12. 語彙と文法のまとめ 副詞など
13. まとめ

科目名	中国語講読Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	杉山　志郎		

[成績評価方法]
授業中の発表30%、授業中実施のテスト70%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:『中国語ジョークボックス』 著者名:相原茂・郭雲輝 出版社名:朝日出版社 ISBN:978-4-255-45150-3

[参考書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

科目名	朝鮮語Ⅰ(速習)	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	權　珍嬉、崔　杉昌		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国語の文字や基本的な文法、文型を学習し、簡単な日常会話が駆使できる能力を習得する。

[授業概要]
授業は初心者を対象に韓国語の文字から始める。韓国語の文字であるハングルの読み方、書き方を覚え、基本的な文型や語彙を学習する。簡単な文章を中心によく使われる慣用的な表現をテキストやプリントを使って、繰り返し練習することで、初級韓国語の聞く、話す、読む能力を習得する。授業では、テキスト以外にも韓国に関する映画、歌、書物を教材に活用する。授業を通して、韓国文化への理解を促し、異文化への興味を深めるきっかけになることをねらう。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. 授業の紹介、ハングルとは、母音(担当　崔　三昌、 以下崔)
2. 子音①(担当　權　珍嬉、 以下權)
3. 子音②(担当　崔)
4. 合成母音、子音③(担当　權)
5. パッチム、文字・発音の復習(担当　崔)
6. ハングル表記、自己紹介(担当　權)
7. 自己紹介の練習 (担当　崔)
8. 体言文、助詞 (担当　權)
9. 体言文の否定表現 (担当　崔)
10. 指示表現 (担当　權)
11. 文法、会話表現の復習 (担当　崔)
12. 所有表現 (担当　權)
13. まとめ (担当　崔)
14. 用言 (担当　權)
15. 位置名詞 (担当　崔)
16. 用言の活用 (担当　權)
17. 存在の表現 (担当　崔)
18. 動詞の否定形 (担当　權)
19. 漢数詞1 (担当　崔)
20. 動詞の否定形の演習 (担当　權)
21. 漢数詞2 (担当　崔)
22. 形容詞の丁寧表現 (担当　權)
23. 用言の丁寧表現 (担当　崔)
24. 用言の丁寧表現、不規則活用(担当　權)
25. 韓国文化の理解 (担当　崔)
26. まとめ (担当　權)

科目名	朝鮮語Ⅰ（速習）	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	權　珍嬉、崔　杉昌		

[成績評価方法]
小テスト・課題　30%、試験（会話・筆記）70%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出した課題は後日添削して返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:パルン韓国語 初級 著者名:鄭世桓 出版社名:朝日出版社 ISBN:9784255556635

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭　東憲		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国・朝鮮語の文字や基礎的な語彙、文法・文型を身につけ、挨拶や自己紹介などの基礎会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]
本授業は初めて韓国・朝鮮語を学ぶ者を対象とする。
韓国・朝鮮語の文字であるハングルの読み方・書き方を覚え、基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. ガイダンス、Lesson 1 基本母音
2. Lesson 2 子音①:平音
3. Lesson 2 子音②:激音、Lesson 2 子音③:濃音
4. Lesson 3 パッチム、Lesson 4 合成母音、日本語のハングル表記
5. 第1課 「私は日本人です」①
6. 第1課 「私は日本人です」②
7. 第2課 「日本人ではありません」①
8. 第2課 「日本人ではありません」②
9. 第3課 「それは何ですか」①
10. 第3課 「それは何ですか」②
11. 第4課 「約束があります」①
12. 第4課 「約束があります」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭　東憲		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:できる韓国語初級Ⅰ 新装版 著者名:李志映 出版社名:DEKIRU出版 ISBN:978-4-87217-723-7

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	崔　杉昌		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国語の文字や基礎的な語彙、文法・文型を身につけ、挨拶や自己紹介などの基礎会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]
本授業は初めて韓国・朝鮮語を学ぶ者を対象とする。
韓国の文字であるハングルの読み方・書き方を覚え、基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. ガイダンス、Lesson 1 基本母音
2. Lesson 2 子音①:平音
3. Lesson 2 子音②:激音、Lesson 2 子音③:濃音
4. Lesson 3 パッチム、Lesson 4 合成母音、日本語のハングル表記
5. 第1課 「私は日本人です」①
6. 第1課 「私は日本人です」②
7. 第2課 「日本人ではありません」①
8. 第2課 「日本人ではありません」②
9. 第3課 「それは何ですか」①
10. 第3課 「それは何ですか」②
11. 第4課 「約束があります」①
12. 第4課 「約束があります」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	崔　杉昌		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:試験、小テスト・課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:試験、小テスト・課題

[教科書（ISBN）]
書籍名:新装版　できる韓国語　初級 著者名:李志映 出版社名:DEKIRU出版 ISBN:978-4-87217-723-7

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	崔　杉昌		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国語の文字や基礎的な語彙、文法・文型を身につけ、挨拶や自己紹介などの基礎会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]
本授業は初めて韓国・朝鮮語を学ぶ者を対象とする。
韓国語の文字であるハングルの読み方・書き方を覚え、基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. ガイダンス、Lesson 1 基本母音
2. Lesson 2 子音①:平音
3. Lesson 2 子音②:激音、Lesson 2 子音③:濃音
4. Lesson 3 パッチム、Lesson 4 合成母音、日本語のハングル表記
5. 第1課 「私は日本人です」①
6. 第1課 「私は日本人です」②
7. 第2課 「日本人ではありません」①
8. 第2課 「日本人ではありません」②
9. 第3課 「それは何ですか」①
10. 第3課 「それは何ですか」②
11. 第4課 「約束があります」①
12. 第4課 「約束があります」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	崔　杉昌		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験、小テスト・課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:試験、小テスト・課題

[教科書（ISBN）]
書籍名:新装版　できる韓国語　初級 著者名:李志映 出版社名:DEKIRU出版 ISBN:978-4-87217-723-7

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　春子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国・朝鮮語の文字の読み書きを基盤に基礎的な文法・文型を学習し、自己紹介などの基礎会話ができることを目指す。

[授業概要]
韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
予習・復習合わせて2時間程度すること。また、日頃から韓国に関連するメディア等の報道等に関心を持つこと。

[授業計画]
1. ガイダンス、Lesson 1 基本母音
2. Lesson 2 子音①:平音
3. Lesson 2 子音②:激音、Lesson 2 子音③:濃音
4. Lesson 3 パッチム、Lesson 4 合成母音、日本語のハングル表記
5. 第1課 「私は日本人です」①
6. 第1課 「私は日本人です」②
7. 第2課 「日本人ではありません」①
8. 第2課 「日本人ではありません」②
9. 第3課 「それは何ですか」①
10. 第3課 「それは何ですか」②
11. 第4課 「約束があります」①
12. 第4課 「約束があります」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　春子		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後、解説によって達成度を確認する。授業に積極的に参加し、様々な発表を評価する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験（60%）、小テスト・課題（40%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[教科書（ISBN）]
書籍名:新装版　できる韓国語　初級 著者名:新大久保語学院 出版社名:アスク出版 ISBN:978-4-87217-723-7

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	權　珍嬉		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国・朝鮮語の文字や基礎的な語彙、文法・文型を身につけ、挨拶や自己紹介などの基礎会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]
本授業は初めて韓国・朝鮮語を学ぶ者を対象とする。
韓国・朝鮮語の文字であるハングルの読み方・書き方を覚え、基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. ガイダンス、Lesson 1 基本母音
2. Lesson 2 子音①:平音
3. Lesson 2 子音②:激音、Lesson 2 子音③:濃音
4. Lesson 3 パッチム、Lesson 4 合成母音、日本語のハングル表記
5. 第1課 「私は日本人です」①
6. 第1課 「私は日本人です」②
7. 第2課 「日本人ではありません」①
8. 第2課 「日本人ではありません」②
9. 第3課 「それは何ですか」①
10. 第3課 「それは何ですか」②
11. 第4課 「約束があります」①
12. 第4課 「約束があります」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	權　珍嬉		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:新装版 できる韓国語 初級Ⅰ 著者名:新大久保語学院 出版社名:アスク出版 ISBN:9784872177237

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　春子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国・朝鮮語の文字の読み書きを基盤に基礎的な文法・文型を学習し、自己紹介などの基礎会話ができることを目指す。

[授業概要]
韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
予習・復習合わせて2時間程度すること。また、日頃から韓国に関連するメディア等の報道等に関心を持つこと。

[授業計画]
1. ガイダンス、Lesson 1 基本母音
2. Lesson 2 子音①:平音
3. Lesson 2 子音②:激音、Lesson 2 子音③:濃音
4. Lesson 3 パッチム、Lesson 4 合成母音、日本語のハングル表記
5. 第1課 「私は日本人です」①
6. 第1課 「私は日本人です」②
7. 第2課 「日本人ではありません」①
8. 第2課 「日本人ではありません」②
9. 第3課 「それは何ですか」①
10. 第3課 「それは何ですか」②
11. 第4課 「約束があります」①
12. 第4課 「約束があります」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　春子		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後、解説によって達成度を確認する。授業に積極的に参加し、様々な発表を評価する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験（60%）、小テスト・課題（40%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[教科書（ISBN）]
書籍名:新装版　できる韓国語　初級 著者名:新大久保語学院 出版社名:アスク出版 ISBN:978-4-87217-723-7

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭　東憲		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国・朝鮮語の文字や基礎的な語彙、文法・文型を身につけ、基礎的な日常会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]
「朝鮮語Ⅰ－1」に引き続き、韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. ガイダンス、第5課「会社はどこにありますか」①
2. 第5課「会社はどこにありますか」②
3. 第6課「週末は何をしますか」①
4. 第6課「週末は何をしますか」②
5. 第7課「そんなに遠くありません」①
6. 第7課「そんなに遠くありません」②
7. 第8課「いつ行きますか」①
8. 第8課「いつ行きますか」②
9. 第9課「釜山までどうやって行きますか」①
10. 第9課「釜山までどうやって行きますか」②
11. 第10課「何時からですか」①
12. 第10課「何時からですか」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	鄭　東憲		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:できる韓国語初級Ⅰ 新装版 著者名:李志映 出版社名:DEKIRU出版 ISBN:978-4-87217-723-7

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	崔　杉昌		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国語の文字や基礎的な語彙、文法・文型を身につけ、基礎的な日常会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]
「朝鮮語Ⅰ－1」に引き続き、韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. ガイダンス、第5課「会社はどこにありますか」①
2. 第5課「会社はどこにありますか」②
3. 第6課「週末は何をしますか」①
4. 第6課「週末は何をしますか」②
5. 第7課「そんなに遠くありません」①
6. 第7課「そんなに遠くありません」②
7. 第8課「いつ行きますか」①
8. 第8課「いつ行きますか」②
9. 第9課「釜山までどうやって行きますか」①
10. 第9課「釜山までどうやって行きますか」②
11. 第10課「何時からですか」①
12. 第10課「何時からですか」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	崔　杉昌		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験、小テスト・課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:試験、小テスト・課題

[教科書（ISBN）]
書籍名:新装版　できる韓国語　初級 著者名:李志映 出版社名:DEKIRU出版 ISBN:978-4-87217-723-7

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	崔　杉昌		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国語の文字や基礎的な語彙、文法・文型を身につけ、基礎的な日常会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]
「朝鮮語Ⅰ－1」に引き続き、韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. ガイダンス、第5課「会社はどこにありますか」①
2. 第5課「会社はどこにありますか」②
3. 第6課「週末は何をしますか」①
4. 第6課「週末は何をしますか」②
5. 第7課「そんなに遠くありません」①
6. 第7課「そんなに遠くありません」②
7. 第8課「いつ行きますか」①
8. 第8課「いつ行きますか」②
9. 第9課「釜山までどうやって行きますか」①
10. 第9課「釜山までどうやって行きますか」②
11. 第10課「何時からですか」①
12. 第10課「何時からですか」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	崔　杉昌		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験、小テスト・課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:試験、小テスト・課題

[教科書（ISBN）]
書籍名:新装版　できる韓国語　初級 著者名:李志映 出版社名:DEKIRU出版 ISBN:978-4-87217-723-7

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	權　珍嬉		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国・朝鮮語の文字や基礎的な語彙、文法・文型を身につけ、基礎的な日常会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]
「朝鮮語Ⅰ－1」に引き続き、韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. ガイダンス、第5課「会社はどこにありますか」①
2. 第5課「会社はどこにありますか」②
3. 第6課「週末は何をしますか」①
4. 第6課「週末は何をしますか」②
5. 第7課「そんなに遠くありません」①
6. 第7課「そんなに遠くありません」②
7. 第8課「いつ行きますか」①
8. 第8課「いつ行きますか」②
9. 第9課「釜山までどうやって行きますか」①
10. 第9課「釜山までどうやって行きますか」②
11. 第10課「何時からですか」①
12. 第10課「何時からですか」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	權　珍嬉		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:新装版 できる韓国語 初級Ⅰ 著者名:新大久保語学院 出版社名:アスク出版 ISBN:9784872177237

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　春子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
初級レベルの韓国・朝鮮語を読む、書く、聞く、話す能力を身につけ、簡単な日常会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]
「朝鮮語Ⅰ－1」に引き続き、韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
予習・復習合わせて2時間程度すること。実際、韓国に行った時に活用できうる様々な場面の会話を身につけるように努力すること。

[授業計画]
1. ガイダンス、第5課「会社はどこにありますか」①
2. 第5課「会社はどこにありますか」②
3. 第6課「週末は何をしますか」①
4. 第6課「週末は何をしますか」②
5. 第7課「そんなに遠くありません」①
6. 第7課「そんなに遠くありません」②
7. 第8課「いつ行きますか」①
8. 第8課「いつ行きますか」②
9. 第9課「釜山までどうやって行きますか」①
10. 第9課「釜山までどうやって行きますか」②
11. 第10課「何時からですか」①
12. 第10課「何時からですか」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　春子		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業の後、返却

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験（60%）、小テスト・課題（40%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[教科書（ISBN）]
書籍名:新装版　できる韓国語　初級1 著者名:新大久保語学院 出版社名:アスク出版 ISBN:978-4-87217-723-7

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　春子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
初級レベルの韓国・朝鮮語を読む、書く、聞く、話す能力を身につけ、簡単な日常会話や作文ができることを目指す。

[授業概要]
本授業は「朝鮮語Ⅰ－1」を履修済みの者を対象とする。
「朝鮮語Ⅰ－1」に引き続き、韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型を学習する。また、簡単な会話文を中心に、よく使われる慣用的な表現を繰り返し練習することで、初級レベルの「書く」能力にくわえ、「聞く」、「話す」、「読む」能力を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
予習・復習合わせて2時間程度すること。実際、韓国に行った時に活用できうる様々な場面の会話を身につけるように努力すること。

[授業計画]
1. ガイダンス、第5課「会社はどこにありますか」①
2. 第5課「会社はどこにありますか」②
3. 第6課「週末は何をしますか」①
4. 第6課「週末は何をしますか」②
5. 第7課「そんなに遠くありません」①
6. 第7課「そんなに遠くありません」②
7. 第8課「いつ行きますか」①
8. 第8課「いつ行きますか」②
9. 第9課「釜山までどうやって行きますか」①
10. 第9課「釜山までどうやって行きますか」②
11. 第10課「何時からですか」①
12. 第10課「何時からですか」②
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　春子		

[成績評価方法]
試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業の後、返却

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験（60%）、小テスト・課題（40%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:試験（60%）、小テスト・課題（40%）

[教科書（ISBN）]
書籍名:新装版　できる韓国語　初級1 著者名:新大久保語学院 出版社名:アスク出版 ISBN:978-4-87217-723-7

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅱ（速習）	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	權　珍嬉、崔　杉昌		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
朝鮮語Ⅰで繰り返し練習して身につけた聞く、話す、読む力をより発展させ、多様な場面で応用することができる能力を習得する。

[授業概要]
授業は朝鮮語Ⅰを履修したレベルを対象にする。時制や敬語の表現などより高い難易度の表現を学習する。また、これらの表現を使って、グループ活動を中心に、基礎会話表現の幅を広げ、より多様な場面で応用できる能力を習得する。授業では、テキスト以外にも韓国に関する映画、歌、書物を教材に活用する。授業を通して、韓国文化への理解を促し、異文化への興味を深めるきっかけになることをねらう。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. 基本文法の確かめ,用言の丁寧表現 （担当　崔　三昌、以下崔）
2. 固有数詞 （担当　權　珍嬉、以下權）
3. 用言の不規則活用 （担当　崔）
4. 名詞文の丁寧表現 （担当　權）
5. 用言の過去時制 （担当　崔）
6. 進行表現 （担当　權）
7. 過去形の演習 （担当　崔）
8. 時間 （担当　權）
9. 希望表現 （担当　崔）
10. 時間の表現の演習 （担当　權）
11. 希望表現の演習 （担当　崔）
12. 出発と到着に使う助詞 （担当　崔）
13. まとめ （担当　權）
14. 好み表現 （担当　權）
15. 意思表現 （担当　崔）
16. 目的表現 （担当　權）
17. 意思表現の演習 （担当　崔）
18. 対象に使う助詞 （担当　權）
19. 格式体敬語 （担当　崔）
20. 敬語の表現 （担当　權）
21. 命令表現 （担当　崔）
22. 非格式体敬語の表現（担当　權）
23. 意向を尋ねる表現 （担当　崔）
24. 非格式体敬語表現の練習 （担当　權）
25. 勧誘表現 （担当　權）
26. まとめ （担当　崔）

科目名	朝鮮語Ⅱ（速習）	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	權　珍嬉、崔　杉昌		

[成績評価方法]
小テスト・課題　30%、試験（会話・筆記）70%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出した課題は後日添削して返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:パルン韓国語 初級 著者名:鄭世桓 出版社名:朝日出版社 ISBN:9784255556635

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅲ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	權　珍嬉		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国語の話す、聞く、読む、書く力をより発展させ、多様な場面で流暢に駆使できる能力を習得する。また韓国語のより高度な表現力を身につける。

[授業概要]
朝鮮語Ⅱを履修したレベル以上の者を対象とする。時制を多様に使い複合的な時間構成の文型や用言の不規則活用などより難易度の高い表現を学習する。これらの表現を使ってグループ活動による実用会話演習を繰り返し、より多様な場面で応用できる能力を習得する。また授業では、韓国に関する映画、歌、書物などを教材に活用することで韓国語を通して、韓国文化への理解を深めることをねらう。ハングル検定(6月、11月)を勧める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度。なお、言葉だけではなく多方面での韓国文化に関して関心を常に持つこと。

[授業計画]
1. 授業の紹介、基本文法の確かめ
2. 理由を表す表現
3. 理由を表す表現の演習、用言の不規則活用①
4. 形容詞の連体形
5. 各時制の動詞の連体形
6. 逆接の表現、用言の不規則活用②
7. 行動の決定を表す表現
8. 課題発表
9. 推量を表す表現
10. 意思の表現
11. 逆接・前置きの表現
12. 意思、逆接・前置きの表現の演習
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅲ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	權　珍嬉		

[成績評価方法]
課題・プレゼンテーション（40%）、試験（会話、筆記）60%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出した課題は後日添削して返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語Ⅲ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	權　珍嬉		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国語の話す、聞く、読む、書く力をより機能的に発展させ、様々な場面で自分の考えや思いをより流暢にかつ適合的に表現する能力を習得する。

[授業概要]
朝鮮語Ⅲ-1を履修したレベル以上の者を対象とする。間接話法やパンマルなど、より実用性の高い表現や韓国語特有な慣用表現を学習する。これらの表現を使ってグループ活動による実用会話演習を繰り返し、より多様な場面で応用できる能力を習得する。また授業では、韓国に関する映画、歌、書物などを教材に活用することで韓国語を通して、韓国文化への理解を深めることをねらう。ハングル検定(6月、11月)を勧める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度。なお、言葉だけではなく多方面での韓国文化に関して関心を常に持つこと。

[授業計画]
1. 授業の紹介、復習
2. 根拠や理由を表す表現
3. 推量を表す表現、「～し始める」の表現
4. 勧誘の表現
5. 願望の表現
6. 課題発表
7. 韓国文化の理解「最新ニュースを読もう」
8. 「時」を表す表現
9. 「時」を表す表現の演習
10. 間接話法の表現①
11. 間接話法の表現②
12. パンマル(くだけた言葉)
13. まとめ

科目名	朝鮮語Ⅲ－２	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	權　珍嬉		

[成績評価方法]
課題40%、試験60%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出した課題は後日添削して返却する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	朝鮮語会話Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	權　珍嬉		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国・朝鮮語の「聞く」、「話す」力をより発展させ、旅行や日常の場面において自分の言いたいことをある程度表現できるようになることを目指す。

[授業概要]
本授業では、「朝鮮語Ⅰ－1」および「朝鮮語Ⅰ－2」よりもさらに高い難易度の韓国・朝鮮語の表現を学習する。また、これらの表現を使ったペア・グループ活動などを通して、基礎会話表現の幅を広げる練習を行い、より多様な場面で応用できる能力を習得する。
ハングル能力検定試験(6月・11月、11月は須磨キャンパスにて受験可)の受験を勧める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. ガイダンス、復習
2 高度なレベルの自己紹介①
3 高度なレベルの自己紹介②
4. 敬語表現を使う①
5. 敬語表現を使う②
6. 旅行や交通について①
7. 旅行や交通について②
8. 確認を行う
9. 食事について
10. 希望・要望を伝える①
11. 希望・要望を伝える ②
12. 復習
13. まとめ

科目名	朝鮮語会話Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	權　珍嬉		

[成績評価方法]
試験（50%）、小テスト・課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:新装版 できる韓国語 初級Ⅰ 著者名:新大久保語学院 出版社名:アスク出版 ISBN:9784872177237

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語会話Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	權　珍嬉		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
韓国・朝鮮語の「聞く」、「話す」力をより発展させ、旅行や日常の場面において自分の言いたいことをある程度表現できるようになることを目指す。

[授業概要]
本授業では、「朝鮮語会話Ⅰ」よりもさらに高い難易度の韓国・朝鮮語の表現を学習する。また、これらの表現を使ったペア・グループ活動などを通して、基礎会話表現の幅を広げる練習を行い、より多様な場面で応用できる能力を習得する。
ハングル能力検定試験(6月・11月、11月は須磨キャンパスにて受験可)の受験を勧める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. ガイダンス、復習
2. 買い物①
3. 買い物②
4. 計画を話す
5. 説明を行う
6. 交通について
7. 理由を話す
8. 旅行①
9. 旅行②
10. 観光名所
11. 飛行機の搭乗
12. 復習
13. まとめ

科目名	朝鮮語会話Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	權　珍嬉		

[成績評価方法]
試験（50%）、小テスト・課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:新装版 できる韓国語 初級Ⅰ 著者名:新大久保語学院 出版社名:アスク出版 ISBN:9784872177237

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語講読Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　春子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
　韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型の学習を通じ、基礎的な文章の読解、作文ができることを目指す。

[授業概要]
　韓国・朝鮮語の基礎的な語彙、文法・文型の学習と簡単な文章の読解、作文の練習を行う。 韓国・朝鮮語の読解力、表現力向上と共に、言語を支えている発想の仕組みについても考え、文化や社会も含めて理解する。
ハングル能力検定試験(6月・11月、11月は須磨キャンパスにて受験可)の受験を勧める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]
1. 第16課　プレゼントを買うのでお金をたくさん使います①
2. 第16課　プレゼントを買うのでお金をたくさん使います②
3. 第17課　結婚式に何を着ていけばいいですか①
4. 第17課　結婚式に何を着ていけばいいですか②
5. まとめ
6. 第18課　食事でも一緒にしましょうか①
7. 第18課　食事でも一緒にしましょうか②
8. 第19課　写真をちょっと撮っていただけますか①
9. 第19課　写真をちょっと撮っていただけますか②
10. まとめ
11. 第20課　自転車に乗ることができますか①
12. 第20課　自転車に乗ることができますか②
13. まとめ

科目名	朝鮮語講読 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　春子		

[成績評価方法]
試験（50%）、小テスト・課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験（50%）、小テスト・課題（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:試験（50%）、小テスト・課題（50%）

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	朝鮮語講読Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　春子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
さまざまなテーマの文章を「解読」し、「作文」能力を身につける。韓国語で書かれた詩、文学作品、新聞等、様々な題材を使い、日本語に翻訳を試みる。また、日本語の詩や歌等を韓国語に翻訳を試みる。韓国語の習得を比較文化を通して高める。

[授業概要]
韓国の文学や新聞等、様々な文章の解読を試みる。日本の文学作品、歌等を韓国語に翻訳する。
自作の詩や文章を韓国語で書いて、読解力を高める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
予習・復習合わせて2時間程度すること。韓国語の書籍や歌の歌詞を日本語に翻訳する練習を試みる。

[授業計画]
1. レベル確認
2. 今分かったことをあの時知ってたら:仮定の表現
3 野草のように(リュウシフアの詩):命令の表現
4. 星とたんぽぽ(金子みすゞの詩)を韓国語に翻訳
5. 私と小鳥と鈴(金子みすゞの詩)を韓国語に翻訳
6. 私の愛する生活(皮千得随筆集)を日本語に翻訳
7. 私の愛する生活(皮千得随筆集):可能、連体形、希望の表現
8. 長寿(皮千得随筆集)を日本語に翻訳:可能、未来型、連体形
9. 星の王子さまを韓国語に翻訳
10. 星の王子さまを日本語に翻訳
11. 星の王子さまを韓国語に翻訳
12 各自の詩や文章を発表
13. まとめ

科目名	朝鮮語講読Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	李　春子		

[成績評価方法]
試験（50%）、小テスト・課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業後、フィードバック

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験（50%）、小テスト・課題（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:試験（50%）、小テスト・課題（50%）

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	哲学	前期	2 単位
サブタイトル	西洋哲学入門	講義	
担当者	田中　美紀子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	ミニレポート提出	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
西洋哲学の流れを追いながら、哲学の基礎的な概念や専門用語をおさえ、さまざまな哲学者たちの思想を学び、真、善、幸福について自ら考え、理想を持って生きていく力を身につけることができる。

[授業概要]
哲学(フィロソフィア)とは古代ギリシャ語で「知を愛する」という意味である。本授業では、受講生自身が、人間は知を愛し、知を求める存在であることを認識し、西洋の主な哲学者たちの思想を理解し、人間の存在の意義について、さまざまなアプローチをとりながら真摯に考える機会を提供する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回の授業の予習・復習に2時間程度。

[授業計画]
1. 哲学とは？
2. 古代哲学:ソクラテス以前、ソクラテス
3. プラトン:イデア論、魂と肉体
4. アリストテレス: 四原因説、幸福とは？
5. エピクロスとストア派
6. 中世哲学
7. 17世紀の哲学:デカルト、ホッブズ、ロック
8. 18世紀の哲学①:ルソー、カント
9. 18世紀の哲学②:カントの道徳哲学
10. 功利主義:ベンサム、J.S.ミル
11. 19世紀から20世紀の哲学
12. 現代哲学
13. 総括

科目名	哲学	前期	2 単位
サブタイトル	西洋哲学入門	講義	
担当者	田中　美紀子		

[成績評価方法]
ミニレポート(40%)、期末の筆記試験(60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内あるいはKISSを通して。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度、ミニレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度、ミニレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度、ミニレポート、筆記試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業態度、ミニレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:ミニレポート、筆記試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:ミニレポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:図説・標準哲学史 著者名:貫成人／著 出版社名:新書館 ISBN:9784403250934

[参考書(ISBN)]
書籍名:よくわかる哲学・思想 著者名:納富　信留 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623084104
書籍名:新しく学ぶ西洋哲学史 著者名:荻野　弘之 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623094042
書籍名:西洋哲学史 著者名:熊野　純彦 出版社名:岩波書店 ISBN:9784004310075
書籍名:西洋哲学史 著者名:熊野　純彦 出版社名:岩波書店 ISBN:9784004310082
書籍名:西洋哲学史 著者名:今道友信 出版社名:講談社学術文庫 ISBN:9784061587878

科目名	ドイツ語Ⅰ（速習）	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	奥田　誠司、J. 池田リツィウス		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
初級文法を理解し、簡単な日常会話ができることを目指します。

[授業概要]
このクラスは、ドイツ人と日本人の教員がペアを組んで授業を進めます。ドイツ語初級会話のマスターを目標に各課で基礎的な文法事項を習得したうえで、様々な日常会話表現を学んでいきます。また現代ドイツの社会や文化の特徴についても学習し、異文化理解を深めることも重要視します。積極的に授業に参加し、しっかりと土台を固めることが、その後のドイツ語学習に大きな意味を持ちます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
平素から予習・復習を心がけ、持続的に学習することが重要です。（各回、2時間程度）

[授業計画]
1. アルファベート、つづりと発音
2. あいさつ
3. 発音練習：国名、首都、人気の名前
4. 曜日・四季・月、数詞
5. 人称代名詞、動詞の現在人称変化（規則動詞）
6. sein、haben の現在人称変化、語順
7. 会話：自己紹介
8. 名詞の性・冠詞
9. 名詞の格変化
10. 疑問代名詞、並列の接続詞
11. 会話：職業は何ですか
12. ドイツ語圏アラカルト ドイツはどんな国？
13. 動詞の現在人称変化（不規則動詞）
14. 命令形
15. 人称代名詞の3格と4格
16. 3格と4格の語順、非人称の es
17. 会話：趣味は何？
18. 名詞の複数形
19. 冠詞類
20. kein と nicht の使い方
21. 否定疑問文の答え方
22. 会話：パン屋で買い物
23. ドイツ語圏アラカルト ユーロ
24. 前置詞の格支配、前置詞と定冠詞の融合形
25. 会話：どう行けばいいですか
26. 学習項目のまとめ

科目名	ドイツ語Ⅰ（速習）	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	奥田　誠司、J. 池田リツィウス		

[成績評価方法]
小テスト(60%)　授業態度(40%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:アー・ツェット　楽しく学ぶドイツ語 著者名:小野寿美子、中川明博 出版社名:朝日出版社 ISBN:978-4-255-25420-3

[参考書（ISBN）]

科目名	ドイツ語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	奥田　誠司		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
簡単な日常会話ができることを目指します。

[授業概要]
この授業では、初めてドイツ語を学ぶ人を対象に「発音・文法・会話」の基礎を学習していきます。またドイツ語圏の文化事情も紹介し、異文化理解を深めることも重要視します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
語学の勉強は積み重ねが大切です。平素から予習・復習を心がけ、授業に臨んでください。(各回、2時間程度)

[授業計画]
1. ドイツ語の挨拶、アルファベート、つづりと発音
2. 人称代名詞、動詞の現在人称変化
3. sein(～である)、疑問詞
4. haben(持っている)、名詞の性
5. 語順、決定疑問文と答え方
6. 定冠詞と名詞の格変化
7. 名詞の複数形
8. 不定冠詞、所有冠詞
9. 否定冠詞
10. 現在人称変化の不規則な動詞
11. 名詞の3格
12. 人称代名詞、非人称のes
13. 学習項目のまとめ

科目名	ドイツ語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	奥田　誠司		

[成績評価方法]
小テスト(60%)　授業態度(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:イン・ドイチュラントードイツ語インフォメーション　映像付ー 著者名:秋田靜男他 出版社名:朝日出版社 ISBN:978-4-255-25388-6

[参考書(ISBN)]

科目名	ドイツ語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	毛利　真実		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
簡単な日常会話ができることを目指します。

[授業概要]
この授業では、初めてドイツ語を学ぶ人を対象に、「発音・文法・会話」の基礎を学習していきます。またドイツ語圏の文化事情も紹介し、異文化理解を深めることも重要視します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業のはじめに、前回学習した内容を復習し、理解を深めます。この授業においては、楽しく確実にドイツ語の実力を高めていくことを目標としていますので、わからないことがあるときは、どんなささいなことでも質問してください。

[授業計画]
1.アルファベットと発音
2.自己紹介
3.人を紹介する
4.専攻・言語・履修科目について話す
5.好きな(嫌いな)食べ物・飲み物・外国料理について話す
6.一日の食事について話す
7.趣味、したいこと・出来ることについて話す
8.メールを読んで返事を書く
9.家族について話す
10.職業の名称
11.所持品について尋ねる、答える
12.品物について感想を述べる、買い物をする
13.まとめ

科目名	ドイツ語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	毛利　真実		

[成績評価方法]
試験(60%)・授業内評価(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:Szenen1 著者名:佐藤修子他 出版社名:三修社 ISBN:978-4-384-12308-1

[参考書(ISBN)]

科目名	ドイツ語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	奥田　誠司		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
簡単な日常会話ができることを目指します。

[授業概要]
この授業では、初めてドイツ語を学ぶ人を対象に「発音・文法・会話」の基礎を学習していきます。またドイツ語圏の文化事情も紹介し、異文化理解を深めることも重要視します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
語学の勉強は積み重ねが大切です。平素から予習・復習を心がけ、授業に臨んでください。(各回、2時間程度)

[授業計画]
1. ドイツ語の挨拶、アルファベート、つづりと発音
2. 人称代名詞、動詞の現在人称変化
3. sein(～である)、疑問詞
4. haben(持っている)、名詞の性
5. 語順、決定疑問文と答え方
6. 定冠詞と名詞の格変化
7. 名詞の複数形
8. 不定冠詞、所有冠詞
9. 否定冠詞
10. 現在人称変化の不規則な動詞
11. 名詞の3格
12. 人称代名詞、非人称のes
13. 学習項目のまとめ

科目名	ドイツ語Ⅰ－1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	奥田　誠司		

[成績評価方法]
小テスト(60%)　授業態度(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:イン・ドイチュラントードイツ語インフォメーション　映像付ー 著者名:秋田靜男他 出版社名:朝日出版社 ISBN:978-4-255-25388-6

[参考書(ISBN)]

科目名	ドイツ語Ⅰ －2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	奥田　誠司		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
総合的なドイツ語能力の基礎をつくります。

[授業概要]
前期に引き続き、ドイツ語の世界の更なる理解と興味を深めます。これまでに学習した知識の定着を図りながら、より多彩な日常会話表現を学んでいきます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
語学の勉強は積み重ねが大切です。平素から予習・復習を心がけ、授業に臨んでください。(各回、2時間程度)

[授業計画]
1. 前置詞、前置詞と定冠詞の融合形
2. 話法の助動詞の現在人称変化と主な意味
3. 分離動詞
4. 命令形、時刻表現
5. 形容詞の格変化
6. 再帰代名詞
7. 再帰動詞
8. 動詞の3基本形
9. 過去人称変化
10. 従属の接続詞
11. 現在完了
12. 分離動詞の現在完了、過去と現在完了の使い分け
13. 学習項目のまとめ

科目名	ドイツ語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	奥田　誠司		

[成績評価方法]
小テスト(60%)　授業態度(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:イン・ドイチュラントードイツ語インフォメーション　映像付ー 著者名:秋田靜男他 出版社名:朝日出版社 ISBN:978-4-255-25388-6

[参考書(ISBN)]

科目名	ドイツ語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	毛利　真実		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
総合的なドイツ語能力の基礎をつくります。

[授業概要]
前の学期に引き続き、ドイツ語の世界の更なる理解と興味を深めます。これまでに学習した知識の定着を図りながら、より多彩な日常会話表現を学んでいきます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業のはじめに、前回学習した内容を復習し、理解を深めます。この授業においては、楽しく確実にドイツ語の実力を高めていくことを目標としていますので、わからないことがあるときは、どんなささいなことでも質問してください。

[授業計画]
1.ドイツ語Ⅰ－1の復習
2. 過去の出来事について話す
3. メールを読んで返事を書く
4. 住宅、部屋、家具と場所
5. 家賃と広さの言い方
6. 時刻、時間、1日の生活
7. 日付、誕生日、予定などのついて話す
8. 建物の場所を尋ねる、道案内をする
9. 交通手段や大学生活について話す
10.休暇の予定(いつ、誰と、どこで、何をするか)について話す
11.葉書を書く
12. 過去の体験や経験を話す
13. まとめ

科目名	ドイツ語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	毛利　真実		

[成績評価方法]
試験(60%)・授業内評価(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	ドイツ語Ⅰ －2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	奥田　誠司		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
総合的なドイツ語能力の基礎をつくります。

[授業概要]
前期に引き続き、ドイツ語の世界の更なる理解と興味を深めます。これまでに学習した知識の定着を図りながら、より多彩な日常会話表現を学んでいきます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
語学の勉強は積み重ねが大切です。平素から予習・復習を心がけ、授業に臨んでください。(各回、2時間程度)

[授業計画]
1. 前置詞、前置詞と定冠詞の融合形
2. 話法の助動詞の現在人称変化と主な意味
3. 分離動詞
4. 命令形、時刻表現
5. 形容詞の格変化
6. 再帰代名詞
7. 再帰動詞
8. 動詞の3基本形
9. 過去人称変化
10. 従属の接続詞
11. 現在完了
12. 分離動詞の現在完了、過去と現在完了の使い分け
13. 学習項目のまとめ

科目名	ドイツ語Ⅰ－2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	奥田　誠司		

[成績評価方法]
小テスト(60%)　授業態度(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:イン・ドイチュラントードイツ語インフォメーション　映像付ー 著者名:秋田靜男他 出版社名:朝日出版社 ISBN:978-4-255-25388-6

[参考書(ISBN)]

科目名	ドイツ語Ⅱ（速習）	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	奥田　誠司、J. 池田リツィウス		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
総合的なドイツ語能力の基礎をつくります。

[授業概要]
ドイツ語Ⅰ（速習）に引き続き、ドイツ語Ⅱ（速習）もドイツ人と日本人の教員が週一回ずつ連動して授業を進めます。これまで学習した知識の定着を図りながら、より多彩な日常会話表現を学んでいきます。学外にはドイツ語検定試験の制度もありますから、これも一つの目標にすればいいと思います。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
平素から予習・復習を心がけ、持続的に学習することが重要である。（各回、2時間程度）

[授業計画]
1. 話法の助動詞
2. 未来形
3. 従属の接続詞、時刻の表現
4. 不定代名詞
5. 会話：ノイシュヴァンシュタイン城を見てみたい
6. ドイツ語圏アラカルト　ユネスコ世界遺産
7. Lesetext（ノイシュヴァンシュタイン城）
8. 形容詞の使い方
9. 形容詞の格変化
10 形容詞・副詞の比較
11. 会話：レストランでの料理の注文
12. Lesetext（ドイツ人が好む外国料理）
13. 分離動詞、非分離動詞
14. zu 不定詞
15. 会話：週末の予定は？
16. ドイツ語圏アラカルト　食べ物・飲み物・お菓子
17. Lesetext（伝統的な祭り）
18. 動詞の3基本形
19. 現在完了形
20. 会話：週末に何をしたの？
21. Lesetext（ニーナの週末）
22. 過去形
23. 再帰代名詞と再帰動詞
24. 会話：昨日はどこにいたの？
25. ドイツ語圏アラカルト ドイツの学校制度、お祭り
26. 学習項目のまとめ

科目名	ドイツ語Ⅱ（速習）	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	奥田　誠司、J. 池田リツィウス		

[成績評価方法]
小テスト(60%)　授業態度(40%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:アー・ツェット　楽しく学ぶドイツ語 著者名:小野寿美子、中川明博 出版社名:朝日出版社 ISBN:978-4-255-25420-3

[参考書（ISBN）]

科目名	日本語Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	専門分野における読む・書くための日本語	講義	
担当者	安原　順子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
大学生に必要な専門分野の論文を読んだり、書いたりするための日本語力を高めることを目標とする。

[授業概要]
大学生に必要な読み・書きの日本語力を高めるために、留学生のための上級日本語の授業を行う。毎時間、異なるテーマで読解力、作文力の向上を目指した授業を行う。授業中では毎回課題を課すので、次回に提出すること。日本語教員の経験を有する教員が、その経験を活かして、留学生への日本語指導を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度を必要とする。次回の授業の予習をしておくこと。授業のテーマに関する新聞記事、テレビのニュースに関心を持つこと。

[授業計画]
1. 授業概要
2. 電子辞書
3. 大学秋入学
4. 英語力
5. 電子書籍
6. 夫婦別姓
7. 少子高齢化社会
8. エネルギー政策
9. 高齢者と介護
10. 日本人の食生活
11. 夜働く人々
12. 就職活動
13. まとめ

科目名	日本語Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	専門分野における読む・書くための日本語	講義	
担当者	安原　順子		

[成績評価方法]
授業中の課題（40%）、受講態度（30%）、課題レポート（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・レポートは添削し、毎回次週に返却する。
・添削内容については、解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：日文1-1／日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。
成績評価方法：課題提出、授業参加

学科DP番号／DP内容：日文2-1／獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。
成績評価方法：課題提出、授業参加

学科DP番号／DP内容：日文3-1／伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。
成績評価方法：課題提出、授業参加

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題提出、授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題提出、授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：課題提出、授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題提出、授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題提出、授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題提出、授業参加

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題提出、授業参加

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	日本語Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	専門分野における読み書きのための日本語	講義	
担当者	安原　順子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
大学生に必要な専門分野の論文を読んだり、書いたりするための日本語力を高めることを目標とする。

[授業概要]
大学生に必要な読み・書きの日本語力を高めるために、留学生のための上級日本語の授業を行う。毎時間、異なるテーマで読解力、作文力の向上を目指した授業を行う。専門分野での口頭発表のためのレジュメ作成とレポート・論文作成を学ぶ。授業中には毎回課題を出すので、次回に提出すること。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度を必要とする。次回の授業の予習をしておくこと。授業のテーマに関する新聞記事、テレビのニュースに関心を持つこと。

[授業計画]
1. 授業概要
2. 論文①
3. 論文②
4. 論文③
5. 論文④
6. レジュメ作成①
7. レジュメ作成②
8. レジュメ作成③
9. 学生Aの発表
10. 学生Bの発表
11. 学生Cの発表
12. 評価
13. まとめ

科目名	日本語Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	専門分野における読み書きのための日本語	講義	
担当者	安原　順子		

[成績評価方法]
授業中の発表(40%)、受講態度(30%)、課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・レポートは添削し、毎回次週に返却する。
・添削内容については、解説を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:日文1-1　／日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。
成績評価方法:発表、受講態度、課題

学科DP番号／DP内容:日文2-1／獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。
成績評価方法:発表、受講態度、課題

学科DP番号／DP内容:日文3-1／自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。
成績評価方法:発表、受講態度、課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:発表、受講態度、課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:発表、受講態度、課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:発表、受講態度、課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:発表、受講態度、課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:発表、受講態度、課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:発表、受講態度、課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:発表、受講態度、課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:留学生のためのここが大切文章表現のルール　中上級日本語学習者対象 著者名:石黒圭／著　筒井千絵／著 出版社名:スリーエーネットワーク ISBN:9784883195022

[参考書(ISBN)]

科目名	日本語Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡田　由紀子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・アクセント、イントネーション等に気を付けながら、より自然な日本語で話せるようになる。
・話すべき内容と構成を意識しながら、話題に応じた語彙や表現を使い、説明や描写ができる。
・相手との関係を損なうことなく、論理的で説得力のある意見を述べることができる。

[授業概要]
生活の日本語だけでなく、社会人として日本社会で通用する話し方、聞き方を学ぶ。留学生や外国人研修生などへの日本語指導経験がある教員が、その経験を活かして、説明・交渉など、社会生活において遭遇する場面を取り上げ、その場に応じたコミュニケーションの取り方を指導する。
①アクセントやイントネーションの基礎練習、②ロールプレイ等で場面に応じた語彙や表現を確認、③実践会話で応用練習を行う。また、学外での日本文化体験も行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・各回、予習復習合わせて4時間程度。
　教員から特段の指示がない場合でも自発的に授業内容の予習復習を行うこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. アポイントメント
3. 頼む、許可をもらう
4. 感謝、、苦情、謝罪
5. 計画を立てる
6. インタビュー(1)準備(表現等)
7. インタビュー(2)実践練習
8. ディスカッション(1)準備(表現等)
9. ディスカッション(2)実践練習
10. ディベート(1)準備(表現等)
11. ディベート(2)実践練習
12. 日本文化体験
13. 語彙・表現の総復習、まとめ

科目名	日本語Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡田　由紀子		

[成績評価方法]
試験(20%)、授業内の課題(50%)、受講態度(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題は添削後返却。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業内の課題、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験、授業内の課題、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:試験、授業内の課題、受講態度

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	日本語Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡田　由紀子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・アクセント、イントネーション等に気を付けながら、より自然な日本語で話せるようになる。
・話すべき内容と構成を意識しながら、話題に応じた語彙や表現を使い、説明や描写ができる。
・相手との関係を損なうことなく、論理的で説得力のある意見を述べることができる。

[授業概要]
生活の日本語だけでなく、社会人として日本社会で通用する話し方、聞き方を学ぶ。留学生や外国人研修生などへの日本語指導経験がある教員が、その経験を活かして、説明・交渉など、社会生活において遭遇する場面を取り上げ、その場に応じたコミュニケーションの取り方を指導する。
①アクセントやイントネーションの基礎練習、②ロールプレイ等で場面に応じた語彙や表現を確認、③実践会話で応用練習を行う。また、学外での日本文化体験も行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・各回、予習復習合わせて4時間程度。
　教員から特段の指示がない場合でも自発的に授業内容の予習復習を行うこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 伝言
3. 説明(手順)
4. 説明(症状)
5. 比較
6. 例える
7. 計画を立てる
8. ディスカッション(1)準備(表現等)
9. ディスカッション(2)実践会話
10. ディベート(1) 準備(表現等)
11. ディベート(2) 実践会話
12. 日本文化体験
13. 語彙・表現の総復習、まとめ

科目名	日本語Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡田　由紀子		

[成績評価方法]
試験(20%)、授業内の課題(50%)、受講態度(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題は添削後返却。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業内の課題、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験、授業内の課題、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:試験、授業内の課題、受講態度

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	日本国憲法	後期	2 単位
サブタイトル	日本国憲法	講義	
担当者	竹下　諄		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
日本国憲法の基礎的理解

[授業概要]
日本国憲法に関する基本的内容の講義を行う。特に、日本の統治機構と基本的人権の保障について、具体的な事例や身近な問題に触れつつ、基礎的な考え方や知識の紹介・説明をする。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
予習として、各回の授業範囲部分のテキストを読み、疑問点などを整理しておくこと。また授業後には、復習として、講義内容の要点やキーワードの再確認を行うことで、基本的な知識を定着させるとともに講義内容の理解を深めること。

[授業計画]
1. ガイダンス・憲法とは何か
2. 統治機構総論
3. 国会
4. 内閣
5. 裁判所
6. 人権総論
7. 幸福追求権
8. 思想良心の自由・信教の自由
9. 表現の自由（1）
10. 表現の自由（2）
11. 経済的自由
12. 社会権
13. 平等原則
※以上は目安であり、教育的効果の観点から変更を行う場合がある。

科目名	日本国憲法	後期	2 単位
サブタイトル	日本国憲法	講義	
担当者	竹下　諄		

[成績評価方法]
全5回の課題(おおむね授業3回ごとに実施)各20%を基準として、受講態度（質問やレポートによる積極的な授業参加)を含めて総合的に評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に、講義時に説明を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

[教科書(ISBN)]
書籍名:スタディ憲法〔第2版〕 著者名:曽我部 真裕 出版社名:法律文化社 ISBN:9784589042569

[参考書(ISBN)]
書籍名:憲法判例50！〔第3版〕 著者名:上田 健介 出版社名:有斐閣 ISBN:9784641228467

科目名	日本国憲法	後期	2 単位
サブタイトル	日本国憲法	講義	
担当者	磯村　晃		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 憲法の基本的理念を学習し、全体像を把握する。
2. 憲法の重要な論点について基礎的知識を習得する。
3. 実際に生じている憲法問題について自ら考える能力を培う。

[授業概要]
立憲主義(講義前半)、統治機構(講義中盤)、人権保障(講義後半)の観点から、日本国憲法を基礎的・多角的に説明する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
(予習)あらかじめ配られたレジュメ・配布資料に簡単に目を通しておくこと。
(復習)レジュメに書いたメモや図などを参考に、授業内容を理解できているかを確認すること。

[授業計画]
第1回 ガイダンス、学問としての法学
第2回 憲法と立憲主義
第3回 立憲主義の発展
第4回 立憲君主制ー明治憲法下の統治構造
第5回 立憲民主制ー現行憲法下の統治構造
第6回 統治機構総論ー権力分立理論
第7回 国会
第8回 内閣・行政各部
第9回 裁判所
第10回 人権総論ー「公共の福祉」の解釈論、違憲審査基準論
第11回 個人の尊重ー生命、自由、幸福追求権
第12回 思想・良心の自由
第13回 表現の自由
第14回 通信の秘密
第15回 生存権

科目名	日本国憲法	後期	2 単位
サブタイトル	日本国憲法	講義	
担当者	磯村　晃		

[成績評価方法]
試験による評価を基本とする。
（出題形式：論述問題と空欄補充問題を予定している。）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験については、対面授業の場合は講義時に、遠隔授業の場合はmanabaに提示し説明します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	日本国憲法	後期	2 単位
サブタイトル	日本国憲法	講義	
担当者	豊福　一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
日本国憲法の基礎的理解

[授業概要]
日本国憲法の基礎的な内容を条文や判例、現実の社会問題に照らして解説します。
また、余剰時間が生じた場合、理解力の定着のため公務員試験等の過去問の検討も行います。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
教科書に目を通し,関連するニュースに注意しておくこと。

[授業計画]
※状況によっては遠隔授業

1. 国民主権と人権・個人の尊重
2. 法の下の平等
3. 精神の自由
4. 人身の自由
5. 経済活動の自由
6. 社会権
7. 参政権と義務
8. 立法権
9. 行政権
10. 司法権／地方自治
11. 平和主義(1)
12. 平和主義(2)・象徴天皇制
13. まとめ

科目名	日本国憲法	後期	2 単位
サブタイトル	日本国憲法	講義	
担当者	豊福　一		

[成績評価方法]
試験(100%)による評価を基本とする。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験については、対面授業の場合は講義時に、遠隔授業の場合はmanabaに提示し説明します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:試験(100%)による評価を基本とする。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験(100%)による評価を基本とする。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験(100%)による評価を基本とする。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験(100%)による評価を基本とする。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:試験(100%)による評価を基本とする。

[教科書(ISBN)]
書籍名:新時代の法学・憲法 著者名:山田勉・笹田哲男 出版社名:建帛社 ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	フランス語Ⅰ（速習）	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	松田　真里		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
フランス語を読む、書く、聞く、話すための基礎的な能力を身につけることを目指す。

[授業概要]
「フランスへ旅行したい！」「フランス語を話してみたい！」と思ったことはありませんか？その夢、叶えます！
ディオールやシャネル、サンローランなどの著名なファッションデザイナー、マカロンやカヌレなどの可愛らしいお菓子、モン・サンミッシェルや魅力的なパリの街並み、『アメリ』などの映画やアートなど、おしゃれなイメージが溢れる国、フランス。そんな国の言葉を勉強するのって何だか素敵！　それに、カフェ、パン屋さんやケーキ屋さんなど、私たちの身の回りで見かけるたくさんのフランス語の意味がわかったら、きっと神戸女子大学での毎日がもっと楽しくなるはず！
　和気藹々としたクラスの中で、言葉の仕組みや発音のコツを楽しく勉強したり、会話練習すれば、一年後、Bonjour! Monsieur/Madameと、あなたの口からスラスラとフランス語が飛び出してくること間違いありません。
　ファッションやコスメ、お菓子や料理、映画やアート、漫画アニメなど、豊富な映像コンテンツを用意。フランス語だけでなく、様々なフランスの文化も同時に学べる授業ですので、フランスやフランス語がどんどん好きになり、今すぐ、フランスに行きたくなるでしょう。さあ、あなたの人生を彩り豊かに、味わい深させてくれるフランス語の勉強を一緒にがんばりましょう！
担当教員は、日本やフランスにて外国語教授法の研修を修了しており外国語をわかりやすく伝える研究を重ねています。フランス語の資格試験へ合格させた実績、弁論大会にて良い発表をさせた経験も。興味がある人には個別に対応もできます！　またフランス文学を専門としており、授業の中で紹介することもあります。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の授業について2時間程度の学習を心がけると、しっかりフランス語を習得することができるでしょう。動詞の活用や発音、会話文などの勉強には音読練習がおすすめです。

[授業計画]
1.「アー、ベー、セー！Bonjour！」（アルファベ、あいさつ、自己紹介）
　フランスはどんな国？フランス語はどのような言語？
2.「パリとエッフェル塔」（名詞の性・数/ 冠詞）
　パリのお話、初めての会話、名詞に男女の区別があるなんて！
3.「ジャンヌ・ダルクとフランス史」（主語人称代名詞（私は、君は、彼は…）/発音
　フランス語の発音は、思ったよりも簡単だった！　Rの発音が楽しすぎる！
4.「憧れのホテル・リッツに到着」/形容詞・提示の表現
　フランス語と英語は似ているけど、やっぱり違う！
5.「ソフィーはフランス人で学生です」動詞 エートル動詞（～です）/　国籍や職業の言い方　　自分自身をフランス語で紹介できるようになる
6.「フランス語で電話をかける。「もしもし」は「アロー、アロー」」/形容詞・人称代名詞強勢形　映画『アメリ』を観ながら実践してみます。
7.「『星の王子さま』のバラとキツネ」（名詞の性と数、不定冠詞、定冠詞 ）
　フランス語の冠詞がひじょうに面白いという話。
8.「ラデュレで素敵なアフタヌーン・ティーを。サロン・ド・テの歴史」（否定文・指示形容詞）
9.「フランス人と贈り物について。ブーケとショコラ」（数字、日付の言い方）
10.「メトロ（地下鉄）とフランスのデザイン（アール・ヌーヴォーの装飾って素敵！）」（疑問文、疑問形容詞）
11.「フランスのハーブ薬局（エルボリストリ）でオリジナルハーブティーを作る」
　（動詞avoir（～を持っている）/身体に関する表現/ 家族の言い方）
12.「ノートル・ダム大聖堂（パリ案内①）」（近接未来）
13.「フランスのカフェを満喫する。カフェ・クレーム、スィル・ヴ・プレ！」
　第一群規則動詞：-er動詞 /お願いの仕方
14.「パリ・オペラ座（パリ案内②）」（中性代名詞）
15.「ときめきのフランス伝統菓子（サントノレ、ルリジューズ、クレメダンジュ、タルトタタン、オペラ、フレジエ、ガトーバスク、ウフアラネージュ、モンブラン、エクレア…）」（所有形容詞）
16.「マルシェで、平たい桃と花付きズッキーニを買う！」（命令形/ケスクセ？これはなんですか？）
17.「蚤の市でマイ・カフェオレボールを見つける」（疑問文の作り方・応答の仕方）
18.「ルーヴル美術館でモナ・リザに出逢う」（依頼の表現、チケットの買い方など）
19.「オペラ座でバレエを鑑賞する、バレエの歴史、『眠りの盛りの美女』と『レ・シルフィード』」（動詞aller（行く）とvenir（来る）
20.「香水の国フランス①」 ディオール《ミス・ディオール》とシャネル《5番》の物語
（さまざまな前置詞）
21.「香水の国フランス②」（前置詞と定冠詞の縮約）　香水の聖地、南フランスのグラースと調香師「ネ」。あなたに似合う香りは？
22.「ココ・シャネルと新しい女性像」（強勢人称代名詞）
23.「クリスチャン・ディオールのニュールック。女性と花と香り」（非人称構文）
24. 前期のまとめ① ノート回収日
25.「マカロンが好き。カラフルなマカロン・パリジャンと素朴な茶色い元祖マカロン」
（発音の復習・動詞活用の復習）
26.「フランス革命とアイスクリーム」前期のまとめ②

科目名	フランス語Ⅰ（速習）	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	松田　真里		

[成績評価方法]
授業態度50%、期末課題50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
12回目の授業において、授業ノートの提出をしてもらい、教員がチェックをします。必要に応じて、そのノートに添削、指導をします。また13回目の授業冒頭に、講評を加えます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:ピエールとユゴー　コンパクト版 著者名:小笠原洋子 出版社名:株式会社白水社 ISBN:978-4-560-06131-2

[参考書(ISBN)]

科目名	フランス語Ⅰ －1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	出口　優木		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
フランス語を読む、書く、聞く、話すための基礎的な能力を身につけることを目指す。

[授業概要]
フランスに行きたくなる授業です。語学の嫌いな人こそ受講してほしい(もちろん、好きなひとにもです)。この授業では、単に言葉を学ぶのではなく、フランス語学習のモチベーションの発掘にも力をいれています。ファッションと料理、そして多くの美術館。たち並ぶ歴史的な建物、通り過ぎるスタイリッシュなパリジャン達。そんな街パリへ行ってみませんか？授業では、実際に使えるフランス語の会話表現を学習し、コミュニケーションを実現させるツールとしてのフランス語の習得を目指します。それと共に、フランス料理フランス菓子を始めとするフランス文化を知ってもらう為の多くの映像コンテンツを用意し、多面的にフランスを紹介。さらに、クラシックから最新のヒップホップまでフランスに関係する音楽を積極的に紹介します。語学の授業だから…と敬遠気味なあなたにも、きっと興味を抱かせるような授業を行います。フランス語はちょっと難しそう、でもフランス料理やパリ・コレのファッションには興味がある！と、そんな人に積極的に参加してほしい授業です。教員は言語学が専門なので、詳しい文法に興味がある方へも個別対応できます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度、授業において「ココだけは絶対」と言った部分に関して復習すること。また、授業で紹介したフランス文化に関して、興味がある部分は掘り下げて調べる努力を期待。

[授業計画]

	語学学習	文化学習
1.	フランス語とフランス文化について	パリの街並み紹介，パリの朝ごはん
2.	フランス語の発音	パリ観光、バレエの話
3.	挨拶	パリで食べるべき名物
4.	ホテルのフロントにて1	映画「アメリ」の世界
5.	ホテルのフロントにて2	パリらしさ19世紀の名残、パッサージュ
6.	カフェにて1	パリの愉しみ、カフェ文化
7.	カフェにて2	世界遺産モンサンミッシェル
8.	自己紹介1	オペラ座と「オペラ座の怪人」
9.	自己紹介2	ルーブル美術館にて
10.	自己紹介3	フランスのスイーツ紹介
11.	ブティックにて1	映画でフランスの歴史を巡る
12.	前期の復習	パリ・コレクションの世界！
13.	フランスの文化、大聖堂に関して	パリで行くべきレストラン(独断)

毎回、授業冒頭にフランスの音楽の紹介を行います。
教科書として使うテキストはあります、使用法、価格等(1000円程度)は初回授業で指示。

科目名	フランス語Ⅰ －1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	出口　優木		

[成績評価方法]
授業態度50%、期末課題50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
12回目の授業にて授業テキストを回収、教員が添削、指導。13回目の授業冒頭に講評。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	フランス語Ⅰ －1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	出口　優木		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
フランス語を読む、書く、聞く、話すための基礎的な能力を身につけることを目指す。

[授業概要]
フランスに行きたくなる授業です。語学の嫌いな人こそ受講してほしい(もちろん、好きなひとにもです)。この授業では、単に言葉を学ぶのではなく、フランス語学習のモチベーションの発掘にも力をいれています。ファッションと料理、そして多くの美術館。たち並ぶ歴史的な建物、通り過ぎるスタイリッシュなパリジャン達。そんな街パリへ行ってみませんか？授業では、実際に使えるフランス語の会話表現を学習し、コミュニケーションを実現させるツールとしてのフランス語の習得を目指します。それと共に、フランス料理フランス菓子を始めとするフランス文化を知ってもらう為の多くの映像コンテンツを用意し、多面的にフランスを紹介。さらに、クラシックから最新のヒップホップまでフランスに関係する音楽を積極的に紹介します。語学の授業だから…と敬遠気味なあなたにも、きっと興味を抱かせるような授業を行います。フランス語はちょっと難しそう、でもフランス料理やパリ・コレのファッションには興味がある！と、そんな人に積極的に参加してほしい授業です。教員は言語学が専門なので、詳しい文法に興味がある方へも個別対応できます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度、授業において「ココだけは絶対」と言った部分に関して復習すること。また、授業で紹介したフランス文化に関して、興味がある部分は掘り下げて調べる努力を期待。

[授業計画]

	語学学習	文化学習
1.	フランス語とフランス文化について	パリの街並み紹介，パリの朝ごはん
2.	フランス語の発音	パリ観光、バレエの話
3.	挨拶	パリで食べるべき名物
4.	ホテルのフロントにて1	映画「アメリ」の世界
5.	ホテルのフロントにて2	パリらしさ19世紀の名残、パッサージュ
6.	カフェにて1	パリの愉しみ、カフェ文化
7.	カフェにて2	世界遺産モンサンミッシェル
8.	自己紹介1	オペラ座と「オペラ座の怪人」
9.	自己紹介2	ルーブル美術館にて
10.	自己紹介3	フランスのスイーツ紹介
11.	ブティックにて1	映画でフランスの歴史を巡る
12.	前期の復習	パリ・コレクションの世界！
13.	フランスの文化、大聖堂に関して	パリで行くべきレストラン(独断)

毎回、授業冒頭にフランスの音楽の紹介を行います。
教科書として使うテキストはあります、使用法、価格等(1000円程度)は初回授業で指示。

科目名	フランス語Ⅰ －1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	出口　優木		

[成績評価方法]
授業態度50%、期末課題50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
12回目の授業にて授業テキストを回収、教員が添削、指導。13回目の授業冒頭に講評。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	フランス語Ⅰ －1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	松田　真里		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
フランス語を読む、書く、聞く、話すための基礎的な能力を身につけることを目指す。

[授業概要]
語学の嫌いな人こそ受講してほしい(もちろん、好きなひとにもです)。この授業では、単に言葉を学ぶのではなく、フランス語を使いたくなるやる気の発掘にも力をいれています。ファッションと料理、そして多くの美術館。たち並ぶ歴史的な建物、通り過ぎるスタイリッシュなパリジャン達。そんな街パリへ行ってみませんか？そして、フランス語で、パリひいてはフランスを体験してみませんか？あなたがフランス語を話なそうとしているのが分かれば、気難しげだったパン屋の主人も、取り澄ましていたカフェのギャルソンも、表情を和らげ言ってくれるハズです「ボンジュール、マドマゼール」。授業では、実際に使えるフランス語の表現を学習し、コミュニケーションを実現させるツールとしてのフランス語の習得を目指します。それと共に、フランス文化を知ってもらう為の多くの映像コンテンツを用意し、多面的にフランスを紹介。語学の授業だから…と敬遠気味なあなたにも、きっと興味を抱かせるような授業を行います。フランス語はちょっと難しそう、でもフランス料理やパリ・コレのファッションには興味がある！と、そんな人に積極的に参加してほしい授業です。
担当教員は日本やフランスで行われる外国語としてのフランス語教授法研修を修了しており、いかにフランス語を教えるのかについて日々研究中。学生をフランス語の資格試験や弁論大会に出させた実績もあります。さらに進んで勉強したい学生にも個別に対応することができます。またフランス文学が専門であるため、授業などでご紹介することもあります。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度、授業において「ココだけは絶対」と言った部分に関して復習すること。また、授業で紹介したフランス文化に関して、興味がある部分は掘り下げて調べる努力を期待。

[授業計画]
1. フランス語とフランス文化について
2. フランス語の発音
3. 挨拶
4. ホテルのフロントにて1
5. ホテルのフロントにて2
6. カフェにて1
7. カフェにて2
8. 自己紹介1
9. 自己紹介2
10. 自己紹介3
11. ブティックにて1
12. 前期の復習
13. フランスの文化、大聖堂に関して

教科書として使うテキストはあります、使用法、価格等詳しくは初回授業にて指示します。

科目名	フランス語Ⅰ －1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	松田　真里		

[成績評価方法]
授業態度50%、期末課題50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
12回目の授業にて授業テキストを回収、教員が添削、指導。13回目の授業冒頭に講評。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:ピエールとユゴー　コンパクト版 著者名:小笠原洋子 出版社名:白水社 ISBN:978-4-560-06131-2

[参考書(ISBN)]

科目名	フランス語Ⅰ －1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	出口　優木		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
フランス語を読む、書く、聞く、話すための基礎的な能力を身につけることを目指す。

[授業概要]
フランスに行きたくなる授業です。語学の嫌いな人こそ受講してほしい(もちろん、好きなひとにもです)。この授業では、単に言葉を学ぶのではなく、フランス語学習のモチベーションの発掘にも力をいれています。ファッションと料理、そして多くの美術館。たち並ぶ歴史的な建物、通り過ぎるスタイリッシュなパリジャン達。そんな街パリへ行ってみませんか？授業では、実際に使えるフランス語の会話表現を学習し、コミュニケーションを実現させるツールとしてのフランス語の習得を目指します。それと共に、フランス料理フランス菓子を始めとするフランス文化を知ってもらう為の多くの映像コンテンツを用意し、多面的にフランスを紹介。さらに、クラシックから最新のヒップホップまでフランスに関係する音楽を積極的に紹介します。語学の授業だから…と敬遠気味なあなたにも、きっと興味を抱かせるような授業を行います。フランス語はちょっと難しそう、でもフランス料理やパリ・コレのファッションには興味がある！と、そんな人に積極的に参加してほしい授業です。教員は言語学が専門なので、詳しい文法に興味がある方へも個別対応できます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度、授業において「ココだけは絶対」と言った部分に関して復習すること。また、授業で紹介したフランス文化に関して、興味がある部分は掘り下げて調べる努力を期待。

[授業計画]

	語学学習	文化学習
1.	フランス語とフランス文化について	パリの街並み紹介，パリの朝ごはん
2.	フランス語の発音	パリ観光、バレエの話
3.	挨拶	パリで食べるべき名物
4.	ホテルのフロントにて1	映画「アメリ」の世界
5.	ホテルのフロントにて2	パリらしさ19世紀の名残、パッサージュ
6.	カフェにて1	パリの愉しみ、カフェ文化
7.	カフェにて2	世界遺産モンサンミッシェル
8.	自己紹介1	オペラ座と「オペラ座の怪人」
9.	自己紹介2	ルーブル美術館にて
10.	自己紹介3	フランスのスイーツ紹介
11.	ブティックにて1	映画でフランスの歴史を巡る
12.	前期の復習	パリ・コレクションの世界！
13.	フランスの文化、大聖堂に関して	パリで行くべきレストラン(独断)

毎回、授業冒頭にフランスの音楽の紹介を行います。
教科書として使うテキストはあります、使用法、価格等(1000円程度)は初回授業で指示。

科目名	フランス語Ⅰ －1	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	出口　優木		

[成績評価方法]
授業態度50%、期末課題50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
12回目の授業にて授業テキストを回収、教員が添削、指導。13回目の授業冒頭に講評。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	フランス語Ⅰ －2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	出口　優木		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
現地のレストランやブティックなどで簡単なやり取りができるレベルを目指す。

[授業概要]
ヨーロッパ文化の中心フランス、ファッションとグルメの都であるパリを、フランス語を使って旅したくありませんか？後期の授業では、ボキャブラリーの充実を目指し、様々な場面、事態に対応できる力の養成をめざします。また、習うよりは慣れろと後回しにした文法に関しても、丸暗記という形ではなく、なぜフランス語ではそういう話し方をするのか？という疑問に答える形で明らかにします。同時に、フランス文化への理解を高める為に、フランスの歴史、フランスの地方の特色、そしてフランス料理などの説明も交え、前期よりもさらに広く深くフランス文化を紹介していきます。言葉を学ぶことは、文化を理解することであると体感してもらえる授業を目指します。この授業を受講した多くの学生が、一度はフランスに行きたいと、感想を述べています、そんな授業にあなたも是非。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度、授業中に「ココだけは絶対」と言った事柄に関して復習。また、授業で紹介した文化に関して個人手的に掘り下げて調べること。

[授業計画]

	語学学習	文化学習
1.	前期の復習	プロヴァンス、地中海の愉しみ
2.	発音の復習	香水の都グラース、香水のはなし
3.	ブティックにて2	バスク地方、バルの文化
4.	ブティックにて3	ル・ピュイ巡礼の道、中世都市コンク
5.	ワイン・バーにて1	アール・ヌーボの街、ナンシー
6.	ワイン・バーにて2	ストラスブール、クリスマスマーケットへ
7.	メトロの駅で	ワインの聖地、ブルゴーニュ
8.	ミュゼをめざして1	美食とローマ遺跡の街リヨン
9.	ミュゼをめざして2	アルプス・モンブランへ、シャモニー
10.	レストランにて1	ベルギー、チョコレートとビールの国
11.	レストランにて2	モロッコ、フランス語圏のアフリカ紹介
12.	後期の復習とまとめ	フランスのクリスマス紹介
13.	フランス式のマナーに関して	一生役に立つテーブル・マナーなど

毎回、授業冒頭にフランスの音楽の紹介を行います。
授業テキストに関しては、初回の授業で指示します。

科目名	フランス語Ⅰ －2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	出口　優木		

[成績評価方法]
授業態度50%、期末課題50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
12回目の授業にて授業テキストを回収、教員が添削・指導。13回目授業冒頭に講評。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	フランス語Ⅰ －2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	出口　優木		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
現地のレストランやブティックなどで簡単なやり取りができるレベルを目指す。

[授業概要]
ヨーロッパ文化の中心フランス、ファッションとグルメの都であるパリを、フランス語を使って旅したくありませんか？後期の授業では、ボキャブラリーの充実を目指し、様々な場面、事態に対応できる力の養成をめざします。また、習うよりは慣れろと後回しにした文法に関しても、丸暗記という形ではなく、なぜフランス語ではそういう話し方をするのか？という疑問に答える形で明らかにします。同時に、フランス文化への理解を高める為に、フランスの歴史、フランスの地方の特色、そしてフランス料理などの説明も交え、前期よりもさらに広く深くフランス文化を紹介していきます。言葉を学ぶことは、文化を理解することであると体感してもらえる授業を目指します。この授業を受講した多くの学生が、一度はフランスに行きたいと、感想を述べています、そんな授業にあなたも是非。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度、授業中に「ココだけは絶対」と言った事柄に関して復習。また、授業で紹介した文化に関して個人手的に掘り下げて調べること。

[授業計画]

	語学学習	文化学習
1.	前期の復習	プロヴァンス、地中海の愉しみ
2.	発音の復習	香水の都グラース、香水のはなし
3.	ブティックにて2	バスク地方、バルの文化
4.	ブティックにて3	ル・ピュイ巡礼の道、中世都市コンク
5.	ワイン・バーにて1	アール・ヌーボの街、ナンシー
6.	ワイン・バーにて2	ストラスブール、クリスマスマーケットへ
7.	メトロの駅で	ワインの聖地、ブルゴーニュ
8.	ミュゼをめざして1	美食とローマ遺跡の街リヨン
9.	ミュゼをめざして2	アルプス・モンブランへ、シャモニー
10.	レストランにて1	ベルギー、チョコレートとビールの国
11.	レストランにて2	モロッコ、フランス語圏のアフリカ紹介
12.	後期の復習とまとめ	フランスのクリスマス紹介
13.	フランス式のマナーに関して	一生役に立つテーブル・マナーなど

毎回、授業冒頭にフランスの音楽の紹介を行います。
授業テキストに関しては、初回の授業で指示します。

科目名	フランス語Ⅰ －2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	出口　優木		

[成績評価方法]
授業態度50%、期末課題50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
12回目の授業にて授業テキストを回収、教員が添削・指導。13回目授業冒頭に講評。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	フランス語Ⅰ －2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	松田　真里		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
現地のレストランやブティックなどで簡単なやり取りができるレベルを目指す。

[授業概要]
　語学の嫌いな人こそ受講してほしい(もちろん、好きなひとにもです)。この授業では、単に言葉を学ぶのではなく、フランス語を使いたくなるやる気の発掘にも力をいれています。ファッションと料理、そして多くの美術館。たち並ぶ歴史的な建物、通り過ぎるスタイリッシュなパリジャン達。そんな街パリへ行ってみませんか？そして、フランス語で、パリひいてはフランスを体験してみませんか？あなたがフランス語を話なそうとしているのが分かれば、気難しげだったパン屋の主人も、取り澄ましていたカフェのギャルソンも、表情を和らげ言ってくれるハズです「ボンジュール、マドマゼール」。授業では、実際に使えるフランス語の表現を学習し、コミュニケーションを実現させるツールとしてのフランス語の習得を目指します。それと共に、フランス文化を知ってもらうための多くの映像コンテンツを用意し、多面的にフランスを紹介。語学の授業だから…と敬遠気味なあなたにも、きっと興味を抱かせるような授業を行います。フランス語はちょっと難しそう、でもフランス料理やパリ・コレのファッションには興味がある！と、そんな人に積極的に参加してほしい授業です。後期の授業では、ボキャブラリーの充実を目指し、様々な場面、事態に対応できる力の養成をめざします。また、習うよりは慣れろと後回しにした文法に関しても、丸暗記という形ではなく、なぜフランス語ではそういう話し方をするのか？という疑問に答える形で明らかにすることで、一度、理解すれば他の表現へも応用可能な形で習得することをめざします。
　担当教員は日本やフランスで行われる外国語としてのフランス語教授法研修を修了しており、いかにフランス語を教えるのかについて日々研究中。学生をフランス語の資格試験や弁論大会に出させた実績もあります。さらに進んで勉強したい学生にも個別に対応することができます。またフランス文学が専門であるため、授業などでご紹介することもあります。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
　各回の授業について予習復習合わせて2時間程度、授業中に「ココだけは絶対」と言った事柄に関して復習。また、授業で紹介した文化に関して個人的に掘り下げて調べること。

[授業計画]
1. 前期の復習
2. 発音の復習
3. ブティックにて2
4. ブティックにて3
5. ワイン・バーにて1
6. ワイン・バーにて2
7. メトロの駅で
8. ミュゼをめざして1
9. ミュゼをめざして2
10. レストランにて1
11. レストランにて2
12. 後期の復習とまとめ
13. フランス式のマナーに関して

授業テキストに関しては、初回の授業で指示します。

科目名	フランス語Ⅰ －2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	松田　真里		

[成績評価方法]
授業態度50%、期末課題50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
12回目の授業にて授業テキストを回収、教員が添削・指導。13回目授業冒頭に講評。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:ピエールとユゴー　コンパクト版 著者名:小笠原洋子 出版社名:白水社 ISBN:978-4-560-06131-2

[参考書(ISBN)]

科目名	フランス語Ⅰ －2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	出口　優木		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
現地のレストランやブティックなどで簡単なやり取りができるレベルを目指す。

[授業概要]
ヨーロッパ文化の中心フランス、ファッションとグルメの都であるパリを、フランス語を使って旅したくありませんか？後期の授業では、ボキャブラリーの充実を目指し、様々な場面、事態に対応できる力の養成をめざします。また、習うよりは慣れろと後回しにした文法に関しても、丸暗記という形ではなく、なぜフランス語ではそういう話し方をするのか？という疑問に答える形で明らかにします。同時に、フランス文化への理解を高める為に、フランスの歴史、フランスの地方の特色、そしてフランス料理などの説明も交え、前期よりもさらに広く深くフランス文化を紹介していきます。言葉を学ぶことは、文化を理解することであると体感してもらえる授業を目指します。この授業を受講した多くの学生が、一度はフランスに行きたいと、感想を述べています、そんな授業にあなたも是非。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の授業について予習復習合わせて2時間程度、授業中に「ココだけは絶対」と言った事柄に関して復習。また、授業で紹介した文化に関して個人手的に掘り下げて調べること。

[授業計画]

	語学学習	文化学習
1.	前期の復習	プロヴァンス、地中海の愉しみ
2.	発音の復習	香水の都グラース、香水のはなし
3.	ブティックにて2	バスク地方、バルの文化
4.	ブティックにて3	ル・ピュイ巡礼の道、中世都市コンク
5.	ワイン・バーにて1	アール・ヌーボの街、ナンシー
6.	ワイン・バーにて2	ストラスブール、クリスマスマーケットへ
7.	メトロの駅で	ワインの聖地、ブルゴーニュ
8.	ミュゼをめざして1	美食とローマ遺跡の街リヨン
9.	ミュゼをめざして2	アルプス・モンブランへ、シャモニー
10.	レストランにて1	ベルギー、チョコレートとビールの国
11.	レストランにて2	モロッコ、フランス語圏のアフリカ紹介
12.	後期の復習とまとめ	フランスのクリスマス紹介
13.	フランス式のマナーに関して	一生役に立つテーブル・マナーなど

毎回、授業冒頭にフランスの音楽の紹介を行います。
授業テキストに関しては、初回の授業で指示します。

科目名	フランス語Ⅰ －2	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	出口　優木		

[成績評価方法]
授業態度50%、期末課題50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
12回目の授業にて授業テキストを回収、教員が添削・指導。13回目授業冒頭に講評。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	フランス語Ⅱ（速習）	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	松田　真里		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

［ 到達目標 ］
現地のレストランやブティックなどで簡単なやり取りができるレヴェルを目指す。

［ 授業概要 ］
「フランスへ旅行したい！」「フランス語を話してみたい！」と思ったことはありませんか？その夢、叶えます！
ディオールやシャネル、サンローランなどの著名なファッションデザイナー、マカロンやカヌレなどの可愛らしいお菓子、モン・サンミッシェルや魅力的なパリの街並み、『アメリ』などの映画やアートなど、おしゃれなイメージが溢れる国、フランス。そんな国の言葉を勉強するのって何だか素敵！　それに、カフェ、パン屋さんやケーキ屋さんなど、私たちの身の回りで見かけるたくさんのフランス語の意味がわかったら、きっと神戸女子大学での毎日がもっと楽しくなるはず！
和気藹々としたクラスの中で、言葉の仕組みや発音のコツを楽しく勉強したり、会話練習すれば、一年後、Bonjour! Monsieur/Madameと、あなたの口からスラスラとフランス語が飛び出してくること間違いありません。
　ファッションやコスメ、お菓子や料理、映画やアート、漫画アニメなど、豊富な映像コンテンツを用意。フランス語だけでなく、様々なフランスの文化も同時に学べる授業ですので、フランスやフランス語がどんどん好きになり、今すぐ、フランスに行きたくなるでしょう。さあ、あなたの人生を彩り豊かに、味わい深させてくれるフランス語の勉強を一緒にがんばりましょう！
担当教員は、日本とフランスにて外国語を教授する研修を修了しており、いかにフランス語を教えるかについて日々研究中。フランス語の資格試験へ合格させた実績、弁論大会にて良い発表をさせた経験も。興味がある人には個別に対応もできます！またフランス文学を専門としているため、授業を通してご紹介することもできます。

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
各回の授業について2時間程度の学習を心がけると、しっかりフランス語を習得することができるでしょう。動詞の活用や発音、会話文などの勉強には音読練習がおすすめです。

［ 授業計画 ］
1.「フランス人とヴァカンス」エリック・ロメールの二つの映画から
前期の復習　①（名詞・形容詞と発音の仕組み）
2.「パリ万博とエッフェル塔」 前期の復習 ②（動詞の活用、代名詞）
3.「フランス人とパン、バゲット・コンクール？」（部分冠詞、冠詞の使い分け）
4.「フランス人と365のチーズ」（好き・嫌いの表現、動詞aimer, adorerなど）
5.「ワインと水の物語　テロワールって何？」（～の方が好きです、動詞prêfèrer）
6.「フランス料理とテーブルマナー」（希望・義務・許可を表す重要な動詞vouloir, devoir, pouvoir）
7.「レストランとスープの歴史。レストランでの注文、メニューの読み方）（近接未来「するところだ」・近接過去「したばかりだ」）
8.「グルメの国フランスとミシュランとゴ・エ・ミヨ」（非人称構文）
9.「フランスの美術館の魅力。モネならばオランジュリー、ルノワールならばオルセー、ピカソならばピカソ美術館へ！」（直接目的補語と間接目的語）
10.「フランス映画とヌーヴェル・ヴァーグ」（おしゃれなトリュフォーとゴダールの映画！）（複合過去①）
11.「フランス現代アートとポンピドゥー・センター」（複合過去②）
12.「ルイ・ヴィトンの歴史」（ショッピングのフランス語会話①）代名動詞
13.「エルメスの歴史。バッグとカレ（スカーフ）」（ショッピングのフランス語会話②）（半過去、複合過去との比較）
14.「イヴ・サンローランとその美的世界」（第二群規則動詞、不規則動詞）
15.「フランスの民族衣装
（南仏アルルの女とソレイアード、ブルターニュのレース、アルザスの大きなリボンの頭飾り）」（比較級・最上級）
16.「フランスの地方①　南フランス：世界で最も可愛い村」（関係代名詞）
17.「フランスの地方②　ブルターニュとノルマンディー。クイニーアマンとモンサンミッシェル」（近接未来（～しようとしている）と近接過去（したばかりだ））
18.「フランスのファブリック、トワル・ド・ジュイとソレイアード」（単純未来）
19.「パリ管弦楽団とフランスの音楽、ドビュッシー、ラヴェル、サティ」（さまざまな接続詞、ジェロンディフ）
20.「手紙やカード、メールをフランス語で書く」（強調構文、筆記体の練習）
21.「フランスの写真家と決定的瞬間」（比較級・最上級）
22.　後期のまとめ① ノート回収
23.「フランスのクリスマスと伝統菓子、ビュッシュ・ド・ノエル、南フランスの13デセール、マナラやベラベッカ」
（半過去と大過去）
24.「フランス文学はじめの一歩①」（『星の王子さま』）（単純未来）
25.「フランス文学はじめの一歩②」（『失われた時を求めて』）（接続法）
26.「あなたのマドレーヌ？感覚と記憶、聖地サンチャゴ・デ・コンポステーラ巡礼の旅路」（時制の整理）、後期のまとめ　②　（新年のお祝いのケーキ、ガレット・デ・ロワ）

科目名	フランス語Ⅱ（速習）	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	松田　真里		

[成績評価方法]
授業態度50%、期末課題50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
12回目の授業において、授業ノートの提出をしてもらい、教員がチェックをします。必要に応じて、そのノートに添削、指導をします。また13回目の授業冒頭に、講評を加えます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:ピエールとユゴー　コンパクト版 著者名:小笠原洋子 出版社名:白水社 ISBN:978-4-560-06131-2

[参考書(ISBN)]

科目名	歴史Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	日本の歴史 （アジアのなかの日本）	講義	
担当者	山内　晋次		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	図書館やインターネットを積極的に利用し、興味をもったテーマについて自分なりに知識を深めていく。	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
日本の歴史的特質をアジア各地との交流史の視座からとらえた研究成果を学び、歴史の見方を広げる。

[授業概要]
日本とアジア諸地域との交流史を、日本古代・中世を中心にさまざまな素材から検討していく。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
配付されたレジュメには事前に目を通して授業に臨む。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. 奈良時代以前の交流史（1）
3. 奈良時代以前の交流史（2）
4. 奈良時代の交流史（1）
5. 奈良時代の交流史（2）
6. 平安時代の交流史（1）
7. 平安時代の交流史（2）
8. 平安時代の交流史（3）
9. 鎌倉・室町時代の交流史（1）
10. 鎌倉・室町時代の交流史（2）
11. 日本列島南北縁辺の交流史（1）
12. 日本列島南北縁辺の交流史（2）
13. まとめ

科目名	歴史Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	日本の歴史 （アジアのなかの日本）	講義	
担当者	山内 晋次		

[成績評価方法]
受講態度(30%)+ 学期末試験(70%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業・メールなどで対応する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:受講態度(30%)+ 学期末試験(70%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:受講態度(30%)+ 学期末試験(70%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:受講態度(30%)+ 学期末試験(70%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:受講態度(30%)+ 学期末試験(70%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	歴史Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	ヨーロッパの歴史	講義	
担当者	吉村　真美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
生活史を中心にヨーロッパの歴史を学び、その概要を理解する。
多文化共生社会に求められる異文化についての歴史的な知識と理解を深め、その相互の影響について主体的に考える力を身につける。

[授業概要]
近代を中心に、衣食住にわたるヨーロッパの生活文化史について、それぞれ具体的なテーマをとりあげて述べる。また、これらの諸要素が作中にみられる、ヨーロッパの過去を舞台に設定した映画を鑑賞し、理解を深める。
なお、講義の際には文字や資料を教室内のプロジェクターに掲示するが、スマホ・デジカメ等によるその撮影は認めない。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
KISSおよびmanabaに掲示した資料は授業までに閲覧しておくこと。授業時に言及された人名・地名・歴史用語などについて、基礎的な理解の不足しているものは調べておくこと。試験の際には自筆シート(詳細は授業時に説明する)の持ち込みを認めるので、その準備となる講義ノートへの加筆による復習を奨励する。

[授業計画]
1.はじめに 「ヨーロッパ文化」の起源
2.食の文化史(1)―地中海の食
3.食の文化史(2)―饗宴と節制
4.食の文化史(3)―食の近代化
5.衣の文化史(1)―奢侈禁止令の背景
6.衣の文化史(2)―誰が何を着るべきか
7.衣の文化史(3)―女性らしさとファッション
8.住の文化史(1)―古代の浴場
9.住の文化史(2)―十字軍とペスト
10.住の文化史(3)―清潔という規範
11.映像に見るヨーロッパ文化(1)
12.映像に見るヨーロッパ文化(2)
13.おわりに　まとめ

科目名	歴史Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	ヨーロッパの歴史	講義	
担当者	吉村　真美		

[成績評価方法]
課題 10 %、筆記試験 90%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業時のコメントおよび、オンライン上での講評によって行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題 10 %、筆記試験 90%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題 10 %、筆記試験 90%

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題 10 %、筆記試験 90%

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

資　格　科　目

（授業科目名五十音順）

科目名	英語科指導法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	国際教養学科用	講義	
担当者	田中　章愛		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
英語指導法の一つであるIntake Readingを学ぶとともに、英語の教科用図書の活用方法を学習する。また、教材やICTの活用方法、英語による授業展開やALTとのティーム・ティーチングの方法についての理解を踏まえた5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導と領域統合型の言語活動の指導についての知識・技能を身に付ける。

[授業概要]
まず、学習指導要領に基づく5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導について英語科指導法Ⅰ・Ⅱで学んだ内容を再度確認し、複数の領域を統合した言語活動について理解を深める。次に、生徒の間違った英文産出を減らすことができる、齋藤(2011)で提案されたIntake Readingという指導法を学び、加えて、英語の教科用図書(教科書)の活用方法について学習する。また、英語の音声、文字、語彙・表現の指導についても授業映像の視聴等を通して実践方法を学ぶ。さらに、プレゼンテーションソフトウェアや音声編集ソフトウェア等のICTを活用した視聴覚教材の導入を体験し、英語でのインタラクション、ALTとのティーム・ティーチングの方法についてもさらなる知識と技能を身に付ける。模擬授業では、これまで学習した指導法を踏まえた5つの領域の指導及び複数の領域を統合した言語活動(音声、文字、語彙・表現の指導も含む)を実施することで、これらの指導法について体験的に学習する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。

＊授業はPC必携。授業の連絡等は manaba から行うので、必ず受信登録をしておくこと。
＊教諭経験のある教員が、その経験を活かして、教授法を指導する。
＊受講者数を勘案して講義内容を変更することがある。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業についての予習・復習4時間程度。
模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。

[授業計画]
1. 学習指導要領と検定教科書、領域統合型の言語活動の指導
2. Intake Readingの事前指導と実践方法、教科書の活用
3. Intake Readingを取り入れた授業とワークショップ(授業担当教員による実演)、英語の音声、文字、語彙・表現に関する授業映像視聴
4. 教材研究とICTの活用、領域統合型の授業映像視聴
5. 教室英語、英語でのインタラクション、ティーム・ティーチング等の効果的な活用
6. 小テスト、模擬授業(1)の準備
7. 模擬授業(1)(全体を1/2に分けた第1グループ)
8. 模擬授業(1)(全体を1/2に分けた第2グループ)
9. 模擬授業(1)の振り返り、模擬授業(2)の準備
10. 模擬授業(2)(全体を1/2に分けた第1グループ)
11. 模擬授業(2)(全体を1/2に分けた第2グループ)
12. 模擬授業(2) の振り返り
13. まとめ

科目名	英語科指導法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	国際教養学科用	講義	
担当者	田中　章愛		

[成績評価方法]
模擬授業（20%）、小テスト（20%）、学習指導案（15%）、授業での取り組み（授業中の課題や発言など）（20%）、レポート（25%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・指導案・模擬授業は授業内でフィートバックを行います。
・manaba での小テストやレポート課題は、manaba にてフィードバックを行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：国際1-1-2／国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている
成績評価方法：模擬授業、小テスト、レポート

学科DP番号／DP内容：国際1-2-1／国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。
成績評価方法：模擬授業、小テスト

学科DP番号／DP内容：国際2-2／自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

学科DP番号／DP内容：国際3-2-2／地域社会に積極的に関わり、人々と協力・協働して行動できる。
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:【第4版】英語科教育実習ハンドブック 著者名:加藤茂夫／著　杉山敏／著　荒木美恵子／著 出版社名:大修館書店
ISBN:9784469246445
書籍名:【改訂新版】グローバル社会の異文化コミュニケーション 著者名:池口セシリア／著　八代京子／著 出版社名:金星堂
ISBN:9784764739895

[参考書（ISBN）]
書籍名:中学校学習指導要領解説　外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692
書籍名:高等学校学習指導要領解説　外国語編・英語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051784

科目名	英語科指導法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル	国際教養学科用	講義	
担当者	田中　章愛		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
第二言語習得研究に基づき、小・中・高等学校を通した英語教育のあり方を理解する。個に応じた指導や異文化理解に関する指導について、さらなる知識と技能を身につける。また、英語教育に関して自ら研究を進められる能力を養う。

[授業概要]
第二言語習得に基づいた小・中・高等学校を通した英語教育のあり方について学習する。また、異文化理解に関する内容を取り入れる方法や、生徒の特性や習熟度に基づく指導方法についても理解を深める。さらに学校文法だけでなく科学文法についても学習し、文法指導について理解するとともに、英語教育について自ら研究できる能力の基礎を築く。模擬授業では、5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、および「書くこと」)の指導及び複数の領域を統合した

＊授業はPC必携。授業の連絡等は manaba から行うので、必ず受信登録をしておくこと。
＊後期も引き続き、教科書『英語科教育実習ハンドブック』(大修館書店)・『グローバル社会の異文化コミュニケーション』(金星堂)を使用する。
＊教諭経験のある教員が、その経験を活かして、教授法を指導する。
＊受講者数を勘案して講義内容を変更することがある。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業についての予習・復習4時間程度。
模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)
講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。

[授業計画]
1. 学習指導要領と検定教科書、領域統合型の言語活動の指導
2. Intake Readingの事前指導と実践方法、教科書の活用
3. Intake Readingを取り入れた授業とワークショップ(授業担当教員による実演)、英語の音声、文字、語彙・表現に関する授業映像視聴
4. 教材研究とICTの活用、領域統合型の授業映像視聴
5. 教室英語、英語でのインタラクション、ティーム・ティーチング等の効果的な活用
6. 小テスト、模擬授業(1)の準備
7. 模擬授業(1)(全体を1/2に分けた第1グループ)
8. 模擬授業(1)(全体を1/2に分けた第2グループ)
9. 模擬授業(1)の振り返り、模擬授業(2)の準備
10. 模擬授業(2)(全体を1/2に分けた第1グループ)
11. 模擬授業(2)(全体を1/2に分けた第2グループ)
12. 模擬授業(2) の振り返り
13. まとめ

科目名	英語科指導法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル	国際教養学科用	講義	
担当者	田中　章愛		

[成績評価方法]
模擬授業（20%）、小テスト（20%）、学習指導案（15%）、授業での取り組み（授業中の課題や発言など）（20%）、レポート（25%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・指導案・模擬授業は授業内でフィートバックを行います。
・manaba での小テストやレポート課題は、manaba にてフィードバックを行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：国際1-1-2／国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている
成績評価方法：模擬授業、小テスト、レポート

学科DP番号／DP内容：国際1-2-1／国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。
成績評価方法：模擬授業、小テスト

学科DP番号／DP内容：国際2-2／自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

学科DP番号／DP内容：国際3-2-2／地域社会に積極的に関わり、人々と協力・協働して行動できる。
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬授業、学習指導案、授業での取り組み（授業中のディスカッションへの参加）、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:【第4版】英語科教育実習ハンドブック 著者名:加藤茂夫／著　杉山敏／著　荒木美恵子／著 出版社名:大修館書店
ISBN:9784469246445
書籍名:【改訂新版】グローバル社会の異文化コミュニケーション 著者名:池口セシリア／著　八代京子／著 出版社名:金星堂
ISBN:9784764739895

[参考書（ISBN）]
書籍名:中学校学習指導要領解説　外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692
書籍名:高等学校学習指導要領解説　外国語編・英語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051784

科目名	栄養教育実習	前期	1 単位
サブタイトル	実践力のある栄養教諭を目指して	実習	
担当者	宮本　晃郎、宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
各学校での教育実習を通じて、豊かな「食に関する指導」と確かな「学校給食の管理」についての実践力を身に付けることができる。

[授業概要]
学校現場で校長や教頭、栄養教諭、校務担当教員等が、必要な講話を行い、栄養教諭としての「観察・参加・実習」の場を設定することによって、実践力が高まるように指導します。
また、給食指導をはじめ、生徒指導や健康指導等の校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図るために今日的な教育課題にも関心がもてるように指導します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
栄養教育指導法や栄養教育学習指導案の作成、人権・学級経営・生徒指導等の児童生徒の学習指導に必要な事項について、その概要を復習すること。
栄養教諭の業務内容を踏まえて、次時で取り上げる内容について関係図書を読んだり、キーワード検索したりするなど、自分なりに予習いること。

[授業計画]
学校実習（1週間）
・管理職の講話、校務担当教職員の講話と指導
・実習校の学級担任・教科担任の指導と観察実習
・栄養担当職員の指導と指導案の作成及び実践授業
・栄養教育指導の実際
・大学教員、実習校教職員の指導等
・研究授業と反省
・実習のまとめ
事後指導（3単位時間）
・実習後の課題の整理等

科目名	栄養教育実習	前期	1 単位
サブタイトル	実践力のある栄養教諭を目指して	実習	
担当者	宮本　晃郎、宮垣　覚		

[成績評価方法]
実習状況（40%）、実習校からの評価資料（40%）、実習記録等（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題については事後指導の中で意見交換ならびに解説をおこなう。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:実習状況
実習校からの評価資料
実習記録等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実習状況
実習校からの評価資料
実習記録等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:実習状況
実習校からの評価資料
実習記録等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:実習状況
実習校からの評価資料
実習記録等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実習状況
実習校からの評価資料
実習記録等

[教科書（ISBN）]
書籍名:『教育実習の手引きと記録』 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	栄養教育実習指導	後期	1 単位
サブタイトル	有意義な栄養教育実習のために	講義	
担当者	宮本　晃郎、宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・栄養教育実習に参加するに当たり、教育実習の目的・意義とともに、授業力・指導力・教師力・学校力の違いとそれぞれの重要性を理解することができる。
・有意義な教育実習ができるように基礎・基本の知識や技能を確かめるとともに、最新の学校現場の情報をもとに、教職への意識と自覚を高められるようにする。

[授業概要]
学校現場において食育推進や給食管理を行う校長や教頭、学級担任としての経験を有する教員が、教育実習の目的・意義、教育実習への心構え、授業の実際、学習指導案の書き方、実習校での活動、実習記録のとり方、教育課題への対応の仕方等について指導します。また、実習後の課題の整理などを行い、教育委員会事務局での経験も生かして、具体的な対応について指導します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の講義について予習・復習を行うこと
（栄養教育指導法、栄養教育に関する学習指導案の作成、学習指導と生徒指導の関連、特別支援教育の視点と合理的配慮、人権教育やキャリア教育等の多様な課題教育との関連について、その概要を復習しておくこと）
（教育実習の実際について学び、自分自身が特に実践してみたいことや、挑戦してみたい食育の授業づくりについての予習をしておくこと）

[授業計画]
（事前指導）
2025年４月
1. 教育実習の意義と目的・依頼と手続き（宮垣・教職支援センター）
2025年11～12月
2. 教育実習報告会の聴講①現場での実際の動き（宮垣）
3. 教育実習報告会の聴講②実習前の諸準備（宮垣）
2026年１～２月
4. 教育実習の心得・期待と不安（宮本）
5. 子供を取り巻く食育の課題（宮本）
6. 生徒指導と関係機関との連携（宮本）
7. 特別支援教育と人権教育（宮本）
8. 授業づくりの基礎・基本（宮本）
9. 教材研究と学習指導案づくり（宮本）
10. 授業実践と授業評価・学習評価（宮本）
11. これからの食育推進の可能性（宮本）
2026年３月
12. 直前指導①衛生管理の徹底（宮垣）
13. 直前指導②総まとめと事務手続き（宮垣・教職支援センター）

（事後指導）
2026年12月
1. 実習後の情報交換会（宮垣）
2. 課題の整理・最新教育課題（宮垣）

※集中講義の日程は、大学の行事等により変更する場合があります。

科目名	栄養教育実習指導	後期	1 単位
サブタイトル	有意義な栄養教育実習のために	講義	
担当者	宮本　晃郎、宮垣　覚		

[成績評価方法]
グループワーク[ディスカッション等取組姿勢](50%)
レポート課題[実習ノート含む](50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題やレポートについては、事前指導と事後指導の中で意見交換や解説を行う。
紹介すべき内容は全体に、課題のある内容については個別にフィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク[ディスカッション等取組姿勢]
レポート課題[実習ノート含む]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク[ディスカッション等取組姿勢]
レポート課題[実習ノート含む]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:グループワーク[ディスカッション等取組姿勢]
レポート課題[実習ノート含む]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:グループワーク[ディスカッション等取組姿勢]
レポート課題[実習ノート含む]

[教科書(ISBN)]
書籍名:『教育実習の手引きと記録』 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	海外日本語教育事情	前期	1 単位
サブタイトル	海外での日本語教育研修	実習	
担当者	安原　順子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
海外の日本語教育の現場を実際に体験することを目標とする。

[授業概要]
海外日本語教育事情では、大学で学んだ日本語や日本語の教授法に関する知識が、実際の日本語授業ではどのように生かせるかを、海外で実体験として学ぶ。2週間の短期日本語教育研修で、実習や授業補助を通して、現場の日本語教育を経験し、教授法や異文化間のコミュニケーションを実際に体験する。研修後は、日本語教師という仕事がより身近に感じられるようになる。参加学生は、教壇実習として実際に授業を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
渡航までに、海外実習先大学からの課題に対する準備を済ませること。

[授業計画]
1および13は神戸女子大学での授業、2～12は海外実習先大学での日本語教育研修の授業計画である。
1. 神戸女子大学での事前指導
 (1)授業の課題準備
 (2)海外事情
 (3)滞在先についての説明
2. オリエンテーション、授業内容の紹介、教員紹介とキャンパス・ツアーによるキャンパス案内。
3. 日本語授業の見学①
4. 日本語授業の見学②
 3・4ではプログラム前半に行われる日本語会話(初級～中級)、日本語文法(初級～中級)などの授業に参加し、外国語を使用した日本語の授業がどのように行われるかを見学する。
5. 外国語授業(JSLなど)の見学
 外国人学生のための授業を見学する。
6. 英語など外国語による講義①
7. 英語など外国語による講義②
 6・7では教えるために必要な教授法理論を英語などの外国語による講義で学習する。
8. 文化　海外の文化を学ぶ
9. 演習①
10. 演習②
11. 9～12では主としてプログラムの後半に行われる日本語会話(初級～中級)、日本語文法(初級～中級)、漢字などの授業に参加、授業の補助や日本語教授を体験する。
12. 海外実習先大学学生との交流
 日本語学科の学生、またはその他の学科の学生と日本語および英語を使用した交流会を行う。
13. ミーティング
 研修についての意見交換と反省、および今後の予定を確認する。

科目名	海外日本語教育事情	前期	1 単位
サブタイトル	海外での日本語教育研修	実習	
担当者	安原　順子		

[成績評価方法]
以下の3点により、担当教員が評価する。
(1)海外実習先大学の実習担当者からの成績表
(2)海外実習先大学の実習担当者からのコメント
(3)研修後に提出するレポート

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
帰国後、教育実習内容について詳細にコメントし、フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:実習の評価・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:実習の評価・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:実習の評価・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:実習の評価・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実習の評価・レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:事前指導中に、指示する。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:事前指導中に、指示する。 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	介護等体験	後期～2026年度 後期	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める	実習	
担当者	宮本　晃郎、田中　裕一、上野　昌稔		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・義務教育に従事予定の教員志望者が、「個人の尊厳及び社会連帯の理念」に関する認識を深めることができる。
・障がい者や高齢者との関わり方を学び、具体的な体験を通して「思いやりの心・共生の精神」の大切さを実感することができる。

[授業概要]
①特別支援学校の校長や教員、社会福祉施設での勤務経験を有している者が、事前指導として介護等体験の意義や基本的な心構え、障がい者や高齢者等との具体的な関わり方などについて指導します。
②文部科学省や教育委員会（兵庫県・神戸市）での勤務経験を有している者が、特別支援教育の概要や社会福祉の概要として、それぞれの重要性と今日的な課題、多様な連携・連帯について指導します。実際の介護等体験については、特別支援学校・社会福祉施設等で、当該職員の指導を受けながら、障がい者・高齢者等とのよりよい関わり方について、体験を通して学びます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
　人権教育や特別支援教育、社会福祉施設等について、予習・復習をすること。

[授業計画]
事前指導　※一部を除きメディア授業で実施
1. オリエンテーション……・自由と不自由・多様な子供たち・介護等体験の成立背景と意義等（宮本、教職支援センター）
2. 特別支援教育の概要……・特別支援教育が求められた背景・特別支援教育における現代的諸課題（上野）
3. 特別支援学校の教育……・特別支援学校の教育の特色・障害種別における特別支援学校の教育課程と教育内容（上野）
4. 障害のある児童生徒との関わり方……・主に知的障害、肢体不自由のある児童生徒との関わり方の実際と留意点（上野）
5. 発達障害のある人の特徴と関わり方……・自閉症スペクトラム・注意欠如 多動症・限局性学習症・その他（田中）
6. 障害者施設等の現況……・障害者施設の現状と対応の考え方・高齢者施設を含む社会福祉の動向（田中）
7. 総まとめ及び申請手続き説明会……【対面授業】オリエンテーション （宮本、教職支援センター）

現場体験実習
・社会福祉施設等での体験実習（5日間）
・特別支援学校での体験実習（2日間）

事後指導
・まとめと反省（宮本・教職支援センター）

科目名	介護等体験	後期～2026年度 後期	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める	実習	
担当者	宮本　晃郎、田中　裕一、上野　昌稔		

[成績評価方法]
実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出されたレポートにおいて、卓越した内容など特筆すべきことは事後の学習に生かす。
課題のある内容については、全体として再確認したり、個別に助言したりする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

[教科書（ISBN）]
書籍名:新フィリア 著者名:著者名１ 出版社名:ジアース教育新社 ISBN:9784863715226
書籍名:よくわかる社会福祉施設　―教員免許志願者のためのガイドブック （第6版） 著者名:増田　雅暢（代表） 出版社名:社会福祉法人全国社会福祉協議会 ISBN:9784793514586

[参考書（ISBN）]

科目名	介護等体験	後期～2026年度 後期	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める	実習	
担当者	宮本　晃郎、田中　裕一、上野　昌稔		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・義務教育に従事予定の教員志望者が、「個人の尊厳及び社会連帯の理念」に関する認識を深めることができる。
・障がい者や高齢者との関わり方を学び、具体的な体験を通して「思いやりの心・共生の精神」の大切さを実感することができる。

[授業概要]
①特別支援学校の校長や教員、社会福祉施設での勤務経験を有している者が、事前指導として介護等体験の意義や基本的な心構え、障がい者や高齢者等との具体的な関わり方などについて指導します。
②文部科学省や教育委員会（兵庫県・神戸市）での勤務経験を有している者が、特別支援教育の概要や社会福祉の概要として、それぞれの重要性と今日的な課題、多様な連携・連帯について指導します。実際の介護等体験については、特別支援学校・社会福祉施設等で、当該職員の指導を受けながら、障がい者・高齢者等とのよりよい関わり方について、体験を通して学びます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
　人権教育や特別支援教育、社会福祉施設等について、予習・復習をすること。

[授業計画]
事前指導　※一部を除きメディア授業で実施
1．オリエンテーション……・自由と不自由・多様な子供たち・介護等体験の成立背景と意義等（宮本、教職支援センター）
2．特別支援教育の概要……・特別支援教育が求められた背景・特別支援教育における現代的諸課題（上野）
3．特別支援学校の教育……・特別支援学校の教育の特色・障害種別における特別支援学校の教育課程と教育内容（上野）
4．障害のある児童生徒との関わり方……・主に知的障害、肢体不自由のある児童生徒との関わり方の実際と留意点（上野）
5．発達障害のある人の特徴と関わり方……・自閉症スペクトラム・注意欠如 多動症・限局性学習症・その他（田中）
6．障害者施設等の現況……・障害者施設の現状と対応の考え方・高齢者施設を含む社会福祉の動向（田中）
7．総まとめ及び申請手続き説明会……【対面授業】オリエンテーション （宮本、教職支援センター）

現場体験実習
・社会福祉施設等での体験実習（5日間）
・特別支援学校での体験実習（2日間）

事後指導
・まとめと反省（宮本・教職支援センター）

科目名	介護等体験	後期～2026年度 後期	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める	実習	
担当者	宮本　晃郎、田中　裕一、上野　昌稔		

[成績評価方法]
実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出されたレポートにおいて、卓越した内容など特筆すべきことは事後の学習に生かす。
課題のある内容については、全体として再確認したり、個別に助言したりする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

[教科書（ISBN）]
書籍名:新フィリア 著者名:著者名１ 出版社名:ジアース教育新社 ISBN:9784863715226
書籍名:よくわかる社会福祉施設　―教員免許志願者のためのガイドブック （第6版） 著者名:増田　雅暢（代表） 出版社名:社会福祉法人全国社会福祉協議会 ISBN:9784793514586

[参考書（ISBN）]

科目名	学習指導と学校図書館	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大西　一人		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校教育の中で学校図書館の果たす役割を知り、担任との連携を図りながら充実した学習活動の展開についてのさまざまな方法を理解する。

[授業概要]
司書教諭として、学校教育の中で学校図書館が果たす役割について学ぶ。特に、学習指導における学校図書館の活用について学ぶことが中心である。変化の激しいこれからの社会にあっては、児童・生徒が自ら目標を定め主体的に学ぶ方法を身につけさせることが大切である。そのためには、小・中・高等学校のそれぞれの学習活動を踏まえながら学級担任・教科担任と連携をとって、学校図書館を積極的・効果的に利用した学習活動の展開が重要となる。講義を中心に進める。「調べ学習」の工夫や改善へのプレゼンにより理解を深める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
本講義の受講者は、各時間manabaによるワークシートの作成に取り組んでもらう。初回に授業で説明するので、半期を通じて実践してほしい。(単位認定要件の一つである)。また、前回の授業内容を復習し理解しておくこと。

[授業計画]
1 教育課程と学校図書館 ①学習指導要領とコンプライアンス
2 教育課程と学校図書館 ②教育課程と学校図書館メディア
3 司書教諭と学校司書
4 学習指導と学校図書館メディア
5 読み聞かせ・ビブリオバトル・並行読書
6 調べ学習の実践
7 学習指導案の作成
8 司書教諭の仕事
9 年間指導計画
10 図書委員会の活動と指導
11 ICTの活用と学校図書館①
12 ICTの活用と学校図書館②
13 まとめ

科目名	学習指導と学校図書館	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大西　一人		

[成績評価方法]
試験20%、授業内課題（小テストなど4回）20%、受講態度（積極的参加度）30%、レポート提出30%で評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
必要に応じて、全体に対しては授業時間内に、個別に対しては授業退出後やメール対応にて行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	学習指導と学校図書館	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大西　一人		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校教育の中で学校図書館の果たす役割を知り、担任との連携を図りながら充実した学習活動の展開についてのさまざまな方法を理解する。

[授業概要]
司書教諭として、学校教育の中で学校図書館が果たす役割について学ぶ。特に、学習指導における学校図書館の活用について学ぶことが中心である。変化の激しいこれからの社会にあっては、児童・生徒が自ら目標を定め主体的に学ぶ方法を身につけさせることが大切である。そのためには、小・中・高等学校のそれぞれの学習活動を踏まえながら学級担任・教科担任と連携をとって、学校図書館を積極的・効果的に利用した学習活動の展開が重要となる。講義を中心に進める。「調べ学習」の工夫や改善へのプレゼンにより理解を深める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
本講義の受講者は、各時間manabaによるワークシートの作成に取り組んでもらう。初回に授業で説明するので、半期を通じて実践してほしい。(単位認定要件の一つである)。また、前回の授業内容を復習し理解しておくこと。

[授業計画]
1 教育課程と学校図書館 ①学習指導要領とコンプライアンス
2 教育課程と学校図書館 ②教育課程と学校図書館メディア
3 司書教諭と学校司書
4 学習指導と学校図書館メディア
5 読み聞かせ・ビブリオバトル・並行読書
6 調べ学習の実践
7 学習指導案の作成
8 司書教諭の仕事
9 年間指導計画
10 図書委員会の活動と指導
11 ICTの活用と学校図書館①
12 ICTの活用と学校図書館②
13 まとめ

科目名	学習指導と学校図書館	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大西　一人		

[成績評価方法]
試験20%、授業内課題（小テストなど4回）20%、受講態度（積極的参加度）30%、レポート提出30%で評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
必要に応じて、全体に対しては授業時間内に、個別に対しては授業退出後やメール対応にて行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	学校観察実習A	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校での体験実習とその活動記録を作成し、体験の反省と試行を行いながら、児童生徒との関わり方を学び、教師を目指しての実践力の向上と教師観の構築を図ることができるようになる。
主に基礎的な学習を目指します。

[授業概要]
神戸市をはじめ、各市町で実施されている学校ボランティア事業と連携し、学校現場で教職員から指導を受けながら、児童生徒との関わり方を学び、児童生徒理解力や実践的指導力を身につけます。どうしても教師になりたいという希望を持っており、週に1日か半日の空き時間のある学生が受講可能です。
また、適宜、説明会・個人面談を実施し、大学においても学校現場での教員経験のある者が、その経験を生かして具体的な対応を指導助言します。

【履修にあたっての連絡事項】
「学校観察実習A」の履修を考えている学生は、事前に動画（KISSシステムの掲示「教職支援センターからのお知らせ」を参照）を視聴したうえ、前期の履修修正期間が終わるまでに教職支援センターへ来室して担当教員による面談を必ず受けてください。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各教科指導法の概要・人権教育・学級経営・生徒指導等、学校現場で児童生徒の指導に必要な事項を中心に、可能な範囲で予習・復習をしながら受講してください。

[授業計画]
・オリエンテーション
・面接による意思確認（個人面談）
・学校現場での活動（5月末から開始、週1回程度）
・中間報告と指導助言（個人面談）
・学校現場での活動（週1回程度）
・中間報告と指導助言（必要に応じて個人面談）
・まとめの報告と指導助言（個人面談）

科目名	学校観察実習A	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮垣　覚		

[成績評価方法]
活動時間数（50%）、取組姿勢（20%）、実習記録等（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
個人面談のなかで中間及びまとめの報告など意見交換や指導助言を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育1-3／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育2-3／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／他者と協力して行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	学校観察実習B	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校での体験実習とその活動記録を作成し、体験の反省と試行を行いながら、児童生徒との関わり方を学び、教師を目指しての実践力の向上と教師観の構築を図ることができるようになる。
主に基礎的な学習を目指します。

[授業概要]
神戸市をはじめ、各市町で実施されている学校ボランティア事業と連携し、学校現場で教職員から指導を受けながら、児童生徒との関わり方を学び、児童生徒理解力や実践的指導力を身につけます。強い教師志望を持ち、週に1日か半日の空き時間があり、学校観察実習Aを修得した学生が受講可能です。
また、適宜、説明会・個人面談を実施し、大学においても学校現場での教員経験のある者が、その経験を生かして具体的な対応を指導助言します。

【履修にあたっての連絡事項】
・「学校観察実習B」を履修するためには、「学校観察実習A」を修得している必要があります。初めて「学校観察実習」の授業科目を履修する場合は、「学校観察実習A」を履修してください。（履修にあたっては必ず「学校観察実習A」のシラバスを確認してください。）
・「学校観察実習B」を履修する学生は、前期の履修修正期間が終わるまでに教職支援センターへ来室して担当教員による面談を必ず受けてください。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各教科指導法の概要・人権教育・学級経営・生徒指導等、学校現場で児童生徒の指導に必要な事項を中心に、可能な範囲で予習・復習をしながら受講してください。

[授業計画]
・オリエンテーション
・面接による意思確認（個人面談）
・学校現場での活動（5月末から開始、週1回程度）
・中間報告と指導助言（個人面談）
・学校現場での活動（週1回程度）
・中間報告と指導助言（必要に応じて個人面談）
・まとめの報告と指導助言(個人面談)

科目名	学校観察実習B	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮垣　覚		

[成績評価方法]
活動時間数（50%）、取組姿勢（20%）、実習記録等（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
個人面談のなかで中間及びまとめの報告など意見交換や指導助言を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育2-2／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育3-1／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／他者と協力して行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	学校観察実習C	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校での体験実習とその活動記録を作成し、体験の反省と試行を行いながら、児童生徒との関わり方を学び、教師を目指しての実践力の向上と教師観の構築を図ることができるようになる。
主に基礎的な学習を目指します。

[授業概要]
神戸市をはじめ、各市町で実施されている学校ボランティア事業と連携し、学校現場で教職員から指導を受けながら、児童生徒との関わり方を学び、児童生徒理解力や実践的指導力を身につけます。どうしても教師になりたいという希望を持っており、週に1日か半日の空き時間のある学生が受講可能です。
また、適宜、説明会・個人面談を実施し、大学においても学校現場での教員経験のある者が、その経験を生かして具体的な対応を指導助言します。

【履修にあたっての連絡事項】
・「学校観察実習C」を履修するためには、「学校観察実習A・B」を修得している必要があります。初めて「学校観察実習」の授業科目を履修する場合は、「学校観察実習A」を履修してください。（履修にあたっては必ず「学校観察実習A」のシラバスを確認してください。）
・「学校観察実習C」を履修する学生は、前期の履修修正期間が終わるまでに教職支援センターへ来室して担当教員による面談を必ず受けてください。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各教科指導法の概要・人権教育・学級経営・生徒指導等、学校現場で児童生徒の指導に必要な事項を中心に、可能な範囲で予習・復習をしながら受講してください。

[授業計画]
・オリエンテーション
・面接による意思確認（個人面談）
・学校現場での活動（5月末から開始、週1回程度）
・中間報告と指導助言（個人面談）
・学校現場での活動（週1回程度）
・中間報告と指導助言（必要に応じて個人面談）
・まとめの報告と指導助言（個人面談）

科目名	学校観察実習C	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮垣　覚		

[成績評価方法]
活動時間数（50%）、取組姿勢（20%）、実習記録等（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
個人面談のなかで中間及びまとめの報告など意見交換や指導助言を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育1-3／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育2-3／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／他者と協力して行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	学校経営と学校図書館	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大西　一人		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校図書館の教育的意義や経営など全般的事項についての理解を図る。

[授業概要]
学校教育における図書館の意義と役割について，学校図書館法や各校の実践事例を踏まえながら基本的な理解をはかるとともに，学校図書館運営を擬似的に体験することにより，司書教諭としてのあるべき姿を考察する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
主体的な学習意欲を持ち，授業に参加すること。
大学図書館の利用と活用の習熟に努めること。
選書演習にあたっては、小中高校生向け（自身の免許取得校種）の本をいくつか読んでおくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション、学校図書館の理念
2. 学校図書館史
3. 学校図書館の現状と課題
4. 学校図書館を取り巻く「法律」
5. 学校図書館を取り巻く「人」
6. 学校図書館の施設・設備・資料
7. 新しい図書への更新を進めよう（選書演習）
8. 選書理由を教職員にアピールしよう（ロールプレイ）
9. 学校図書館経営計画の立案
10. 学校図書館経営計画の発表
11. 学校図書館の活動―小学校―
12. 学校図書館の活動―中高等学校―
13. 図書館協力とネットワーク、まとめ

科目名	学校経営と学校図書館	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大西　一人		

[成績評価方法]
試験20%、授業内課題（小テストなど4回）20%、受講態度（積極的参加度）30%、レポート提出30%で評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
個別には授業前後やメールにて対応する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	学校経営と学校図書館	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	浅川　功治		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校図書館の教育的意義や経営など全般的事項についての理解を図る。

[授業概要]
学校教育における図書館の意義と役割について，学校図書館法や各校の実践事例を踏まえながら基本的な理解をはかるとともに，学校図書館運営を擬似的に体験することにより，司書教諭としてのあるべき姿を考察する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・主体的な学習意欲を持ち，毎時の復習を経て授業に参加すること。
・大学図書館や公共図書館の利用と活用の習熟に努めること。
・選書演習にあたっては，小中高校生向け(自身の免許取得校種)の本をいくつか読んでおくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション，学校図書館の理念
2. 学校図書館史
3. 学校図書館の現状と課題
4. 学校図書館を取り巻く「法律」
5. 学校図書館を取り巻く「人」
6. 学校図書館の施設・設備・資料
7. 新しい図書への更新を進めよう(選書演習)
8. 選書理由を教職員にアピールしよう(ロールプレイ)
9. 学校図書館経営計画の立案
10. 学校図書館経営計画の発表
11. 学校図書館の活動―小学校―
12. 学校図書館の活動―中高等学校―
13. 図書館協力とネットワーク，まとめ
※集中講義の性質上，授業の順番を入れ替えることがある。

科目名	学校経営と学校図書館	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	浅川　功治		

[成績評価方法]
定期試験20%，レポート及び小レポート60%，授業態度20%により評価する。
（ただし，授業内で課されるすべての課題に取り組むことが単位取得の前提となる。）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
全体に対しては，レポートについてのフィードバックを口頭で行う。個別に対しては，必要に応じてレポートにコメントを入れて返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	学校図書館メディアの構成	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	鈴木　啓子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校図書館活動と学びを支える多様なメディアについて理解し、収集・構成・組織化・配置などの基本が身につくようになる。

[授業概要]
学校図書館メディアの意義と役割について学び、多様なメディアの種類と特性について理解します。それらを収集・構成・組織化・配置するための能力を修得します。各メディアに適した整理方法についても理解できるように、必要に応じて演習を行います。整理方法として、日本十進分類法などを利用して講義します。学校図書館勤務経験がある者が、その経験を活かして学校図書館メディアが利用される工夫や方法を指導します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。
次回の授業範囲について講義資料を読み、講義内容を理解しておいてください。
講義に関する内容についてのレポート課題や演習、意見文、小論文を課しますので、復習をしておいてください。

[授業計画]
1. 学校図書館メディアの意義と役割
2. 学校図書館におけるメディアの活用
3. 学校図書館メディアの種類と特性
4. 特別な教育的ニーズのある児童生徒と学校図書館メディア
5. 学校図書館メディアの構築と収集方針
6. 学校図書館メディアの選択と購入
7. 学校図書館メディアの選択と「図書館の自由」
8. 学校図書館メディアの組織化(1) 目録(日本目録規則)、主題索引(日本十進分類法)
9. 学校図書館メディアの組織(2) 主題索引(分類、件名)
10.学校図書館メディアの組織化(3) コンピュータ目録とシステム
11.学校図書館メディアの整理と排架
12.学校図書館のレイアウトとサイン
13.学校図書館メディアの課題と展望

科目名	学校図書館メディアの構成	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	鈴木　啓子		

[成績評価方法]
レポート課題(6回)(60%)、演習(テスト含む)(2回)(20%)、小論文(20%)で評価します。復習の意見文も重視します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポート課題や意見文は、コメントをつけたり、意見をもとに話し合ったりします。
演習は、提出後に解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート課題

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:学校図書館メディアの選びかた 著者名:高橋知尚 出版社名:全国学校図書館協議会 ISBN:9784793322822
書籍名:発信する学校図書館ディスプレイ: :使われる図書館の実践事例集 著者名:吉岡裕子・遊佐幸枝 出版社名:少年写真新聞社 ISBN:9784879815262
書籍名:学校図書館の教育力を活かす:学校を変える可能性 著者名:塩見昇 出版社名:日本図書館協会 ISBN:9784820416135
書籍名:学校司書・司書教諭・図書館担当者のための学校図書館スタートガイド 著者名:学校図書館スタートガイド編集委員会 出版社名:少年写真新聞社 ISBN:9784879815231
書籍名:多様性と出会う学校図書館:一人ひとりの自立を支える合理的配慮へのアプローチ 著者名:野口武悟・成松一郎 出版社名:読書工房 ISBN:9784902666359
書籍名:図書館資料の目録と分類増訂第5版 著者名:日本図書館研究会 出版社名:日本図書館研究会 ISBN:9784930992222

科目名	学校図書館メディアの構成	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	鈴木　啓子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校図書館活動と学びを支える多様なメディアについて理解し、収集・構成・組織化・配置などの基本が身につくようになる。

[授業概要]
学校図書館メディアの意義と役割について学び、多様なメディアの種類と特性について理解します。それらを収集・構成・組織化・配置するための能力を修得します。各メディアに適した整理方法についても理解できるように、必要に応じて演習を行います。整理方法として、日本十進分類法などを利用して講義します。学校図書館勤務経験がある者が、その経験を活かして学校図書館メディアが利用される工夫や方法を指導します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。
次回の授業範囲について講義資料を読み、講義内容を理解しておいてください。
講義に関する内容についてのレポート課題や演習、意見文、小論文を課しますので、復習をしておいてください。

[授業計画]
1. 学校図書館メディアの意義と役割
2. 学校図書館におけるメディアの活用
3. 学校図書館メディアの種類と特性
4. 特別な教育的ニーズのある児童生徒と学校図書館メディア
5. 学校図書館メディアの構築と収集方針
6. 学校図書館メディアの選択と購入
7. 学校図書館メディアの選択と「図書館の自由」
8. 学校図書館メディアの組織化(1)　目録(日本目録規則)、主題索引(日本十進分類法)
9. 学校図書館メディアの組織(2)　主題索引(分類、件名)
10.学校図書館メディアの組織化(3)　コンピュータ目録とシステム
11.学校図書館メディアの整理と排架
12.学校図書館のレイアウトとサイン
13.学校図書館メディアの課題と展望

科目名	学校図書館メディアの構成	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	鈴木　啓子		

[成績評価方法]
レポート課題(6回)(60%)、演習(テスト含む)(2回)(20%)、小論文(20%)で評価します。復習の意見文も重視します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポート課題や意見文は、コメントをつけたり、意見をもとに話し合ったりします。
演習は、提出後に解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート課題

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:学校図書館メディアの選びかた 著者名:高橋知尚 出版社名:全国学校図書館協議会 ISBN:9784793322822
書籍名:発信する学校図書館ディスプレイ: :使われる図書館の実践事例集 著者名:吉岡裕子・遊佐幸枝 出版社名:少年写真新聞社 ISBN:9784879815262
書籍名:学校図書館の教育力を活かす:学校を変える可能性 著者名:塩見昇 出版社名:日本図書館協会 ISBN:9784820416135
書籍名:学校司書・司書教諭・図書館担当者のための学校図書館スタートガイド 著者名:学校図書館スタートガイド編集委員会 出版社名:少年写真新聞社 ISBN:9784879815231
書籍名:多様性と出会う学校図書館:一人ひとりの自立を支える合理的配慮へのアプローチ 著者名:野口武悟・成松一郎 出版社名:読書工房 ISBN:9784902666359
書籍名:図書館資料の目録と分類増訂第5版 著者名:日本図書館研究会 出版社名:日本図書館研究会 ISBN:9784930992222

科目名	家庭科指導法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤　佐織		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・グループで家庭科の授業研究をすることができ、協働して行う研究や学習の意義を理解している。
・ICTを活用した学びを深める授業づくり、教材づくりを行うことができる。
・中学校と高等学校の家庭科を系統立てた授業構想をすることができる。
・課題を設定し、課題解決に向けた授業実践を計画することができる。
・実践活動を評価・改善することができる。
・実習における配慮、指導事項を理解し、安全な実習を行うことができる。

[授業概要]
・家庭科の学習過程にそってICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びを促す授業づくりを目指し、授業実践の計画を立て、模擬授業を実践する。
・模擬授業後は指導計画及び授業の検証をし、レポートにまとめる。
・食物アレルギーに対応した調理実習指導について実践を通して、その目的と意義を理解する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・学習指導案の書き方は「家庭科指導法Ⅱ」の復習をしておく。
・「家庭科指導法Ⅱ」で実践した模擬授業の課題と反省を踏まえ、模擬授業計画および教材研究に取り組む。
・準備および復習には2時間程度を充てることが望ましい。

[授業計画]
第1回:ガイダンス・ICTを活用した授業づくりの工夫
第2回:課題解決に向けた授業研究①:課題設定と題材設定
第3回:課題解決に向けた授業研究②:教育内容研究
第4回:課題解決に向けた授業研究③:模擬授業用学習指導案の作成
第5回:課題解決に向けた授業研究④:ICTの活用と動画教材の作成
第6回:模擬授業準備
第7回:模擬授業①
第8回:模擬授業②
第9回:模擬授業③
第10回:模擬授業④
第11回:食物アレルギーに対応した調理実習指導①
第12回:食物アレルギーに対応した調理実習指導②
第13回:食物アレルギーに対応した調理実習指導③

科目名	家庭科指導法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤　佐織		

[成績評価方法]
授業態度(20%)、課題(40%)、模擬授業(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題へのコメント、模擬授業への指導講評を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説　家庭編　文部科学省 著者名:文部科学省 出版社名:教育図書 ISBN:9784877304195
書籍名:家庭総合　明日の生活を築く(文部科学省検定済教科書　家総704) 著者名:大竹美登利他 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304081057
書籍名:中学校学習指導要領(平成29年告示)技術・家庭編　文部科学省 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304021541
書籍名:技術・家庭　家庭分野　自立しともに支え合う生活へ(文部科学省検定済教科書　家庭009-72) 著者名:綿引伴子他 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304081354

[参考書(ISBN)]

科目名	家庭科指導法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤　佐織		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・中学校技術・家庭科(家庭分野)における教材のねらいを理解し、授業づくりに活用することができる。
・模擬授業では目標に合わせた適切な教材選択・解釈や学習場面に応じた適切な指導方法の選択ができるとともに、効果的な発問や適切な指示を工夫して行うことができる。
・ICTを活用した学びを深める授業づくり、教材づくりを行うことができる。
・課題を設定し、課題解決に向けた授業実践を計画することができる。
・実践活動を評価・改善することができる。

[授業概要]
・家庭科教材に関する論文講読、教科書教材比較分析から、模擬授業のための教材研究を行う。
・学習指導案を作成し、模擬授業を行う。模擬授業においては「本時の目標」に対して生徒を理解に導く学習過程と指導方 法を重視する。また、発問・説明・指示、板書、机間指導等を実践する上での課題をつかむ。
・家庭科の学習過程にそってICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びを促す授業づくりを目指し、授業実践の計画を立て、模擬授業を実践する。
・模擬授業後は指導計画及び授業の検証をし、授業研究の全体を総括して報告書にまとめる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・家庭科の授業作りの過程を「家庭科指導法Ⅰ～Ⅲ」での学習を振り返り、確認しておく。
・家庭科と家政学の専門領域との関係について確認し、言葉で説明できるようにしておく。
・各授業内容や模擬授業の計画・準備に関連して、授業前後に2～4時間程度の時間を充てることが求められる。

[授業計画]
第1回:ガイダンス・家庭科教材に関する論文講読①
第2回:家庭科教材に関する論文講読②
第3回:教科書教材比較分析①
第4回:教科書教材比較分析②
第5回:模擬授業用指導案作成
第6回:模擬授業準備
第7回:模擬授業①
第8回:模擬授業②
第9回:模擬授業③
第10回:模擬授業④
第11回:模擬授業⑤
第12回:授業研究報告書の作成
第13回:研究発表

科目名	家庭科指導法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤　佐織		

[成績評価方法]
授業態度(20%)、研究内容(40%)、模擬授業(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題へのコメント、模擬授業への指導講評を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説　技術・家庭編　文部科学省 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304021541
書籍名:技術・家庭　家庭分野　自立しともに支え合う生活へ(文部科学省検定済教科書　家庭009-72) 著者名:綿引伴子他 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304081354
書籍名:新編　新しい技術・家庭　家庭分野　自立と共生を目指して(文部科学省検定済教科書　家庭002-72) 著者名:志村結美他 出版社名:東京書籍 ISBN:
書籍名:新　技術・家庭　家庭分野　暮らしを創造する(文部科学省検定済教科書　家庭006-72) 著者名:河村美穂他 出版社名:教育図書 ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	教育課程論	前期	2 単位
サブタイトル	教育課程は学校力を結集したもの。カリキュラム・マネジメントの主役は教職員一人一人	講義	
担当者	宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	2分間スピーチ	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
最新の教育課題について事例研究を通して学び、今日的課題への対応について理解できるようになる。
かつてないほどに「教育課程」が注目されている背景をさぐり、「教育課程」とは何かを具体的に整理できるようになる。
教育課程の基準となる学習指導要領について、戦後の教育改革から現在に至る改訂の変遷を大まかにつかみ、未来の学校教育のあり方を考えることができる。
また、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、実際の学校現場における教育課程編成のプロセスを学び、教育課程の創造的編成の基礎を習得できるようになる。

[授業概要]
教育課程には、教育目標や年間学習指導計画、週時程表、生活時間帯など数多くの内容が含まれています。教育課程は、各学校が独自に編成すべきものでsyが、公教育を担っている性格上、守るべき水準があります。しかし、それぞれの学校には、歴史的な経緯や地域性の違いだけでなく、学校規模や施設環境などの違いもあり、何よりも、克服すべき課題が異なります。この課題を克服しようと努力していく過程で、各学校の特色ある教育活動は生まれてくる。
　現場経験（校長、教諭）や教育委員会事務局、教育研修所等の経験のある者が、学習指導要領の改訂の変遷を概観するとともに、今日的な教育課題について事例をもとに、各学校が行う教育課題の克服に向けた大きな計画が「教育課程」にあることを指導します。
　また、教育課程の実施状況に加えて、学校評価や学校運営協議会（コミュニティ・スクール構想）も幅広く学び、教育課程全般の基礎について指導します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと（各回　予習・復習合わせて2時間程度）。
「学習指導要領（平成29年告示）解説・総則編」を中心に「教育課程」の概要を調べておいてください。
授業後は、本時の学習内容について、配付資料や学習指導要領解説・総則編等を参考に復習しておいてください。

[授業計画]
1. 教育課程論　～　ガイダンス、目標　～
2. 教育課程　～　学習指導要領総則より、内容、目的、方法　～
3. 戦前、戦後の教育課程の歩み　～ 戦前戦後の比較、学習指導要領の変遷　～
4. 現行学習指導要領のポイント　～ 主体的対話的で深い学び、令和の日本型学校教育～
5. 教育課程と「教科書の変遷」
6. GIGAスクール構想　～　デジタル化の目的、期待されること　～
7. 特色ある教育活動　～　各学校の特色ある教育活動・学校行事　～
8. 教育課程と教育環境　～　学校・学級、 LHRの工夫　～
9. 健全育成等への取組　～　安全教育、学校規模や生徒の課題等と生徒指導　～
10.「新たな学校評価」 ～ 実施状況調査、「新たな学校評価」のあり方と教育課程編成の関係　～
11.「カリキュラム・マネジメント」 ～　創造的実践、教科横断的な指導、課題　～
12.「社会に開かれた教育課程」～　コミュニティスクール　～
13. まとめ、カリキュラム・マネジメントについて復習

科目名	教育課程論	前期	2 単位
サブタイトル	教育課程は学校力を結集したもの。カリキュラム・マネジメントの主役は教職員一人一人	講義	
担当者	宮垣　覚		

[成績評価方法]
・毎回の授業レポート(50%)、理解度確認試験(30%)、発表・課題等を含む授業中の活動(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・毎回の授業レポートは、次回添削して返却します。
・質問や望ましい意見は、要約して次回の講義で紹介・解説をします。
・解決できていない学習上の問題点については、個別に対応します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法で行います。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育課程論	後期	2 単位
サブタイトル	教育課程は学校力を結集したもの。カリキュラム・マネジメントの主役は教職員	講義	
担当者	宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	2分間スピーチ	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
最新の教育課題について事例研究を通して学び、今日的課題への対応について理解できるようになる。
かつてないほどに「教育課程」が注目されている背景をさぐり、「教育課程」とは何かを具体的に整理できるようになる。
教育課程の基準となる学習指導要領について、戦後の教育改革から現在に至る改訂の変遷を大まかにつかみ、未来の学校教育のあり方を考えることができる。
また、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、実際の学校現場における教育課程編成のプロセスを学び、教育課程の創造的編成の基礎を習得できるようになる。

[授業概要]
教育課程には、教育目標や年間学習指導計画、週時程表、生活時間帯など数多くの内容が含まれています。教育課程は、各学校が独自に編成すべきものでsyが、公教育を担っている性格上、守るべき水準があります。しかし、それぞれの学校には、歴史的な経緯や地域性の違いだけでなく、学校規模や施設環境などの違いもあり、何よりも、克服すべき課題が異なります。この課題を克服しようと努力していく過程で、各学校の特色ある教育活動は生まれてくる。
　現場経験（校長、教諭）や教育委員会事務局、教育研修所等の経験のある者が、学習指導要領の改訂の変遷を概観するとともに、今日的な教育課題について事例をもとに、各学校が行う教育課題の克服に向けた大きな計画が「教育課程」にあることを指導します。
　また、教育課程の実施状況に加えて、学校評価や学校運営協議会（コミュニティ・スクール構想）も幅広く学び、教育課程全般の基礎について指導します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと（各回　予習・復習合わせて2時間程度）。
「学習指導要領（平成29年告示）解説・総則編」を中心に「教育課程」の概要を調べておいてください。
授業後は、本時の学習内容について、配付資料や学習指導要領解説・総則編等を参考に復習しておいてください。

[授業計画]
1. 教育課程論　～　ガイダンス、目標　～
2. 教育課程　～　学習指導要領総則より、内容、目的、方法　～
3. 戦前、戦後の教育課程の歩み　～ 戦前戦後の比較、学習指導要領の変遷　～
4. 現行学習指導要領のポイント　～ 主体的対話的で深い学び、令和の日本型学校教育～
5. 教育課程と「教科書の変遷」
6. GIGAスクール構想　～　デジタル化の目的、期待されること　～
7. 特色ある教育活動　～　各学校の特色ある教育活動・学校行事　～
8. 教育課程と教育環境　～　学校・学級、 LHRの工夫　～
9. 健全育成等への取組　～　安全教育、学校規模や生徒の課題等と生徒指導　～
10.「新たな学校評価」 ～ 実施状況調査、「新たな学校評価」のあり方と教育課程編成の関係　～
11.「カリキュラム・マネジメント」 ～　創造的実践、教科横断的な指導、課題　～
12.「社会に開かれた教育課程」～　コミュニティスクール　～
13. まとめ、カリキュラム・マネジメントについて復習

科目名	教育課程論	後期	2 単位
サブタイトル	教育課程は学校力を結集したもの。カリキュラム・マネジメントの主役は教職員一人一人	講義	
担当者	宮垣　覚		

[成績評価方法]
・毎回の授業レポート(50%)、理解度確認試験(30%)、発表・課題等を含む授業中の活動(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・毎回の授業レポートは、次回添削して返却します。
・質問や望ましい意見は、要約して次回の講義で紹介・解説をします。
・解決できていない学習上の問題点については、個別に対応します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法で行います。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育原理	前期	2 単位
サブタイトル	教育の概念・思想・歴史	講義	
担当者	山内　紀幸		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1　教育概念や教師ー子ども関係について、基本的な知識を身に付けている。
2　西洋や日本の教育史や教育思想について、基礎的な事項を理解している。
3　授業論や学び論について、概念的に把握している

[授業概要]
本授業では、教育を巡る様々な概念(教育、学習、子ども、教師、人間形成)について講義した後に、西洋の教育史、西洋の教育思想家の教育思想について理解させる。その後、日本の教育史を学ばせ、現代の教育問題や授業論や学び論について基本的な事項を習得させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
教育に関する理念や思想を広く獲得できるよう、毎回、指定テキストの論考の要約課題を出す。加えて、各回、授業の復習を行うこと。合わせて4時間程度を充てること。

[授業計画]
1.教育の基本理念――語源・目的・目標
2.教師と子どもの臨床哲学――信頼される教師
3.人間形成の理論①――エリオット先生の差別授業
4.人間形成の理論②――デーケンの悲嘆のプロセス
5.古代ギリシアの教育――スパルタとアテネ
6.西洋の子ども観――子ども期の発見・近代家族の成立
7.西洋教育思想①――ソクラテス・コメニウス・ロック・ルソー
8.西洋教育思想②――ペスタロッチ・ヘルバルト・フレーベル・ケイ・デューイ・モンテッソーリ・パーカスト
9.日本の子ども観――子宝思想の誕生
10.近代教育制度の成立――森有礼と元田永孚
11.戦後日本教育史――学習指導要領と教育問題
12.授業論――学びの楽しさを生み出す授業
13.学びの空間論――学びのスタイルと学習空間

科目名	教育原理	前期	2 単位
サブタイトル	教育の概念・思想・歴史	講義	
担当者	山内　紀幸		

[成績評価方法]
小テスト（70%）、総括レポート（30%）によって評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対する講評を授業時間内に行う。
最終（に近い）回のレポートの講評はmanabaから配信することがある。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:ちょっと変わった校長式辞集　教育哲学者からのメッセージ 著者名:山内紀幸／著 出版社名:一藝社
ISBN:9784863592377

[参考書（ISBN）]

科目名	教育原理	前期	2 単位
サブタイトル	教育の概念・思想・歴史	講義	
担当者	山内　紀幸		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1　教育概念や教師ー子ども関係について、基本的な知識を身に付けている。
2　西洋や日本の教育史や教育思想について、基礎的な事項を理解している。
3　授業論や学び論について、概念的に把握している

[授業概要]
本授業では、教育を巡る様々な概念(教育、学習、子ども、教師、人間形成)について講義した後に、西洋の教育史、西洋の教育思想家の教育思想について理解させる。その後、日本の教育史を学ばせ、現代の教育問題や授業論や学び論について基本的な事項を習得させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
教育に関する理念や思想を広く獲得できるよう、毎回、指定テキストの論考の要約課題を出す。加えて、各回、授業の復習を行うこと。合わせて4時間程度を充てること。

[授業計画]
1.教育の基本理念――語源・目的・目標
2.教師と子どもの臨床哲学――信頼される教師
3.人間形成の理論①――エリオット先生の差別授業
4.人間形成の理論②――デーケンの悲嘆のプロセス
5.古代ギリシアの教育――スパルタとアテネ
6.西洋の子ども観――子ども期の発見・近代家族の成立
7.西洋教育思想①――ソクラテス・コメニウス・ロック・ルソー
8.西洋教育思想②――ペスタロッチ・ヘルバルト・フレーベル・ケイ・デューイ・モンテッソーリ・パーカスト
9.日本の子ども観――子宝思想の誕生
10.近代教育制度の成立――森有礼と元田永孚
11.戦後日本教育史――学習指導要領と教育問題
12.授業論――学びの楽しさを生み出す授業
13.学びの空間論――学びのスタイルと学習空間

科目名	教育原理	前期	2 単位
サブタイトル	教育の概念・思想・歴史	講義	
担当者	山内　紀幸		

[成績評価方法]
小テスト（70%）、総括レポート（30%）によって評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対する講評を授業時間内に行う。
最終（に近い）回のレポートの講評はmanabaから配信することがある。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:ちょっと変わった校長式辞集　教育哲学者からのメッセージ 著者名:山内紀幸／著 出版社名:一藝社
ISBN:9784863592377

[参考書（ISBN）]

科目名	教育実習A	前期	2 単位
サブタイトル	教育実践力をつける	実習	
担当者	宮垣　覚、宮本　晃郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
各学校での教育実習を通じて、教育の実際を学び、確実な学級経営や授業などの教育実践ができるようになる。

[授業概要]
各学校での管理職をはじめ校務担当教員の講話、学級担任・教科担任の指導を受けて、観察実習、授業実践、研究授業などを行います。また、教科指導のほかに、生徒指導をはじめとする校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図ります。事前・事後の指導では、教育実習の意義、実習記録の取り方、教育課題への対応の仕方、実習後の課題の整理などを行います。その際、学校現場における校長、教頭、教諭（学級担任、教務主任等）の経験を生かして具体的な対応について指導助言をします。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各教科指導法等の概要・学習指導案の作成、道徳教育・人権教育・学級経営・生徒指導等の学校での学習指導に必要な事項について、その概要を復習しておいてください。
事前に、教育実習の期間の計画、学習指導案はじめた研究授業の準備等を十分行ってください。
「教育実習の手引きと記録」を活用して、教育実習の記録・反省・今後の展望についてまとめておいてください。

[授業計画]
学校実習（2週間）
・管理職の講話
・校務担当教職員の講話と指導
・校務処理の仕方について
・実習校の学級担任の指導、学級経営の実査
・教科担任の指導と観察実習
・学習指導案の作成と指導
・授業実践と指導
・大学教員の指導等
・研究授業と反省
・実習のまとめ
事後指導
・実習後の課題の整理等

科目名	教育実習A	前期	2 単位
サブタイトル	教育実践力をつける	実習	
担当者	宮垣　覚、宮本　晃郎		

[成績評価方法]
実習状況（40%）、実習校からの評価資料（40%）、実習記録等（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題やレポートについては、事後指導を中心に意見交換ならびに解説を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育1-2／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育2-1／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育3-3／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：創造性／自分の力で発想し、効果的な授業を展開する力
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

[教科書（ISBN）]
書籍名:『教育実習の手引きと記録』 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育実習B	前期	4 単位
サブタイトル	教育実践力をつける	実習	
担当者	宮垣　覚、宮本　晃郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
各学校での教育実習を通じて、教育の実際を学び、確実な学級経営や授業などの教育実践ができるようになる。

[授業概要]
各学校での管理職をはじめ校務担当教員の講話、学級担任・教科担任の指導を受けて、観察実習、授業実践、研究授業などを行います。また、教科指導のほかに、生徒指導をはじめとする校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図ります。事前・事後の指導では、教育実習の意義、実習記録の取り方、教育課題への対応の仕方、実習後の課題の整理などを行います。その際、学校現場における校長、教頭、教諭（学級担任、教務主任等）の経験を生かして具体的な対応について指導助言をします。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各教科指導法等の概要・学習指導案の作成、道徳教育・人権教育・学級経営・生徒指導等の学校での学習指導に必要な事項について、その概要を復習しておいてください。
事前に、教育実習の期間の計画、学習指導案はじめた研究授業の準備等を十分行ってください。
「教育実習の手引きと記録」を活用して、教育実習の記録・反省・今後の展望についてまとめておいてください。

[授業計画]
学校実習（3週間）
・管理職の講話
・校務担当教職員の講話と指導
・校務処理の仕方について
・実習校の学級担任の指導、学級経営の実査
・教科担任の指導と観察実習
・学習指導案の作成と指導
・授業実践と指導
・大学教員の指導等
・研究授業と反省
・実習のまとめ
事後指導
・実習後の課題の整理等

科目名	教育実習B	前期	4 単位
サブタイトル	教育実践力をつける	実習	
担当者	宮垣　覚、宮本　晃郎		

[成績評価方法]
実習状況（40%）、実習校からの評価資料（40%）、実習記録等（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題やレポートについては、事後指導を中心に意見交換ならびに解説を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育1-2／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育2-1／立場や意見の相違を乗り越えて、他社と協力して行動する（協働する）能力・姿勢

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容：教育3-3／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：創造性／自分の力で発想し、効果的な授業を展開する力
成績評価方法：上記の、成績評価方法で行います。

[教科書（ISBN）]
書籍名:『教育実習の手引きと記録』 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育実習指導	後期	1 単位
サブタイトル	有意義な教育実習のために	講義	
担当者	宮垣　覚、宮本　晃郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	先輩の教育実習報告会に参加し、情報交換会で協議します。	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教育実習を行うに当たり、教育実習の心構えや在り方、授業実践方法や教育課題について学び、教育実習が充実したものできるようになる。
実習後の課題整理と教員としての心構えを理解できるようになる。

[授業概要]
現場経験（校長、教諭）や教育委員会事務局、教育研修所等の経験のある者が、事前指導・事後指導について以下のとおり具体的な対応について指導助言します。
事前指導では、先輩学生の教育実習経験などから留意事項として、教育実習の意義・目的の理解、教育実習を受けるにあたっての心構え・記録の仕方、授業、生徒指導、教育課題への対応の
仕方、教育実践や児童生徒への対応の基礎を指導助言します。
また、事後指導では、実習後の課題を整理し、今後の資質向上を目指して指導助言します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各教科指導法等の概要・学習指導案の作成、道徳教育、人権教育・学級経営・生徒指導等の復習をしておいてください。
実習校の実態をHP等で調べておいてください。

[授業計画]
(事前指導)
2025年4月
1. 教育実習の準備手続きの仕方（宮垣、教職支援センター）
2025年11～12月
2. 教育実習報告会（様子・よさと留意点）（宮垣）
3. 教育実習情報交換会（不安解消・留意点）（宮垣）
2026年1～2月
4. 教育実習の心得（宮垣）
5. 教育実習の目的・意義・内容（宮垣）
6. 生徒指導の在り方（宮垣）
7. 学級経営の在り方（宮垣）
8. 道徳教育、人権教育、特別支援教育の在り方（宮垣）
9. 学習指導案の書き方（宮垣）
10. 授業の実際（宮垣）
11. 教員採用試験と教育実習（宮垣）
2026年3月
12. 実習直前講話、実習ノートの記入（宮垣）
13. 教育実習の事務的準備について（宮垣、教職支援センター）

(事後指導)
2026年11～12月
1. 実習後の情報交換会(宮垣)
2. 課題の整理、今後に向けて(宮垣)

※集中講義の日程は、大学の行事等により変更する場合があります。

科目名	教育実習指導	後期	1 単位
サブタイトル	有意義な教育実習のために	講義	
担当者	宮垣　覚、宮本　晃郎		

[成績評価方法]
毎回のレポート(50%)、課題レポート(30%)、発表・課題等を含む授業中の活動(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
各回のレポートの課題については、次回の授業の中で意見交換や解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容:教育1-2／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容:教育2-3／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法で行います。

学科DP番号／DP内容:教育3-1／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:上記、成績評価方法で行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記の成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記の成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記の成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記の成績評価方法で行います。

[教科書(ISBN)]
書籍名:『教育実習の手引きと記録』 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	教育心理学	後期	2 単位
サブタイトル	児童生徒の発達と学習	講義	
担当者	久木山　健一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・教育活動の中での心理学の有効性の理解
・今自分が受けている教育の意義の理解
・過去自分が受けてきた教育の影響の理解
・学習活動を支えるさまざまな心理的要因の理解

[授業概要]
本授業では教育という現象を心理学的に理解できるようになることを目標として教育心理学のさまざまな理論を概観します。その際、単に理論を知識として学ぶだけでなく、過去から現在までに自分が体験してきた教育活動と関連づけて修得できることを目指します。学習過程、動機づけ、知能と学力、教室の仲間関係、教師と生徒の関係、教育評価などの基礎的な知識に加え、いじめ、不登校などの学校不適応への対応や、心身障害児への対応などの理解も目指します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
予習:授業で学ぶ予定のある内容について各自で事前に予習をしてください。
復習:授業で学んだことを参考に自分自身，自分の受けてきた教育，これから自分が行おうと考えている教育について考察をしてください。
各回、予習復習合わせて4時間程度が求められます。

[授業計画]
1 教育心理学とは(意義，他の学問とのかかわり，研究法など)
2 発達(基本的法則，発達の要因，ピアジェ，エリクソンなど)
3 学習(定義，条件づけ，行動分析，社会的学習，認知論など)
4 動機づけ(コンピテンス，種類，原因帰属，自己調整学習など)
5 知能・記憶・メタ認知(定義，知能テストの種類，記憶，メタ認知など)
6 教授学習過程(授業形態，授業構造，有意味受容学習と発見学習など)
7 教育評価(意義，通知表，評価の時期と方法，相対・絶対評価など)
8 教師(好まれる教師像，ビリーフ，リーダーシップ，ピグマリオン効果など)
9 仲間関係(遊びの発達，仲間関係の理解法，児童期・青年期の仲間関係など)
10 パーソナリティ(定義，類型論，特性論，性格検査の種類など)
11 学校における不適応(いじめ，非行，不登校，学級集団の荒れなど)
12 ストレスと健康(ストレス過程，学校ストレス，PTSD，摂食行動など)
13 発達障害と特別支援教育(種類，特別支援教育，ユニバーサルデザインなど)

科目名	教育心理学	後期	2 単位
サブタイトル	児童生徒の発達と学習	講義	
担当者	久木山　健一		

[成績評価方法]
毎回の小テストおよび授業の感想の提出，定期試験などによって行います。
小テストおよび授業の感想（3割），定期試験（7割）で成績評価します。
ただし，定期試験が実施できない場合は，小テストおよび授業の感想（7割），
最終レポート課題（3割）で成績評価を行います。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは問合せに応じて回答を解説します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的・多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:第4版　ようこそ教育心理学の世界へ 著者名:神藤貴昭・久木山健一 出版社名:北樹出版 ISBN:9784779307362

[参考書（ISBN）]

科目名	教育心理学	後期	2 単位
サブタイトル	児童生徒の発達と学習	講義	
担当者	久木山　健一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・教育活動の中での心理学の有効性の理解
・今自分が受けている教育の意義の理解
・過去自分が受けてきた教育の影響の理解
・学習活動を支えるさまざまな心理的要因の理解

[授業概要]
本授業では教育という現象を心理学的に理解できるようになることを目標として教育心理学のさまざまな理論を概観します。その際、単に理論を知識として学ぶだけでなく、過去から現在までに自分が体験してきた教育活動と関連づけて修得できることを目指します。学習過程、動機づけ、知能と学力、教室の仲間関係、教師と生徒の関係、教育評価などの基礎的な知識に加え、いじめ、不登校などの学校不適応への対応や、心身障害児への対応などの理解も目指します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
予習:授業で学ぶ予定のある内容について各自で事前に予習をしてください。
復習:授業で学んだことを参考に自分自身，自分の受けてきた教育，これから自分が行おうと考えている教育について考察をしてください。
各回、予習復習合わせて4時間程度が求められます。

[授業計画]
1 教育心理学とは(意義，他の学問とのかかわり，研究法など)
2 発達(基本的法則，発達の要因，ピアジェ，エリクソンなど)
3 学習(定義，条件づけ，行動分析，社会的学習，認知論など)
4 動機づけ(コンピテンス，種類，原因帰属，自己調整学習など)
5 知能・記憶・メタ認知(定義，知能テストの種類，記憶，メタ認知など)
6 教授学習過程(授業形態，授業構造，有意味受容学習と発見学習など)
7 教育評価(意義，通知表，評価の時期と方法，相対・絶対評価など)
8 教師(好まれる教師像，ビリーフ，リーダーシップ，ピグマリオン効果など)
9 仲間関係(遊びの発達，仲間関係の理解法，児童期・青年期の仲間関係など)
10 パーソナリティ(定義，類型論，特性論，性格検査の種類など)
11 学校における不適応(いじめ，非行，不登校，学級集団の荒れなど)
12 ストレスと健康(ストレス過程，学校ストレス，PTSD，摂食行動など)
13 発達障害と特別支援教育(種類，特別支援教育，ユニバーサルデザインなど)

科目名	教育心理学	後期	2 単位
サブタイトル	児童生徒の発達と学習	講義	
担当者	久木山　健一		

[成績評価方法]
毎回の小テストおよび授業の感想の提出，定期試験などによって行います。
小テストおよび授業の感想（3割），定期試験（7割）で成績評価します。
ただし，定期試験が実施できない場合は，小テストおよび授業の感想（7割），
最終レポート課題（3割）で成績評価を行います。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは問合せに応じて回答を解説します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的・多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:第4版　ようこそ教育心理学の世界へ 著者名:神藤貴昭・久木山健一 出版社名:北樹出版 ISBN:9784779307362

[参考書（ISBN）]

科目名	教育相談	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山　優子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	1分間スピーチ 学外フィールドワーク 出前授業（ゲストティーチャー）の活用	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・学校における教育相談の意義と課題を理解している。
・教育相談を進める際に必要な基礎的知識(カウンセリングに関す基礎知識を含む)を理解している。
・いじめ、不登校、虐待、非行、発達障害等、最近の教育課題への教育相談の進め方、組織的な取組みや連携の必要性を理解している。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」が身についている。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題(教育相談等)への対応について、学校現場で実際によくある事例を交えて具体的に講義します。 学校現場では、いじめ、不登校、非行、学級崩壊といった教育課題にどう対処するかが重要になっています。児童生徒一人ひとりの発達に即して、好ましい人間関係を育て、生活によく適応させ、自己理解を深めさせ、人格を成長させる力が教員には求められています。学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性、教育相談の意義や基本的な技法、教育相談の進め方などをグループワークで学びを深めていくアクティブラーニングで行います。子供の理解や支援の方法を中心に、子供のもつ多様な背景を想像したり、保護者や関係機関との望ましい連携のあり方(相談にのる心構えやカウンセリングの基礎基本を含む)について理解し、実際に日常生活で学んだことを実践していくことをめざしていきます。
テキストは、『生徒指導提要(平成22年3月版)第5章』(文部科学省HPよりダウンロード)を用います。適宜、生徒指導提要改訂版令和4年12月もダウンロード版を併用します。購入する必要はありません。
パソコンから見ていきますが、印刷したほうがいい人は各自で行ってください。
ノートについては、手書きのノートのはかに、パソコンをノート代わりにしてもかまいません。授業の板書は写真撮影 OKです。ICTを活用して授業を受けてみると、その効果や課題が実感でき、今後の児童生徒への指導に役立つ視点が得られると考えるからです。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・授業で出された宿題や探究課題について主体的に取り組む(復習と探究)。<2時間>
・授業で予告された次回の内容について探究する(反転授業のための予習)。<2時間>

[授業計画]
1.教育相談とは、意義と課題(カウンセリング技法:受容、共感の実践演習)
2.相談にのるための「悩みを聴く力」(セルフチェック、グループワーク)
3.予防的・開発的教育相談(リフレーミング1)
4.アセスメント・コーピング(リフレーミング2)
5.進路や生き方(グループエンカウンター1)
6.価値観の違いを認め合う(グループエンカウンター2)
7.相手の主訴を傾聴する(グループエンカウンター3)
8.愛着障害、保護者の障害受容の理解(いじめ、不登校、虐待、非行等)(ディスカッション)
9.好ましい人間関係、アサーショントレーニング(さわやかに断る寸劇)
10.多様な背景を持つ児童生徒の理解 (学外フィールドワーク)
11. 心身の健康について専門知識を持ち相談に生かす(ゲストティーチャーの活用)
12. ケース会議による関係機関・保護者の連携(ロールプレイ)
13. まとめ

科目名	教育相談	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山　優子		

[成績評価方法]
まとめテスト(論述あり)(80%)、授業ごとの小テスト(記述式)(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業ごとの小テスト(記述式)に対して、提示した評価基準でフィードバックをおこないます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:『生徒指導提要(平成22年3月版)第5章』(文部科学省HPよりダウンロード) 著者名:文部科学省 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	教育の制度と経営	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	髙橋　みづき		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
教職に必要となる教育の制度と経営に関する基本的かつ多様な知識・考え方を修得する。
教育の制度と経営をめぐる諸学説等を用いて、自分の教育経験を客観的に理解できる。
教育の制度と経営の知識や考え方を基に、現代教育課題について論理的に思考できる。

[授業概要]
いかにすぐれた教育の思想や実践も、現代社会においては「制度」となることによって、はじめて広く実現される。そうして作られた学校制度は、教職員を含む実にさまざまな人々の知恵と工夫で動かされる＝「経営」されることによって、はじめて高い効果を発揮する。
本講義では複雑化する教育課題をふまえて、これからの教師そして国民全体に必要な、教育の制度や経営に関する知識の習得をめざすとともに、教育の思想や実践を効果的に実現できるような、教育制度・教育経営に向き合う力量の基礎を培う。とくに、学校と地域の連携や、安全と安心の学校づくりなど、現代的な課題にも焦点をあてる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業前学習:前回のノートを見返し大事な視点・論点を復習する。テキストの指定個所を読む。授業・ニュースなどで日頃から関連情報に気を配る(学習時間:2時間)
授業後学習:授業で取り上げた内容について、日常生活や読書を通じて自分の考えを深め、小レポートの回答を練り上げる。(学習時間:2時間)

[授業計画]
1. 教育の制度と経営の基礎(1) －教育法規の枠組－
2. 教育の制度と経営の基礎(2) －教育基本法－
3. 教育の制度と経営の基礎(3) －日本の学校体系－
4. 教育行政の組織と役割(1) －国と地方の教育行政－
5. 教育行政の組織と役割(2) －教育委員会の理想－
6. 教員を支える制度(1) －公立学校教員の立場－
7. 教員を支える制度(2) －教員の研修・評価－
8. 教員を支える制度(3) －教科書制度の概要－
9. 組織としての学校(1) －学校経営の概念と実践－
10.組織としての学校(2) －学校における個業と協業－
11. 現代学校経営の課題(1) －開かれた学校づくり－
12. 現代学校経営の課題(2) －安全・安心の学校づくり－
13. 現代学校経営の課題(3) －格差社会と学校－

科目名	教育の制度と経営	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	髙橋　みづき		

[成績評価方法]
講義各回に提出する小レポート60%、期末試験（またはレポート課題）40%。
小レポートについて、講義中の説明に即して、教育の制度と経営に関する基本的論点を、どの程度、正確に理解できているか、また、講義で説明した事例などについて、自分なりの分析や考えを的確に述べることができているか等の観点から評価する。
期末試験について、講義中の説明をどの程度、理解できているか、また、それらを用いてどの程度、的確に、自分なりに教育の制度と経営をめぐる諸課題に対して見解を述べることができているか等の観点から評価する。
フィードバックについて、各回の小レポートおよびコメントを抜粋し、それぞれ次の回の講義冒頭時に説明・紹介する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
主として講義中に（あるいはmanabaを通じて）、各回の小レポートおよびコメントを抜粋し、それぞれ説明・紹介します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:法規で学ぶ教育制度 著者名:森田　健宏 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623081820

[参考書（ISBN）]

科目名	教育の制度と経営	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	髙橋　みづき		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
教職に必要となる教育の制度と経営に関する基本的かつ多様な知識・考え方を修得する。
教育の制度と経営をめぐる諸学説等を用いて、自分の教育経験を客観的に理解できる。
教育の制度と経営の知識や考え方を基に、現代教育課題について論理的に思考できる。

[授業概要]
いかにすぐれた教育の思想や実践も、現代社会においては「制度」となることによって、はじめて広く実現される。そうして作られた学校制度は、教職員を含む実にさまざまな人々の知恵と工夫で動かされる＝「経営」されることによって、はじめて高い効果を発揮する。
本講義では複雑化する教育課題をふまえて、これからの教師そして国民全体に必要な、教育の制度や経営に関する知識の習得をめざすとともに、教育の思想や実践を効果的に実現できるような、教育制度・教育経営に向き合う力量の基礎を培う。とくに、学校と地域の連携や、安全と安心の学校づくりなど、現代的な課題にも焦点をあてる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業前学習:前回のノートを見返し大事な視点・論点を復習する。テキストの指定個所を読む。授業・ニュースなどで日頃から関連情報に気を配る(学習時間:2時間)
授業後学習:授業で取り上げた内容について、日常生活や読書を通じて自分の考えを深め、小レポートの回答を練り上げる。(学習時間:2時間)

[授業計画]
1. 教育の制度と経営の基礎(1) －教育法規の枠組－
2. 教育の制度と経営の基礎(2) －教育基本法－
3. 教育の制度と経営の基礎(3) －日本の学校体系－
4. 教育行政の組織と役割(1) －国と地方の教育行政－
5. 教育行政の組織と役割(2) －教育委員会の理想－
6. 教員を支える制度(1) －公立学校教員の立場－
7. 教員を支える制度(2) －教員の研修・評価－
8. 教員を支える制度(3) －教科書制度の概要－
9. 組織としての学校(1) －学校経営の概念と実践－
10.組織としての学校(2) －学校における個業と協業－
11. 現代学校経営の課題(1) －開かれた学校づくり－
12. 現代学校経営の課題(2) －安全・安心の学校づくり－
13. 現代学校経営の課題(3) －格差社会と学校－

科目名	教育の制度と経営	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	髙橋　みづき		

[成績評価方法]
講義各回に提出する小レポート60%、期末試験（またはレポート課題）40%。
小レポートについて、講義中の説明に即して、教育の制度と経営に関する基本的論点を、どの程度、正確に理解できているか、また、講義で説明した事例などについて、自分なりの分析や考えを的確に述べることができているか等の観点から評価する。
期末試験について、講義中の説明をどの程度、理解できているか、また、それらを用いてどの程度、的確に、自分なりに教育の制度と経営をめぐる諸課題に対して見解を述べることができているか等の観点から評価する。
フィードバックについて、各回の小レポートおよびコメントを抜粋し、それぞれ次の回の講義冒頭時に説明・紹介する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
主として講義中に（あるいはmanabaを通じて）、各回の小レポートおよびコメントを抜粋し、それぞれ説明・紹介します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:法規で学ぶ教育制度 著者名:森田　健宏 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623081820

[参考書（ISBN）]

科目名	教育の方法及び技術（情報通信技術の活用を含む）	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山崎　宣次		

［アクティブラーニング授業］

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

［ 到達目標 ］
授業者による一方的な一斉授業だけではなく、真に学習者主体的に学ぶためにはどのような学習方法を仕組むことが大切かを知るとともに、教育の不易と流行について具体的に理解できる。また、基礎的な教育におけるICTの活用能力を身につける。

［ 授業概要 ］
古い一方的な教授スタイルのどこが問題であり、何をどう変えることが大切かを様々な視点から考えてもらいます。また、教育におけるICTを活用するための理論や事例を知り、実際に情報端末に触れながらICTを活用するための演習を行います。
小中学校勤務歴31年の者が教育現場における情報教育についてアシストします。

［ 準備学修（予習・復習）の内容・時間 ］
各回、予習復習合わせて4時間程度の主体的な学修を期待します。予習としては、事前に資料を配布する場合は、その資料の内容を大まかに理解しておいてください。復習としては、重要な内容に関して振り返り、自分の言葉で説明できるようにノートにまとめる等してください。

［ 授業計画 ］
1.ガイダンス（13回を見通した内容）
2.教育・勉強・学習・学びとは
3.教師に求められる授業力とは
4.授業を構成するということ
5.評価のあり方について（何をどう評価するのか）
6.学習指導案と教材研究について
7.現代社会におけるICT活用の意義と理論の概要
8.ICT活用による学習指導や校務の推進の理論と実践①（デジタル教材の作成と利用等）
9.ICT活用による学習指導や校務の推進の理論と実践②（遠隔授業、LMSによる学習履歴の活用、統合型校務支援システム等）
10.教師のICT活用指導力及び情報活用能力育成の基礎的な指導法の概要
11.情報活用能力育成の理論と実践①（情報モラル、各教科等における指導事例）
12.情報活用能力育成の理論と実践②（プログラミング教育、STEAM教育等
13.まとめ（実物教材の大切さ）

科目名	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
小レポート(30%)、授業中の活躍度(30%)、最終レポート(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:特に指定しませんが、必要なときは授業内で紹介します。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:教室の未来を拓く タブレットPCで育む豊かな学びの手引き: 学びの変革をもたらすタブレットPCの教室革命 著者名:編者:山崎宣次 著者:加藤直樹、及川浩和他 出版社名:Amazon Kindle ISBN:979-8301212710
書籍名:最新の学習指導要領(中・高、養教、栄養) 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	教職実践演習(栄養教諭)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	福田　典子、竹市　仁美、宮本　晃郎、宮垣　覚、林　浩子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
栄養教諭としての使命や職務内容の重要性を理解し、栄養教育に関する専門性を横断的に学び、具体的な実践演習の展開を通して、教育の現場に適応する知識とスキルを修得する。また、教員として最小限必要な資質能力を身に付ける。

[授業概要]
以下の項目について調査・分析、討議、ロールプレイ、フィールドワーク等の方法で演習中心の授業を展開し、実践的な指導力を養う。
①児童・生徒の理解及び栄養指導・栄養管理
②教職員との連携、調整の役割
③適切な学校給食運営と学校給食の現状について学内、地域への情報提供
④給食時間における食に関する指導、計画
⑤家庭、地域(地産、地消、食文化等)との連携、調整
⑥教員としての使命感や責任感、教育的愛情に関する事項
⑦社会性や対人関係能力に関する事項

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
管理栄養士関連科目及び教職課程科目を確実に習得しておくこと。

[授業計画]
1.オリエンテーション　これまでの学習の振り返りとこれからの学習の進め方(宮本)
2.教職の意義と教員のあり方(宮本)
3.学校現場の課題とその対応(学外講師(宮本))
4.個別栄養指導と栄養教諭とのかかわり(グループ討議・作成)(福田)
5.個別栄養指導と栄養教諭とのかかわり(ロールプレイによる発表)(福田)
6.各教科と「食」の関連内容の検討(福田)
7.学外演習(榎元、福田)
8.「食」に関する指導計画の検討・作成(グループ討議・作成)(林)
9.「食」に関する指導計画の作成・発表(模擬授業)(林)
10.地域との連携を通して地場産物、食文化等の調査①(調査、フィールドワーク、資料分析1)(竹市)
11地域との連携を通して地場産物、食文化等の調査②(資料分析2, 発表・討議)(竹市)
12.外部講師(教育委員会)による講演①(学外講師)他学科と合同
13.外部講師(栄養教諭)による講演②(学外講師(福田))

※林担当分は集中講義

科目名	教職実践演習(栄養教諭)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	福田　典子、竹市　仁美、宮本　晃郎、宮垣　覚、林　浩子		

[成績評価方法]
レポート(60%),ロールプレイ等授業中の取り組み態度(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教職実践演習(中・高)	後期	2 単位
サブタイトル	教育実践力の養成	メディア(演習)	
担当者	鈴木　宏節、宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
将来、教員になる上で、自らにとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識やICTをはじめとする技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようにすることを目標とする。

[授業概要]
【メディア授業】
授業では、①教師としての使命感や責任感、教育的愛情に関する事項、②社会性や対人間関係能力に関する事項、③生徒の理解や学級経営等に関する事項、④教科の指導力に関する事項、といった課題目標を達成するために、ロールプレイ、フィールドワーク、事例研究等を多く取り入れ、ICT機器を使用しつつ実践的な指導力の養成を図る(例:それぞれ1回はteamsなどを利用して、遠隔の模擬授業を担当する)。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて2時間程度。指定されたテーマに関して、自らが教壇に立つ姿勢で準備すること。課題やレポートについては、指示された内容を満たすとともに、創造性を発揮するよう工夫すること。

[授業計画]
※本授業は「メディア授業」に指定されているが、13回すべてが遠隔授業ではない。いずれの回を遠隔授業として実施するかは初回の授業時に大学の教場で指示する。初回は必ず登学し、対面で受講すること。

1. オリエンテーション(宮垣)
2. 教職の意義や教員のあり方(宮垣)
3. 学校現場の課題とその対応(宮垣)
4. 社会人としての基本の習得と保護者や地域との連携(鈴木)
5. フィールドワーク、学校現場実務実習(自己の役割と協力)(鈴木)
6. フィールドワーク、学校現場実務実習(校務運営の再確認)(鈴木)
7. フィールドワーク、学校現場実務実習(学級集団の形成)(鈴木)
8. フィールドワーク、学校現場実務実習(学級担任の役割の再確認)(鈴木)
9. 教育の今日的課題の事例研究(ICT機器の運用)(鈴木)
10. 教育の今日的課題のグループ討議(鈴木)
11. 学習指導の基本(教材研究・学習指導案作成)(鈴木)
12. 模擬授業の実践と討議(社会・地歴に関する授業作りと指導力の向上)(鈴木)
13. まとめ(鈴木)

科目名	教職実践演習(中・高)	後期	2 単位
サブタイトル	教育実践力の養成	メディア(演習)	
担当者	鈴木　宏節、宮垣　覚		

[成績評価方法]
課題・レポート(40%)、授業への参加態度(30%)、グループ活動の状況・発表など(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
随時manabaを利用し、質疑応答などをおこなう。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題・レポート(40%)、授業への参加態度(30%)、グループ活動の状況・発表など(30%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:課題・レポート(40%)、授業への参加態度(30%)、グループ活動の状況・発表など(30%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題・レポート(40%)、授業への参加態度(30%)、グループ活動の状況・発表など(30%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教職実践演習(中・高)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	池田　彩音、宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
心構え、授業実践力、生徒指導力をはじめ、教員としての職務に必要な内容を整理し、一人前の教員として独り立ちできる力を身につけ、教員として必要な知識・技能を習得する。

[授業概要]
学校見学や指導主事・教諭の講義等で、学校現場の実情を学び、実務に必要な心構えを学ぶ。また、指導計画・授業内容、生徒・保護者・社会への対応について、グループ学習・討論等によって充実を図り、その問題点について検討を加える。さらに授業を通じて、教員としての自己の課題を自覚するとともに、必要な知識・技能の定着を図る。加えて模擬授業を行い、それぞれの問題点について話し合い、解決方法を見出す。上記の内容について、学校現場での教育経験のある教員が、その経験を活かして指導を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・各回、予習復習合わせて2時間程度
・国語科指導法の概要・人権教育・学級経営・生活指導等、生徒指導に必要な事項を中心に、これまで積み上げてきた学習を振り返りながら受講すること。
・模擬授業では各受講生から事前に配布された教材を読み、教材の内容を把握したうえで授業に参加すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション(宮垣)
2. 学校現場(中高にて)における実務実習(校務運営の再確認)(宮垣)
3. 学校現場(中高にて)における実務実習(学級経営および学級担任の役割)(宮垣)
4. 教員として身につけるべき資質、能力について(グループ討議)(池田)
5. 教員間の連携・保護者対応について(グループ討議)(池田)
6. 学生対応・学生指導について(グループ討議)(池田)
7. 教科指導における課題、模擬授業での評価基準作成(グループ討議)(池田)
8. 受講生による模擬授業1(池田)
9. 受講生による模擬授業2(池田)
10. 受講生による模擬授業3(池田)
11. 受講生による模擬授業4(池田)
12. 受講生による模擬授業5(池田)
13. まとめ(池田)

科目名	教職実践演習(中・高)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	池田　彩音、宮垣　覚		

[成績評価方法]
授業参加度(30%)、模擬授業(30%)、レポート(40%)によって評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内やmanabaを用いてフィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業参加度、模擬授業、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業参加度、模擬授業、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業参加度、模擬授業、レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:適宜資料を配布する。 著者名:なし 出版社名:なし ISBN:なし

[参考書(ISBN)]

科目名	教職実践演習(中・高)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡　志津世、田中　章愛、宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教師として必要な資質の形成に関して、以下の4項目について確認し、円滑に教職生活をスタートさせることができるようにすることを目標とする。
①教育に対する使命感や責任感をもち、生徒に対する豊かな愛情をもつことができるようになる。
②社会性や対人関係、コミュニケーションの能力を高めることができるようになる。
③生徒理解や学級経営等に関する必要な能力の基礎を身に付けることができるようになる。
④教科等の指導力の基礎を形成することができるようになる。

[授業概要]
到達目標達成のために、個々の課題をもとに、学校現場の視点を取り入れ、実践的な 知識や技能を身につけられるように互いの学びを重視したグループ協議を主体として、事例研究、役割演技(ロールプレイ)、模擬授業等を取り入れた授業を行う。
なお、授業では、指定教科書とともに必要に応じて資料配布。併せて、英語科指導法で使用したテキストを適宜使用する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業についての予習・復習2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション(宮垣)
2. 教職の意義や教員のあり方(宮垣)
3. 学校現場の課題とその対応(宮垣)
4. 教育実習の振り返り(田中、以下12回まで同様)
   Chapter 1 Facial Communication and Eye Contact
5. 教員の使命(事例研究・グループ討論)
   Chapter 2 Gestures and Body Movement
6. 学級経営について(学級通信作成・グループ討論)
   Chapter 3 Space and Distance
7. 社会人としての基本の習得と保護者や地域との連携(ロールプレイ)
   Chapter 4 Time in Communication
8. 教員としてのコミュニケーション能力の向上(ロールプレイ)
   Chapter 5 Gender and Communication Style
9. 教育の今日的な課題①(事例研究・グループ討議)
   Chapter 6 Culture and Communication Style
10. 教育の今日的な課題②(事例研究・グループ討議)
   Chapter 7 Self-disclosure
11. 模擬授業実践演習①(模擬授業と省察)
   Chapter 8 Self-assertiveness
12. 模擬授業実践演習②(模擬授業と省察)
   Chapter 9 Active Listening
13. まとめ(吉岡)

科目名	教職実践演習(中・高)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡　志津世、田中　章愛、宮垣　覚		

[成績評価方法]
授業中の課題・発表 60%、小テスト20%、レポート20%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・テストはコメントを付けて返却します。
・レポートはコメントを付けて返却します。
・発表は授業中にフィードバックします。
(manaba の小テストや課題は manabaにてフィードバック)

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:テスト、レポート、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:テスト、レポート、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:テスト、レポート、プレゼンテーション

[教科書(ISBN)]
書籍名:【改訂新版】グローバル社会の異文化コミュニケーション 著者名:池口セシリア／著　八代京子／著 出版社名:金星堂
ISBN:9784764739895

[参考書(ISBN)]

科目名	教職実践演習(中・高)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡　志津世、田中　章愛、宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教師として必要な資質の形成に関して、以下の4項目について確認し、円滑に教職生活をスタートさせることができるようにすることを目標とする。
①教育に対する使命感や責任感をもち、生徒に対する豊かな愛情をもつことができるようになる。
②社会性や対人関係、コミュニケーションの能力を高めることができるようになる。
③生徒理解や学級経営等に関する必要な能力の基礎を身に付けることができるようになる。
④教科等の指導力の基礎を形成することができるようになる。

[授業概要]
到達目標達成のために、個々の課題をもとに、学校現場の視点を取り入れ、実践的な 知識や技能を身につけられるように互いの学びを重視したグループ協議を主体として、事例研究、役割演技(ロールプレイ)、模擬授業等を取り入れた授業を行う。
なお、授業では、必要に応じて資料配布。併せて、英語科指導法で使用したテキストを適宜使用する。特に、教科書『グローバル社会の異文化コミュニケーション』(金星堂)を引き続き使用する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業についての予習・復習2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション(宮垣)
2. 教職の意義や教員のあり方(宮垣)
3. 学校現場の課題とその対応(宮垣)
4. 教育実習の振り返り(田中、以下12回まで同様)
Chapter 1 Facial Communication and Eye Contact
5. 教員の使命(事例研究・グループ討論)
Chapter 2 Gestures and Body Movement
6. 学級経営について(学級通信作成・グループ討論)
Chapter 3 Space and Distance
7. 社会人としての基本の習得と保護者や地域との連携(ロールプレイ)
Chapter 4 Time in Communication
8. 教員としてのコミュニケーション能力の向上(ロールプレイ)
Chapter 5 Gender and Communication Style
9. 教育の今日的な課題①(事例研究・グループ討議)
Chapter 6 Culture and Communication Style
10. 教育の今日的な課題②(事例研究・グループ討議)
Chapter 7 Self-disclosure
11. 模擬授業実践演習①(模擬授業と省察)
Chapter 8 Self-assertiveness
12. 模擬授業実践演習②(模擬授業と省察)
Chapter 9 Active Listening
13. まとめ(吉岡)

科目名	教職実践演習(中・高)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡　志津世、田中　章愛、宮垣　覚		

[成績評価方法]
授業中の課題・発表 60%、小テスト20%、レポート20%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・テストはコメントを付けて返却します。
・レポートはコメントを付けて返却します。
・発表は授業中にフィードバックします。
(manaba の小テストや課題は manabaにてフィードバック)

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:テスト、レポート、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:テスト、レポート、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:テスト、レポート、プレゼンテーション

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教職実践演習(中・高)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤　佐織、大森　正子、宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・①教員としての使命感、責任感、教育的愛情、②社会性や対人関係力、③生徒理解や学級経営力、④教科の指導力、⑤表現力を身に付けている。
・生活を工夫し創造する資質・能力の育成を目指した家庭科の授業を実践するための課題を設定し、課題解決する過程で授業実践に必要な知識・技能、思考力、判断力、表現力等を身に付けている。
・ICTを活用した家庭科の授業ができる。

[授業概要]
教職課程で学んだ知識・技能、教育実習で体験した教科指導力や生徒指導力を基に、教員としての使命感や責任感、教育的愛情等をもって、学級や教科を担任しつつ、教科指導、生徒指導等の職務を実践できる資質能力が身についていることを確認する。講義、演習、発表、ロールプレイングなどを取り入れた授業を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・今日の教育課題について新聞や雑誌等を読んで理解しておく。
・教養科目、学科専門科目、教職課程科目での履修を振り返り、各自の成果と課題を確認しておく。
・授業前後には各自の課題に取り組むために1時間程度を充てることが望ましい。

[授業計画]
1. 本授業について
2. オリエンテーション(宮垣)
3. 教職の意義と教員の役割(宮垣)
4. 学校現場の課題とその対応(宮垣)
5. ICTを活用した家庭科授業について(大森)
6. ICTを活用した家庭科授業について(大森)
7. ICTを活用した家庭科授業(大森)
8. 教育実習の成果と課題:クラス通信(佐藤)
9. 生徒の主体性を引き出す教育①　グループ討議(佐藤)
10. 生徒の主体性を引き出す教育②　新聞作り(佐藤)
11. 保護者への対応　　ロールプレイング(佐藤)
12. 教育現場における家庭科教育(外部講師、佐藤)
13. 私の教科指導の方針、学級経営の方針など　プレゼンテーション(佐藤)

科目名	教職実践演習(中・高)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤　佐織、大森　正子、宮垣　覚		

[成績評価方法]
レポート(40%)、授業態度(30%)、プレゼンテーション(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題は提出後、必要に応じて添削し返却する。
授業内でもコメント等で改善を促す。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教職論	前期	2 単位
サブタイトル	教職の在り方を追求し、教職への適性を考える	講義	
担当者	宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	2分間スピーチ	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・学校教育全般についての理解を深めるとともに、「教職とは何か」について、教職の意義や役割、資質能力、職務内容等を概観することができるようになる。
・期待される教職像を追求し、教職の適性を考え、教職への基礎づくりができるようになる。

[授業概要]
現場経験（校長、教諭）や教育委員会事務局、教育研修所等の経験のある者が、変化する社会情勢と教育動向を概観し、「教育とは」「学校とは」「教師とは」何かを指導します。
そして、教育関係法規や学習指導要領などをもとに公教育の重要性を理解し、教職に求められる資質・能力についてともに考え、教師のやりがいや使命感・責任感を含めた将来の教職像を明らかにしていきます。
また、最新の教育課題について事例研究を通して学び、今日的課題への対応についても指導します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと（各回、予習復習合わせて2時間程度）
各回のキーワードを振り返り、そこから派生して自分自身が疑問に思うことや、さらに調べてみたいことを明らかにしておいてください。
教育に関する最新のニュースにも関心をもって、情報交換できるようにしておいてください。

[授業計画]
1. 教育の目的と意義・役割　－教職とは・忘れられない魅力的な教師－
2. 学校教育と教職の意義等　－家庭教育との違い・学校の種類・教育関係法規－
3. 公教育を担う教職への道　－公務員と民間の違い・教育公務員・教員免許－
4. 教職の役割及び資質能力　－聖職者・労働者・専門職としての教職観の変遷－
5. 教員の資質能力の構造化　－新たな専門職的教職観・学習指導と生徒指導等－
6. これからの授業力の向上　－素材研究・教材研究・発問や板書・ICT活用－
7. これからの指導力の向上　－生徒指導・キャリア教育・教育相談・特別支援教育の視点－
8. これからの教師力の向上　－行事・校務分掌・保護者対応・関係機関連携等－
9. 信頼される学校力の向上　－情報発信・地域連携・学校評価・教育課程編成－
10. 教育公務員としての教職　－教員採用・研修・教員としてのライフサイクル－
11. 教育新時代における教職　－新たな教育課題・幅広い知見と「チーム学校」－
12. 学び続ける教師への期待　－自分自身の適性と力点、学ぶ続ける教師の意義－
13. まとめ、これからの教職について

科目名	教職論	前期	2 単位
サブタイトル	教職の在り方を追求し、教職への適性を考える	講義	
担当者	宮垣　覚		

[成績評価方法]
毎時間のレポート(50%)・理解度確認試験(30%)発表・課題等を含む授業中の活動(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・毎回の授業レポートは、次回添削して返却します。
・質問や望ましい意見は、要約して次回の講義で紹介・解説します。
・解決できていない学習上の問題点については、個別に対応します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記の、成績評価方法によって行います。

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的・多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:上記の、成績評価方法によって行います。

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:上記の、成績評価方法によって行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:対話力／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:中学校学習指導要領総則解説 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03639-7
書籍名:高等学校学習指導要領総則解説 著者名:文部科学省 出版社名:東山書房 ISBN:978-4827815801

科目名	教職論	後期	2 単位
サブタイトル	教職の在り方を追求し、教職への適性を考える	講義	
担当者	宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	2分間スピーチ	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・学校教育全般についての理解を深めるとともに、「教職とは何か」について、教職の意義や役割、資質能力、職務内容等を概観することができるようになる。
・期待される教職像を追求し、教職の適性を考え、教職への基礎づくりができるようになる。

[授業概要]
現場経験（校長、教諭）や教育委員会事務局、教育研修所等の経験のある者が、変化する社会情勢と教育動向を概観し、「教育とは」「学校とは」「教師とは」何かを指導します。
そして、教育関係法規や学習指導要領などをもとに公教育の重要性を理解し、教職に求められる資質・能力についてともに考え、教師のやりがいや使命感・責任感を含めた将来の教職像を明らかにしていきます。
また、最新の教育課題について事例研究を通して学び、今日的課題への対応についても指導します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと（各回、予習復習合わせて2時間程度）
各回のキーワードを振り返り、そこから派生して自分自身が疑問に思うことや、さらに調べてみたいことを明らかにしておいてください。
教育に関する最新のニュースにも関心をもって、情報交換できるようにしておいてください。

[授業計画]
1. 教育の目的と意義・役割　－教職とは・忘れられない魅力的な教師－
2. 学校教育と教職の意義等　－家庭教育との違い・学校の種類・教育関係法規－
3. 公教育を担う教職への道　－公務員と民間の違い・教育公務員・教員免許－
4. 教職の役割及び資質能力　－聖職者・労働者・専門職としての教職観の変遷－
5. 教員の資質能力の構造化　－新たな専門職的教職観・学習指導と生徒指導等－
6. これからの授業力の向上　－素材研究・教材研究・発問や板書・ICT活用－
7. これからの指導力の向上　－生徒指導・キャリア教育・教育相談・特別支援教育の視点－
8. これからの教師力の向上　－行事・校務分掌・保護者対応・関係機関連携等－
9. 信頼される学校力の向上　－情報発信・地域連携・学校評価・教育課程編成－
10. 教育公務員としての教職　－教員採用・研修・教員としてのライフサイクル－
11. 教育新時代における教職　－新たな教育課題・幅広い知見と「チーム学校」－
12. 学び続ける教師への期待　－自分自身の適性と力点、学ぶ続ける教師の意義－
13. まとめ、これからの教職について

科目名	教職論	後期	2 単位
サブタイトル	教職の在り方を追求し、教職への適性を考える	講義	
担当者	宮垣　覚		

[成績評価方法]
毎時間のレポート(50%)・理解度確認試験(30%)発表・課題等を含む授業中の活動(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・毎回の授業レポートは、次回添削して返却します。
・質問や望ましい意見は、要約して次回の講義で紹介・解説します。
・解決できていない学習上の問題点については、個別に対応します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記の、成績評価方法によって行います。

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的・多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:上記の、成績評価方法によって行います。

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:上記の、成績評価方法によって行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:対話力／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:中学校学習指導要領総則解説 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03639-7
書籍名:高等学校学習指導要領総則解説 著者名:文部科学省 出版社名:東山書房 ISBN:978-4827815801

科目名	言語学概論 I	前期	2 単位
サブタイトル	言語とは何か、言語学における基本的知識	講義	
担当者	中村　英江		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
言語とは何か、どのような特徴をもつのか、また言語学とはどのような学問か、どのような分野があり、どのような術語が用いられているのかなど、言語学の基本事項について理解する。

[授業概要]
私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の歴史や、音声的特徴・語構造・文構造など、その言語の背景的知識を学ぶことも重要である。
この授業ではまず、言語学の入門講座として、言語学とはどのような学問か、言語の構造や特性は何か、世界にはどのような言語があるのかといったテーマで、講義を行う。「言語学概論 I 」では、主に英語を中心に取り扱い、言語の歴史、言語構造の基本的知識を学習することで、言語学の基本事項について要点を整理しつつ解説する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
※各回、予習復習合わせて4時間程度
復習:授業中の練習問題を中心に復習する。
予習:参考書を用いて、各回で扱うトピックの該当箇所を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておくことが望ましい。

[授業計画]
1. オリエンテーションおよび導入授業―言語学とは何か、言語学研究の意義
2. 言語の歴史
3. 音声学・音韻論(1)
4. 音声学・音韻論(2)
5. 形態論・統語論(1)
6. 形態論・統語論(2)
7. 意味論(1)ー日本語と英語を題材に
8. 意味論(2)ー日本語と英語を題材に
9. 語用論(1)
10. 語用論(2)
11. 世界の英語－英語のヴァリエーション(1)
12. 世界の英語－英語のヴァリエーション(2)
13. まとめ

科目名	言語学概論 I	前期	2 単位
サブタイトル	言語とは何か、言語学における基本的知識	講義	
担当者	中村　英江		

[成績評価方法]
・授業内の取り組み（小テストやディスカッション等）：30%
・授業内や授業後に提出する課題：30%
・最終試験：40 %

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題：次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：日文1-1／日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。
成績評価方法：授業への取り組み、課題、最終試験で評価

学科DP番号／DP内容：日文1-2／日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。
成績評価方法：授業への取り組み、課題、最終試験で評価

学科DP番号／DP内容：日文2-3／内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。
成績評価方法：授業への取り組み、課題、最終試験で評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、課題、最終試験で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、課題、最終試験で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業への取り組み、課題、最終試験で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業への取り組み、課題、最終試験で評価

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:はじめての英語学〈改訂版〉 著者名:長谷川瑞穂 編著 大井恭子 著 木全睦子 著 森田 彰 著 高尾享幸 著 出版社名:研究社 ISBN:9784327401658
書籍名:日本語教師のための言語学入門 著者名:小泉保 出版社名:大修館書店 ISBN:9784469220919
書籍名:言語学の教室 著者名:西村義樹／野矢茂樹 出版社名:中公新書 ISBN:9784121022202
書籍名:言語世界地図 著者名:町田健 出版社名:新潮社 ISBN:9784106102660

科目名	言語学概論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	言語学の諸分野、世界の諸言語について学ぶ	講義	
担当者	中村　英江		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
実例を概観しながら、言語学の基礎的用語や概念への理解を深める。

[授業概要]
私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の背景的知識について学ぶことも重要である。「言語学概論Ⅱ」では、「言語学概論Ⅰ」に引き続き、英語と他言語(主に日本語)を比較しながら客観的に観察する。言語学の入門講座として「言語学概論Ⅱ」では、授業の前半を使って、意味解釈に関する理論を概観し、人間の認知と意味拡張の関わりや、会話においてコンテクストの情報が意味解釈に与える影響について考察する。授業の後半では、言語と文化の関わりや、社会言語学的観点から学習し、具体的な例を紹介しながら概観し、要点を整理しつつ解説する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
※各回、予習、復習合わせて4時間程度
復習:授業中の練習問題を中心に復習する。
予習:事前配布する講義資料や参考書などの資料を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておく。

[授業計画]
1. オリエンテーションおよび次週への導入(文構造の分析(1))
2. 文構造の分析(2)
3. メタファーとメトニミー
4. 法助動詞と主観性
5. 名意と暗意
6. 会話におけるルール
7. まとまりのある文章
8. 新情報と旧情報
9. 異文化間におけるコミュニケーション
10. ことばと文化
11. ことばと社会(1)
12. ことばと社会(2)
13. まとめ

科目名	言語学概論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	言語学の諸分野、世界の諸言語について学ぶ	講義	
担当者	中村　英江		

[成績評価方法]
・授業内の取り組み（小テストやディスカッション等）：30%
・授業内や授業後に提出する課題：30%
・最終試験40%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題：次の回の授業の冒頭で解説やフィードバックをおこなう。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：日文1-1／日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。
成績評価方法：授業への取り組み、課題、最終試験で評価

学科DP番号／DP内容：日文1-2／日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。
成績評価方法：授業への取り組み、課題、最終試験で評価

学科DP番号／DP内容：日文2-3／内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。
成績評価方法：授業への取り組み、課題、最終試験で評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、課題、最終試験で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への取り組み、課題、最終試験で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業への取り組み、課題、最終試験で評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業への取り組み、課題、最終試験で評価

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:はじめての英語学〈改訂版〉 著者名:長谷川瑞穂 編著 大井恭子 著 木全睦子 著 森田 彰 著 高尾享幸 著 出版社名:研究社 ISBN:9784327401658
書籍名:言語世界地図 著者名:町田健 出版社名:新潮社 ISBN:9784106102660
書籍名:言語学の教室 著者名:西村義樹／野矢茂樹 出版社名:中公新書 ISBN:9784121022202
書籍名:日本語教師のための言語学入門 著者名:小泉保 出版社名:大修館書店 ISBN:9784469220919

科目名	国語科指導法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	中学校・高校国語科の授業づくり	講義	
担当者	吉川　芳則		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
中学校・高等学校国語科授業を開発し実践するために、国語科の目標・内容・方法の基礎的な理解を深めることができるようになる。

[授業概要]
中学校・高等学校の国語科指導の目標・内容・方法等について講述するとともに、読むこと、話すこと・聞くことを中心に、教材研究、学習指導案の作成、授業構成の実習及び事例研究、教科書や情報機器の活用についての検討を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
『中学校学習指導要領解説 国語編』当該領域の「指導事項」「言語活動」及び対象教材を読んで、内容を確認しておいてください。各回の授業中に出されたレポート課題等は、次回までの授業時間外に仕上げておいてください。（各回、予習・復習合わせて4時間程度。）

[授業計画]
1 中学校・高等学校国語科の目標、内容と指導方法
2 国語科学習指導案作成上の留意点
3「読むこと」の授業で育てる思考力、想像力
4 文学教材の模擬授業 1（教材研究）
5 文学教材の模擬授業 2（学習指導案の作成）
6 文学教材の模擬授業 3（授業実施）
7 説明文教材の模擬授業 1（教材研究）
8 説明文教材の模擬授業 2（学習指導案の作成）
9 説明文教材の模擬授業 3（授業実施）
10「話すこと・聞くこと」の指導事項、実践とICTの活用
11「書くこと」の指導事項、実践
12「我が国の言語文化に関する事項（「書写」を含む）」の指導事項
13「我が国の言語文化に関する事項（「書写」を含む）」の実践

科目名	国語科指導法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	中学校・高校国語科の授業づくり	講義	
担当者	吉川　芳則		

[成績評価方法]
授業中の課題（50%）レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的には授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題（50%）、レポート（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題（50%）、レポート（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題（50%）、レポート（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題（50%）、レポート（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業中の課題（50%）、レポート（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業中の課題（50%）、レポート（50%）

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:9784491034706
書籍名:高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 国語編 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:9784491036403

科目名	国語科指導法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル	中学校・高等学校国語の授業づくり	講義	
担当者	吉川　芳則		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
中学校・高等学校国語科学習における生徒の学習上のつまずきと、それに対応する授業づくりのあり方について理解を深めることができるようになる。

[授業概要]
中学校・高等学校の国語科学習におけるつまずきの実態と指導のあり方について講述すると共に、それに対応するための授業づくりの実際について、実践事例をもとに検討する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
『中学校学習指導要領解説 国語編』当該領域の「指導事項」「言語活動」及び対象教材を読んで、内容を確認しておいてください。各回の授業中に出されたレポート課題等は、次回までの授業時間外に仕上げておいてください。（各回、予習・復習合わせて4時間程度。）

[授業計画]
1 国語科授業における生徒のつまずき
2 国語科実践事例の検討の仕方について
3 国語科授業における生徒のつまずきに対応する指導のあり方
4 実践事例の検討 1（読むこと:小説教材の分析）
5 実践事例の検討 2（読むこと:小説教材の学習活動の分析）
6 実践事例の検討 3（読むこと:説明文教材の分析）
7 実践事例の検討 4（読むこと:説明文教材の学習活動の分析）
8 実践事例の検討 5（書くこと教材の分析）
9 実践事例の検討 6（書くこと教材の学習活動の分析）
10 話すこと・聞くこと 1（対話学習の教材分析）
11 我が国の言語文化に関する事項 1（古典教材の分析）
12 我が国の言語文化に関する事項 2（古典教材の学習活動の分析）
13 話すこと・聞くこと 2（対話学習の実践分析）

科目名	国語科指導法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル	中学校・高等学校国語の授業づくり	講義	
担当者	吉川　芳則		

[成績評価方法]
授業中の課題（50%）レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的には授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題（50%）、レポート（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題（50%）、レポート（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題（50%）、レポート（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題（50%）、レポート（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業中の課題（50%）、レポート（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業中の課題（50%）、レポート（50%）

[教科書（ISBN）]
書籍名:国語嫌いな生徒が変わる！中学校国語科つまずき対応の授業＆評価プラン 著者名:吉川芳則／編著 出版社名:明治図書出版 ISBN:9784181430283

[参考書（ISBN）]
書籍名:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:9784491034706
書籍名:高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 国語編 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:9784491036403

科目名	コミュニケーション特講Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻　裕剛		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	ピアレビュー	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・日本語の音声コミュニケーション上の特徴を説明できる
・実践的なコミュニケーション能力を身につけ、人前で発揮できる。
・自分自身のコミュニケーション上の特性を自覚し、その改善を行う。

[授業概要]
音声によるコミュニケーションは、言語の最も根幹をなすものであり、現代日本の教育においては話す・聞く・読む・伝え合う力が重要視されている。この授業では、これらの能力を支えている基礎的な音声理論・コミュニケーション理論に理解を深めるとともに、様々な形態によるコミュニケーションを実践することで発話力・コミュニケーションスキル・伝え合う力の向上を目指す。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
事前に提示する発表の準備と振り返りを各自で行う。
教員から特段の指示がない場合でも自発的に授業内容の予習復習を行うように。

[授業計画]
1. ガイダンス　音声とコミュニケーションの関係
2. 自己紹介・他者紹介　◎
3. 音声の仕組み
4. 1分スピーチ　◎
5. コミュニケーション理論
6. 音読(1)　1回目　◎
7. 音読(2)　2回目　◎
8. ノンバーバルコミュニケーション・面接準備
9. 集団形式による模擬面接(1)　前半グループ　◎
10.集団形式による模擬面接(2)　後半グループ　◎
11.アルバイトのことば
12.ニュースを読む(1)　練習　◎
13.ニュースを読む(2)　本番　◎

科目名	コミュニケーション特講Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻　裕剛		

[成績評価方法]
発表(◎がついている5種類:60%)、提出物(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・各回の冒頭で質問・疑問に対してコメントと解説を行う。
・また、manabaを用いて随時フィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:日文1-1／日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。
成績評価方法:発表・提出物

学科DP番号／DP内容:日文1-3／日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。
成績評価方法:発表・提出物

学科DP番号／DP内容:日文2-1／獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。
成績評価方法:発表・提出物

学科DP番号／DP内容:日文2-2／収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。
成績評価方法:発表・提出物

学科DP番号／DP内容:日文2-3／内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。
成績評価方法:発表・提出物

学科DP番号／DP内容:日文3-2／伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。
成績評価方法:発表・提出物

学科DP番号／DP内容:日文3-3／他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。
成績評価方法:発表・提出物

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:発表・提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:発表・提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:発表・提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:発表・提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:発表・提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:発表・提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:発表・提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:発表・提出物

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	児童サービス論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	杉岡　和弘		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
①子どもの発達段階を理解し、子どもの本の特性を理解し、子どもと本を結びつける技術の基礎を習得する。
②さまざまな児童サービスを通じ、すべての子どもたちに読書の喜びを伝えるために必要な考え方と方法を理解し、説明できる。
③絵本の読み聞かせを実演し、本の紹介を書くことができる。

[授業概要]
児童サービスは、公共図書館におけるサービスの大きな柱となっています。授業では、①子どもを知る、②子どもの本を知る、③子どもと本を結びつける、を中心に児童サービス論を学びます。教科書のほか、重点項目は、【NOTE】として、最も基礎となるべき点をお伝えします。必ず、絵本・児童文学を1冊ずつ目を通しておいてください。書評に挑戦、絵本の読み聞かせ実習も予定しています。公共図書館実務経験のある教員が、その経験を活かして児童サービスの実際を講義します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
実際に児童コーナーを利用し、児童書や絵本に親しむこと。
ﾚｼﾞｭﾒをもとに授業内容を確認し、教科書で理解を深めること。
各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.児童サービスの意義　児童サービスとは何か、児童サービスの歴史
2.子どもの生活と読書(1)　児童観の変遷、子どもの権利条約
3.子どもの生活と読書(2)　発達段階と読書、児童資料の類型
4.児童資料の種類と特色　－絵本、幼年文学、創作児童文学－
5.児童資料の種類と特色　－昔話、ノンフィクション、レファレンス、逐次刊行物、YA文学－
6.児童コレクションの形成と管理　書評基礎論、蔵書構成
7.児童サービスの諸活動　資料提供・情報サービス・フロアワークなど
8.子どもと本をつなぐ方法(1)　読み聞かせ・ストーリーテリング
9.子どもと本をつなぐ方法(2)　ブックトーク・アニマシオン
10.子どもと本をつなぐ工夫、乳幼児サービス
11.ヤングアダルトサービス、特別支援の必要な子どもたちへのサービス
12.(演習)絵本の読み聞かせ、学校・学校図書館との連携
13.子どもの読書活動の推進、児童サービスの運営、まとめ

科目名	児童サービス論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	杉岡　和弘		

[成績評価方法]
授業への取組（コメントペーパー）（30%）、演習・課題（30%）、授業内試験(40%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
コメントペーパーをもとにフィードバックする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	児童サービス論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	杉岡　和弘		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
①子どもの発達段階を理解し、子どもの本の特性を理解し、子どもと本を結びつける技術の基礎を習得する。
②さまざまな児童サービスを通じ、すべての子どもたちに読書の喜びを伝えるために必要な考え方と方法を理解し、説明できる。
③絵本の読み聞かせを実演し、本の紹介を書くことができる。

[授業概要]
児童サービスは、公共図書館におけるサービスの大きな柱となっています。授業では、①子どもを知る、②子どもの本を知る、③子どもと本を結びつける、を中心に児童サービス論を学びます。教科書のほか、重点項目は、【NOTE】として、最も基礎となるべき点をお伝えします。必ず、絵本・児童文学を1冊ずつ目を通しておいてください。書評に挑戦、絵本の読み聞かせ実習も予定しています。公共図書館実務経験のある教員が、その経験を活かして児童サービスの実際を講義します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
実際に児童コーナーを利用し、児童書や絵本に親しむこと。
ﾚｼﾞｭﾒをもとに授業内容を確認し、教科書で理解を深めること。
各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.児童サービスの意義　児童サービスとは何か、児童サービスの歴史
2.子どもの生活と読書(1)　児童観の変遷、子どもの権利条約
3.子どもの生活と読書(2)　発達段階と読書、児童資料の類型
4.児童資料の種類と特色　－絵本、幼年文学、創作児童文学－
5.児童資料の種類と特色　－昔話、ノンフィクション、レファレンス、逐次刊行物、YA文学－
6.児童コレクションの形成と管理　書評基礎論、蔵書構成
7.児童サービスの諸活動　資料提供・情報サービス・フロアワークなど
8.子どもと本をつなぐ方法(1)　読み聞かせ・ストーリーテリング
9.子どもと本をつなぐ方法(2)　ブックトーク・アニマシオン
10.子どもと本をつなぐ工夫、乳幼児サービス
11.ヤングアダルトサービス、特別支援の必要な子どもたちへのサービス
12.(演習)絵本の読み聞かせ、学校・学校図書館との連携
13.子どもの読書活動の推進、児童サービスの運営、まとめ

科目名	児童サービス論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	杉岡　和弘		

[成績評価方法]
成績評価方法　授業への取組（コメントペーパー）（30%）、演習・課題（30%）、授業内試験(40%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
コメントペーパーをもとにフィードバックする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	社会科・公民科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	藤原　健剛		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業のテーマ及び到達目標
　基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につけ、実践できる。
1　社会科・公民科の教科科目の全体像を描きながら、具体的な教材研究の方法を身につけることができる。
2　生徒の興味・関心を育み、かつ学力の定着を図る実践的な学習指導案を作成することができる。
3　社会科・公民科教員として、学校現場で求められる授業スキル(ICT活用を含む)や資質・能力を身につけることができる。
4　情報を整理・分析し、批判的に検討する力及び議論する力が身につく。
5　新しい発想や実践を生み出す力が身につく。

[授業概要]
授業の概要
　中学校社会科公民的分野及び高等学校公民科の内容について、学習指導要領の趣旨を踏まえて教材研究を深め、学習指導案を作成し、模擬授業を行う。模擬授業後、学習指導案や模擬授業の内容・方法について学生相互で批評を行うとともに、担当教員の指導を受けて、受講者全員が実践的な授業スキルと教員としての資質・能力を向上させる。毎時間発表学生に対する評価表の提出を受講生全員に課し、それを集約して担当教員による学習指導案の添削と合わせて発表学生にフィードバックし、それらを参考にして作成した学習指導案・ワークシート・パワーポイント等の完成版を提出させる。また、学習指導要領で求められている「議論する力」を育成するために2回の討論会を実施し、受講生自らの「議論する力」を磨くとともに討論会の運営方法を身につける。高校・大学での教職経験を活かして指導します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
事前に授業用資料を送付するので授業までに目を通して、質問事項を考えておいてください。模擬授業を行った日は毎回発表学生に対する評価表の提出を受講生全員に課しますので、締切期限までにKISSシステムを通じて提出してください。平均して各回の授業について4時間程度の予習・復習を行うこと。

[授業計画]
授業計画(105分×13週)
1. オリエンテーション(学習指導要領社会科・公民科の目標及び内容の確認、講義の目的・内容・進め方・評価等の説明、模擬授業の実施日程)、教員採用試験専門科目について
2. 模擬授業の実践と授業研究(中学校社会科公民的分野)政治(ICTの活用)
3. 模擬授業の実践と授業研究(中学校社会科公民的分野)経済(ICTの活用)
4. 模擬授業の実践と授業研究(中学校社会科公民的分野)国際社会
5. 模擬授業の実践と授業研究(高等学校公民科公共)青年と自己実現
6. 模擬授業の実践と授業研究(高等学校公民科公共)民主政治と法
7. 模擬授業の実践と授業研究(高等学校公民科公共)現代の経済社会
8. 討論会(憲法改正について)
9. 模擬授業の実践と授業研究(高等学校公民科倫理)人間としての自覚と生き方　現代社会と倫理(ICTの活用)
10. 模擬授業の実践と授業研究(高等学校公民科倫理)日本の風土と外来思想の受容
11. 模擬授業の実践と授業研究(高等学校公民科政治・経済)現代の政治、現代の経済
12. 模擬授業の実践と授業研究(高等学校公民科政治・経済)現代社会の諸課題(ICTの活用)
13. 討論会(国際情勢の変化と日本が果たす役割について)、総括(受講生の今後に望むもの)
14. 試験

科目名	社会科・公民科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	藤原　健剛		

[成績評価方法]
学生に対する評価
模擬授業の評価(20%)、発表等授業参加度(20%)、学習指導案・レポート等(20%)、定期試験(40%)を総合的に判断して評価する。ただし、出席回数が9回に満たなかった場合、または模擬授業を行わなかった場合、または定期試験を受験しなかった場合は「不可」とする。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記成績評価方法に準ずる。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記成績評価方法に準ずる。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記成績評価方法に準ずる。

[教科書(ISBN)]
書籍名:中学社会　公民　ともに生きる 著者名:成田喜一郎 出版社名:教育出版 ISBN:978-4-316-20437-6
書籍名:私たちの公共 著者名:大芝亮　橋本康弘　他 出版社名:清水書院 ISBN:978-4-389-60044-0
書籍名:高等学校　新倫理 著者名:菅野覚明　他 出版社名:清水書院 ISBN:978-4-389-60046-4
書籍名:高等学校　政治・経済 著者名:中野勝郎　他 出版社名:清水書院 ISBN:978-4-389-60047-1
書籍名:中学校学習指導要領 著者名:文部科学省 出版社名:東山書房 ISBN:978-4-8278-1558-0
書籍名:高等学校学習指導要領 著者名:文部科学省 出版社名:東山書房 ISBN:978-4-8278-1567-2
書籍名:中学校学習指導要領解説　社会編 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03471-3
書籍名:高等学校学習指導要領解説　公民編 著者名:文部科学省 出版社名:東京書籍 ISBN:978-4-487-28633-1

[参考書(ISBN)]

科目名	社会科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中阪　守		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
中学校学習指導要領「社会科」〔歴史的分野〕の目標や内容についての理解に基づいて、教材編成や授業の実践力を身につける。

[授業概要]
中学校学習指導要領の［歴史的分野］の目標や内容を踏まえ、歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史を背景に理解する。その中で日本の文化と伝統の特色を考え、現在の歴史認識に基づき国民としての自覚を育てる。小学校の歴史学習を踏まえ、歴史上の人物や文化遺産に対する理解を深めつつ、歴史に見られる国際関係や文化交流についても考え、国際協調の精神を養う。以上の事柄への実践的指導法の基礎を培うこと目指した講座運営を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・『中学校学習指導要領』『学習指導要領解説　社会編』を読み、各単元での必要事項を学んでいく。
・教育実習に行く自治体の採択教科書の出版社や内容の情報を得る。
・自治体の教育委員会の「教育振興基本計画」その他の発行物を調べる。
※高校へ実習に行く人は、教科書が改訂、科目が変わるので母校から情報を得ておく。

[授業計画]
※ICTの活用について扱ってください
1. ［歴史的分野］の全体の構成の把握（含む小学校。高等学校の学習内容）
2. 教材編成の実際Ⅰ（A 歴史との対話「私たちと歴史」）
3. 教材編成の実際Ⅱ（A 歴史との対話「身近な地域の歴史」）
4. 「身近な地域の歴史」の発表
5. 教材編成の実際Ⅲ（B「近世までの日本とアジア」―古代までの日本）
6. 教材編成の実際Ⅳ（B「近世までの日本とアジア」―中世の日本）
　授業研究Ⅰ（模擬授業）ICTの活用
7.教材研究の実際Ⅳ(B「近世までの日本とアジア」－近世の日本①
8.教材研究の実際Ⅳ(B「近世までの日本とアジア」－近世の日本②
9. 教材編成の実際Ⅵ（C「近現代の日本と世界」―近代の日本と世界 ）
　授業研究Ⅲ（模擬授業）ICTの活用
10. 教材編成の実際Ⅶ（C「近現代の日本と世界」―現代の日本と世界）
　授業研究Ⅳ（模擬授業）ICTの活用
11. 教材編成の実際…各時代のまとめ
12. フィールドワーク
13. 年間計画の作成
14. 理解度の認・解説（後期試験）

※受講生の要望と受講者数を勘案して、講義内容を変更する場合がある。

科目名	社会科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中阪　守		

[成績評価方法]
授業内作業、活動(20%)　提出課題の評価(20%)　授業内試験(60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内での解説を基本とする
レポートは授業での確認後返却
毎時の「授業振り返りシート」は、添削、助言を加え次時に返却

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する姿勢・意志
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)姿勢・意志
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説　社会編 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:
書籍名:新版　学校を改革する 著者名:佐藤　学 出版社名:岩波書店　岩波ブックレットNo.1078 ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	社会科指導法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中阪　守		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
　中学校学習指導要領「社会科」〔地理的分野〕の目標や内容についての理解に基づいて、教材編成や授業についての実践力を身につける。

[授業概要]
　中学校学習指導要領の［地理的分野］の目標や内容を踏まえ、日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立ち、我が国の国土の地域的特色を考察、理解し、地理的な見方や考え方の基礎を培い、国土に対する認識を養う。又、日本や世界の地域の環境条件や人間生活を考察し地域的な特色をとらえる。実際に生徒への指導展開の中では、調査や資料の適切な選択と活用ができる能力や資質を養うことも肝要である。これらから実践的指導法の基礎を培うことを主眼において講座運営を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・『中学校学習指導要領』『学習指導要領解説　社会編』を読み、各単元での必要事項を学んでいく。
・教育実習に行く自治体の採択教科書の出版社や内容の情報を得る。
・自治体の教育委員会の「教育振興基本計画」その他の発行物を調べる。
※高校へ実習に行く人は、教科書が改訂、科目が変わるので母校から情報を得ておく。

[授業計画]
1. 中学校社会科の目標
2. 教材編成の実際Ⅰ(A 世界と日本の地域構成)
3. 教材編成の実際Ⅱ(B 世界の様々な地域　(1)世界各地の人々の生活と環境)
4. 教材編成の実際Ⅲ(B 世界の様々な地域　(2)世界の諸地域)ICTの活用
5. 教材編成の実際Ⅳ(C 日本の様々な地域　(1)地域調査の手法))6. 教材編成の実際Ⅴ(C 日本の様々な地域　(2)日本の地域的特色と地域分布)
7. 教材編成の実際Ⅵ(C 日本の様々な地域　(3)日本の諸地域)ICTの活用
8. 教材編成の実際Ⅶ(C 日本の様々な地域　(4)地域の在り方)ICTの活用
9. 課題学習の展開、情報機器の活用、授業研究Ⅰ(模擬授業)　ICTの活用
10. 読図と作図、年間指導計画、授業研究Ⅱ(模擬授業)ICTの活用
11. 学習指導案の作成、授業研究Ⅲ(模擬授業)ICTの活用
12. 試験問題の作成と評価法、授業研究Ⅳ(模擬授業)ICTの活用
13. 理解度確認・解説

※受講生の要望と受講者数を勘案して、講義内容を変更することがある。

科目名	社会科指導法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中阪　守		

[成績評価方法]
授業内作業、活動（20%） 提出課題の評価（20%） 授業内試験（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内での解説を基本とする
レポートは授業での確認の後、返却
毎時の「授業振り返りシート」は、添削、助言を添えて次時にフィードバック

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業時の課題への対応、グループワークでの意見交換、自分の考えの発表などの取り組みの状況から判断

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動、協働する能力・姿勢
成績評価方法:授業時の課題への対応、グループワークでの意見交換、自分の考えの発表などの取り組みの状況から判断

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業時の課題への対応、グループワークでの意見交換、自分の考えの発表などの取り組みの状況から判断

[教科書（ISBN）]
書籍名:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:
書籍名:新版　学校を改革する 著者名:佐藤　学 出版社名:岩波書店　岩波ブックレットNo.1078 ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	社会科指導法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中阪　守		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
中学校学習指導要領「社会科」〔公民的分野〕の目標や内容の理解に基づいた教材編成や授業の実践力を身につける。

[授業概要]
中学校学習指導要領の[公民的分野]の目標や内容を踏まえ、個人の尊厳と人権の尊重の意義を広い視野から認識させ、民主主義に対する理解を深めると共に国民主権を担う公民としての必要な基礎的教養を培い、民主政治の意義や国民の生活の向上と経済活動のかかわりおよび現代の社会生活について自ら考えようとする態度を育てる。具体的指導展開の中では、調査や資料の適切な選択と活用ができる能力や態度を養うことも肝要である。以上についての実践的指導法の基礎を培うことを主眼において講座運営を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・『中学校学習指導要領』『学習指導要領解説　社会編』を読み、各単元の必要事項を学んでいく。
・教育実習に行く自治体の採択教科書の出版社や内容の情報を得る。
・自治体の教育委員会の「教育振興基本計画」その他の発行物を調べる。
※高校へ実習に行く人は、教科書が改訂、科目が変わるので母校から情報を得ておく。

[授業計画]
1. [公民的分野] の全体的構成の把握
2. 教材編成の実際Ⅰ(A「私たちと現代社会」(1)私たちが生きる現代社会と文化の特色)
3. 教材編成の実際Ⅱ(A「私たちと現代社会」(2)現代社会を捉える枠組み)
4. 教材編成の実際Ⅲ(B「私たちと経済」(1)市場の働きと経済)
5. 教材編成の実際Ⅳ(B「私たちと経済」(2)国民の生活と政府の役割)ICTの活用
6. 教材編成の実際Ⅴ(C「私たちと政治」(1)人間の尊重と日本国憲法の基本原則)
7. 教材編成の実際Ⅵ(C「私たちと政治」(2)民主政治と政治参加)ICTの活用
8. 教材編成の実際Ⅵ　(D「私たちと国際社会の諸課題」(1) 世界平和と人類の福祉の増大)　ICTの活用
9. 教材編成の実際Ⅶ　(D「私たちと国際社会の諸課題」(2) よりよい社会を目指して)
10. 課題学習の展開Ⅰ　授業研究Ⅰ(模擬授業)ICTの活用
11. 課題学習の展開Ⅱ　授業研究Ⅱ(模擬授業))ICTの活用
12. まとめ　授業研究Ⅲ(模擬授業)
13. まとめ　授業研究Ⅳ(模擬授業)
14. 理解度確認・解説(後期試験)

※受講生の要望と受講生数を勘案して、講義内容を変更することがある。

科目名	社会科指導法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中阪　守		

[成績評価方法]
授業内作業、活動（20%） 提出課題の評価（20%） 授業内試験（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説
レポートは授業での確認後、返却
毎時の「授業振り返りシート」は添削、助言を添えて、次時にフィードバック

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業時の課題への対応、グループワークでの意見交換、自分の考えの発表などの取り組みの状況から判断

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動、協働する能力・姿勢
成績評価方法:授業時の課題への対応、グループワークでの意見交換、自分の考えの発表などの取り組みの状況から判断

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業時の課題への対応、グループワークでの意見交換、自分の考えの発表などの取り組みの状況から判断

[教科書（ISBN）]
書籍名:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:
書籍名:新版　学校を改革する 著者名:佐藤　学 出版社名:岩波書店　岩波ブックレットNo.1078 ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	社会言語学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	橋本　礼子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
身近なことばのさまざまな違いを社会言語学的な観点から考察できるようになる。

[授業概要]
私たちはことばを、さまざまな要因で使い分けている。日本語か中国語かといった個別言語の選択ももちろんのこと、一言語の中でも性別、地域、年齢などといった個人の属性によってことばが違うこともあれば、相手が誰なのかによって使うことばが変わることもある。また、友達との会話にかぎっても、遊んでいるときやゼミ発表など、それがどのような場面なのかによって使い分けられることも多い。
この講義では、言語を人の属性や使われる状況、社会などと関連させて捉える社会言語学について、ユニークな研究に触れながら学んでいく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
指定した教科書の授業で取り上げる章を事前に熟読しておくこと。
授業中に次週提出の課題を指示した場合、提出できるように取り組むこと。
各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. 導入:社会言語学とは
2. 言語と地域1:方言
3. 言語と地域2:標準語・共通語・公用語・国語
4. 言語と地域3:言語と意識
5. 言語と社会階層・民族
6. 言語とジェンダー1:ことばの男女差
7. 言語とジェンダー2:性差別的言語
8. 言語と年齢
9. 言語の選択1:ダイグロシア
10. 言語の選択2:コード・スイッチング
11. スタイルとレジスター
12. ポライトネス
13. まとめ

科目名	社会言語学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	橋本　礼子		

[成績評価方法]
レポート(70%)、授業中課題(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中課題や質問については授業中にフィードバックする。
メールやmanabaの掲示板などでの質問も受け付ける。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:日文1-1／日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。
成績評価方法:課題・レポート

学科DP番号／DP内容:日文1-2／日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。
成績評価方法:課題・レポート

学科DP番号／DP内容:日文2-2／収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。
成績評価方法:課題・レポート

学科DP番号／DP内容:日文2-3／内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。
成績評価方法:課題・レポート

学科DP番号／DP内容:日文3-1／自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。
成績評価方法:課題・レポート

学科DP番号／DP内容:日文3-4／日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。
成績評価方法:課題・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題・レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:改訂版　社会言語学 著者名:岩田　祐子 出版社名:ひつじ書房 ISBN:9784823411434

[参考書(ISBN)]

科目名	生涯学習概論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小林　初恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
博物館学芸員・図書館司書等の生涯学習支援者としての視座を認識できるよう基礎を習得する。そのため生涯学習・社会教育に関する理論や歴史・内容を理解し、活動の現状を把握するとともに、生涯学習支援策の発想・企画力を養う。

[授業概要]
この授業では生涯学習の意義・歴史・施策の動向・内容・施設・支援者等について理解し、生涯学習支援の実践例に基づき、家庭教育・学校教育・社会教育との関係や現代的課題について学ぶ。
授業後半には「博物館・図書館の事業を考察する」と題して、生涯学習の視点で博物館・図書館等の社会教育施設の展示やイベント等事業の具体的な感心事項や課題を認識し、その在り方や企画・改善策についてレポートを作成する。また、これらを発表・評価によるコミュニケーションの向上と成果の共有を図る。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
生涯学習関連法規(社会教育法、図書館法、博物館法等)に目を通すこと。また授業開始前に生涯学習施設(博物館・図書館等)に出向き、充分な時間を費やし、展示や事業等を状況把握すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション、生涯学習・社会教育の意義
2. 生涯学習の歴史、必要性(ライフサイクルと生涯学習)
3. 生涯学習と家庭教育・学校教育
4. 生涯学習と社会教育、社会教育の意義
5. 生涯学習・社会教育の施策、内容、指導者
6. 生涯学習・社会教育施設(公民館・図書館・博物館等)
7. 生涯学習の実践と評価、まとめ
8. 生涯学習支援活動の現状と課題(展示、体験事業)
9. 生涯学習支援活動の現状と課題(学習支援事業、人材育成)
10. 生涯学習支援活動の現状と課題(交流事業)、「博物館・図書館の事業を考察する」レポート作成
11.「博物館・図書館の事業を考察する」発表・評価①
12.「博物館・図書館の事業を考察する」発表・評価②
13.「博物館・図書館の事業を考察する」発表・評価③、講評及び生涯学習の深化と展望

科目名	生涯学習概論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小林　初恵		

[成績評価方法]
授業態度・発言（20%）、授業ごとのレポート（30%）、レポート作成と発表・評価（50%）により評価

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:生涯学習概論　第3次改訂版 著者名:佐藤　晴雄 出版社名:学陽書房 ISBN:9784313611474

科目名	生涯学習概論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	生涯学習の理論と実践	講義	
担当者	山内　紀幸		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1　生涯学習の概念を理解する
2　生涯学習に関わる魅力的な活動を計画・実施する
3　人と関わる活動を通じて、リーダシップ、協調性、表現力を高める

[授業概要]
本授業では、生涯学習プログラム(市民講座)の企画・運営・評価を通じて、生涯学習運営の実践力の向上を目指す。アクティブ・ラーニングの要素を導入し、学生に反省的に生涯学習の知識・技能を習得させるとともに、汎用的スキルの獲得をねらいとしている。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
毎時の授業で指示します。

[授業計画]
1　生涯学習の理念と思想
2　社会教育行政の意義・役割
3　生涯学習の法律と社会教育施設
4　生涯学習の実際①
5　生涯学習の実際②
6　市民講座プロジェクト①:ミッションの説明
7　市民講座プロジェクト②:講座テーマ、講座内容の決定
8　市民講座プロジェクト③:企画書・チラシ作り
9　市民講座プロジェクト④:発表リハーサル
10　市民講座開講①
11　市民講座開講②
12　市民講座開講③
13　評価結果／授業まとめ

科目名	生涯学習概論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	生涯学習の理論と実践	講義	
担当者	山内　紀幸		

[成績評価方法]
レポート（20%）、活動状況（20%）、市民講座でのパフォーマンス（教員評価＆学生評価）（30%×2）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは適宜manabaを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	情報サービス演習 I	前期	1 単位
サブタイトル	図書館における情報サービスの実践的習得	演習	
担当者	仙田　ひろ子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
参考図書に関する基本的な知識を習得し、司書として円滑で的確なレファレンスサービスを行う実践能力を身につける。

[授業概要]
授業では、主に参考図書を用いてレファレンス質問への回答処理の実習を行い、情報源の利用について実践的な能力の習得をめざす。より真正性の高い事例を用いて、各自が問題解決のために主体的・対話的に取り組めるように、PBLやピア・ラーニングなどのアクティブ・ラーニングの視点を取り入れて、深い学びができる授業構成とする。司書の経験を有する教員が現場での具体例に則して指導する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
「図書館サービス概論」「情報サービス論」の概要を事前に修得していることが望ましい。
授業で得た知識をもとに、次回の授業までに大学図書館で参考図書を確認し、それぞれの凡例を読んだり、実際に使用してみること。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. イントロダクション　図書館における情報サービスの意義
2. レファレンスサービスとは：種類と事例
3. レファレンスプロセスについて：受付から評価まで
4. 情報源の探し方 / 情報検索の基礎（論理演算子、トランケーション）
5. 図書情報の調べ方
6. レファレンスコレクションを使った調査方法
7. 発信型情報サービスについて：パスファインダーを中心に
8. 事物・事象の探し方 / 新聞記事の検索
9. 雑誌記事・雑誌論文の調べ方
10. 歴史・日時の調べ方 / 文学に関する情報検索
11. 地理・地名の調べ方
12. 発信型情報サービスの演習：パスファインダーの作成
13. パスファインダーの発表

科目名	情報サービス演習 I	前期	1 単位
サブタイトル	図書館における情報サービスの実践的習得	演習	
担当者	仙田　ひろ子		

[成績評価方法]
授業内課題60%（毎回の授業にて課題を実施し、指示した課題は授業終了後に提出）、および授業内発表40%（最終課題としてパスファインダーを作成して発表）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは、当該回もしくはその次の授業内で行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題の取り組み姿勢により評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業内課題および最終課題の提出内容により評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:最終課題であるパスファインダーの作成によって評価します。

[教科書（ISBN）]
書籍名:検索スキルをみがく　第3版　検索技術者検定3級公式テキスト 著者名:原田智子　編著 出版社名:樹村房 ISBN:978-4-88367-394-0

[参考書（ISBN）]
書籍名:情報サービス演習　4訂 著者名:原田智子編著 出版社名:樹村房 ISBN:9784883674077

科目名	情報サービス演習 I	前期	1 単位
サブタイトル	図書館における情報サービスの実践的習得	演習	
担当者	仙田　ひろ子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
参考図書に関する基本的な知識を習得し、司書として円滑で的確なレファレンスサービスを行う実践能力を身につける。

[授業概要]
授業では、主に参考図書を用いてレファレンス質問への回答処理の実習を行い、情報源の利用について実践的な能力の習得をめざす。より真正性の高い事例を用いて、各自が問題解決のために主体的・対話的に取り組めるように、PBLやピア・ラーニングなどのアクティブ・ラーニングの視点を取り入れて、深い学びができる授業構成とする。司書の経験を有する教員が現場での具体例に則して指導する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
「図書館サービス概論」「情報サービス論」の概要を事前に修得していることが望ましい。
授業で得た知識をもとに、次回の授業までに大学図書館で参考図書を確認し、それぞれの凡例を読んだり、実際に使用してみること。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. イントロダクション　図書館における情報サービスの意義
2. レファレンスサービスとは：種類と事例
3. レファレンスプロセスについて：受付から評価まで
4. 情報源の探し方 / 情報検索の基礎（論理演算子、トランケーション）
5. 図書情報の調べ方
6. レファレンスコレクションを使った調査方法
7. 発信型情報サービスについて：パスファインダーを中心に
8. 事物・事象の探し方 / 新聞記事の検索
9. 雑誌記事・雑誌論文の調べ方
10. 歴史・日時の調べ方 / 文学に関する情報検索
11. 地理・地名の調べ方
12. 発信型情報サービスの演習：パスファインダーの作成
13. パスファインダーの発表

科目名	情報サービス演習 I	前期	1 単位
サブタイトル	図書館における情報サービスの実践的習得	演習	
担当者	仙田　ひろ子		

[成績評価方法]
授業内課題60%（毎回の授業にて課題を実施し、指示した課題は授業終了後に提出）、および授業内発表40%（最終課題としてパスファインダーを作成して発表）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは、当該回もしくはその次の授業内で行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題の取り組み姿勢により評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業内課題および最終課題の提出内容により評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:最終課題であるパスファインダーの作成によって評価します。

[教科書（ISBN）]
書籍名:検索スキルをみがく　第3版　検索技術者検定3級公式テキスト 著者名:原田智子　編著 出版社名:樹村房 ISBN:978-4-88367-394-0

[参考書（ISBN）]
書籍名:情報サービス演習　4訂 著者名:原田智子編著 出版社名:樹村房 ISBN:9784883674077

科目名	情報サービス演習Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	図書館における情報サービスの実践的習得	演習	
担当者	仙田　ひろ子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
情報検索概念と選択すべきデータベース等の内容を把握し、各種データベースの検索演習を通じて、専門職たる司書としての情報検索の技術の基礎を身につける。

[授業概要]
授業では、主にデジタル情報資源を用いてレファレンス質問への回答処理の実習を行い、情報源の利用について実践的な能力の習得をめざす。より真正性の高い事例を用いて、各自が問題解決のために主体的・対話的に取り組めるように、PBLやピア・ラーニングなどのアクティブ・ラーニングの視点を取り入れて、深い学びができ得る授業構成とする。司書の経験を有する教員が現場での具体例に則して指導する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
開講までに、前期「情報サービス演習Ⅰ」の総復習をしておくことが望ましい。
授業で得た知識をもとに、次回の授業までにPCなどで各種検索エンジンやデータベースを確認し、実際に使用してみること。
各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. イントロダクション　図書館における情報サービスの意義
2. 情報検索のプロセス / 検索エンジンの使い方
3. 主題分析
4. 主要な情報機関、官公庁、自治体、各種団体のウェブサイト
5. 人物情報の検索
6. 統計データの検索
7. 学術雑誌と文献情報 (国内)
8. 電子ジャーナルと文献情報 (国内外)
9. 前回までのフィードバック / 科学技術・医学薬学情報の検索
10. 企業情報の検索
11. 法令・特許情報の検索
12. 「テーマ検索と文献解題」の作成 (本科目の最終課題)
13. 「テーマ検索と文献解題」の発表

科目名	情報サービス演習Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	図書館における情報サービスの実践的習得	演習	
担当者	仙田　ひろ子		

[成績評価方法]
授業内課題60%（毎回の授業にて課題を実施し、指示した課題は授業終了後に提出）、および授業内発表40%（最終課題として「テーマ検索と文献解題」を作成して発表）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは、当該回もしくはその次の授業内で行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題の取り組み姿勢により評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業内課題および最終課題の提出内容により評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:最終課題である「テーマ検索と文献解題」の作成によって評価します。

[教科書（ISBN）]
書籍名:検索スキルをみがく　第3版　検索技術者検定3級公式テキスト 著者名:原田智子　編著 出版社名:樹村房 ISBN:978-4-88367-394-0

[参考書（ISBN）]
書籍名:情報サービス演習　4訂 著者名:原田智子編著 出版社名:樹村房 ISBN:9784883674077

科目名	情報サービス演習Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	図書館における情報サービスの実践的習得	演習	
担当者	仙田　ひろ子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
情報検索概念と選択すべきデータベース等の内容を把握し、各種データベースの検索演習を通じて、専門職たる司書としての情報検索の技術の基礎を身につける。

[授業概要]
授業では、主にデジタル情報資源を用いてレファレンス質問への回答処理の実習を行い、情報源の利用について実践的な能力の習得をめざす。より真正性の高い事例を用いて、各自が問題解決のために主体的・対話的に取り組めるように、PBLやピア・ラーニングなどのアクティブ・ラーニングの視点を取り入れて、深い学びができ得る授業構成とする。司書の経験を有する教員が現場での具体例に則して指導する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
開講までに、前期「情報サービス演習Ⅰ」の総復習をしておくことが望ましい。
授業で得た知識をもとに、次回の授業までにPCなどで各種検索エンジンやデータベースを確認し、実際に使用してみること。
各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. イントロダクション　図書館における情報サービスの意義
2. 情報検索のプロセス / 検索エンジンの使い方
3. 主題分析
4. 主要な情報機関、官公庁、自治体、各種団体のウェブサイト
5. 人物情報の検索
6. 統計データの検索
7. 学術雑誌と文献情報 (国内)
8. 電子ジャーナルと文献情報 (国内外)
9. 前回までのフィードバック / 科学技術・医学薬学情報の検索
10. 企業情報の検索
11. 法令・特許情報の検索
12. 「テーマ検索と文献解題」の作成 (本科目の最終課題)
13. 「テーマ検索と文献解題」の発表

科目名	情報サービス演習Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	図書館における情報サービスの実践的習得	演習	
担当者	仙田　ひろ子		

[成績評価方法]
授業内課題60%（毎回の授業にて課題を実施し、指示した課題は授業終了後に提出）、および授業内発表40%（最終課題として「テーマ検索と文献解題」を作成して発表）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは、当該回もしくはその次の授業内で行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法:授業内課題の取り組み姿勢により評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業内課題および最終課題の提出内容により評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:最終課題である「テーマ検索と文献解題」の作成によって評価します。

[教科書（ISBN）]
書籍名:検索スキルをみがく　第3版　検索技術者検定3級公式テキスト 著者名:原田智子　編著 出版社名:樹村房 ISBN:978-4-88367-394-0

[参考書（ISBN）]
書籍名:情報サービス演習　4訂 著者名:原田智子編著 出版社名:樹村房 ISBN:9784883674077

科目名	情報サービス論	後期	2 単位
サブタイトル		メディア（講義）	
担当者	笠井　詠子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
図書館における情報サービスについての概要を把握し、「情報サービス演習Ⅰ・Ⅱ」に向けて基本的な理論を身につける。

[授業概要]
【メディア授業】
図書館における情報サービスの意義を明らかにし、レファレンスサービス、情報検索サービス等のサービス方法、参考図書（レファレンスブック）・各種データベース等の情報源、図書館利用教育、発信型情報サービス等（パスファインダー・機関リポジトリ等）の新しいサービス等について理解する。
なお、本科目で習得する基本的な理論・知識は、公共図書館のみならず、学校図書館等においても適用、応用可能なものである。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
授業で提示されたレポート等は、指定された期限までに授業時間外に取り組んで完成させ、KISSシステムのクラスプロファイル内の指定場所へ提出してください。

[授業計画]
1. イントロダクション、情報社会と図書館における情報サービス
2. 図書館における情報サービスの種類
3. レファレンスサービスの理論と実際
4. 情報検索サービスの基礎理論
5. 各種情報資源の特質と利用法　レファレンスツール
6. 各種情報源の特質と利用法　文献を探す
7. 各種情報源の特質と利用法　論文・記事を探す
8. 各種情報源の特質と利用法　事項・事実を探す
9. ネットワーク情報資源
10. 発信型情報サービス
11. 情報サービスにかかわる知的財産権
12. 図書館利用教育と情報リテラシー育成
13. まとめ、リフレクション

この科目は 9月26日（金）から順次動画を配信します。2026年1月9日（金）までに全動画の視聴を完了させてください。
詳しい動画配信スケジュールは1回目の動画内で説明しますので、10月3日（金）までに必ず1回目の動画を視聴してください。

科目名	情報サービス論	後期	2 単位
サブタイトル		メディア（講義）	
担当者	笠井　詠子		

[成績評価方法]
授業内課題：レポート、小テスト、など（30%）、受講態度：課題提出状況、提出期限を守っているか、など（10%）、期末レポート（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内課題（レポート等）については、全体向けの総評あるいは個別フィードバックの形で後日コメントします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による。

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:授業内で適宜紹介する。 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	情報資源組織演習 I	前期	1 単位
サブタイトル	情報資源組織化の意義をふまえて目録作成に取り組もう	演習	
担当者	坂下　直子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	演習	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
図書館の情報資源を組織するために、『日本目録規則』(NCR)にしたがって目録作成する基本を身につける。

[授業概要]
多様な情報資源に関する書誌データの作成、メタデータの作成等の演習を通して、情報資源組織業務について実践的な能力を養成する。
「情報資源組織論」で学んだ目録の基礎理論に基づき、その理解を深めるとともに、実際に目録作成をおこなう演習科目である。数多くの演習問題を通して、資料組織の実務的な知識と技術を習得する。具体的には、『日本目録規則』(NCR)にしたがって、多様な情報源からのデータ採取、目録規則の適用、目録書誌データの記述の演習をおこなう。より実践的な能力を身につけるため、機械可読目録(MARC)の作成演習もおこなう。積み重ねの演習となるため、出席は必須である。
公共・大学・学校図書館での司書経験を活かして、現場での実践を意識した指導が可能である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の学習内容が理解できていないと、次に進めないので、必ず復習をしてから、次回の授業に望むこと。各回、予習復習合わせて 2 時間程度。

[授業計画]
1. 目録とは何か。目録の意義、種類、機能などについて
2. 書誌情報ネットワークと図書館目録
3.「日本目録規則」(NCR)についての解説
4. 和書に関する書誌記述の作成①タイトルと責任表示に関する事項(1)
5. 和書に関する書誌記述の作成②タイトルと責任表示に関する事項(2)
6. 和書に関する書誌記述の作成③タイトルと責任表示に関する総合演習
7. 和書に関する書誌記述の作成④版表示、出版・頒布等に関する事項
8. 和書に関する書誌記述の作成⑤形態、注記、ISBNに関する事項
9. 単行書に関する総合演習
10. 書誌階層構造の考え方①
11. 書誌階層構造の考え方②
12. 書誌階層に関する演習
13. まとめ　確認テスト

科目名	情報資源組織演習 I	前期	1 単位
サブタイトル	情報資源組織化の意義をふまえて目録作成に取り組もう	演習	
担当者	坂下　直子		

[成績評価方法]
授業中の演習課題および確認テスト(100%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
演習課題は、授業内で解答のプロセスの解説をおこなう。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:目録法キイノート　日本目録規則[1987年版改訂3版]対応 著者名:宮沢厚雄 出版社名:樹村房 ISBN:9784883672608

[参考書(ISBN)]
書籍名:情報資源組織法 (第3版) 著者名:志保田務・高鷲忠美　編著　志保田務・前川和子・家禰淳一　改訂 第一法規 出版社名:第一法規 ISBN:9784474072558

科目名	情報資源組織演習 I	前期	1 単位
サブタイトル	情報資源組織化の意義をふまえて目録作成に取り組もう	演習	
担当者	坂下　直子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	演習	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
図書館の情報資源を組織するために、『日本目録規則』(NCR)にしたがって目録作成する基本を身につける。

[授業概要]
多様な情報資源に関する書誌データの作成、メタデータの作成等の演習を通して、情報資源組織業務について実践的な能力を養成する。
「情報資源組織論」で学んだ目録の基礎理論に基づき、その理解を深めるとともに、実際に目録作成をおこなう演習科目である。数多くの演習問題を通して、資料組織の実務的な知識と技術を習得する。具体的には、『日本目録規則』(NCR)にしたがって、多様な情報源からのデータ採取、目録規則の適用、目録書誌データの記述の演習をおこなう。より実践的な能力を身につけるため、機械可読目録(MARC)の作成演習もおこなう。積み重ねの演習となるため、出席は必須である。
公共・大学・学校図書館での司書経験を活かして、現場での実践を意識した指導が可能である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の学習内容が理解できていないと、次に進めないので、必ず復習をしてから、次回の授業に望むこと。各回、予習復習合わせて 2 時間程度。

[授業計画]
1. 目録とは何か。目録の意義、種類、機能などについて
2. 書誌情報ネットワークと図書館目録
3.「日本目録規則」(NCR)についての解説
4. 和書に関する書誌記述の作成①タイトルと責任表示に関する事項(1)
5. 和書に関する書誌記述の作成②タイトルと責任表示に関する事項(2)
6. 和書に関する書誌記述の作成③タイトルと責任表示に関する総合演習
7. 和書に関する書誌記述の作成④版表示、出版・頒布等に関する事項
8. 和書に関する書誌記述の作成⑤形態、注記、ISBNに関する事項
9. 単行書に関する総合演習
10. 書誌階層構造の考え方①
11. 書誌階層構造の考え方②
12. 書誌階層に関する演習
13. まとめ　確認テスト

科目名	情報資源組織演習 I	前期	1 単位
サブタイトル	情報資源組織化の意義をふまえて目録作成に取り組もう	演習	
担当者	坂下　直子		

[成績評価方法]
授業中の演習課題および確認テスト(100%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
演習課題は、授業内で解答のプロセスの解説をおこなう。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:目録法キイノート　日本目録規則[1987年版改訂3版]対応 著者名:宮沢厚雄 出版社名:樹村房 ISBN:9784883672608

[参考書(ISBN)]
書籍名:情報資源組織法 (第3版) 著者名:志保田務・高鷲忠美　編著　志保田務・前川和子・家禰淳一　改訂 出版社名:第一法規 ISBN:9784474072558

科目名	情報資源組織演習Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	情報資源組織化の意義をふまえて分類付与に取り組もう	演習	
担当者	坂下　直子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	演習	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
図書館の情報資源を組織するために、『日本十進分類法』(NDC)を用いて、図書館情報資源を分類する基本を身につける。

[授業概要]
多様な情報資源に関する主題分析、分類作業、統制語彙の適用等の演習を通して、情報資源組織業務について実践的な能力を養成する。
「情報資源組織論」で学んだ分類の基礎理論に基づき、その理解を深めるとともに、実際に分類・件名付与をおこなう演習科目である。数多くの演習問題を通して、資料組織の実務的な知識と技術を習得する。具体的には、『日本十進分類法』(NDC)、『基本件名標目表』(BSH)にしたがって、的確かつ効率的な検索を可能にする分類と件名を付与する演習をおこなう。積み重ねの演習となるため、出席は必須である。
公共・大学・学校図書館での司書経験を活かして、現場での実践を意識した指導が可能である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の学習内容が理解できていないと、次に進めないので、必ず復習をしてから、次回の授業に望むこと。各回、予習復習合わせて 2 時間程度。

[授業計画]
1. 図書の分類と知識の分類
2. 分類法の歴史、種類、分類記号等について
3. 『日本十進分類法』(NDC)についての解説
4. 主題分析 分類規程
5. NDCを使っての分類付与演習①
6. NDCを使っての分類付与演習②
7. NDCを使っての分類付与演習③
8. NDCの一般補助表を使っての分類付与演習①形式区分
9. NDCの一般補助表を使っての分類付与演習②地理区分・海洋区分
10. NDCの一般補助表を使っての分類付与演習③言語区分・言語共通区分
11. 分類法に関する総合演習
12. 『基本件名標目表』(BSH)を使っての件名付与演習
13. まとめ　確認テスト

科目名	情報資源組織演習Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	情報資源組織化の意義をふまえて分類付与に取り組もう	演習	
担当者	坂下　直子		

[成績評価方法]
授業中の演習課題および確認テスト(100%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
演習課題は、授業内で解答プロセスの解説をおこなう。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:分類法キイノート　第3版補訂　日本十進分類法[新訂10版]対応 著者名:宮沢厚雄 出版社名:樹村房
ISBN:9784883673438

[参考書(ISBN)]
書籍名:情報資源組織法 (第3版) 著者名:志保田務・高鷲忠美　編著　志保田務・前川和子・家禰淳一　改訂 出版社名:第一法規 ISBN:9784474072558

科目名	情報資源組織演習Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	情報資源組織化の意義をふまえて分類付与に取り組もう	演習	
担当者	坂下　直子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他	演習	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
図書館の情報資源を組織するために、『日本十進分類法』(NDC)を用いて、図書館情報資源を分類する基本を身につける。

[授業概要]
多様な情報資源に関する主題分析、分類作業、統制語彙の適用等の演習を通して、情報資源組織業務について実践的な能力を養成する。
「情報資源組織論」で学んだ分類の基礎理論に基づき、その理解を深めるとともに、実際に分類・件名付与をおこなう演習科目である。数多くの演習問題を通して、資料組織の実務的な知識と技術を習得する。具体的には、『日本十進分類法』(NDC)、『基本件名標目表』(BSH)にしたがって、的確かつ効率的な検索を可能にする分類と件名を付与する演習をおこなう。積み重ねの演習となるため、出席は必須である。
公共・大学・学校図書館での司書経験を活かして、現場での実践を意識した指導が可能である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の学習内容が理解できていないと、次に進めないので、必ず復習をしてから、次回の授業に望むこと。各回、予習復習合わせて 2 時間程度。

[授業計画]
1. 図書の分類と知識の分類
2. 分類法の歴史、種類、分類記号等について
3. 『日本十進分類法』(NDC)についての解説
4. 主題分析 分類規程
5. NDCを使っての分類付与演習①
6. NDCを使っての分類付与演習②
7. NDCを使っての分類付与演習③
8. NDCの一般補助表を使っての分類付与演習①形式区分
9. NDCの一般補助表を使っての分類付与演習②地理区分・海洋区分
10. NDCの一般補助表を使っての分類付与演習③言語区分・言語共通区分
11. 分類法に関する総合演習
12. 『基本件名標目表』(BSH)を使っての件名付与演習
13. まとめ　確認テスト

科目名	情報資源組織演習Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	情報資源組織化の意義をふまえて分類付与に取り組もう	演習	
担当者	坂下　直子		

[成績評価方法]
授業中の演習課題および確認テスト(100%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
演習課題は、授業内で解答プロセスの解説をおこなう。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:分類法キイノート　第3版補訂　日本十進分類法[新訂10版]対応 著者名:宮沢厚雄 出版社名:樹村房
ISBN:9784883673438

[参考書(ISBN)]
書籍名:情報資源組織法 (第3版) 著者名:志保田務・高鷲忠美　編著　志保田務・前川和子・家禰淳一　改訂 出版社名:第一法規 ISBN:9784474072558

科目名	情報資源組織論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	國松　完二		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
図書館の情報資源を組織化するのに必要な理論と技術を学び、「情報資源組織演習」履修に必要な基本的な知識を修得する。

[授業概要]
公立図書館において司書ならびに司書資格を有する図書館長の実務経験を有する教員が、図書館で収集する印刷資料・非図書資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源の組織化の理論と技術について、書誌コントロールの意義、様々な書誌記述法、主題分析法(分類目録法、件名目録法)、メタデータ、書誌データの活用法などを解説し、「情報資源組織演習」を履修に必要な基本的な知識について解説します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
講義では、「図書館情報資源の組織化」に関する専門用語をはじめその概念を説明することが中心となるので、指定されたテキストを読んで、講義内容の全体像を把握し、わからない箇所について質問項目を考えておいてください。
テキストならびに毎講義ごとに配付されるレジメならびにKissシステムで提示された参考文献等を読み、復習をしておいてください。
講義回により提示されるレポートは、提出期日までに仕上げておいてください。

[授業計画]
1. 情報資源組織化の意義
2. 主題分析の意義と考え方
3. 主題分析(1)主題目録法および件名法の基礎
4. 主題分析(2)分類法の基礎／日本十進分類法
5. 排架法と図書記号
6. 書誌コントロールと標準化
7. 書誌情報の作成と流通
8. 書誌情報の提供
9. 情報資源組織化の理論(目録法)
10. 書誌記述法(1)　記述目録法の基礎
11. 書誌記述法(2)　記述目録作成の実際
12. 書誌記述法(3)　書誌的事項の記述／標目と排列
13. 電子メディアの組織化、まとめ

科目名	情報資源組織論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	國松　完二		

[成績評価方法]
授業態度（10%）、レポート（60%）、期末修了レポート（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日の講義回やmanaba・Kissシステムで総評をおこないます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:情報資源組織論－第2版 著者名:二村　健 出版社名:学文社 ISBN:9784762028892

[参考書（ISBN）]

科目名	情報資源組織論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	國松　完二		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
図書館の情報資源を組織化するのに必要な理論と技術を学び、「情報資源組織演習」履修に必要な基本的な知識を修得する。

[授業概要]
公立図書館において司書ならびに司書資格を有する図書館長の実務経験を有する教員が、図書館で収集する印刷資料・非図書資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源の組織化の理論と技術について、書誌コントロールの意義、様々な書誌記述法、主題分析法(分類目録法、件名目録法)、メタデータ、書誌データの活用法などを解説し、「情報資源組織演習」を履修に必要な基本的な知識について解説します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
講義では、「図書館情報資源の組織化」に関する専門用語をはじめその概念を説明することが中心となるので、指定されたテキストを読んで、講義内容の全体像を把握し、わからない箇所について質問項目を考えておいてください。
テキストならびに毎講義ごとに配付されるレジメならびにKissシステムで提示された参考文献等を読み、復習をしておいてください。
講義回により提示されるレポートは、提出期日までに仕上げておいてください。

[授業計画]
1. 情報資源組織化の意義
2. 主題分析の意義と考え方
3. 主題分析(1)主題目録法および件名法の基礎
4. 主題分析(2)分類法の基礎／日本十進分類法
5. 排架法と図書記号
6. 書誌コントロールと標準化
7. 書誌情報の作成と流通
8. 書誌情報の提供
9. 情報資源組織化の理論(目録法)
10. 書誌記述法(1)　記述目録法の基礎
11. 書誌記述法(2)　記述目録作成の実際
12. 書誌記述法(3)　書誌的事項の記述／標目と排列
13. 電子メディアの組織化、まとめ

科目名	情報資源組織論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	國松　完二		

[成績評価方法]
授業態度（10%）、レポート（60%）、期末修了レポート（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日の講義回やmanaba・Kissシステムで総評をおこないます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:情報資源組織論－第2版 著者名:二村　健 出版社名:学文社 ISBN:9784762028892

[参考書（ISBN）]

科目名	情報メディアの活用	後期	2 単位
サブタイトル		メディア（講義）	
担当者	笠井　詠子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校図書館の司書教諭として求められる各種情報メディアに関する知識と、それらを活用する場合に要求されるスキルを取得するとともに、情報モラルや知的財産権についても理解する。

[授業概要]
【メディア授業】
学校教育に求められている各種情報メディアに関する知識とスキルについて解説するとともに、守らなければならない情報倫理について理解する。また、情報リテラシー教育に関して、学校教育現場における専門職である司書教諭として必要な基礎的な知識とスキルについても説明する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
授業で提示されたレポート等は、指定された期限までに授業時間外に取り組んで完成させ、KISSシステムのクラスプロファイル内の指定場所へ提出してください。

[授業計画]
1. イントロダクション、学校における教育の情報化
2. 社会の変遷と情報化社会
3. 学校・学校図書館の情報化と司書教諭に求められるもの
4. 情報メディアを活用した授業
5. 情報メディアの特性と選択・活用
6. 情報検索の基礎
7. 情報検索の実際1
8. 情報検索の実際2
9. インターネットの活用（情報検索）
10. 情報モラルと著作権
11. インターネットの活用（情報発信）1
12. インターネットの活用（情報発信）2
13. まとめ、リフレクション

この科目は 9月26日（金）から順次動画を配信します。2026年1月9日（金）までに全動画の視聴を完了させてください。
詳しい動画配信スケジュールは1回目の動画内で説明しますので、10月3日（金）までに必ず1回目の動画を視聴してください。

科目名	情報メディアの活用	後期	2 単位
サブタイトル		メディア（講義）	
担当者	笠井　詠子		

[成績評価方法]
授業内課題：レポート、小テスト、など（30%）、受講態度：課題提出状況、提出期限を守っているか、など（10%）、期末レポート（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内課題（レポート等）については、全体向けの総評あるいは個別フィードバックの形で後日コメントします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:授業内で適宜紹介する。 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	生徒・進路指導論	後期	2 単位
サブタイトル	令和の時代における生徒指導と進路指導・キャリア教育	講義	
担当者	宮本　晃郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・教育課程における生徒指導・進路指導及びキャリア教育の位置付けを理解したうえで、理論及び方法を修得することができる。
・暴力行為・いじめ・不登校、虐待、インターネットや性に関する問題行動など今日的な生徒指導上の課題についての知見を深めることができる。
・児童生徒の健全な育成に向けて、学校の教育活動として支援の方策等について理解を深め、組織的・継続的に取り組む重要性を認識することができる。
・キャリア教育の重要性を踏まえ、生き方を考える進路指導の理論と方法を理解することができる。

[授業概要]
①学校現場で生徒指導を担当した経験を有する教員が、実際の学校現場での具体事例をもとに、「教師と子供との信頼関係の築き方」や「子供同士の望ましい人間関係づくり」「子供自身の自己実現を図るための多様なサポート」などを指導します。
②生徒指導や進路指導について全体管理していた校長の経験を有する教員が、すべての児童生徒のよりよい成長と発達を目指して、学校生活が有意義で充実したものになるように組織的・計画的・意図的に行うための具体的な方策等を指導します。
③教育委員会事務局での経験を有する教員が、専門家や関係機関とともに進める生徒指導やキャリア教育の在り方を通して、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動であることを指導します。

それらを通して、「人としてどう生きるか」や「自分らしく生きるとはどういうことか」などについて生徒指導や進路指導、キャリア教育の在り方を探る。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと
（授業配付資料をもとに復習し、関心を持った教育課題について、新聞、書籍等で調べること）
（次回の講義内容について自分なりの課題意識をもって、キーワード等を整理して授業に臨むこと）

[授業計画]
1. 生徒指導・進路指導及びキャリア教育の見方・考え方
　～生徒指導・進路指導及びキャリア教育の目的と意義・内容等～
2. 生徒指導・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法
　～子供の学校生活・全校や学年学級指導・カウンセリングとしての指導～
3. 教育課程における生徒指導・進路指導及びキャリア教育の位置付け
　～各教科・道徳科・総合的な学習の時間・特別活動～
4. 子供理解と保護者理解・保護者連携
　～子供の心理・発達の段階・多様な保護者の願い・キャリア教育の視点等～
5. 問題行動と関係機関との連携
　～自前主義からチーム学校へ・事例に学ぶ生徒指導研修・教師としての資質の向上～
6. いじめに関する事例研究
　～いじめの態様と指導・早期発見と早期解決・キャリアカウンセリング～
7. 不登校に関する事例研究
　～不登校の原因と傾向・多様な支援策・生涯を通じたキャリア形成～
8. 児童虐待に関する事例研究
　～児童虐待の実態・児童虐待の原因と背景・児童虐待防止への対策・多様な進路～
9. 多種多様な問題に関する事例研究
　～窃盗・不健全性的行為・薬物乱用・家出・自殺等・新たな問題行動等～
10. 生徒指導と法整備・指導の充実
　～懲戒と体罰の違い・校則の必要性と問題点・割れ窓理論とゼロトレランス～
11. 生徒指導と進路指導及びキャリア教育の連動
　～ガイダンスとしての理論及び方法・子供の心理・教師の言葉と行動等～
12. 生き方を考える生徒指導と進路指導及びキャリア教育の充実
　～社会情勢の変化・情報化社会を超える社会・自己指導力の育成～
13. 生徒指導と進路指導及びキャリア教育の総まとめ
　～信頼関係に基づく指導・豊かな人生につなぐ努力～

科目名	生徒・進路指導論	後期	2 単位
サブタイトル	令和の時代における生徒指導と進路指導・キャリア教育	講義	
担当者	宮本　晃郎		

[成績評価方法]
グループ討議など学習態度（30%） 課題レポート（30%）
総合テスト（20%） 研究発表（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎回の課題レポートにおいて、鋭い視点や広い視野から考えた内容を全体にフィードバックを行う。
全員の課題レポートを見た後に、個別に返却して質問等にも答えていくようにする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：グループトークと課題レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：グループトーク、課題レポート、プレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題レポート、まとめのレポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:生徒指導提要―令和4年12月― 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:9784491051758

科目名	生徒指導論(栄教・養教)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山　優子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	1分間スピーチ、学外フィールドワーク	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・生徒指導の意義や原理を理解し、すべての児童生徒を対象とした学級、学年、学校における指導の在り方や考え方を理解する。
・特別なニーズのある児童生徒への指導と支援、暴力行為、いじめ、不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を理解する。
・栄養教諭、養護教諭としての生徒指導のあり方や考え方、外部の専門家、関係機関等の連携を理解する。
・栄養教諭、養護教諭として児童生徒の抱える主な生徒指導上の課題と、学校の全教職員、外部の専門家、関係機関との連携の在り方を理解する。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題(いじめ問題、不登校、特別支援教育等)への対応を学校現場での実際の事例を用いて具体的に講義します。生徒指導は、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じて行われ、学習指導と並ぶ重要な教育活動です。これらを、基本に置き、グループでディスカッションしながら取り組むアクティブ・ラーニングで行います。発達障害等のある子どもの特性を踏まえつつも、障害のあるなしにかかわらず多様な背景をのある児童生徒の問題行動事例から困難への理解を深め、どう指導や支援をしていくか具体的な方法を身に付けることをめあてとしています。
テキストは、「生徒指導提要」(平成22年3月版の冊子のダウンロード)を用います。文部科学省のHPからダウンロードできます。適宜、「生徒指導提要」(令和4年12月の改訂版の冊子のダウンロード)も用います。テキストを購入する必要はありません。パソコンの画面から見ていきますが、印刷する場合は各自で行ってください。
ノートについては、手書きのノートのほかに、パソコンをノート代わりにしてもかまいません。授業の板書は写真撮影 OKです。ICTを活用して授業を受けてみると、その効果や課題が実感でき、今後の児童生徒への指導に役立てられると考えるからです。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・授業で出された宿題や探究課題について主体的に取り組む(復習と探究)。<2時間>
・授業で予告された次回の内容について探究する(反転授業のための予習)。<2時間>

[授業計画]
1.生徒指導の意義と原理及び指導体制と教育課程、各教科等との関連　4/8
2.栄養教諭、養護教諭としての指導や支援、学校体制の整え方 4/15
3.食育、健康教育、安全教育を推進する校内組織及び関係機関との連携 4/22
4.規範意識を醸成し安心できる学校づくり 5/13
5.生徒指導上の課題(不登校)と関係諸機関の連携 5/20
6.生徒指導上の課題(いじめ・非行)と関係諸機関の連携　5/27
7.発達障害や多様な背景から教育的ニーズのある児童生徒の理解と生徒指導　10/11 1限
8.生徒指導の方法(集団指導の方法原理)6/3
9.生徒指導の方法(個別指導の方法原理)6/10
10.生徒指導上の課題(インターネット・児童虐待・校則・懲戒・体罰等の法令)6/17
11.食育、健康教育、安全教育の探究調査<学外フィールドワーク> 6/21 2限
12.食育、健康教育、安全教育の探究調査<学外フィールドワーク>6/21 3限
13.まとめ 6/24

科目名	生徒指導論(栄教・養教)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山　優子		

[成績評価方法]
まとめテスト(論述あり)(80%)、授業ごとの小テスト(記述式)(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業ごとの小テスト(記述式)に対して、提示した評価基準でフィードバックをおこないます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

[教科書(ISBN)]
書籍名:「生徒指導提要」(平成22年3月版の冊子のダウンロード) 著者名:文部科学省 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	総合的な学習の時間の指導法	後期	2 単位
サブタイトル		メディア（講義）	
担当者	溝邊　和成		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
【メディア授業】
小・中・高等学校学習指導要領に示された総合的な学習の時間の目標および内容をはじめ、教育課程上の位置付けや他教科等との関連をとらえるとともに、具体的な演習等を通して、初等中等教育における総合学習の指導のあり方について理解を深める。

[授業概要]
小・中・高等学校学習指導要領に示された総合的な学習の時間の特徴に係るテーマについて、講義とともに演習形式（グループワークやプレゼンテーション、スキルアップワークなど）を取り入れ、理解の充実と具体的な指導力向上をめざす。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
前時に行った「スキルアップワーク」の内容・方法を復習するとともに、本時における課題について概略を把握したり、分担箇所等の予習（発表準備等）を行ったりしてきている。

[授業計画]
第1回：本講義の特徴と授業計画の提示（講・演）～ラーニングストーリーの自覚～
　スキルアップワーク（自己紹介・他者紹介）「総合的な学習の時間と私」
第2回：「総合的な学習の時間」の成立とその変遷（講・演）～体験した授業から見る特徴～
　スキルアップワーク（発表、分類・関係付け）「出身校における取り組み」
第3回：「総合的な学習の時間」の成立とその変遷（講・演）～学習指導要領から見る特徴～
　グループワーク（ジグソー法の活用）「小中学校学習指導要領上に見られる特徴とその変化」

第4回：「総合的な学習の時間」の源流（講・演）～総合学習につながる実践（国内編）～
　スキルアップワーク（情報検索・編集）「国内に見られる総合（探究）学習」
第5回：「総合的な学習の時間」の源流（講・演）～総合学習につながる実践（外国編）～
　スキルアップワーク（編集・報告）「諸外国における総合学習」
第6回：「総合的な学習の時間」の事例探究（演）～総合的な学習の時間におけるテーマ～
　グループワーク（テーマ選択）「例：環境・福祉・キャリア・情報・経済・遺産・STEAM等」

第7回：「総合的な学習の時間」の事例探究（演）～プレゼンテーションのためのスキルとその活用～
　グループワーク（ICT操作）「プレゼンテーションの準備（発表用資料作成、リハーサル等）」
第8回：「総合的な学習の時間」の事例探究（演）～発表形式と内容省察の観点～
　プレゼンテーション（ICT活用、サークル対話：リフレクション）「発表と省察」
第9回：「総合的な学習の時間」の実践上の課題とその対策（講・演）～カリキュラムマネジメント「年間指導計画・教科横断・探究プロセス」への工夫～
　グループワーク（共同作成モデル）「教科横断型、探究型」「年間指導計画」

第10回：「総合的な学習の時間」の実践上の課題とその対策（講・演）～教材開発の視点とそのアクセス～
　スキルアップワーク（ブレイン・ストーミング、KJ法）「教材開発・教材分析」
第11回：「総合的な学習の時間」の実践上の課題とその対策（講・演）～指導・評価スキルの内容と活用～
　スキルアップワーク（資料分析）「指導上の留意事項、評価」

第12回：「総合的な学習の時間」の学習指導案（講・演）～アクティブラーニングを支援する指導案の試み～
　スキルアップワーク（思考の可視化）「形式とその意図」
第13回：本講義のまとめ（講・演）～ラーニングストーリーの整理～
　スキルアップワーク（リフレクション）「自らの学びに対する成果と課題」

科目名	総合的な学習の時間の指導法	後期	2 単位
サブタイトル		メディア（講義）	
担当者	溝邊　和成		

[成績評価方法]
出席レポート提出（15%）、課題（スキルアップワーク/グループワーク/プレゼンテーション）レポート・作品等提出（65%）、授業中の態度（20%）とともに、学生による自己評価も加味して、総合的に評価する。
（評価基準）
　出席レポート：講義中に学んだことを要約し、自分の意見を明確に述べている（A）（B）（C）
　課題（スキルアップワーク/グループワーク/プレゼンテーション）レポート・作品等：自分が調べてきたことや自分の考えをもとにしつつ、他者と協力して得られた工夫点、主張点などを明確かつ簡潔に表している（A）（B）（C）
　授業中の態度：自分の意見を持って主体的に参加するとともに他者との協力も積極的に行うことができている（A）（B）（C）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:子どもと教師の学びと育ち 著者名:溝邊和成ら編著 出版社名:三学出版 ISBN:9784908877575

[参考書（ISBN）]

科目名	地理歴史科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷澤　有弘		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
〔前期〕の学修をもとに、地理歴史科教育における教材研究の視点を身につける。地歴科学習指導案を作成する力を養い、授業構成に関する専門的な技能を高める。また、アクティブラーニングを導入した授業展開のスキルを習得する。これらをふまえて、次年度に控えた教育実習に臨む心構えをもつことができるようにする。
高校の新学習指導要領が、2022(令和4)年度から実施されている。高校生は、地歴科では5つの新科目を学ぶ。受講生は、これらの科目を高校では習っていない。科目の構造と内容を充分に理解して、授業作りを行う。高校地歴科教員として必要な実践力、情報活用能力を身につける事を目標とする。

[授業概要]
〔後期〕の授業では、〔前期〕の講義内容を踏まえて、学習指導の中心である授業について学ぶ。高校地理歴史科の科目に関して、学習指導案の作成と修正、模擬授業を行う。また教育実習の意義や内容を確認し、受講生のコミュニケーションスキルの向上を図る。担当教員の実務経験を生かし、受講生が高校地歴科のより良い授業を作れるように指導する。
現行教育課程での高等学校地歴科の目標をふまえ、授業の進め方について、アクティブラーニングの手法を取り入れる。模擬授業を行い、授業実践力をつける。新聞記事を活用し、社会の動きに目を向ける習慣をつける。授業でディスカッション、プレゼンテーションを積極的に行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
学習指導案作成の基礎として教科内容の理解を深める。高校地歴科の教科書や史資料を読む。各回、4時間程度の予習･復習を行う。日常的に新聞を読む事。事後学習として、新聞を活用したり、テーマ設定をしたレポートを課題とする。

[授業計画]
1. オリエンテーション、基礎的学力診断、高校生の理解－地理歴史科教育実習に向けて
2. 地理歴史科学習指導案の作成①:(学習指導案の書き方)
3. 地理歴史科学習指導案の作成②:(アクティブラーニング)
4. 地理歴史科学習指導案の作成③:(単元の設定)
5. 地理歴史科におけるICT活用授業
6. 地理歴史科の学習指導①:映像・動画で学ぶ地理と歴史
7. 地理歴史科の学習指導②:伝承・説話の教材化
8. 地理歴史科の学習指導③:「総合」から「探究」へ―地理的視点から
9. 地理歴史科の学習指導④:「総合」から「探究」へ―歴史的視点から
10. 地理歴史科の学習指導⑤:地理的に考える、現代の諸課題
11. 地理歴史科の学習指導⑥:歴史的に考える、現代の諸課題
12. 地理歴史科の発展的な学習①－SDGsを学ぶ
13. 地理歴史科の発展的な学習②－後期のまとめと地歴科の復習

科目名	地理歴史科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷澤　有弘		

[成績評価方法]
理解度確認試験（60%）、課題（小テスト、レポート、学習指導案）（20%）、模擬授業・プレゼンテーション（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験は、実施後に内容解説をmanabaに掲載する。レポートは、採点、講評をしてmanabaに掲載する。今後の継続的な学習につながる事を目指す。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記の成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記の成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記の成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:高等学校学習指導要領解説　地理歴史編（平成30年告示） 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社
ISBN:9784491036410

[参考書（ISBN）]
書籍名:「地理総合」「歴史総合」等、新課程の高校教科書。高校で使用した資料集等の副教材 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	道徳教育の理論と指導法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　美紀子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	小テストを数回実施する。	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教育活動全体を通じて行われる道徳教育の意義を考え、道徳教育の内容を把握し、教育の現場における様々な状況を想定しながら、実践的な指導力が身につく。

[授業概要]
本講義では『学習指導要領』に明記される道徳教育の意義と目標、道徳教育の内容、道徳教育の実践を主要な柱として扱う。児童・生徒の発達段階に応じて、道徳心を培うために選択した資料を用いて学習指導案を考案・作成する。それに基づいて模擬授業を行い、実践的能力を養う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
指定されたテキスト・資料をあらかじめ読んでおくこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. ガイダンス、道徳教育の意義
2. 道徳教育の目標
3. 道徳教育の内容① A.自分自身に関すること、B.人とのかかわり
4. 道徳教育の内容② C.集団や社会とのかかわり(公平、公正、社会正義)、D.生命、自然、崇高なものとのかかわり
5. 道徳の指導法、学習教材・資料の分析
6. 学習指導案の考案・作成について
7. 学習指導案の例
8. 研究授業のDVD鑑賞、グループワークで指導案作成・模擬授業準備①
9. グループワークで指導案作成・模擬授業準備②
10. 模擬授業実施① 中学1年
11. 模擬授業実施② 中学2年
12. 模擬授業実施③ 中学3年
13. 総括および授業に関する反省と評価

科目名	道徳教育の理論と指導法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　美紀子		

[成績評価方法]
学習指導案と模擬授業（20%）、模擬授業観察シート（約10%）、筆記試験（約70%）。授業態度等も考慮する。模擬授業観察シートの割合は、受講生で作る班の数により若干変動するが、指導案・模擬授業・観察シート合わせて約30%、筆記試験約70%とする。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
模擬授業のコメントは学内ウェブで公開する。筆記試験の解答例も学内ウェブで公開する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：授業態度、模擬授業、模擬授業観察シート、筆記試験

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：模擬授業

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、模擬授業観察シート、筆記試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:中学校学習指導要領<平成29年告示>解説　特別の教科道徳編 著者名:文部科学省 ［編］ 出版社名:教育出版 ISBN:9784316300849

[参考書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領〈平成29年告示〉解説　特別の教科道徳編 著者名:文部科学省／〔著〕 出版社名:廣済堂あかつき ISBN:9784908255359

科目名	読書と豊かな人間性	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	杉岡　和弘		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・「生きる力」を構成する「豊かな人間性」を備えた児童生徒を育成するために、情報リテラシー育成を含む様々な場面での読書教育の理念を理解することができる。
・教育課程の展開に寄与し、児童生徒の健全な教養を育成するという学校図書館の目的にそって、「読書センター」「学習センター」「情報センター」の3つの使命を遂行する過程で、司書教諭として児童生徒の発達段階に応じた読書活動を推し進めるために、「児童生徒」と「読書資料」について知り、2つを結びつける方法を習得することができる。
・本科目は、国家資格である学校図書館司書教諭資格取得を前提としているという側面があるため、理論と実践を往還しながら、両者を意識的に結びつけることが重要となることから、講義と演習において知識と技術を関連づけた実践能力を身につける。

[授業概要]
情報化社会において、「読書」の解釈は拡大されてきている。伝統的な書物(紙媒体)を読むことを「読書」とみなした時代から、web上の情報(電子媒体)を読むことをも「読書」とみなす時代へという歴史的な変遷を解説する。
並行して、戦前・戦後の日本の学校教育における「読書」と「指導」の関係性の変遷を、海外との関係なども含めて説明する。
学術的な観点では各分野の研究成果からの理論を概説し、実務的な観点では学校教育現場で実践するための方法を実物・実演などで例示し、受講生も一部を体験することで技術の習得をはかる。
現在、教育現場で起こっている事例を豊富に盛り込みながら紹介したあとに、再び理論を確認する。(「なんのために、それをするのか」の意識化)

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
授業内容の理解には公立図書館や大学図書館、書店を利用して、読み手としての視点で考えることが大切である。また、授業中に解説した読書指導等についてはその内容を丁寧に復習し、次回の授業に向けて予習をすること。積極的に授業参加し、課題解決できるように受講してほしい。

[授業計画]
授業計画
1. イントロダクション　読書と心の教育：学校教育における読書の意義と目的
2. 読書概念と読書教育の歴史的変遷：指導とは、支援とは
3. 児童・生徒の発達段階や特性（特別支援やグローバル化を含む）に応じた読書：発達心理学の系譜
4. 児童・生徒向け読書資料の種類と各校種での活用1（絵本・児童文学・ヤングアダルト資料など）
5. 児童・生徒向け読書資料の種類と各校種での活用2（ノンフィクション・逐次刊行物・漫画など）
6. 児童・生徒向け読書資料の種類と各校種での活用3（知識の本・レファレンスブックなど）
7. 読書資料の選択・収集・整理・保存などの読書環境の整備
8. 読書活動の方法1（ストーリーテリング・読み語り・読みあいなど）
9. 読書活動の方法2（ブックトーク・ビブリオバトル・アニマシオンなど）
10. 読書活動の方法3　実技演習
11. 読書関連行事の企画・運営（読書まつり・選書会・読書感想文関連など）
12. 学習指導における読書の様相（各教科・教科横断型、探究学習、図書の時間の授業を含む）
13. 家庭・地域・公共図書館等との連携、そして生涯学習への道のり

科目名	読書と豊かな人間性	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	杉岡　和弘		

[成績評価方法]
授業内発表(30%)授業内課題(50%) 受講態度(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaで小テスト、課題レポートの提出を行います。
小テストの評価、レポートの添削は・講評はmanabaで行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	読書と豊かな人間性	前期	2 単位
サブタイトル	学校教育における読書の役割と、豊かな人間性との関係性について考えよう	講義	
担当者	坂下　直子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・「生きる力」を構成する「豊かな人間性」を備えた児童生徒を育成するために、情報リテラシー育成を含む様々な場面での読書教育の理念を理解することができる。
・教育課程の展開に寄与し、児童生徒の健全な教養を育成するという学校図書館の目的にそって、「読書センター」「学習センター」「情報センター」の3つの使命を遂行する過程で、司書教諭として児童生徒の発達段階に応じた読書活動を推し進めるために、「児童生徒」と「読書資料」について知り、2つを結びつける方法を習得することができる。
・本科目は、国家資格である学校図書館司書教諭資格取得を前提としているという側面があるため、理論と実践を往還しながら、両者を意識的に結びつけることが重要となることから、講義と演習において知識と技術を関連づけた実践能力を身につける。

[授業概要]
情報化社会において、「読書」の解釈は拡大されてきている。伝統的な書物(紙媒体)を読むことを「読書」とみなした時代から、web上の情報(電子媒体)を読むことをも「読書」とみなす時代へという歴史的な変遷を解説する。
並行して、戦前・戦後の日本の学校教育における「読書」と「指導」の関係性の変遷を、海外との関係なども含めて説明する。
学術的な観点では各分野の研究成果からの理論を概説し、実務的な観点では学校教育現場で実践するための方法を実物・実演などで例示し、受講生も一部を体験することで技術の習得をはかる。
現在、教育現場で起こっている事例を豊富に盛り込みながら紹介したあとに、再び理論を確認する。(「なんのために、それをするのか」の意識化)
学校図書館での司書経験を活かして、現場での実践を意識した指導が可能である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業内容の理解には公立図書館や大学図書館、書店を利用して、読み手としての視点で考えることが大切である。また、授業中に解説した読書指導等についてはその内容を丁寧に復習し、次回の授業に向けて予習をすること。積極的に授業参加し、課題解決できるように受講してほしい。

[授業計画]
1. イントロダクション　読書と心の教育:学校教育における読書の意義と目的
2. 読書概念と読書教育の歴史的変遷:指導とは、支援とは
3. 児童・生徒の発達段階や特性(特別支援やグローバル化を含む)に応じた読書:発達心理学の系譜
4. 児童・生徒向け読書資料の種類と各校種での活用1(絵本・児童文学・ヤングアダルト資料など)
5. 児童・生徒向け読書資料の種類と各校種での活用2(ノンフィクション・逐次刊行物・漫画など)
6. 児童・生徒向け読書資料の種類と各校種での活用3(知識の本・レファレンスブックなど)
7. 読書資料の選択・収集・整理・保存などの読書環境の整備
8. 読書活動の方法1(ストーリーテリング・読み語り・読みあいなど)
9. 読書活動の方法2(ブックトーク・ビブリオバトル・アニマシオンなど)
10. 読書活動の方法3　実技演習
11. 読書関連行事の企画・運営(読書まつり・選書会・読書感想文関連など)
12. 学習指導における読書の様相(各教科・教科横断型、探究学習、図書の時間の授業を含む)
13. 家庭・地域・公共図書館等との連携、そして生涯学習への道のり

科目名	読書と豊かな人間性	前期	2 単位
サブタイトル	学校教育における読書の役割と、豊かな人間性との関係性について考えよう	講義	
担当者	坂下　直子		

[成績評価方法]
授業内発表(30%)授業内課題(50%) 受講態度(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
必要に応じて、全体に対しては授業時間内に、個別に対しては授業退出後やメール対応にて行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:児童サービス論:地域とつながる公共図書館の役割 著者名:山本順一 監修　伊香左和子・塚原博 編著 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623084715
書籍名:日米学校図書館の研究 著者名:国際図書館情報学会日本支部編 出版社名:デザインエッグ社 ISBN:9784815044091
書籍名:読書と読者 : 読書、図書館、コミュニティについての研究成果 著者名:キャサリン・シェルドリック・ロス, リン(E.F.)マッケクニー, ポーレット・M.ロスバウアー著 ; 川崎佳代子, 川崎良孝訳 出版社名:京都大学図書館情報学研究会 ISBN:9784820409120
書籍名:続・読書と読者:読書、図書館、コミュニティについての研究成果 著者名:キャサリン・シェルドリック・ロス,リン(E.F.)マッケクニー,ポーレット・M.ロスバウアー著; 川崎良孝,山﨑沙織,川崎佳代子訳 出版社名:京都大学図書館情報学研究会 ISBN:9784820419068
書籍名:トポスとしての図書館・読書空間を考える(シリーズ「図書館・文化・社会」1) 著者名:相関図書館学方法論研究会(川崎良孝・吉田右子)編著 ; スバンヒルド・オーボ [ほか] 著・訳 出版社名:松籟社 ISBN:9784879843630
書籍名:読書効果の科学:読書の"穏やかな"力を活かす3原則 著者名:猪原敬介 出版社名:京都大学学術出版会 ISBN:9784814005604
書籍名:集団で言葉を学ぶ／集団の言葉を学ぶ 著者名:石田喜美編 出版社名:ひつじ書房 ISBN:9784823412509

科目名	特別活動の指導法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤　浩樹		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
学校教育全体における特別活動の意義、目標および内容を理解する。
特別活動の指導のあり方について理解する。

[授業概要]
前半は、特別活動の意義、目標、内容、歴史、位置付け、心理学的基礎を踏まえた指導原理について事例を取り上げて解説する。後半は、特別活動における各活動の内容と指導、評価、家庭・地域・関係機関との連携ついて演習を取り入れて授業を行う。学級活動においては、話し合い活動や意思決定の重要性を取り上げ、学習指導案の作成・発表を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・まとめプリントを行い、学修内容を定着させる。

[授業計画]
第1回:特別活動とは何か①(意義、目的、内容)
第2回:特別活動とは何か②(歴史的変遷、教育課程における位置付け)
第3回:特別活動の心理学的基礎①(集団活動論)
第4回:特別活動の心理学的基礎②(リーダーシップ論)
第5回:部活動の指導と課題指導
第6回:生徒会活動の内容と指導
第7回:学級活動の内容と指導①(内容(1))、学級活動における話し合い活動
第8回:学級活動の内容と指導②(内容(2))、学級活動の学習指導案
第9回:学級活動とキャリア教育(内容(3))
第10回:中学校の特別活動の実際(外部講師)
第11回:学校行事の内容とあり方
第12回:学校行事の指導と諸課題、学習指導案の発表・交流
第13回:特別活動と他の教育活動、まとめ、テスト

科目名	特別活動の指導法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤　浩樹		

[成績評価方法]
授業態度30%(学習指導案含む)、テスト70%。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編 著者名:文部科学省 出版社名:東山書房 ISBN:4827815623

科目名	特別支援教育	後期	2 単位
サブタイトル	多様な子どもたちに対応できる令和の時代の特別支援教育に関する知識・技能を習得する	講義	
担当者	上野　昌稔		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1. 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解する。
2. 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を理解する。
3. 特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解する。

[授業概要]
・特別支援教育やインクルーシブ教育教育システム構築が目指すもの
・歴史的な経緯と現在の特別支援教育の制度について
・個別の指導計画、個別の教育支援計画と基礎的環境整備について
・様々な障害の特性理解と適切な指導支援について
・特別支援教育における諸課題（合理的配慮、医療的ケア、二次障害の予防等）
・特別な教育的ニーズへの対応

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと（各回、予習復習合わせて2時間程度）。
教科書で提示する重要ポイントの理解と整理を図り、現場実習などの実践に生かせるようにしておく。

[授業計画]
第1回：特別支援教育,インクルーシブ教育システムの構築とは、障害のある人を理解する視点
第2回：教育職員免許法上の障害種別、特別支援教育の法制度について
第3回：個別の教育支援計画、個別の指導計画
第4回：基礎的環境整備、障害のある子どもの就学と卒業後の進路と生活
第5回：障害のある子どもとのかかわり方①（視覚障害、聴覚障害）
第6回：障害のある子どもとのかかわり方②（知的障害）
第7回：障害のある子どもとのかかわり方③（肢体不自由、病弱）
第8回：障害のある子どもとのかかわり方④（発達障害）
第9回：障害のある子どもとのかかわり方⑤（言語障害、重複障害）
第10回：特別支援教育における現代的諸問題①（障害者差別解消法、教科指導における合理的配慮の提供、二次障害への対応）
第11回：特別支援教育における現代的諸問題②（医療的ケア、長期入院児や特異な才能のある子どもへの支援や対応）
第12回：特別支援教育における現代的諸問題③（帰国・外国人子女への支援、特別支援学級における外国語活動・小学校英語）
第13回：通級における指導、論述試験

科目名	特別支援教育	後期	2 単位
サブタイトル	多様な子どもたちに対応できる令和の時代の特別支援教育に関する知識・技能を習得する	講義	
担当者	上野　昌稔		

[成績評価方法]
レポート(50%)、講義・演習への取り組みの状況(30%)、論述試験(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・授業中におけるコメント等によるフィードバック
・オフィスアワーにおける対応

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を習得している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に習得していく意欲と態度がある。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協調して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:特別支援教育概論 著者名:花熊　暁 出版社名:建帛社 ISBN:9784767921228

[参考書(ISBN)]
書籍名:必要に応じて提示 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	図書・図書館史	前期	2 単位
サブタイトル	記録媒体及び図書館の歴史	メディア（講義）	
担当者	福井　雄大		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
図書をはじめとする記録媒体の特性とその変化の過程を社会的背景と共に理解を深める。加えて国内外の「図書館」と位置づけられるものの歴史的変遷及び記録媒体との関わりを把握することで、現代の図書館の成り立ちに関する基礎的知識を身につける。

[授業概要]
【メディア授業】
社会的構成物としての図書館はその名の通り、取り扱う記録媒体と切り離すことが難しい。そして記録媒体も社会における需要と技術を引き受けて発展を遂げてきた。本授業では、このような事情を持つ記録媒体と図書館の国内外における歴史的変遷について解説する。
原則として毎週月曜日にmanaba上でコンテンツ(課題を含む)を公開する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
(事前学習・事後学習併せて毎講4時間程度)
授業前学習: 指定テキストの該当箇所を精読する。
授業後学習: 教材を参考に学習内容をまとめ、授業内で紹介された事例について参考書等を用いて調べて確認する。

[授業計画]
1. イントロダクション
2. 記録媒体の素材と形態(UNIT1-3)
3. 印刷技術の展開(UNIT4-6)
4. マスメディアの成立(UNIT7-9(10))
5. 図書館の起源(UNIT11)
6. 中世・近世の図書館(UNIT12-13)
7. 公共図書館の成立とそれ以降(UNIT14-15)
8. 前近代の図書館(UNIT16)
9. 図書館の近代・戦時下(UNIT17-19)
10. 戦後の図書館(UNIT20-21)
11. 市民の図書館(UNIT22-25)
12. ICTと図書館
13. まとめ、ディスカッション

科目名	図書・図書館史	前期	2 単位
サブタイトル	記録媒体及び図書館の歴史	メディア（講義）	
担当者	福井　雄大		

[成績評価方法]
課題(50%)、到達度確認(50%)
13回目の授業内でペーパーテストを行います。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題は基本的にシステムを通じて正答を教示します。
その他希望に応じて個別対応します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:図書・図書館史 著者名:小黒浩司／編著 出版社名:日本図書館協会 ISBN:9784820412182

[参考書（ISBN）]

科目名	図書館概論	前期	2 単位
サブタイトル	図書館の社会的使命と役割について知る	講義	
担当者	松岡　美佳		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
現代の市民社会において図書館が果たすべき役割と、専門職としての司書の使命について理解できるようになる。図書館の起源、歴史、社会的使命・役割、理念など基本的知識を身につけるとともに、館種別(公立図書館、学校図書館、大学図書館、専門図書館、国立図書館)に設置目的、使命、利用者、ニーズ、サービスなどを具体的に把握できるようになる。

[授業概要]
身近な図書館の利用をスタート地点として、人間が生み出した図書館という組織について、その構成要素、機能、基本的な使命や社会的な役割などの基礎的な理解を図る。また、今の生涯学習社会、高度情報社会において、図書館の伝統的な機能と役割は変わりつつあることを確認し、これからの図書館が、幅広いネットワーク形成を基盤として、どのような新たな価値と役割をもちうるのかについても考えていく。講義においては、教員が司書としての実務経験にもとづき、具体的な図書館および利用の実態や課題もまじえて話し、興味・関心をもたせる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業で学んだことをよく理解した上で、大学図書館や地域の公共図書館を積極的に利用するとともに客観的に評価・観察し、学びの具体化を図ること。各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。

[授業計画]
基本的に以下のプランに従って講義を進める。ただし、講義の進み具合、時事的な課題への言及などに対して順序や同一テーマの回数を変えることがある。
1. オリエンテーション、図書館とは (構成要素、機能、業務モデル)
2. 図書館の社会的意義と使命、社会的役割と歴史的変遷:文化、歴史の伝承、生涯学習
3. 図書館の理念　知的自由と図書館倫理
4. 図書館職員―役割、資格制度、資質、図書館の自由と図書館員の倫理
5. わが国における公立図書館の展開　法律・制度
6. 公立図書館の歴史と展開　欧米の図書館にみる
7. 公共図書館の制度と機能、利用者ニーズへの対応
8. 学校図書館の制度と機能、利用者ニーズへの対応
9. 大学図書館の制度と機能、利用者ニーズへの対応
10. 専門図書館の制度と機能、利用者ニーズへの対応
11. 国立図書館の制度と機能、利用者ニーズへの対応
12. 図書館間の協力・連携と類縁機関・関連団体とのネットワーク
13. まとめ、図書館の課題と展望

科目名	図書館概論	前期	2 単位
サブタイトル	図書館の社会的使命と役割について知る	講義	
担当者	松岡　美佳		

[成績評価方法]
授業中の課題（20%）、レポート（30%）、理解度確認試験（50%）で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題、レポート、理解度確認試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題、レポート、理解度確認試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業中の課題、レポート、理解度確認試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:図書館情報学基礎資料(第5版) 著者名:今まど子・小山憲司 出版社名:樹村房 ISBN:9784883673865

[参考書（ISBN）]
書籍名:図書館概論(六訂版)(JLA図書館情報学テキストシリーズⅢ　1) 著者名:塩見昇 出版社名:日本図書館協会 ISBN:9784820424079
書籍名:図書館の法令と政策: 教育・文化・自由を支える制度・議論をみる(新訂) 著者名:後藤敏行 出版社名:樹村房 ISBN:9784883674015
書籍名:これからの図書館情報学 著者名:山本順一 出版社名:有斐閣 ISBN:9784641200173

科目名	図書館概論	前期	2 単位
サブタイトル	図書館の社会的使命と役割について知る	講義	
担当者	松岡　美佳		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
現代の市民社会において図書館が果たすべき役割と、専門職としての司書の使命について理解できるようになる。図書館の起源、歴史、社会的使命・役割、理念など基本的知識を身につけるとともに、館種別(公立図書館、学校図書館、大学図書館、専門図書館、国立図書館)に設置目的、使命、利用者、ニーズ、サービスなどを具体的に把握できるようになる。

[授業概要]
身近な図書館の利用をスタート地点として、人間が生み出した図書館という組織について、その構成要素、機能、基本的な使命や社会的な役割などの基礎的な理解を図る。また、今の生涯学習社会、高度情報社会において、図書館の伝統的な機能と役割は変わりつつあることを確認し、これからの図書館が、幅広いネットワーク形成を基盤として、どのような新たな価値と役割をもちうるのかについても考えていく。講義においては、教員が司書としての実務経験にもとづき、具体的な図書館および利用の実態や課題もまじえて話し、興味・関心をもたせる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業で学んだことをよく理解した上で、大学図書館や地域の公共図書館を積極的に利用するとともに客観的に評価・観察し、学びの具体化を図ること。各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。

[授業計画]
基本的に以下のプランに従って講義を進める。ただし、講義の進み具合、時事的な課題への言及などに対して順序や同一テーマの回数を変えることがある。
1. オリエンテーション、図書館とは (構成要素、機能、業務モデル)
2. 図書館の社会的意義と使命、社会的役割と歴史的変遷:文化、歴史の伝承、生涯学習
3. 図書館の理念　知的自由と図書館倫理
4. 図書館職員―役割、資格制度、資質、図書館の自由と図書館員の倫理
5. わが国における公立図書館の展開　法律・制度
6. 公立図書館の歴史と展開　欧米の図書館にみる
7. 公共図書館の制度と機能、利用者ニーズへの対応
8. 学校図書館の制度と機能、利用者ニーズへの対応
9. 大学図書館の制度と機能、利用者ニーズへの対応
10. 専門図書館の制度と機能、利用者ニーズへの対応
11. 国立図書館の制度と機能、利用者ニーズへの対応
12. 図書館間の協力・連携と類縁機関・関連団体とのネットワーク
13. まとめ、図書館の課題と展望

科目名	図書館概論	前期	2 単位
サブタイトル	図書館の社会的使命と役割について知る	講義	
担当者	松岡　美佳		

[成績評価方法]
授業中の課題（20%）、レポート（30%）、理解度確認試験（50%）で評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題、レポート、理解度確認試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題、レポート、理解度確認試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業中の課題、レポート、理解度確認試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:図書館情報学基礎資料(第5版) 著者名:今まど子・小山憲司 出版社名:樹村房 ISBN:9784883673865

[参考書（ISBN）]
書籍名:図書館概論(六訂版)(JLA図書館情報学テキストシリーズⅢ　1) 著者名:塩見昇 出版社名:日本図書館協会 ISBN:9784820424079
書籍名:図書館の法令と政策: 教育・文化・自由を支える制度・議論をみる(新訂) 著者名:後藤敏行 出版社名:樹村房 ISBN:9784883674015
書籍名:これからの図書館情報学 著者名:山本順一 出版社名:有斐閣 ISBN:9784641200173

科目名	図書館基礎特論	後期	2 単位
サブタイトル	図書館の存立基盤を考える	メディア（講義）	
担当者	福井　雄大		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
図書館を様々な視座から理解するために、図書館と関わりの深い多様な領域とそこで行われている議論や関心について知る。現代社会において図書館が存在するにはどのような条件が必要か、どのような図書館が存在を持続できるかを自分の言葉で説明できるようになる。司書課程における基礎科目で得た知識に対して、その妥当性を考えることができる。

[授業概要]
【メディア授業】
図書館は社会的構成物として、人々の期待を受けて成り立つ事業である。そして高度情報社会と位置付けられる現代においては、前提条件の変化によって図書館の価値に疑問がぶつけられる場面も多い。本授業では、図書館の未来を担う上で避けられないこのような問いについて、様々な角度から検討の材料を提供する。
原則として毎週月曜日にmanaba上でコンテンツ(課題を含む)を公開する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
(事前学習・事後学習併せて毎講4時間程度)
授業前学習: 最終課題に取り組む
授業後学習: 授業時に指示した課題に取り組む

[授業計画]
1. イントロダクション
2. コミュニケーションと書き言葉
3. メディアにまつわるエトセトラ
4. 読者について
5. 言説と広がり
6. 知識と学習
7. 情報の多様な枠組み
8. 情報通信技術と社会
9. デジタル技術と読み書き
10. 倫理と情報
11. 図書館の位置づけ(前半との関わり)
12. 図書館の位置づけ(後半との関わり)
13. まとめ、ディスカッション

科目名	図書館基礎特論	後期	2 単位
サブタイトル	図書館の存立基盤を考える	メディア（講義）	
担当者	福井　雄大		

[成績評価方法]
課題(40%)、最終レポート(60%)
尚、課題はmanabaのスレッド機能を用いて共有するものとする。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題については適宜講評を行います。その他希望に応じて個別対応します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	図書館サービス概論	前期	2 単位
サブタイトル	多様な図書館のサービスを知る	講義	
担当者	福井　雄大		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
図書館サービスは、図書館の機能を具体化し、実践する活動であり、利用者志向で行われるべきものである。このような図書館サービスについて、その意義、方法、特徴について学ぶとともにその具体的なサービスについて理解することを主たる目標とする。あわせて、各種サービスの提供には準備や仕組みが必要であること、サービスの提供は直接的、間接的に図書館員を介して行われることを意識できるようになる。

[授業概要]
図書館サービスの理念と意義を概説し、資料提供サービス、情報提供サービス、利用者別サービスに大別してその意義や技法について解説する。あわせて、できるだけ各種サービスについて具体的な実践例や教材の動画または写真を見ることで多様な図書館サービスに触れることができるようにする。図書館サービスの様々な活動について具体的に解説する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
(事前学習・事後学習併せて毎講4時間程度)
授業前学習: 授業時に指示した指定テキストの該当箇所を精読する。
授業後学習: 教材を参考に学習内容をまとめ、授業内で紹介された事例について自分で調べて確認する。

[授業計画]
1. 図書館サービスの意義・理念ならびに種類
2. 資料提供サービス （1）
　閲覧、貸出、予約・リクエスト、フロアワーク
3. 資料提供サービス （2）
　読書案内、複写サービス、AV資料の提供サービス
4. 情報提供サービス （1）
　レファレンスサービス、カレントアウエアネスサービス
5. 情報提供サービス （2）
　情報検索サービス、集会活動、講演会・セミナー
6. 利用対象別サービス （1）
　児童サービス、ヤングアダルトサービス、成人へのサービス
7. 利用対象別サービス （2）
　利用に障害を持つ人々へのサービス
8. 利用対象別サービス （3）
　高齢者サービス、多文化サービス
9. 課題解決支援サービス
10. 図書館サービスと著作権
11. 図書館サービスの協力と連携
12. 図書館サービスの変遷 （1） 戦後から高度経済成長期
13. 図書館サービスの変遷 （2） 平成期　これからの図書館サービス展開にむけて　まとめ

科目名	図書館サービス概論	前期	2 単位
サブタイトル	多様な図書館のサービスを知る	講義	
担当者	福井　雄大		

[成績評価方法]
期末試験50%、課題25%、授業態度25%で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題については授業の合間に全体的な講評を行います。
その他希望に応じて個別に対応します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:【改訂】図書館サービス概論 著者名:高山正也／編著　村上篤太郎／編著　青柳英治／〔ほか〕著 出版社名:樹村房
ISBN:9784883672943

[参考書(ISBN)]

科目名	図書館サービス概論	前期	2 単位
サブタイトル	多様な図書館のサービスを知る	講義	
担当者	杉岡　和弘		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
図書館サービスは、図書館の機能を具体化し、実践する活動であり、利用者志向で行われるべきものである。このような図書館サービスについて、その意義、方法、特徴について学ぶとともにその具体的なサービスについて理解することを主たる目標とする。あわせて、各種サービスの提供には準備や仕組みが必要であること、サービスの提供は直接的、間接的に図書館員を介して行われることを意識できるようになる。

[授業概要]
図書館サービスの理念と意義を概説し、資料提供サービス、情報提供サービス、利用者別サービスに大別してその意義や技法について解説する。あわせて、できるだけ各種サービスについて具体的な実践例や教材の動画または写真を見ることで多様な図書館サービスに触れることができるようにする。
大学図書館等の勤務経験をふまえ、図書館サービスの様々な活動について具体的に解説する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
前回の学習内容を復習して次の回の授業に臨むこと。事後学習として、まとめのプリントで復習し、授業時に提示する様々な図書館サービスの活動事例について各自で確認すること。（事前学習・事後学習あわせて毎講4時間程度）

[授業計画]
1. 図書館サービスの意義・理念ならびに種類
2. 資料提供サービス （1）
　閲覧、貸出、予約・リクエスト、フロアワーク
3. 資料提供サービス （2）
　読書案内、複写サービス、AV資料の提供サービス
4. 情報提供サービス （1）
　レファレンスサービス、カレントアウエアネスサービス
5. 情報提供サービス （2）
　情報検索サービス、集会活動、講演会・セミナー
6. 利用対象別サービス （1）
　児童サービス、ヤングアダルトサービス、成人へのサービス
7. 利用対象別サービス （2）
　利用に障害を持つ人々へのサービス
8. 利用対象別サービス （3）
　高齢者サービス、多文化サービス
9. 課題解決支援サービス
10. 図書館サービスと著作権
11. 図書館サービスの協力と連携
12. 図書館サービスの変遷 （1） 戦後から高度経済成長期
13. 図書館サービスの変遷 （2） 平成期　これからの図書館サービス展開にむけて

科目名	図書館サービス概論	前期	2 単位
サブタイトル	多様な図書館のサービスを知る	講義	
担当者	杉岡　和弘		

[成績評価方法]
授業内発表（15%） グループ学習の貢献度、積極性、学習の成果・工夫を評価します。
授業内課題とmanaba小テスト（70%） manaba小テストの実施と学習の成果として課題リポートの完成度を評価します。
受講態度（15%） 発表や意見など積極的な授業参加を評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manabaで、小テスト、課題レポートの提出を行います。
小テストの評価、レポートの添削・講評はmanabaで行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	図書館サービス特論	後期	2 単位
サブタイトル	ウェブ上の情報に対する理解	メディア（講義）	
担当者	福井　雄大		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
ウェブ上の情報を形作る形式と過程、及び質について理解を深める。図書館の多様なサービスの中に通底する情報サービス・レファレンスサービスの考え方を身につける。

[授業概要]
【メディア授業】
地域の情報拠点として、ウェブ上での情報発信が図書館の新たな課題として位置付けられている。本授業では題材としてウィキペディアを取り上げ、そのしくみについて解説する。情報サービスというコンセプトに基づいた、現代の情報環境における図書館のあり方の一例を示す。
原則として毎週月曜日にmanaba上でコンテンツ(課題を含む)を公開する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
(毎講4時間程度)
授業後学習: 授業時に指示した課題に取り組む

[授業計画]
1.イントロダクション
2.ウェブの基本
3.ウィキペディアとは何か
4.ウィキペディアの射程
5.ウィキペディアの規律
6.出典を調べる
7.出典を示す
8.様々な編集
9.情報の反映
10.テーマの見取り図
11.記事の加筆
12.記事の新規作成
13.まとめ、ディスカッション

科目名	図書館サービス特論	後期	2 単位
サブタイトル	ウェブ上の情報に対する理解	メディア（講義）	
担当者	福井　雄大		

[成績評価方法]
課題(60%)、最終レポート(40%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題については適宜講評を行います。その他希望に応じて個別対応します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	図書館情報技術論	前期	2 単位
サブタイトル	コンピュータとネットワークが作り出す新しい図書館	講義	
担当者	森下　淳也		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
情報機器やメディアで変わる図書館の新しいサービスのため、コンピュータとネットワーク、マルチメディアなどの基本的な事柄を理解する。

[授業概要]
コンピュータとネットワークの基本について学ぶとともに、情報メディアの利用法についても理解する。図書館では、さまざまな情報機器やメディアを利用してサービスを行っており、それらのサービスについても理解を深める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業内容の理解には、図書館利用者としての視点も必要である。図書館を利用して、図書館のサービスを理解するように努めておくこと。特に図書館のウェッブページhttp://lib.yg.kobe-wu.ac.jpを閲覧し、確認しておくこと。

[授業計画]
授業は以下の内容を予定している。但し、場合によっては、順序や内容に変更もあり得る。
1.コンピュータの構成要素と動作原理
2.コンピュータの情報の表現
3.マルチメディア
4.マルチメディアデータ処理
5.コンピュータネットワーク
6.World Wide Web
7.Webによる情報発信
8.情報検索　検索エンジンとデータベース
9.情報セキュリティと情報倫理
10.図書館における情報技術活用の現状
11.図書館とデータベース
12.電子図書館とデジタルアーカイブ
13.まとめ

科目名	図書館情報技術論	前期	2 単位
サブタイトル	コンピュータとネットワークが作り出す新しい図書館	講義	
担当者	森下　淳也		

[成績評価方法]
テーマ毎に課せられる課題で評価する。課題を複数、用意する。単純な復習課題や創意を求められるもの等、様々である。ウエイトに応じた加点を行い、最終的な評価はその合計に従う。評価基準は、指示を間違えず対応でき、正しく理解されているとわかるものに加点する。原則、全ての課題を全て提出すること。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出された課題について、不完全なものは学生に個別に指導する

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業で行なったテーマ毎に課した課題で評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業で行なったテーマ毎に課した課題で評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業で行なったテーマ毎に課した課題で評価する

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	図書館情報技術論	前期	2 単位
サブタイトル	コンピュータとネットワークが作り出す新しい図書館	講義	
担当者	森下　淳也		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
情報機器やメディアで変わる図書館の新しいサービスのため、コンピュータとネットワーク、マルチメディアなどの基本的な事柄を理解する。

[授業概要]
コンピュータとネットワークの基本について学ぶとともに、情報メディアの利用法についても理解する。図書館では、さまざまな情報機器やメディアを利用してサービスを行っており、それらのサービスについても理解を深める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業内容の理解には、図書館利用者としての視点も必要である。図書館を利用して、図書館のサービスを理解するように努めておくこと。特に図書館のウェッブページhttp://lib.yg.kobe-wu.ac.jpを閲覧し、確認しておくこと。

[授業計画]
授業は以下の内容を予定している。但し、場合によっては、順序や内容に変更もあり得る。
1.コンピュータの構成要素と動作原理
2.コンピュータの情報の表現
3.マルチメディア
4.マルチメディアデータ処理
5.コンピュータネットワーク
6.World Wide Web
7.Webによる情報発信
8.情報検索　検索エンジンとデータベース
9.情報セキュリティと情報倫理
10.図書館における情報技術活用の現状
11.図書館とデータベース
12.電子図書館とデジタルアーカイブ
13.まとめ

科目名	図書館情報技術論	前期	2 単位
サブタイトル	コンピュータとネットワークが作り出す新しい図書館	講義	
担当者	森下　淳也		

[成績評価方法]
テーマ毎に課せられる課題で評価する。課題を複数、用意する。単純な復習課題や創意を求められるもの等、様々である。ウエイトに応じた加点を行い、最終的な評価はその合計に従う。評価基準は、指示を間違えず対応でき、正しく理解されているとわかるものに加点する。原則、全ての課題を全て提出すること。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出された課題について、不完全なものは学生に個別に指導する

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業で行なったテーマ毎に課した課題で評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業で行なったテーマ毎に課した課題で評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業で行なったテーマ毎に課した課題で評価する

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	図書館情報資源概論	後期	2 単位
サブタイトル	図書館業務に必要な図書館情報資源に関する知識	講義	
担当者	杉岡　和弘		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源について、類型と特質、歴史、生産、流通、選択、収集、保存、図書館業務に必要な情報資源に関する知識等の基本を解説する。

[授業概要]
印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源を情報・資料・メディアととらえて図書館情報資源について解説を行い、図書館情報資源の生産（出版）と流通の実際を解説し、図書館コレクションとしての形成及び提供する理論（資料の選択・収集・評価）、方法について解説をする。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
予習に関してはシラバスの「授業計画」や授業中に予告した教科書の該当箇所を読んでくること。復習に関しては授業中に説明した図書館情報資源等を図書館（本学図書館、公共図書館など）で確認を行うこと。（各回、予習復習合わせて4時間程度行う）

[授業計画]
第1回 図書館情報資源とは
第2回 印刷資料
第3回 非印刷資料
第4回 電子資料
第5回 資料特論
第6回 出版流通システム
第7回 図書館の自由
第8回 蔵書論
第9回 収集と選択
第10回 蔵書管理・書庫管理
第11回 資料の組織化
第12回 情報生産の新たな仕組みと図書館情報資源の課題
第13回 図書館情報資源のまとめ

科目名	図書館情報資源概論	後期	2 単位
サブタイトル	図書館業務に必要な図書館情報資源に関する知識	講義	
担当者	杉岡　和弘		

[成績評価方法]
授業内発表（15%） グループ学習の貢献度、積極性、学習の成果・工夫を評価します。
授業内課題・manaba小テスト（70%） manabaでの小テストの実施。学習の成果として課題リポートの完成度を評価します。
受講態度（15%） 発表や意見など積極的な授業参加を評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manabaで、小テスト、課題レポートの提出を行います。
小テストの評価、レポートの添削・講評はmanabaで行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	図書館情報資源概論	後期	2 単位
サブタイトル	図書館業務に必要な図書館情報資源に関する知識	講義	
担当者	杉岡　和弘		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源について、類型と特質、歴史、生産、流通、選択、収集、保存、図書館業務に必要な情報資源に関する知識等の基本を解説する。

[授業概要]
印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源を情報・資料・メディアととらえて図書館情報資源について解説を行い、図書館情報資源の生産（出版）と流通の実際を解説し、図書館コレクションとしての形成及び提供する理論（資料の選択・収集・評価）、方法について解説をする。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
予習に関してはシラバスの「授業計画」や授業中に予告した教科書の該当箇所を読んでくること。復習に関しては授業中に説明した図書館情報資源等を図書館（本学図書館、公共図書館など）で確認を行うこと。

[授業計画]
第1回 図書館情報資源とは
第2回 印刷資料
第3回 非印刷資料
第4回 電子資料
第5回 資料特論
第6回 出版流通システム
第7回 図書館の自由
第8回 蔵書論
第9回 収集と選択
第10回 蔵書管理・書庫管理
第11回 資料の組織化
第12回 情報生産の新たな仕組みと図書館情報資源の課題
第13回 図書館情報資源のまとめ

科目名	図書館情報資源概論	後期	2 単位
サブタイトル	図書館業務に必要な図書館情報資源に関する知識	講義	
担当者	杉岡　和弘		

[成績評価方法]
授業内発表（15%） グループ学習の貢献度、積極性、学習の成果・工夫を評価します。
授業内課題・manaba小テスト（70%） manabaでの小テストの実施。学習の成果として課題リポートの完成度を評価します。
受講態度（15%） 発表や意見など積極的な授業参加を評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manabaで、小テスト、課題レポートの提出を行います。
小テストの評価、レポートの添削・講評はmanabaで行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	図書館制度・経営論	後期	2 単位
サブタイトル	図書館を支える制度基盤と社会的役割を果たすためのマネジメントとは	講義	
担当者	坂下　直子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
近代公共図書館の5原則をふまえて、公共機関である図書館を組織とみなして、経営・運営上の様々な問題について学び、下記の目標達成をめざす。
①図書館関連法規と、相互の関係性を理解する。
②図書館現場の運営制度を理解する。
③図書館制度・経営上の現代的な課題について、当事者の視点で主体的に思考し(自己との対話)、私見を持つことができる。
④グループディスカッションにおける意見交換(他者との対話)において、異なった意見を知り、自らの思考をより深めることができる。

[授業概要]
図書館に関する法律、関連する領域の法律、図書館政策について解説するとともに、図書館経営の考え方、人材(専門職としての図書館職員)や施設・設備等の経営資源、サービス計画、予算の確保、調査と評価、管理形態等について解説し、様々なサービスと、それを円滑に行う運営体制をみていく。
図書館関連法規や、組織運営上の経済・経営用語など、ややもすると暗記中心になりがちな本科目を、オーセンティックな実例に則して、問題解決型学習(PBL)といったディープ・アクティブラーニングの視点での学びをめざす。現代の図書館が抱える制度・経営上の時事的な問題を、その都度トピックとして紹介し、各自および集団で問題解決の方途を探ってもらう。
公共・大学・学校図書館での司書経験を活かして、現場での実践を意識した指導が可能である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各種関連法規が、どのような形で図書館と結びついているのか、リアルな図書館に足を運び観察すると同時に、web上などでのバーチャルな図書館の様子にもアンテナを張って吸収してほしい。各回、予習復習合わせて 4 時間程度。

[授業計画]
基本的に以下のプランに従って講義を進める。ただし、講義の進み具合、時事的な課題への言及などに対して順序や同一テーマの回数を変えることがある。
1. イントロダクション　図書館法の理解(1):目的と意義
2. 図書館法の理解(2):図書館法逐条解説
3. 図書館法の理解(3):図書館法逐条解説
4. 図書館関連法規の理解(1):日本国憲法、教育基本法、社会教育法
5. 図書館関連法規の理解(2):地方自治体と条例
6. 他館種の図書館に関する法律
7. 図書館サービス関連法規の理解
8. 図書館政策(国、地方自治体)
9. 公共機関・施設の経営方法と図書館経営
10. 図書館の組織・職員体制:司書の専門性とは
11. 図書館の施設・設備
12. 図書館のサービス計画と予算　図書館業務と評価
13. ディベート、今後の図書館制度の展望

科目名	図書館制度・経営論	後期	2 単位
サブタイトル	図書館を支える制度基盤と社会的役割を果たすためのマネジメントとは	講義	
担当者	坂下　直子		

[成績評価方法]
①各課題で、授業全体を通して、知識・技能を正しく理解し、習得できているかを総括的に評価する。(50%)
②パフォーマンス課題で、図書館制度・経営上の現代的な課題について探究し、論理的に考究できているかを評価する。(50%)
以上を、総合的に評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題・レポートは、後日の授業中やmanabaなどで総評をおこなう。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:図書館制度・経営論　2版(ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望　5) 著者名:手嶋孝典 編著 出版社名:学文社
ISBN:9784762027017

[参考書(ISBN)]
書籍名:新しい時代の図書館情報学 第3版 著者名:山本順一 編 出版社名:有斐閣 ISBN:9784641222397

科目名	図書館制度・経営論	後期	2 単位
サブタイトル	図書館を支える制度基盤と社会的役割を果たすためのマネジメントとは	講義	
担当者	坂下　直子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
近代公共図書館の5原則をふまえて、公共機関である図書館を組織とみなして、経営・運営上の様々な問題について学び、下記の目標達成をめざす。
①図書館関連法規と、相互の関係性を理解する。
②図書館現場の運営制度を理解する。
③図書館制度・経営上の現代的な課題について、当事者の視点で主体的に思考し(自己との対話)、私見を持つことができる。
④グループディスカッションにおける意見交換(他者との対話)において、異なった意見を知り、自らの思考をより深めることができる。

[授業概要]
図書館に関する法律、関連する領域の法律、図書館政策について解説するとともに、図書館経営の考え方、人材(専門職としての図書館職員)や施設・設備等の経営資源、サービス計画、予算の確保、調査と評価、管理形態等について解説し、様々なサービスと、それを円滑に行う運営体制をみていく。
図書館関連法規や、組織運営上の経済・経営用語など、ややもすると暗記中心になりがちな本科目を、オーセンティックな実例に則して、問題解決型学習(PBL)といったディープ・アクティブラーニングの視点での学びをめざす。現代の図書館が抱える制度・経営上の時事的な問題を、その都度トピックとして紹介し、各自および集団で問題解決の方途を探ってもらう。
公共・大学・学校図書館での司書経験を活かして、現場での実践を意識した指導が可能である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各種関連法規が、どのような形で図書館と結びついているのか、リアルな図書館に足を運び観察すると同時に、web上などでのバーチャルな図書館の様子にもアンテナを張って吸収してほしい。各回、予習復習合わせて 4 時間程度。

[授業計画]
基本的に以下のプランに従って講義を進める。ただし、講義の進み具合、時事的な課題への言及などに対して順序や同一テーマの回数を変えることがある。
1. イントロダクション　図書館法の理解(1):目的と意義
2. 図書館法の理解(2):図書館法逐条解説
3. 図書館法の理解(3):図書館法逐条解説
4. 図書館関連法規の理解(1):日本国憲法、教育基本法、社会教育法
5. 図書館関連法規の理解(2):地方自治体と条例
6. 他館種の図書館に関する法律
7. 図書館サービス関連法規の理解
8. 図書館政策(国、地方自治体)
9. 公共機関・施設の経営方法と図書館経営
10. 図書館の組織・職員体制:司書の専門性とは
11. 図書館の施設・設備
12. 図書館のサービス計画と予算　図書館業務と評価
13. ディベート、今後の図書館制度の展望

科目名	図書館制度・経営論	後期	2 単位
サブタイトル	図書館を支える制度基盤と社会的役割を果たすためのマネジメントとは	講義	
担当者	坂下　直子		

[成績評価方法]
①各課題で、授業全体を通して、知識・技能を正しく理解し、習得できているかを総括的に評価する。(50%)
②パフォーマンス課題で、図書館制度・経営上の現代的な課題について探究し、論理的に考究できているかを評価する。(50%)
以上を、総合的に評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題・レポートは、後日の授業中やmanabaなどで総評をおこなう。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:図書館制度・経営論　2版(ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望　5) 著者名:手嶋孝典 編著 出版社名:学文社
ISBN:9784762027017

[参考書(ISBN)]
書籍名:新しい時代の図書館情報学 第3版 著者名:山本順一 編 出版社名:有斐閣 ISBN:9784641222397

科目名	図書館総合演習	前期	1 単位
サブタイトル	司書としての学びの集大成：図書館を実践的に体験しよう	演習	
担当者	坂下　直子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
これまで講義で修得した理論や知識をもとに、実際に図書館業務を体験し、これまでの学習内容の確認と統合を図り、司書としての実践的な技能と知識が身につくことを目指す。

[授業概要]
必修の各科目で学んだ内容を掘り下げて学習し、理解を深める観点から、少人数を対象に、見学会・講演会等を組み合わせた総合的な演習を行う。
具体的には、実際に図書館現場で司書がおこなっている様々な職務を体験し、主体的な司書としての実践力を養う。本授業では、資料の選択、広報活動、読書促進のための書評・ビブリオバトル、POP作成、イベント企画などの演習をおこなう。最終的には総仕上げとして、実際の図書館現場において、資料配架、スペースづくり、資料の組織化、目録作成などを学ぶ実地研修を体験する。図書館での土曜日集中の実地研修への参加が必須なので注意すること。

少人数での演習授業のため、多数の受講希望がある場合、人数を制限することがある。
演習においては、教員が司書としての実務経験にもとづく具体的な知識と技術を活かして、より実践的な指導をする。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
受講生は、地元の地域の図書館を想起するとともに、公共図書館や本学図書館に足を運んで、多様な図書館サービスの実際を興味と関心をもってしっかりと確認しておくこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
基本的に以下のプランに従って講義を進める。ただし、講義の進み具合等の状況などに影響を受けて、順序や同一テーマの回数を変えることがある。
1. オリエンテーション
2. 書評の作成（おすすめの本のリスト作成）
3. 書評の作成（良い書評とは）（書評の書き方）（様々な書評を読もう）
4. 書評の作成（書評を書く）　書評本のPOP作成
5. ビブリオバトル（知的書評合戦）について
6. アカデミックビブリオバトルの開催準備
7. アカデミックビブリオバトルの開催
8. イベント企画に向けたリサーチ
9. イベント企画構築
10. イベント企画プレゼンテーション
11. 外部図書館見学・実地研修
12. 外部図書館見学・実地研修
13. まとめ

科目名	図書館総合演習	前期	1 単位
サブタイトル	司書としての学びの集大成：図書館を実践的に体験しよう	演習	
担当者	坂下　直子		

[成績評価方法]
発表（30%）
課題（40%）
グループワークへの参加を含む受講態度（30%）
以上を、総合的に評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題は、後日の授業内もしくはmanabaで総評をおこなう。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	日本語学概論Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻　裕剛		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・日本語と日本人の関係を客観的に説明できる
・日本語の表記・語彙上の特徴を把握し，正確な情報を選択できる。
・日本語の位相(変種)について説明できる

[授業概要]
日本語学は日本語の言語現象ならびに関連事象を扱う幅広い分野である。この授業では特に、文字・日本語史・位相・敬語・語彙といった内容について取り扱い、日本語学の基礎的な知識について理解を深めることを目的とする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
普段から日本語の言語現象について注意深く観察・考察しておくこと。
毎時授業の振り返り課題を行うので、主体的に復習を行うこと。
次週の授業テーマについて、事前に参考文献、概説書、インターネットなどで調査しておくこと。
欠席者は必ず授業内容を確認しておくこと。

[授業計画]
1. ガイダンス　日本語学とは
2. 日本人と名前
3. 日本語と日本人
4. 日本語の特徴(1)　起源・音声
5. 日本語の特徴(2)　文法・語彙・表記
6. 言語の位相・方言
7. 日本語と文字(1)　漢字
8. 日本語と文字(2)　仮名
9. 日本語と文字(3)　その他
10.敬語(1)　基礎・理論
11.敬語(2)　応用・現実
12.新しい日本語表現
13.ことば遊び

科目名	日本語学概論Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻　裕剛		

[成績評価方法]
リアクションペーパー(5%×13回)、授業内での確認課題(35%)
※未提出の課題がある場合、単位の修得が困難になるため十分注意すること。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・各回の冒頭で質問・疑問に対してコメントと解説を行う。
・また、manabaを用いて随時フィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	日本語学概論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻　裕剛		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・日本語の文法的・音声的な特徴について適切な情報を選択できる。
・学校文法の問題点を指摘できる。
・日本語教育上の立場からの日本語の特徴を説明できる。

[授業概要]
日本語学は日本語の言語現象ならびに関連事象を扱う幅広い分野である。この授業では特に、音声・文法・日本語教育といった内容について取り扱い、日本語学のやや発展的な知識について理解を深めることを目的とする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
普段から、日本語の言語現象について注意深く観察・考察しておくこと。
毎時授業の振り返り課題を行うので、主体的に復習を行うこと。
次週の授業テーマについて、事前に参考文献、概説書、インターネットなどで調査しておくこと。
欠席者は必ず授業内容を確認しておくこと。

[授業計画]
1.　ガイダンス
2.　日本語の音声(1)　基礎
3.　日本語の音声(2)　発展
4.　オノマトペ(1)　基礎
5.　オノマトペ(2)　発展
6.　日本語の文法(1)　学校文法
7.　日本語の文法(2)　動詞の種類
8.　日本語の文法(3)　品詞以外の要素
9.　社会と言語
10.　語用論
11.　日本語教育(1)　現状・歴史・言語言語獲得
12.　日本語教育(2)　実践
13.　言語の情報性

科目名	日本語学概論Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻　裕剛		

[成績評価方法]
リアクションペーパー(5%×13回)、授業内での確認課題(35%)
※未提出の課題がある場合、単位の修得が困難になるため十分注意すること。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・各回の冒頭で質問・疑問に対してコメントと解説を行う。
・また、manabaを用いて随時フィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	日本語教育特講Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	外国人に教える日本語	講義	
担当者	安原　順子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
外国人に対する日本語教育の音声・文法について学ぶことを目標とする。

[授業概要]
日本語教育特講Ⅰは、日本語教員資格取得希望者には必修の科目である。本講義では、前年度に受講済みの日本語学概論の内容を踏まえ、さらに詳しく外国人への日本語教育のための日本語学を取り上げる。次年度からの日本語教授法の授業に備え、外国人にとっての日本語を、その困難点を中心に分野別に整理し、考えることを目標にする。文法の問題も一部取り上げるが、外国人の間違いやすい点を中心に、日本語教員経験のある教員から、実例を通して学ぶ内容になる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
前回の授業内容を復習し、理解してから授業に参加すること。授業外でも、外国人の使う日本語に興味や関心を持つこと。

[授業計画]
1. はじめに
2. 日本語音声の問題点
3. アクセント・イントネーションの問題点
4. 文法の問題点①　品詞分類
5. 文法の問題点②　動詞の活用形　辞書形
6. 文法の問題点③　動詞の活用形　て形、た形
7. 文法の問題点④　助詞
8. 文法の問題点⑤　主語
9. 文法の問題点⑥　テンス
10. 文法の問題点⑦　授受表現
11. 文法の問題点⑧　受け身
12. 文字・表記の問題点①　文字の種類とひらがな、書くことの問題点
13. まとめ

科目名	日本語教育特講 I	前期	2 単位
サブタイトル	外国人に教える日本語	講義	
担当者	安原　順子		

[成績評価方法]
試験(80%)、受講態度(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験後、試験用紙を返却し、解説する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：日文1-1／日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文2-1／獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文3-1／自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文3-4／日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。
成績評価方法：試験、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験、受講態度

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:授業中に指示する。著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	日本語教育特講Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	外国人に教える日本語	講義	
担当者	安原　順子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
外国人に対する日本語教育の音声・文法について学ぶことを目標とする。

[授業概要]
日本語教育特講Ⅰは、日本語教員資格取得希望者には必修の科目である。本講義では、前年度に受講済みの日本語学概論の内容を踏まえ、さらに詳しく外国人への日本語教育のための日本語学を取り上げる。次年度からの日本語教授法の授業に備え、外国人にとっての日本語を、その困難点を中心に分野別に整理し、考えることを目標にする。文法の問題も一部取り上げるが、外国人の間違いやすい点を中心に、日本語教員経験のある教員から、実例を通して学ぶ内容になる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
前回の授業内容を復習し、理解してから授業に参加すること。授業外でも、外国人の使う日本語に興味や関心を持つこと。

[授業計画]
1. はじめに
2. 日本語音声の問題点
3. アクセント・イントネーションの問題点
4. 文法の問題点①　品詞分類
5. 文法の問題点②　動詞の活用形　辞書形
6. 文法の問題点③　動詞の活用形　て形、た形
7. 文法の問題点④　助詞
8. 文法の問題点⑤　主語
9. 文法の問題点⑥　テンス
10. 文法の問題点⑦　授受表現
11. 文法の問題点⑧　受け身
12. 文字・表記の問題点①　文字の種類とひらがな、書くことの問題点
13. まとめ

科目名	日本語教育特講Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	外国人に教える日本語	講義	
担当者	安原　順子		

[成績評価方法]
試験(80%)、受講態度(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験後、試験用紙を返却し、解説する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：日文1-1／日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文2-1／獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文3-1／自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文3-4／日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。
成績評価方法：試験、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験、受講態度

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:授業中に指示する。著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	日本語教授法Ⅰ－ｉ	前期	2 単位
サブタイトル	日本語教員になるための基礎を学ぶ	講義	
担当者	岡田　由紀子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・日本語の授業を行うための基礎知識（日本語教育の歴史、教授法など）を理解し、説明することができる。
・初級で学習する文法を分析・理解し、学習者の学習段階に合わせた文型の導入・練習方法を考えて教案を書き、実践することができる。
・よりよい授業を行うために自己点検や、他の人と話し合いを行い、改善案を出すことができる。

[授業概要]
「日本語教授法Ⅰ－ｉ」では、日本語の授業を行うための基礎知識を学習した後、日本語の教科書『みんなの日本語初級Ⅰ』を用い、指導計画の作成や授業の進め方などについて、日本語教員経験のある教員から具体的に学習する。講義だけでなく、項目ごとにグループワークやディスカッションを行うことによって、基礎知識を深め、よい授業をするための方法を考える力を身につける。まとめとして、一人ずつ「文法研究」と「文型の導入」を発表し、振り返りを行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4 時間程度。
予習・復習プリントは期日までに提出のこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 日本語教育の歴史、さまざまな教授法
3. 日本語教育の教科書、教材・教具
4. 初級文型の導入、練習
5. 教案の書き方
6. みんなの日本語初級Ⅰ 1課、2課、3課
7. みんなの日本語初級Ⅰ 4課、5課、6課
8. みんなの日本語初級Ⅰ 7課、8課、9課
9. みんなの日本語初級Ⅰ 10課、11課
10. みんなの日本語初級Ⅰ 12課、13課
11. 文法研究、文型導入　発表準備
12. 文法研究、文型導入　発表
13. 文法研究、文型導入　発表のまとめ

科目名	日本語教授法Ⅰ－ｉ	前期	2 単位
サブタイトル	日本語教員になるための基礎を学ぶ	講義	
担当者	岡田　由紀子		

[成績評価方法]
予習・復習プリント、リアクションペーパー（30%）、発表（40%）、受講態度（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内または授業後に解説。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：日文1-2／日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表

学科DP番号／DP内容：日文1-3／日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文2-1／獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文3-1／自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文3-4／日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表、受講態度

[教科書（ISBN）]
書籍名:【第2版】みんなの日本語初級1本冊 著者名:スリーエーネットワーク／編著 出版社名:スリーエーネットワーク ISBN:9784883196036

[参考書（ISBN）]
書籍名:【第2版】みんなの日本語初級1翻訳・文法解説英語版 著者名:スリーエーネットワーク／編著 出版社名:スリーエーネットワーク ISBN:9784883196043
書籍名:【第2版】みんなの日本語初級1教え方の手引き 著者名:スリーエーネットワーク／編著 出版社名:スリーエーネットワーク ISBN:9784883197347
書籍名:ベーシック日本語教育 著者名:佐々木泰子／編 出版社名:ひつじ書房 ISBN:9784894762855

科目名	日本語教授法Ⅰ－ii	後期	2 単位
サブタイトル	日本語の教え方を学ぶ	講義	
担当者	岡田　由紀子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・日本語の授業を行うための基礎知識(日本語教育の歴史、教授法など)を理解し、説明することができる。
・初級で学習する文法を分析・理解し、学習者の学習段階に合わせた文型の導入・練習方法を考えて教案を書き、実践することができる。
・よりよい授業を行うために自己点検や、他の人と話し合いを行い、改善案を出すことができる。

[授業概要]
「日本語教授法Ⅰ－ii」では、「日本語教授法Ⅰ－ⅰ」に引き続き、日本語の教科書『みんなの日本語初級Ⅰ』を用い、指導計画の作成や授業の進め方などについて、日本語教員経験のある教員から具体的に学習する。講義だけでなく、項目ごとにグループワークやディスカッションを行うことによって、基礎知識を深め、よい授業をするための方法を考える力を身につける。まとめとして、一人ずつ「文型の導入・練習」を発表し、振り返りを行う。この発表文型は「教授法Ⅱ」で行う模擬授業の前段階のものとなる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習あわせて4時間程度。
予習・復習プリントは期日までに提出のこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. みんなの日本語初級Ⅰ 14課、15課
3. みんなの日本語初級Ⅰ 16課、17課
4. みんなの日本語初級Ⅰ 18課、19課
5. みんなの日本語初級Ⅰ 20課 活用のまとめ
6. みんなの日本語初級Ⅰ 21課 発表準備①
7. みんなの日本語初級Ⅰ 22課、発表準備②
8. みんなの日本語初級Ⅰ 23課 発表準備③
9. みんなの日本語初級Ⅰ 24課 発表準備④
10. みんなの日本語初級Ⅰ 25課 発表準備⑤
11. 文型導入、練習 発表①
12. 文型導入、練習 発表②
13. 文型導入、練習 発表のまとめ

科目名	日本語教授法Ⅰ－ii	後期	2 単位
サブタイトル	日本語の教え方を学ぶ	講義	
担当者	岡田　由紀子		

[成績評価方法]
予習・復習プリント、リアクションペーパー（30%）、発表（40%）、受講態度（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内または授業後に解説。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：日文1-2／日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表

学科DP番号／DP内容：日文1-3／日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文2-1／獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文3-1／自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文3-4／日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：予習・復習プリント、リアクションペーパー、発表、受講態度

[教科書（ISBN）]
書籍名:【第2版】みんなの日本語初級1本冊 著者名:スリーエーネットワーク／編著 出版社名:スリーエーネットワーク ISBN:9784883196036

[参考書（ISBN）]
書籍名:【第2版】みんなの日本語初級1翻訳・文法解説英語版 著者名:スリーエーネットワーク／編著 出版社名:スリーエーネットワーク ISBN:9784883196043
書籍名:【第2版】みんなの日本語初級1教え方の手引き 著者名:スリーエーネットワーク／編著 出版社名:スリーエーネットワーク ISBN:9784883197347

科目名	日本語教授法Ⅱ－ｉ	前期	2 単位
サブタイトル	模擬実習を通した実践日本語教育	講義	
担当者	岡田　由紀子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
授業計画の一連の流れを理解し、発表を通して、模擬実習の経験を積み、より良い授業実践に改善できる。

[授業概要]
日本語教授法Ⅱでは、日本語学概論から、言語学概論、日本語教授法Ⅰで学んだ知識と理論を授業の中でどのように活かせるかを学び、同時に、日本語教育模擬実習への準備として発表も行う。教科書は日本語教授法Ⅰで使用した『みんなの日本語初級Ⅰ』を使用し、授業での教室作業を検討して発表後、その内容について討議する。
留学生や外国人研修生などへの日本語指導経験がある教員が、その経験を活かして、模擬授業の教案作成･発表･討議の際にコメントやアドバイス、実際の指導方法の例を挙げて説明･指導を行う。
教科書の使用方法、教授法については日本語教授法Ⅰで講義をしているので、前年度までに教授法Ⅰを履修した学生の受講が望ましい。
4回生の模擬実習のみの受講は認めない。4回生の1年間で「日本語教員養成講座」のすべての単位をまとめて取得することも認めない。（受講可否が不明瞭な場合、1回目の授業に欠席する場合は必ず連絡のこと）学習者役として、留学生も模擬実習に参加する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
・各回、予習復習合わせて4時間程度。
　教員から特段の指示がない場合でも自発的に授業内容の予習復習を行うこと。
・発表者は発表日2週間前までに最初の教案を提出し、発表日3日前までに教案修正を終え、
　発表の許可をとること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 導入、練習方法
3. 教案の書き方
4. 模擬授業例
5. 模擬実習①
6. 模擬実習②
7. 模擬実習③
8. 模擬実習④
9. 模擬実習⑤
10. 模擬実習⑥
11. 模擬実習⑦
12. 模擬実習⑧
13. 総復習

科目名	日本語教授法Ⅱ－ｉ	前期	2 単位
サブタイトル	模擬実習を通した実践日本語教育	講義	
担当者	岡田　由紀子		

[成績評価方法]
模擬実習1回(70%)、レポート(15%)、受講態度(15%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・模擬実習前は教案を添削して返却。(直接またはメール)
・模擬実習後は実習についてのコメントをまず授業内で行い、後日コメントシートにまとめたものを発表者に渡す。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：日文2-1／獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。
成績評価方法：模擬実習、レポート、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文2-2／収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。
成績評価方法：模擬実習、レポート、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文2-3／内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。
成績評価方法：模擬実習、レポート、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文3-1／自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。
成績評価方法：模擬実習、レポート、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文3-4／日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。
成績評価方法：模擬実習、レポート、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：模擬実習、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬実習、レポート、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬実習、レポート、受講態度

[教科書(ISBN)]
書籍名:【第2版】みんなの日本語初級1本冊 著者名:スリーエーネットワーク／編著 出版社名:スリーエーネットワーク ISBN:9784883196036

[参考書(ISBN)]
書籍名:【第2版】みんなの日本語初級1翻訳・文法解説英語版 著者名:スリーエーネットワーク／編著 出版社名:スリーエーネットワーク ISBN:9784883196043
書籍名:【第2版】みんなの日本語初級1教え方の手引き 著者名:スリーエーネットワーク／編著 出版社名:スリーエーネットワーク ISBN:9784883197347

科目名	日本語教授法Ⅱ－ii	後期	2 単位
サブタイトル	模擬実習を通した実践日本語教育	講義	
担当者	安原　順子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
各自が、模擬実習を実際に経験することを目標とする。

[授業概要]
日本語教授法Ⅱでは、日本語学概論、言語学概論、日本語教授法Ⅰで学んだ知識と理論を授業の中でどのように生かせるかを、日本語教員経験をもつ教員から具体的に学ぶ。同時に、日本語教育実習への準備としてグループでの発表も行う。教科書は日本語教授法Ⅰで使用した『みんなの日本語初級Ⅰ』を使用し、授業での教室作業をグループで検討して発表後、その内容について討議する。教科書の使用方法、教授法については日本語教授法Ⅰで講義をしているので、前年度までに教授法Ⅰを履修した学生の受講が望ましい。本講義を履修する学生は、日本語実習を併修すること。4回生の模擬実習のみの受講は認めない。また、4回生時に、日本語教員養成講座のすべての単位を取得することも認めない。学習者役として、留学生も模擬実習に参加する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
発表者の担当する課を事前に読んでから、授業に参加すること。

[授業計画]
1. 模擬実習の準備
2. 模擬実習の実際
3. 模擬実習　1
4. 模擬実習　2
5. 模擬実習　3
6. 模擬実習　4
7. 模擬実習　5
8. 模擬実習　6
9. 模擬実習　7
10. 模擬実習　8
11. 模擬実習　9
12. 模擬実習　10
13. まとめ

科目名	日本語教授法Ⅱ－ii	後期	2 単位
サブタイトル	模擬実習を通した実践日本語教育	講義	
担当者	安原　順子		

[成績評価方法]
模擬実習（80%）、受講態度（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
模擬実習前には教育実習案について、模擬実習後には模擬実習についてコメントし、フィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：日文1-1／日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。
成績評価方法：模擬実習、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文2-3／内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。
成績評価方法：模擬実習、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文3-1／自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。
成績評価方法：模擬実習、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文3-4／日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。
成績評価方法：模擬実習、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：模擬実習、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：模擬実習、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬実習、受講態度

[教科書（ISBN）]
書籍名:【第2版】みんなの日本語初級1本冊 著者名:スリーエーネットワーク／編著 出版社名:スリーエーネットワーク
ISBN:9784883196036

[参考書（ISBN）]
書籍名:授業中に、指示する。 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	日本語史Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻　裕剛		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・日本語の歴史的な変遷を理解し、概略を説明できる。
・個別の術語を適切に選択したり、説明したりできる。
・特定の文献の名称や資料的価値を説明できる。

[授業概要]
日本語がたどってきた歴史的変遷に理解を深め、日本語における伝統的な言語文化とその特質を知る。授業は主に時代区分に従ってその時代の代表的な文献を紹介した上で、日本語の特徴や言語現象の変遷を解説しする。適宜、受講者に対し設問を設け、能動的な授業への参加を促す。毎時間、問いへの回答と教員への意見・質問等をリアクションペーパーに記述し、その提出によって日常の習熟度を計る。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
毎時で提示される問いに対する回答を提出する。
授業内容について不明点・疑問を探し、各自で調査する。
教員から特段の指示がない場合でも自発的に授業内容の予習復習を行うように。

[授業計画]
1. ガイダンス　日本語史について
2. 言語と日本語の歴史
3. 日本語史概観　奈良時代以前の日本語
4. 奈良時代～平安初期の日本語
5. 平安時代の日本語(1)　古典語
6. 平安時代の日本語(2)　文字・字書
7. 平安時代～鎌倉時代の日本語
8. 鎌倉時代～室町時代の日本語
9. 江戸時代の日本語(1)　近世語
10.江戸時代の日本語(2)　西洋文化の影響
11.近代の日本語(1)　近代語
12.近代の日本語(2)　国語施策
13.現代とこれからの日本語

科目名	日本語史Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻　裕剛		

[成績評価方法]
リアクションペーパー(5%×12回)、授業内での確認課題(40%)。
※未提出の課題がある場合、単位の修得が困難になるため十分注意すること。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・各回の冒頭で質問・疑問に対してコメントと解説を行う。
・また、manabaを用いて随時フィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：日文1-1／日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。
成績評価方法：リアクションペーパー、確認課題

学科DP番号／DP内容：日文1-2／日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。
成績評価方法：リアクションペーパー、確認課題

学科DP番号／DP内容：日文2-3／内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。
成績評価方法：リアクションペーパー、確認課題

学科DP番号／DP内容：日文3-3／他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。
成績評価方法：リアクションペーパー、確認課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：リアクションペーパー、確認課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：リアクションペーパー、確認課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：リアクションペーパー、確認課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：リアクションペーパー、確認課題

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	日本語史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻　裕剛		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・授業で取り扱った日本語学用語の特徴を適切に説明できる。
・自ら主体的に情報収集を行える。
・指定の形式に情報を整えて報告できる。

[授業概要]
日本語史・日本文化上の重要語句について理解を深め、その特徴を学ぶ。授業の具体的な流れとしては、教員が設定する用語について受講者が事前に入念な資料調査を行い、授業時間にグループワークを行ってその内容に関する質問に対する解答を作成するという形式を取る。また、適度に理解度確認のための授業内課題を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
各回のテーマに関連する文献・資料の情報を調査しておく。
学習した内容を復習する。

[授業計画]
1. ガイダンス　授業の進め方(講義)
2. 暦
3. 干支
4. 五十音図
5. いろはうた
6. 数と数え方(講義)
7. 音声
8. アクセント
9. 係り結び
10.方言と共通語
11.漢文訓読
12.モーラ(講義)
13.授業のまとめ

科目名	日本語史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻　裕剛		

[成績評価方法]
提出物(6%×10回)、確認課題(40%)
※未提出の課題がある場合、単位の修得が困難になるため十分注意すること。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・各回、質問・疑問に対してコメントと解説を行う。
・また、manabaを用いて随時フィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:日文1-1／日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。
成績評価方法:提出物、確認課題

学科DP番号／DP内容:日文1-2／日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。
成績評価方法:提出物、確認課題

学科DP番号／DP内容:日文1-3／日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。
成績評価方法:提出物、確認課題

学科DP番号／DP内容:日文2-1／獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。
成績評価方法:提出物、確認課題

学科DP番号／DP内容:日文2-3／内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。
成績評価方法:提出物、確認課題

学科DP番号／DP内容:日文3-2／伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。
成績評価方法:提出物、確認課題

学科DP番号／DP内容:日文3-3／他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。
成績評価方法:提出物、確認課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:提出物、確認課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:提出物、確認課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:提出物、確認課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出物、確認課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:提出物、確認課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:提出物、確認課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:提出物、確認課題

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	日本語実習	後期	2 単位
サブタイトル	模擬実習	実習	
担当者	安原　順子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教壇実習を通して、外国人に教える経験をすることを目標とする。

[授業概要]
・日本語教員養成講座の総まとめとして、教壇実習のための教案を書き、各自が45分×2回の教壇実習を行う。
・実習では、実習前に何度か実習案について指導を受け、実習後はその内容について受講者全員で討論する。
・実習においては、以下を取扱うこととする。
① オリエンテーション
② 授業見学
③ 授業準備
④ 模擬授業
⑤ 教壇実習
⑥ 実践研修全体総括
・4回生の実習のみの受講は認めない。また、4回生時に、日本語教員養成講座のすべての単位を取得することも認めない。
・教壇実習は、一定期間外部の日本語教育機関を使って実施するため、所定の実習費用が発生する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
発表グループの担当する課を事前に読んでから、授業に参加すること。

[授業計画]
1. 教壇実習の準備
2.教壇実習の実際
3 . 教壇実習　学生1
4. 教壇実習　学生2
5. 教壇実習　学生3
6. 教壇実習　学生4
7. 教壇実習　学生5
8. 教壇実習　学生6
9. 教壇実習　学生7
10. 教壇実習　学生8
11. 教壇実習　学生9
12. 教壇実習　学生10
13. まとめ

科目名	日本語実習	後期	2 単位
サブタイトル	模擬実習	実習	
担当者	安原　順子		

[成績評価方法]
教壇実習(80%)、受講態度(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
教壇実習前には教育実習案について、実習後には実習内容についてコメントし、フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:日文1-1／日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。
成績評価方法:教壇実習、受講態度

学科DP番号／DP内容:日文2-3／内容や状況、相手、媒体などに応じて目的に適った日本語表現を選び、運用することができる。
成績評価方法:教壇実習、受講態度

学科DP番号／DP内容:日文3-1／自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。
成績評価方法:教壇実習、受講態度

学科DP番号／DP内容:日文3-4／日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。
成績評価方法:教壇実習、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:教壇実習、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:教壇実習、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:教壇実習、受講態度

[教科書(ISBN)]
書籍名:【第2版】みんなの日本語初級1本冊 著者名:スリーエーネットワーク／編著 出版社名:スリーエーネットワーク
ISBN:9784883196036

[参考書(ISBN)]
書籍名:授業中に、指示する。 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	日本語文法Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻　裕剛		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	ピアレビュー	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・複数の立場からの理解を深め、日本語の文法の特徴について説明できる
・学校文法についてその問題点を指摘できる
・類似した日本語表現の微細な違いを説明できる
・指定の形式に情報を整理し、他者へと報告できる

[授業概要]
この授業では、普段無意識に使っている日本語の文法について、客観的な視点からその構造を読み解くことを目的とする。授業は教員による講義と受講生を交えた議論・グループワーク・発表などで構成する。事前配付のレジュメをよく読み、そこで提示される問いについての回答を前もって用意してから参加する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
教員からの特別の指示がなくとも、概説書やインターネットなどで自主的に予習復習を行うこと。
授業の前には事前に配布されたレジュメをよく読み、提示された問いについてよく考えておく。また、後半回は必要な小レポートを作成する。
欠席者は必ず授業内容を確認しておくこと。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. 品詞分類
3. 文の構造と順序
4. 課題1
5. 名詞
6. 動詞
7. 課題2
8. 形容詞・形容動詞
9. 課題3
10. その他の品詞
11. 課題4
12. 課題5
13. まとめ

科目名	日本語文法Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	岡墻　裕剛		

[成績評価方法]
授業中の行動(提出物、議論への参加度合いなど:50%)、授業内での確認課題(30%)、レポート(20%)
※未提出の課題がある場合、単位の修得が困難になるため十分注意すること。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・各回の冒頭で質問・疑問に対してコメントと解説を行う。
・また、manabaを用いて随時フィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:日文1-1／日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。
成績評価方法:授業中の活動、確認課題、レポート

学科DP番号／DP内容:日文1-2／日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。
成績評価方法:授業中の活動、確認課題、レポート

学科DP番号／DP内容:日文1-3／日本語・日本文学および日本文化の研究を通して、「読む・書く・話す・聞く」について高い能力を獲得している。
成績評価方法:確認課題、レポート

学科DP番号／DP内容:日文2-1／獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。
成績評価方法:確認課題、レポート

学科DP番号／DP内容:日文2-2／収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。
成績評価方法:確認課題、レポート

学科DP番号／DP内容:日文3-1／自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。
成績評価方法:授業中の活動、レポート

学科DP番号／DP内容:日文3-3／他者との協働を可能にする高い対話力と、自ら進んで動く主体的な行動力を身に付けている。
成績評価方法:授業中の活動、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の活動、確認課題、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の活動、確認課題、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業中の活動、確認課題、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業中の活動、確認課題、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業中の活動、確認課題、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業中の活動、確認課題、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業中の活動、確認課題、レポート

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	日本語文法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	橋本　礼子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
古典語の文法的特徴を、現代日本語と関連づけて説明することができる。
文法史の分析方法を知り、日本語文法の変化を理解する。

[授業概要]
この授業では、現代の日本語だけでなく古典の日本語も視野に入れて、文法現象の理解を深める。文の構造、活用、文法カテゴリーなどに分け、文法史の分析手法によって日本語の文法現象のどのようなことがわかるのかを考える。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
中学校レベルの口語文法(現代日本語)、高校レベルの古典文法の知識を確実にしておくこと。
教科書の該当ページについて、必ず事前に読み、取り組んでおくこと。
各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. 導入:総論
2. 上代の語構成:「サケ」と「サカヤ」
3. 中古の訓点資料:漢文と日本語文法
4. 活用1　動詞の活用、形容詞・形容動詞の活用
5. 活用2　活用の変化(一段化)
6. 係り結びと準体句
7. 文法カテゴリー:格
8. 文法カテゴリー:ヴォイス
9. 文法カテゴリー:アスペクト
10. 文法カテゴリー:テンス
11. 文法カテゴリー:モダリティ
12. 現代の文法変化・分析的傾向
13. 敬語文法の変化

科目名	日本語文法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	橋本　礼子		

[成績評価方法]
授業中課題（60%）、レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中課題や質問については授業中にフィードバックする。
メールやmanabaの掲示板などでの質問も受け付ける。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：日文1-1／日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。
成績評価方法：授業中課題・レポート

学科DP番号／DP内容：日文1-2／日本語、日本文学、日本文化のいずれかに関する深い専門的知識を修得している。
成績評価方法：授業中課題・レポート

学科DP番号／DP内容：日文2-1／獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。
成績評価方法：授業中課題・レポート

学科DP番号／DP内容：日文2-2／収集した情報を客観的に分析し、多様な観点から物事を判断し、日本語、日本文学、日本文化に関する独自の新しい視点・解釈を見出だすことができる。
成績評価方法：授業中課題・レポート

学科DP番号／DP内容：日文3-1／自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。
成績評価方法：授業中課題・レポート

学科DP番号／DP内容：日文3-2／伝統的な文化を理解したうえで、社会に広く関心を抱き、自立心を持って社会の多様な場面で、革新的で創造的な活動ができる。
成績評価方法：授業中課題・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業中課題・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業中課題・レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:ワークブック　日本語の歴史 著者名:岡崎　友子 出版社名:くろしお出版 ISBN:9784874247068

[参考書（ISBN）]

科目名	博物館情報・メディア論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	福田　和浩		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
博物館における情報やメディアの意義や課題について理解すると共に、博物館情報や情報発信の活用についての基礎的能力についても身に付けることを目標とする。

[授業概要]
現役の学芸員である教員が、現場の視点から博物館の情報に関わる新しい取り組みを紹介しながら、博物館情報とメディアの意義や役割、活用方法を考えていく。
特に、博物館に関わるデジタル情報機器・ソフトウェアの発展、資料の情報化、情報メディアによる発信や連携など、博物館の様々な活動にとって情報化が不可欠になっている現状を、様々な博物館の実践から知り、今後の課題を考える。
そして、博物館の現代的課題に向き合い、解決するためのビジョンを共有し、実践的な検討を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
教科書の該当ページや事前配布の講義資料を読んで予習をしておくこと。また新聞やインターネット等、博物館・美術館などが発信する多様な形態の情報に注意し、実際に博物館を訪れた際は、来館者や地域に向けた取り組みや情報発信について検討・考察する視点で見学すること。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. 情報とメディアの基礎（1）情報の意義やメディアの役割を考える
3. 情報とメディアの基礎（2）博物館で扱う情報、ドキュメンテーションとデータベース化
4. 情報とメディアの基礎（3）博物館と知的財産
5. 学外研修
6. 学外研修　※博物館の現場を見学し、博物館活動を情報化する実践を知る。見学先は特色ある博物館や史跡とし、開講時に日程等を示す（2025年5月下旬の日曜日を予定）。
7. 博物館における情報発信（1）メディアの役割と活用
8. 博物館における情報発信（2）メディアの活用の実践・ポスター作成実習
9. 博物館における情報発信（3）ウェブサイトと広報、SNS
10. 博物館活動の情報化（1）調査研究：デジタル情報の特性、撮影と計測
11. 博物館活動の情報化（2）展示・教育：マルチメディアコンテンツの活用
12. ICT社会の中の博物館（1）地域連携としての博物館の役割
13. ICT社会の中の博物館（2）社会教育施設との連携を知る、まとめ

科目名	博物館情報・メディア論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	福田　和浩		

[成績評価方法]
各授業の課題とワークショップ（60%）、課題レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
各授業の課題やワークショップについては、翌週の授業の中で講評を加えることがある。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。
成績評価方法：各授業の課題とワークショップ（60%）、最終課題レポート（40%）

学科DP番号／DP内容：史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。
成績評価方法：各授業の課題とワークショップ（60%）、最終課題レポート（40%）

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：各授業の課題とワークショップ（60%）、最終課題レポート（40%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：各授業の課題とワークショップ（60%）、最終課題レポート（40%）

[教科書（ISBN）]
書籍名:新時代の博物館学 著者名:全国大学博物館学講座協議会西日本部会／編 出版社名:芙蓉書房出版
ISBN:9784829505519
書籍名:適宜プリントを配布する 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]